

第6回（2024年）  
家計と貯蓄に関する調査  
結果概要報告書



# 目 次

## I 調査の概要

1. 調査目的 .....	1
2. 調査内容 .....	1
3. 調査対象 .....	1
4. 抽出方法 .....	1
5. 調査方法 .....	1
6. 調査期間 .....	2
7. 回収状況 .....	2
8. 利用上の注意 .....	2
9. 回答世帯の属性 .....	3
(1) 回答者 .....	3
(2) 世帯主性別 .....	3
(3) 世帯主および配偶者の年齢、それぞれの両親の生年代 .....	3
(4) 世帯主の子ども人数 .....	5
(5) 同居家族人数 .....	5
(6) 同居家族 .....	6
(7) 別居家族有無 .....	7
(8) 世帯主および配偶者の健康状態 .....	7
(9) 世帯主および配偶者、それぞれの両親の学歴 .....	8
(10) 世帯主および配偶者の両親 .....	9
(11) 世帯で保有する資産 .....	13
1. 生活全般について .....	17
(1) 現在の生活満足度 .....	17
(2) 日頃の生活の中での悩みや不安 .....	20
(3) 物の豊かさと心の豊かさ .....	21
(4) 今後の生活において重点を置きたいこと .....	21
(5) 物価動向に関する考え .....	22
(6) 電車やバスで席を譲るか .....	24
(7) 1年間の寄付や募金 .....	24
2. 貯蓄について .....	25
(1) 世帯の貯蓄状況 .....	25
(2) 世帯で保有している預貯金・金融商品 .....	26
(3) 保有している預貯金・金融商品の現在高 .....	27

(4) 保有している NISA の保有額.....	32
(5) 保有している iDeCo の保有額.....	34
(6) 金融資産の世帯保有状況.....	35
(7) 投資信託の利用状況.....	37
(8) 保険商品の保有状況.....	43
(9) 世帯貯蓄の目的.....	45
3. 金融教育・金融知識について.....	55
(1) 金融知識.....	55
4. 住居について.....	58
(1) 現在の住居の住居形態・所有者・取得方法・取得時期.....	58
(2) 住居の購入資金.....	60
(3) 現在の住居の購入資金調達先.....	62
(4) 民間金融機関からの借入金の金利.....	63
(5) 現在の住居の資産価値.....	64
(6) 現在の住居の家賃.....	67
(7) 住居の取得予定.....	68
5. 負債について.....	71
(1) 借入の状況.....	71
6. 仕事と家計について.....	75
(1) 世帯主・配偶者の就労有無.....	75
(2) 就業中世帯主・配偶者の就労継続希望年齢.....	76
(3) 現在就業中の世帯主・配偶者の就労状況.....	79
(4) 就労収入.....	91
(5) 世帯収入.....	94
(6) 世帯年収の変動.....	96
7. 支出について.....	98
(1) 世帯支出.....	98
(2) 仕送り.....	100
(3) 世帯の家計をまかなう収入源.....	104
8. 老後の生活について.....	107
(1) 高齢期（65歳以上）における一か月の世帯支出額見込み.....	107
(2) 高齢期（65歳以上）を迎えたときの家計支出の収入源.....	108
(3) 世帯主・配偶者の公的年金.....	109
(4) 公的年金でまかなえる高齢期（65歳以上）の家計支出の割合.....	112
(5) 公的年金受給前に必要な貯蓄額.....	112

9. 遺産について .....	113
(1) 家計の主たる管理者 .....	113
(2) 子どもに残す遺産についての考え方 .....	114
(3) 親からの遺産相続 .....	117
(4) 親からの遺産相続の見込み有無 .....	123
<b>Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）</b>	



# I 調査の概要





## 1. 調査目的

本調査は、家計の貯蓄の実態や生活に関する考え方を調査することにより、家計（世帯）の金融に関する調査・研究に役立てることを目的とする。第1回を2013年に実施し、今回は第6回となる。

## 2. 調査内容

調査項目は次のとおりである。なお、具体的な質問内容については、巻末「Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）」を参照。

- (1) 生活全般について
- (2) 貯蓄について
- (3) 金融教育・金融知識について
- (4) 住居について
- (5) 負債について
- (6) 仕事と家計について
- (7) 支出について
- (8) 老後の生活について
- (9) 遺産について
- (10) 対象属性（フェイスシート）

## 3. 調査対象

全国の二人以上世帯 5,000 サンプル。

回答は、世帯主または世帯で家計や貯蓄を管理掌握している方に依頼した。

## 4. 抽出方法

- (1) 層化二段無作為抽出により、全国から250の調査地点を選び、各地点において世帯員2人以上の世帯から、20歳以上の世帯主（と想定される者）を無作為に20サンプル選ぶことによって、計5,000の調査対象（標本）を抽出した。
- (2) 標本抽出は、住民基本台帳を使用した。

## 5. 調査方法

抽出した調査対象者に依頼状と調査票を送付した後、記入済調査票の回収にあたっては、対象者に「調査員による訪問」ないし「郵送」のどちらかを選んで提出してもらった（郵送留め置き法と郵送法の併用）。

## 6. 調査期間

2024年11月8日（金）～2024年11月24日（日）

## 7. 回収状況

有効回収数（回収率） 1,212 サンプル（24.2%）

<地域別>

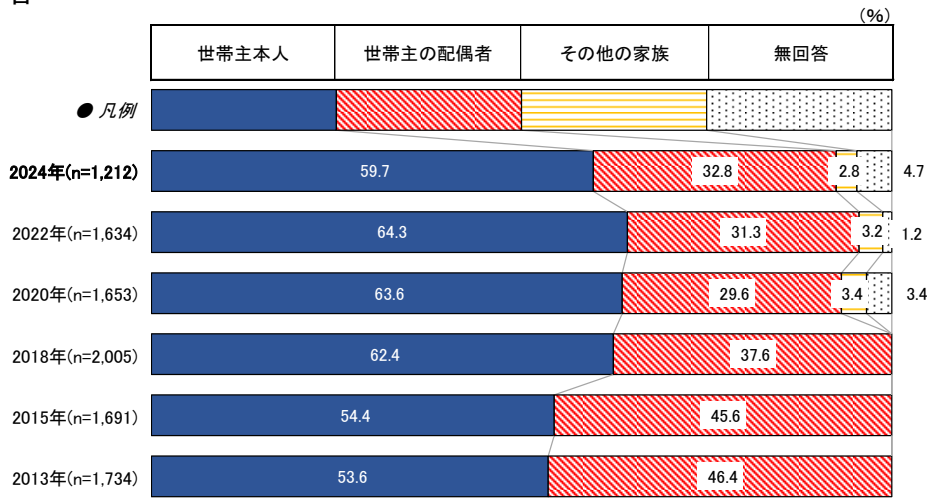
	設定数	回収数	回収率
北海道	220	73	33.2%
東北	340	89	26.2%
関東	1800	370	20.6%
北陸	220	76	34.5%
中部	580	159	27.4%
近畿	820	191	23.3%
中国	300	76	25.3%
四国	140	41	29.3%
九州	580	137	23.6%
合計	5000	1212	24.2%

## 8. 利用上の注意

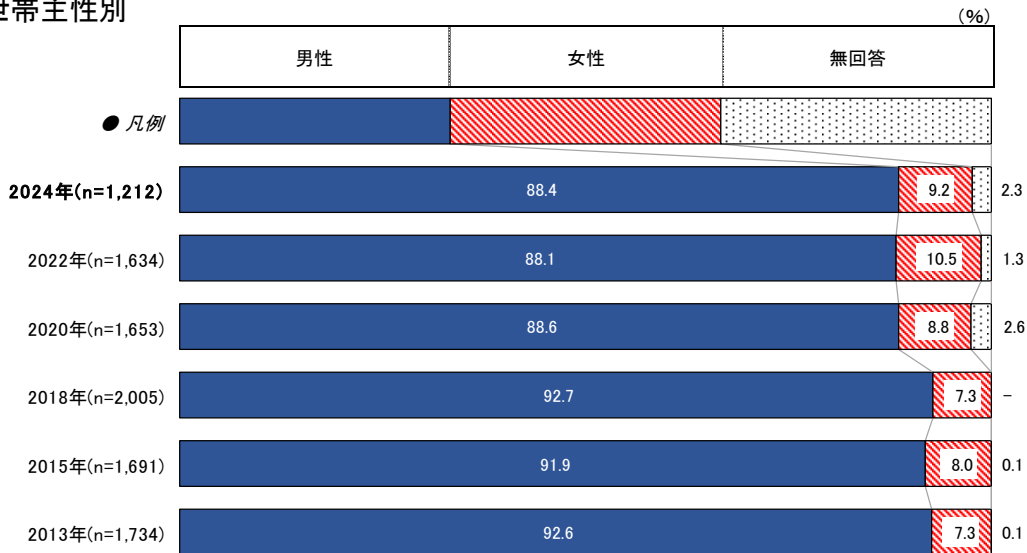
- ・この調査は標本調査であるため、調査結果には統計的誤差（サンプル誤差）が含まれる。
- ・特に言及がない場合、今回の調査結果についてコメントしている。
- ・回答率（各回答の百分比）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、図表内の選択肢の回答比率の合計が100%にならない、あるいは個別の選択肢を合計して小計を出している場合に、各選択肢の回答率の合計が小計と一致しないことがある。

## 9. 回答世帯の属性

### (1) 回答者

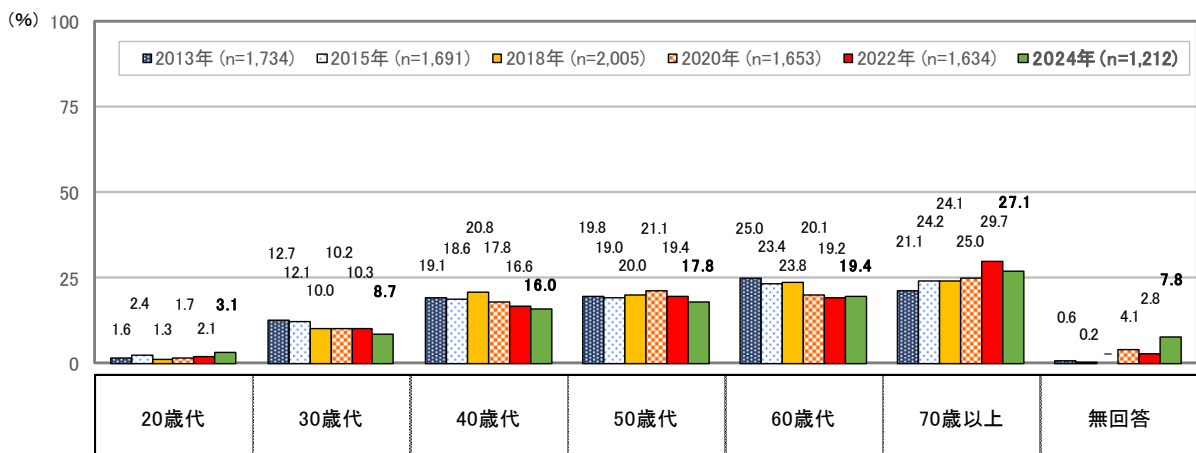


### (2) 世帯主性別

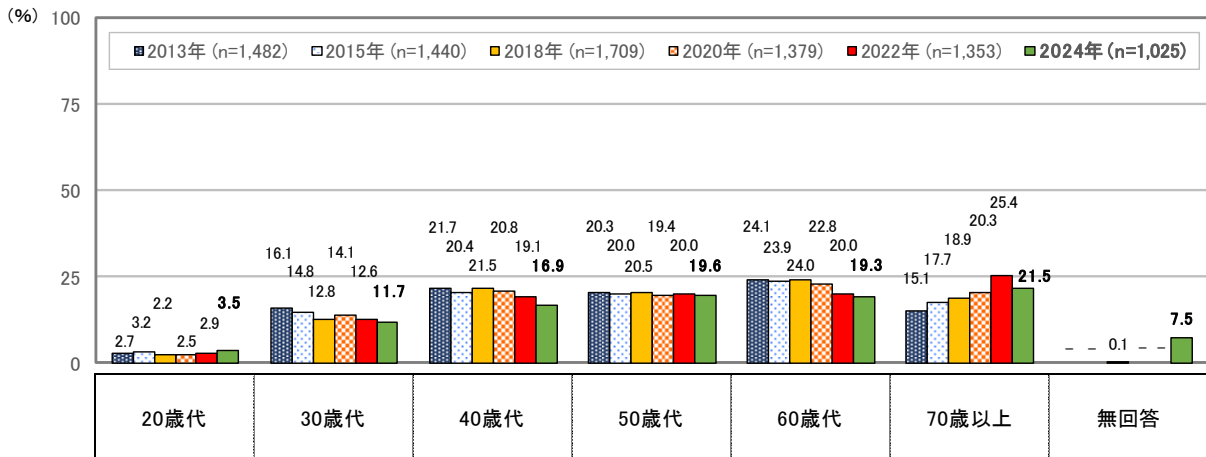


### (3) 世帯主および配偶者の年齢、それぞれの両親の生年代

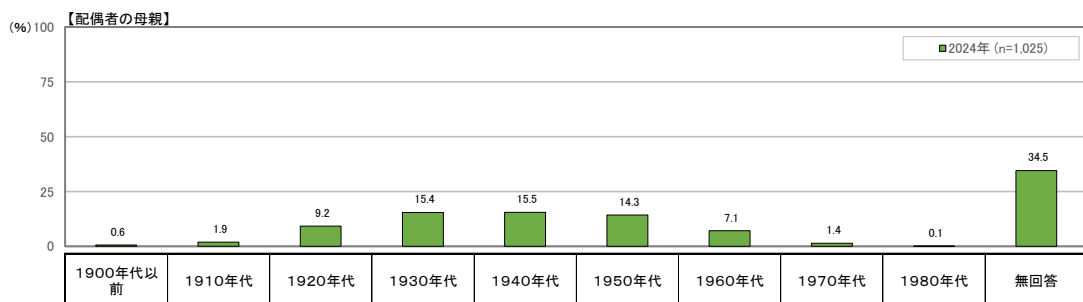
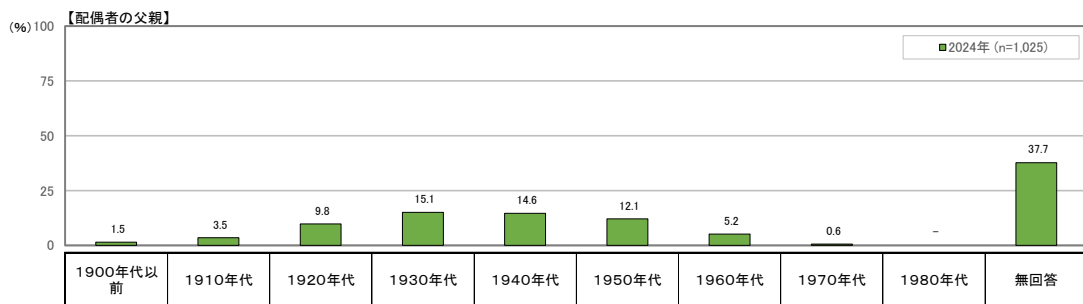
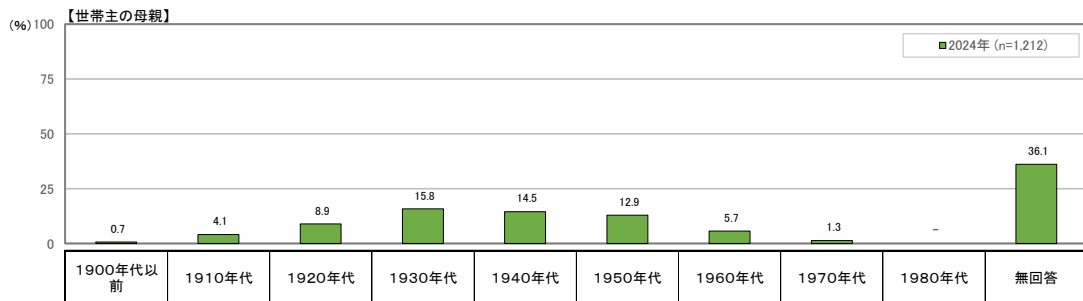
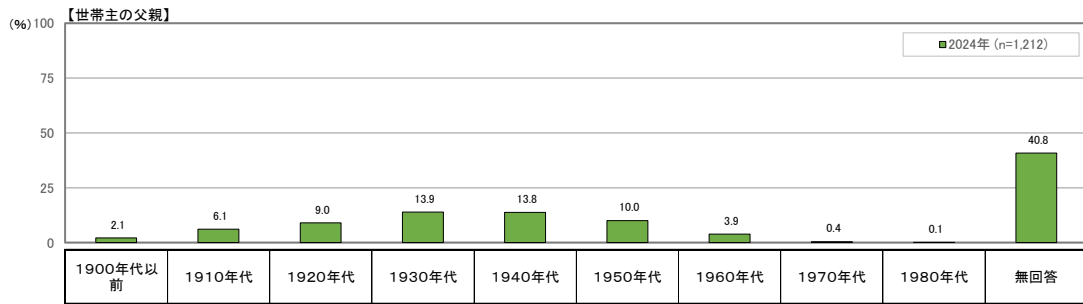
#### ① 世帯主年齢



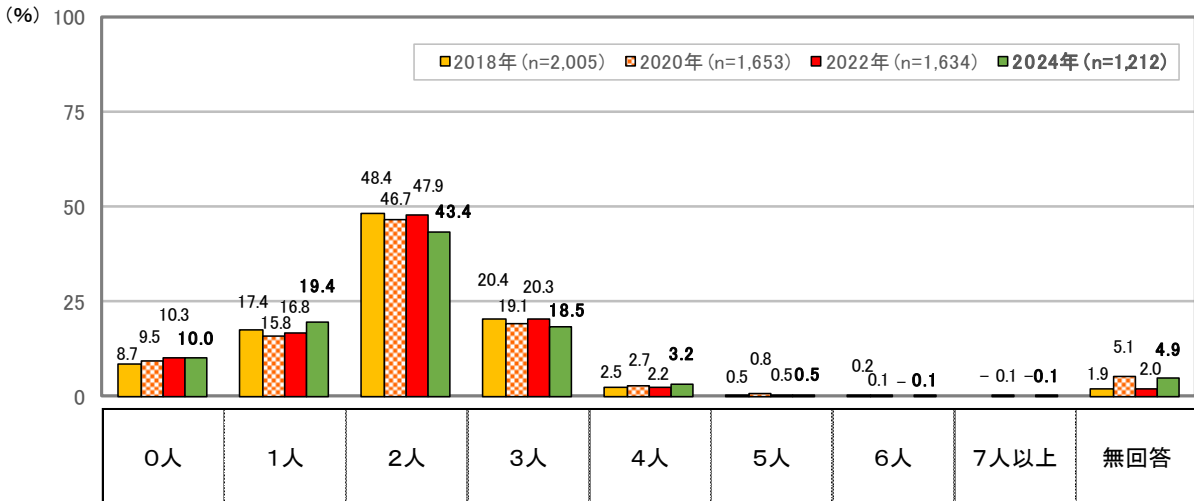
## ②配偶者年齢



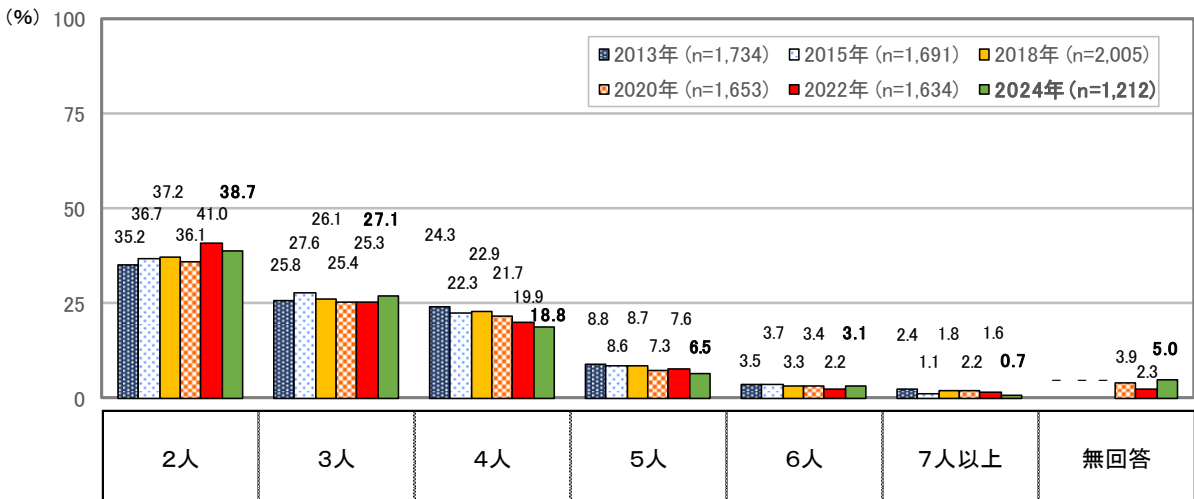
## ③世帯主、配偶者の両親の生年代



(4) 世帯主の子ども人数

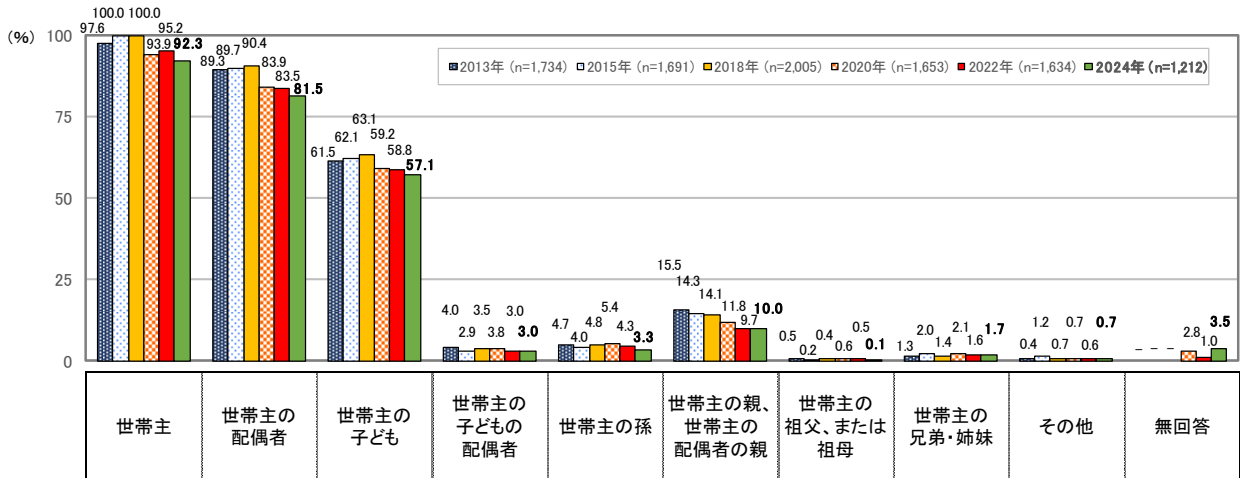


(5) 同居家族人数

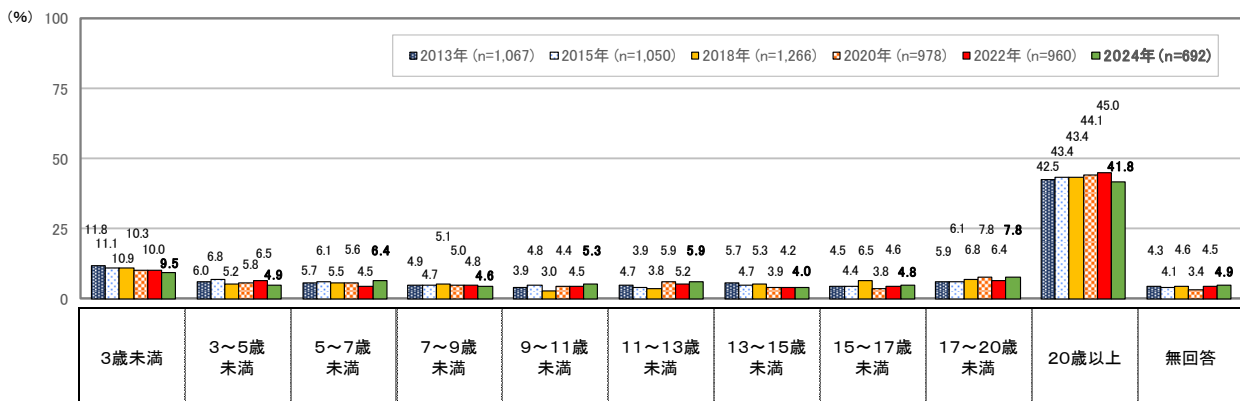


## (6) 同居家族

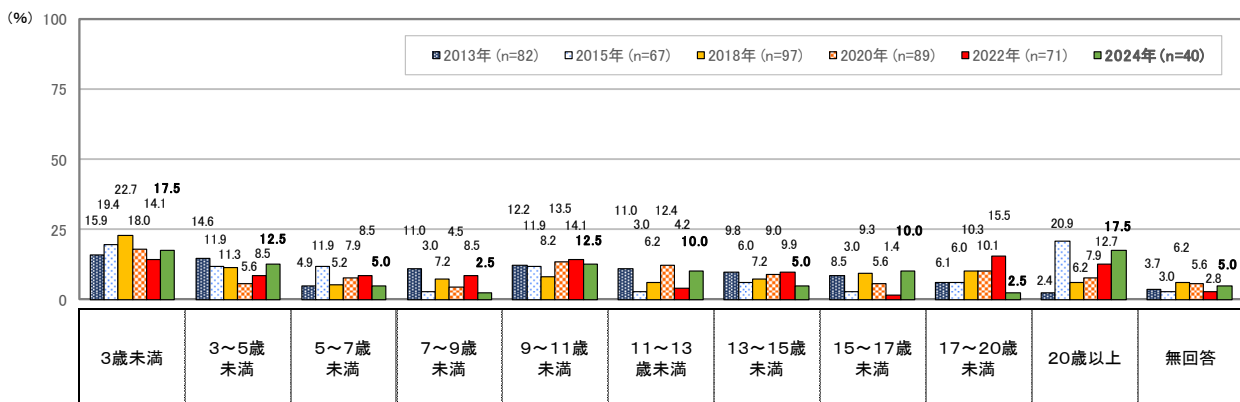
### ①同居家族の世帯構成（複数回答）



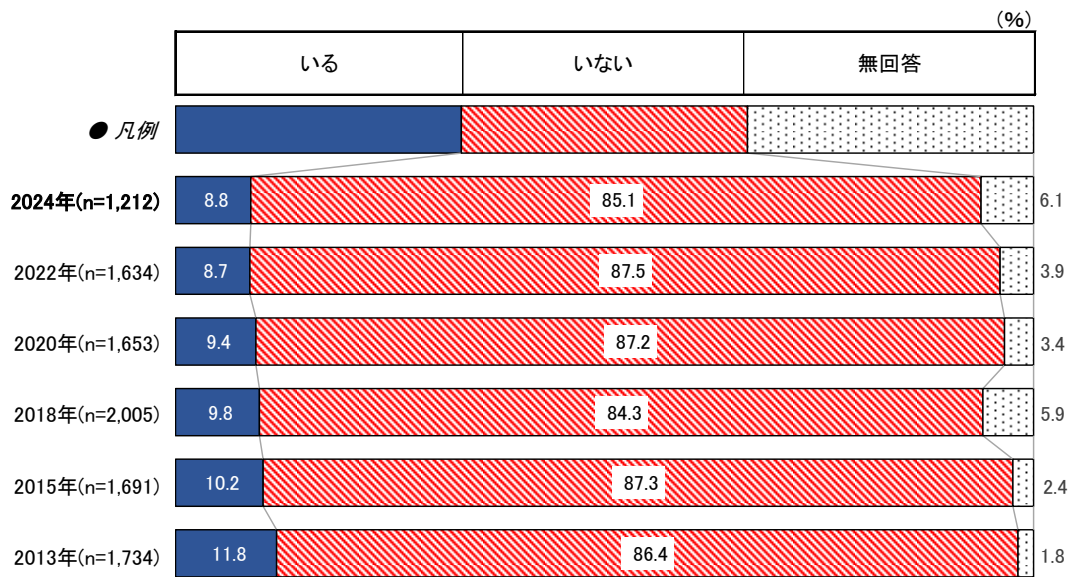
### ②一番年下の子どもの年齢



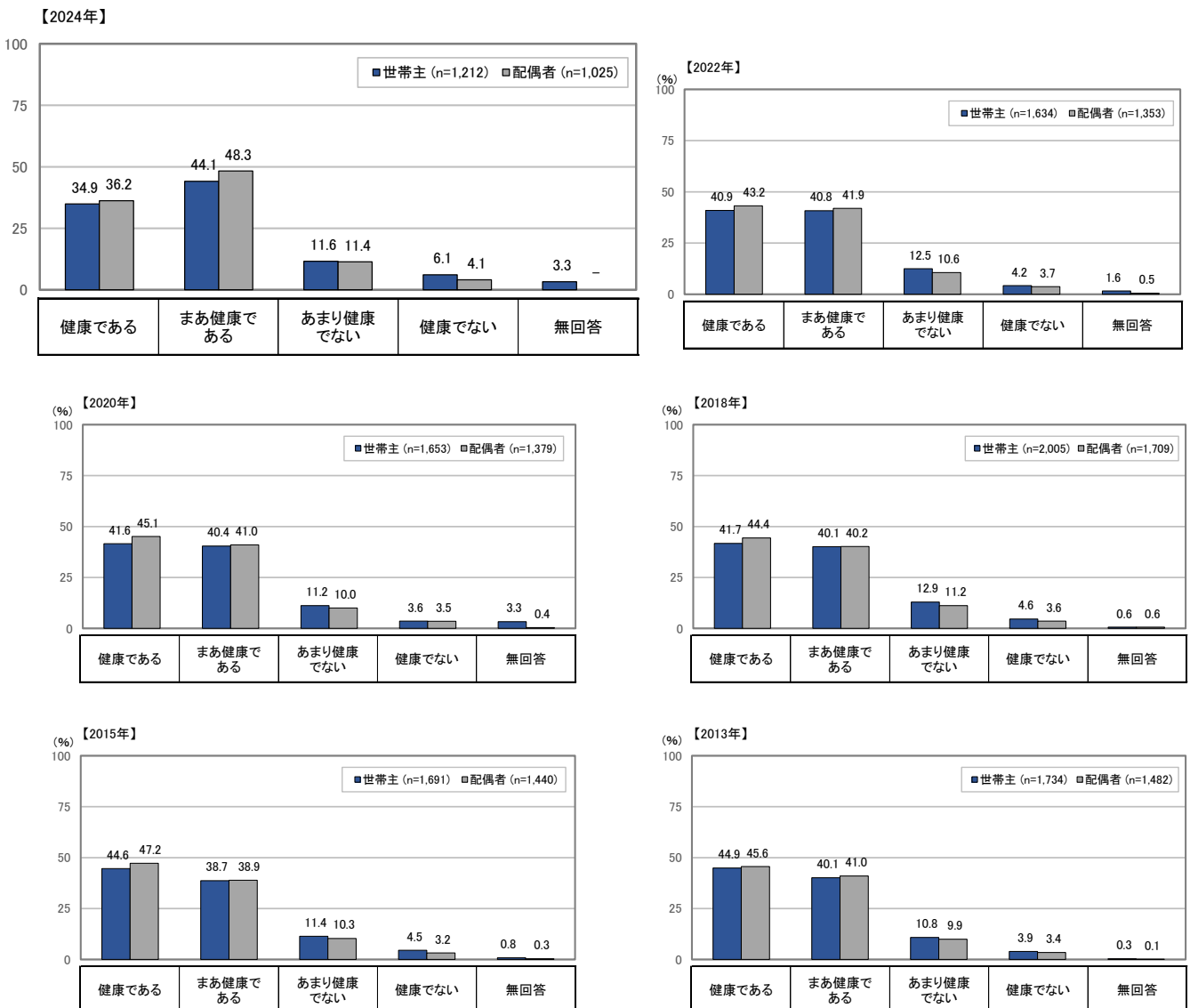
### ③一番年下の孫の年齢



(7) 別居家族有無



(8) 世帯主および配偶者の健康状態



(9) 世帯主および配偶者、それぞれの両親の学歴

【2024年】 (％)

		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・ 旧制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・ 高等専門 学校	大学・ 大学院 (文系)	大学・ 大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
世帯主	(n=1,212)	7.8	31.5	8.6	5.5	21.3	11.8	-	0.7	12.8
配偶者	(n=1,025)	5.4	32.8	10.7	19.8	15.7	4.2	0.2	0.7	10.5

【2024年】 (％)

		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・ 旧制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・ 高等専門 学校	大学・ 大学院 (文系)	大学・ 大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
世帯主の父親	(n=1,212)	23.0	22.9	2.0	1.2	8.2	3.9	0.2	11.2	27.5
世帯主の母親	(n=1,212)	20.0	29.0	3.4	5.0	4.3	0.6	0.1	10.7	26.9
配偶者の父親	(n=1,025)	19.0	26.1	2.8	1.8	9.3	5.1	0.3	10.7	24.9
配偶者の母親	(n=1,025)	16.9	32.9	3.7	5.2	5.3	0.9	-	10.2	25.0

※両親の学歴は2024年から新設。

【2022年】 (％)

		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・ 旧制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・ 高等専門 学校	大学・ 大学院 (文系)	大学・ 大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
世帯主	(n=1,634)	8.8	41.4	6.8	5.6	21.4	13.7	0.1	0.6	1.5
配偶者	(n=1,353)	7.1	44.6	9.2	20.0	14.3	4.1	-	0.1	0.5

【2020年】 (％)

		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・ 旧制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・ 高等専門 学校	大学・ 大学院 (文系)	大学・ 大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
世帯主	(n=1,653)	10.5	37.9	6.8	6.0	19.5	14.8	0.2	0.4	3.9
配偶者	(n=1,379)	7.0	43.9	8.6	20.9	14.4	4.2	0.4	0.2	0.4

【2018年】 (％)

		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・ 旧制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・ 高等専門 学校	大学・ 大学院 (文系)	大学・ 大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
世帯主	(n=2,005)	12.2	40.6	6.4	5.9	20.3	12.3	0.1	0.2	1.8
配偶者	(n=1,709)	9.4	44.4	9.8	18.7	13.1	3.2	0.1	0.2	1.1

【2015年】 (％)

		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・ 旧制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・ 高等専門 学校	大学・ 大学院 (文系)	大学・ 大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
世帯主	(n=1,691)	10.8	42.6	8.1	5.9	16.8	12.8	0.4	0.4	2.3
配偶者	(n=1,440)	8.7	44.9	11.2	19.2	11.4	3.5	0.1	0.1	1.0

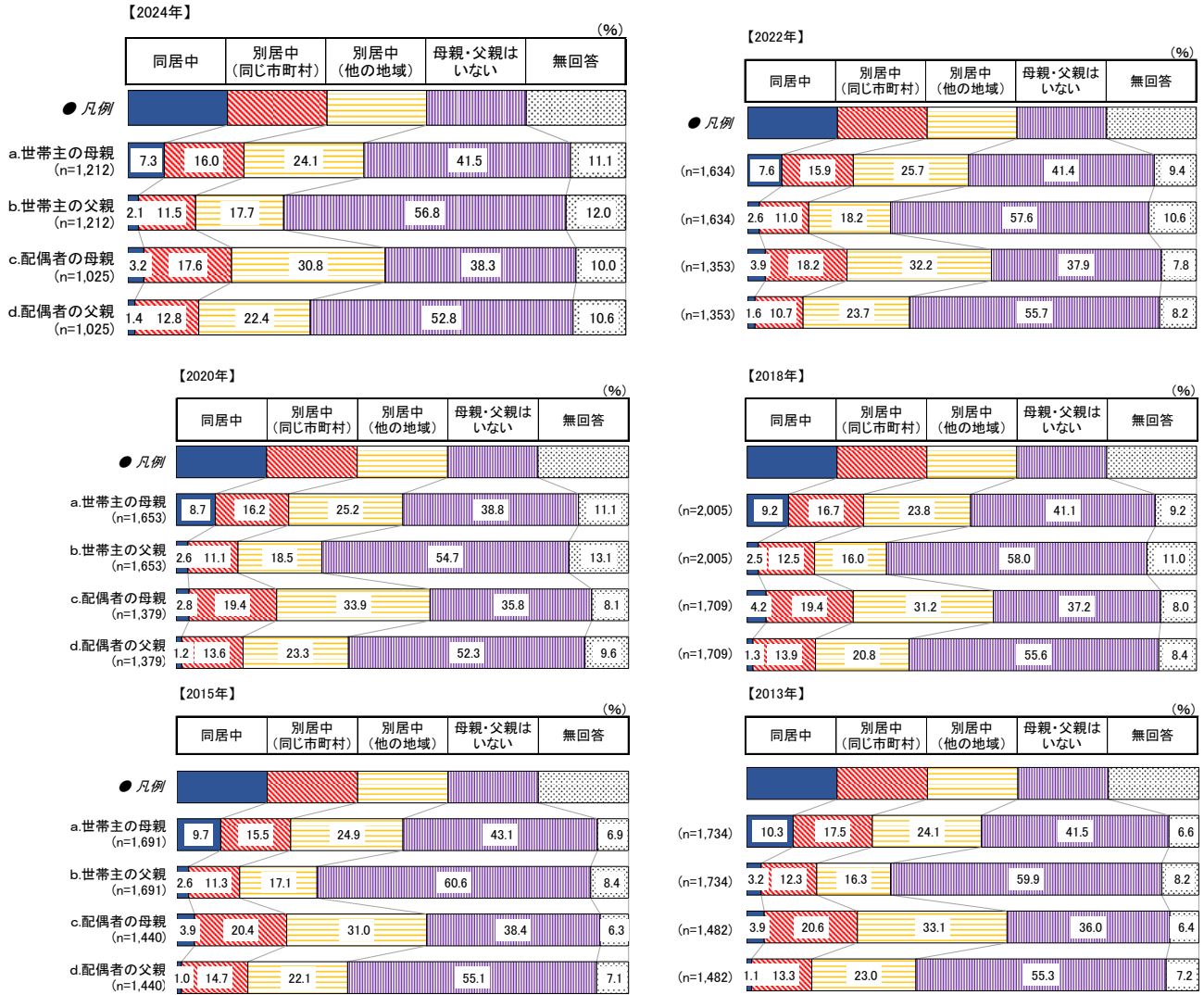
【2013年】 (％)

		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・ 旧制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・ 高等専門 学校	大学・ 大学院 (文系)	大学・ 大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
世帯主	(n=1,734)	13.5	40.9	7.2	6.0	20.1	10.1	0.3	0.3	1.6
配偶者	(n=1,482)	10.5	44.6	11.1	20.5	10.7	1.9	0.2	0.1	0.4

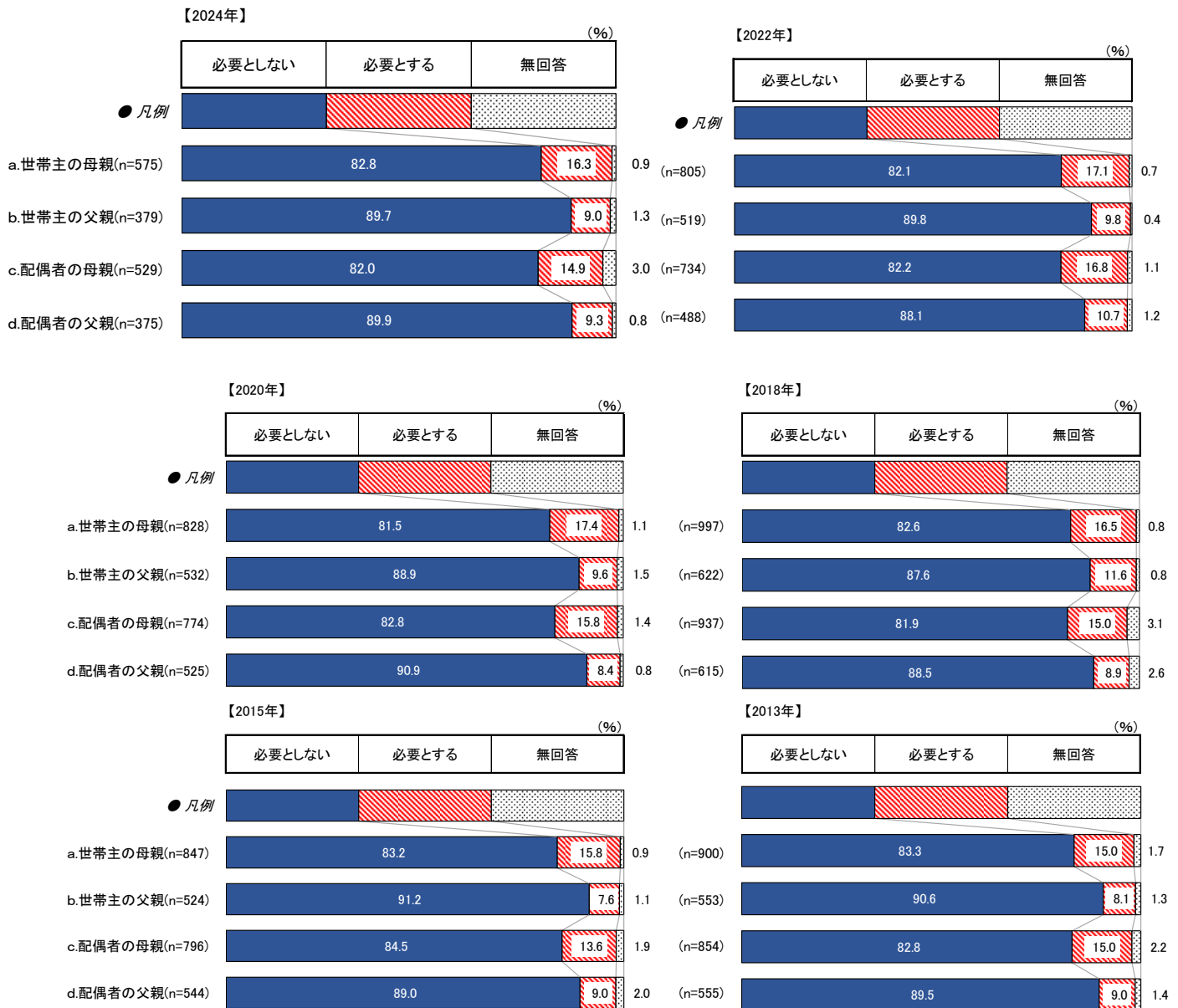


# (10) 世帯主および配偶者の両親

## ①同居別居状況



## ②介護の必要有無



③主な介護者（要介護の場合）

【2024年】

(%)

	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主／配偶者の親	その他の親族	介護老人福祉施設	介護保健施設	療養型病床	有料老人ホーム	病院	その他	無回答
世帯主の母親 (n=94)	21.3	8.5	5.3	8.5	13.8	13.8	2.1	12.8	9.6	3.2	1.1
世帯主の父親 (n=34)	8.8	8.8	11.8	20.6	17.6	-	-	5.9	5.9	17.6	2.9
配偶者の母親 (n=79)	2.5	19	3.8	22.8	19.0	7.6	3.8	6.3	6.3	7.6	1.3
配偶者の父親 (n=35)	-	17.1	11.4	25.7	5.7	8.6	-	5.7	20.0	5.7	-

【2022年】

(%)

	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主／配偶者の親	その他の親族	介護老人福祉施設	介護保健施設	療養型病床	有料老人ホーム	病院	その他	無回答
世帯主の母親 (n=138)	15.9	7.2	2.2	18.8	15.2	13.8	2.2	13.8	2.9	3.6	4.3
世帯主の父親 (n=51)	11.8	15.7	19.6	11.8	3.9	15.7	2.0	9.8	9.8	-	-
配偶者の母親 (n=123)	4.9	19.5	5.7	21.1	13.8	12.2	1.6	14.6	2.4	3.3	0.8
配偶者の父親 (n=52)	3.8	23.1	21.2	23.1	9.6	1.9	3.8	9.6	1.9	1.9	-

【2020年】

(%)

	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主／配偶者の親	その他の親族	介護老人福祉施設	介護保健施設	療養型病床	有料老人ホーム	病院	その他	無回答
世帯主の母親 (n=144)	14.6	11.1	3.5	17.4	21.5	9.0	2.1	11.8	2.8	4.9	1.4
世帯主の父親 (n=51)	9.8	21.6	25.5	7.8	7.8	7.8	-	9.8	-	7.8	2.0
配偶者の母親 (n=122)	4.1	23.0	7.4	20.5	10.7	11.5	0.8	11.5	4.9	4.9	0.8
配偶者の父親 (n=44)	-	25.0	18.2	20.5	2.3	4.5	6.8	9.1	9.1	-	4.5

【2018年】

(%)

	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主／配偶者の親	その他の親族	介護老人福祉施設	介護保健施設	療養型病床	有料老人ホーム	病院	その他	無回答
世帯主の母親 (n=165)	13.9	16.4	4.8	18.8	10.9	9.1	3.6	8.5	3.0	10.3	0.6
世帯主の父親 (n=72)	13.9	8.3	19.4	6.9	15.3	8.3	-	6.9	9.7	9.7	1.4
配偶者の母親 (n=141)	7.1	20.6	5.0	17.0	14.2	6.4	1.4	12.8	5.0	7.1	3.5
配偶者の父親 (n=55)	-	20.0	21.8	9.1	3.6	7.3	3.6	9.1	10.9	7.3	7.3

【2015年】

(%)

	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主／配偶者の親	その他の親族	介護老人福祉施設	介護保健施設	療養型病床	有料老人ホーム	病院	その他	無回答
世帯主の母親 (n=134)	9.7	19.4	9.0	11.2	11.9	9.7	2.2	10.4	8.2	5.2	3.0
世帯主の父親 (n=40)	2.5	17.5	22.5	7.5	10.0	10.0	7.5	7.5	7.5	2.5	5.0
配偶者の母親 (n=108)	2.8	18.5	5.6	26.9	17.6	8.3	2.8	10.2	3.7	0.9	2.8
配偶者の父親 (n=49)	-	26.5	12.2	16.3	8.2	6.1	2.0	10.2	12.2	2.0	4.1

【2013年】

(%)

	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主／配偶者の親	その他の親族	介護老人福祉施設	介護保健施設	療養型病床	有料老人ホーム	病院	その他	無回答
世帯主の母親 (n=135)	11.1	17.8	1.5	23.0	9.6	11.9	3.7	8.1	5.2	3.7	4.4
世帯主の父親 (n=45)	11.1	26.7	11.1	17.8	-	8.9	2.2	6.7	6.7	8.9	-
配偶者の母親 (n=128)	3.1	18.8	3.9	27.3	18.0	7.8	2.3	8.6	2.3	4.7	3.1
配偶者の父親 (n=50)	-	16.0	26.0	14.0	6.0	10.0	4.0	8.0	4.0	8.0	4.0

④介護費用（要介護の場合）

【2024年】

(%)

		3万円未満	3～5万円	5～7万円	7～10万円	10～15万円未満	15万円以上	わからない	費用負担はない	無回答
世帯主の母親	(n=94)	18.1	14.9	2.1	6.4	8.5	9.6	17.0	19.1	4.3
世帯主の父親	(n=34)	26.5	8.8	-	5.9	5.9	-	32.4	17.6	2.9
配偶者の母親	(n=79)	11.4	6.3	5.1	6.3	6.3	6.3	26.6	21.5	10.1
配偶者の父親	(n=35)	14.3	14.3	2.9	5.7	11.4	5.7	17.1	22.9	5.7

【2022年】

(%)

		3万円未満	3～5万円	5～7万円	7～10万円	10～15万円未満	15万円以上	わからない	費用負担はない	無回答
世帯主の母親	(n=138)	15.2	6.5	5.1	8.7	15.2	7.2	20.3	15.2	6.5
世帯主の父親	(n=51)	33.3	9.8	-	-	7.8	5.9	17.6	25.5	-
配偶者の母親	(n=123)	8.1	3.3	8.9	6.5	10.6	7.3	28.5	24.4	2.4
配偶者の父親	(n=52)	19.2	5.8	1.9	9.6	5.8	3.8	28.8	21.2	3.8

【2020年】

(%)

		3万円未満	3～5万円	5～7万円	7～10万円	10～15万円未満	15万円以上	わからない	費用負担はない	無回答
世帯主の母親	(n=144)	16.0	6.9	6.9	16.7	10.4	3.5	18.1	19.4	2.1
世帯主の父親	(n=51)	19.6	13.7	5.9	3.9	9.8	11.8	23.5	7.8	3.9
配偶者の母親	(n=122)	16.4	7.4	6.6	4.9	4.9	4.9	22.1	26.2	6.6
配偶者の父親	(n=44)	9.1	11.4	2.3	2.3	13.6	4.5	38.6	11.4	6.8

【2018年】

(%)

		3万円未満	3～5万円	5～7万円	7～10万円	10～15万円未満	15万円以上	わからない	費用負担はない	無回答
世帯主の母親	(n=165)	21.2	10.3	7.3	6.1	6.1	5.5	21.2	17.0	5.5
世帯主の父親	(n=72)	11.1	4.2	5.6	5.6	8.3	6.9	23.6	27.8	6.9
配偶者の母親	(n=141)	18.4	5.0	5.7	5.7	6.4	8.5	27.7	15.6	7.1
配偶者の父親	(n=55)	18.2	3.6	3.6	5.5	5.5	1.8	32.7	20.0	9.1

【2015年】

(%)

		3万円未満	3～5万円	5～7万円	7～10万円	10～15万円未満	15万円以上	わからない	無回答
世帯主の母親	(n=134)	18.7	9.0	13.4	11.9	4.5	6.7	29.1	6.7
世帯主の父親	(n=40)	22.5	2.5	5.0	15.0	5.0	5.0	37.5	7.5
配偶者の母親	(n=108)	19.4	7.4	7.4	11.1	8.3	3.7	38.0	4.6
配偶者の父親	(n=49)	14.3	8.2	2.0	8.2	12.2	8.2	42.9	4.1

【2013年】

(%)

		3万円未満	3～5万円	5～7万円	7～10万円	10～15万円未満	15～20万円	20～25万円未満	25～30万円未満	25～30万円未満	25～30万円未満	無回答
世帯主の母親	(n=135)	10.4	8.9	10.4	8.9	11.1	3.7	0.7	-	-	45.9	4.4
世帯主の父親	(n=45)	13.3	6.7	4.4	4.4	8.9	4.4	2.2	2.2	-	53.3	-
配偶者の母親	(n=128)	15.6	9.4	5.5	6.3	10.2	1.6	1.6	-	-	50.0	3.1
配偶者の父親	(n=50)	18.0	2.0	8.0	2.0	12.0	6.0	-	-	-	52.0	4.0

※2013年 は実数回答で質問。2015年以降は選択式で質問。

(11) 世帯で保有する資産

①世帯で保有する資産の金額

【2024年】

(%)
























	居住目的以外の土地 および建物 (別荘、通勤用 住宅、投資用マン ション等)	その他 (ゴルフ会員権、 貴金属等)	合計
	(n=591)	(n=621)	(n=592)
～100万円未満	0.8	5.5	4.6
～200万円未満	1.9	3.9	3.9
～300万円未満	0.5	3.1	2.5
～400万円未満	0.3	1.8	1.9
～500万円未満	0.7	0.8	1.4
～700万円未満	2.4	1.8	2.9
～1000万円未満	1.7	0.3	1.2
～1500万円未満	2.7	-	2.7
～2000万円未満	1.0	-	1.2
～3000万円未満	4.1	-	3.4
～5000万円未満	1.5	0.2	1.4
～1億円未満	1.9	-	1.7
1億円以上	1.0	-	0.8
無回答	79.5	82.8	70.6

※2022年以前は各資産項目を持っているとした該当者にのみ金額をたずねている。

※「0」表記分は除外して集計している。

























【2022年】

(%)

	その他の土地 および建物 (別荘、通勤用 住宅、投資用マン ション等)		その他 (ゴルフ会員権、 貴金属等)	
	(n=147)		(n=43)	
～100万円未満	 6.8	 32.6		
～200万円未満	 4.8	 32.6		
～300万円未満	 4.1	 9.3		
～400万円未満	 3.4	 11.6		
～500万円未満	 1.4	-		
～700万円未満	 8.2	-		
～1000万円未満	 6.1	 2.3		
～1500万円未満	 8.8	 2.3		
～2000万円未満	 4.8	-		
～3000万円未満	 11.6	 2.3		
～5000万円未満	 9.5	-		
～1億円未満	 1.4	-		
1億円以上	 4.1	 2.3		
無回答	 25.2	 4.7		

【2020年】

(%)

	その他の土地 および建物 (別荘、通勤用 住宅、投資用マン ション等)		その他 (ゴルフ会員権、 貴金属等)	
	(n=165)		(n=50)	
～100万円未満	 2.4	 30.0		
～200万円未満	 5.5	 20.0		
～300万円未満	 7.3	 12.0		
～400万円未満	 3.0	 4.0		
～500万円未満	 3.6	 2.0		
～700万円未満	 4.8	 8.0		
～1000万円未満	 4.8	 2.0		
～1500万円未満	 11.5	 4.0		
～2000万円未満	 4.2	-		
～3000万円未満	 9.1	-		
～5000万円未満	 11.5	-		
～1億円未満	 6.1	 2.0		
1億円以上	 4.2	-		
無回答	 21.8	 16.0		

【2018年】

(%)

	その他の土地 および建物 (別荘、通勤用 住宅、投資用マン ション等)	その他 (ゴルフ会員権、 貴金属等)
	(n=207)	(n=84)
～100万円未満	2.4	28.6
～200万円未満	4.3	20.2
～300万円未満	3.4	2.4
～400万円未満	2.4	7.1
～500万円未満	1.4	1.2
～700万円未満	7.2	7.1
～1000万円未満	5.8	-
～1500万円未満	5.8	7.1
～2000万円未満	4.3	-
～3000万円未満	8.7	3.6
～5000万円未満	13.0	1.2
～1億円未満	4.3	2.4
1億円以上	2.9	-
無回答	33.8	19.0





## II 結果の概要

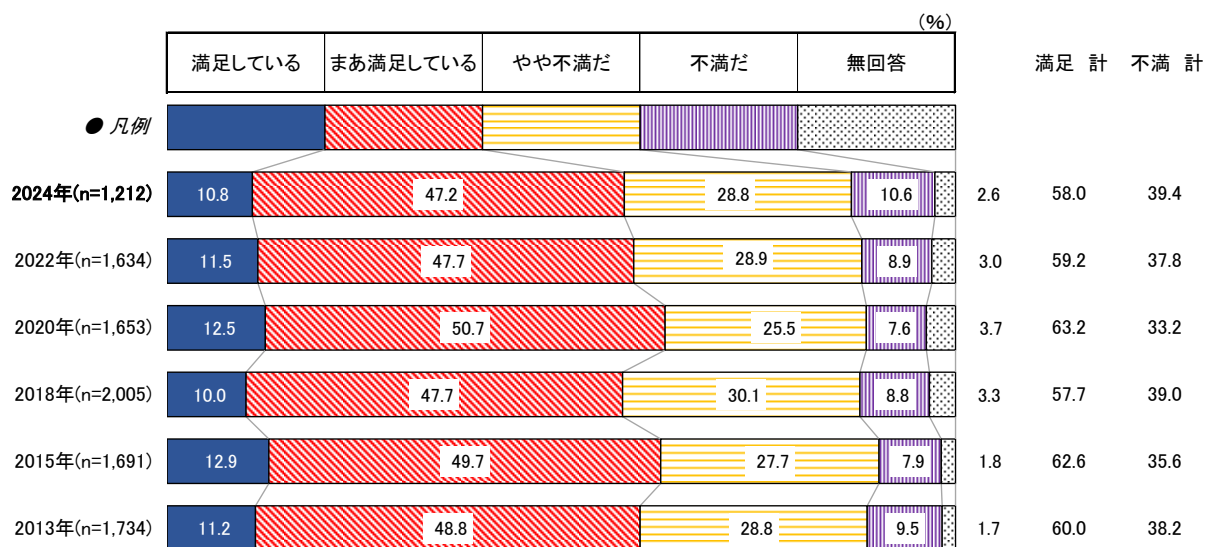


# 1. 生活全般について

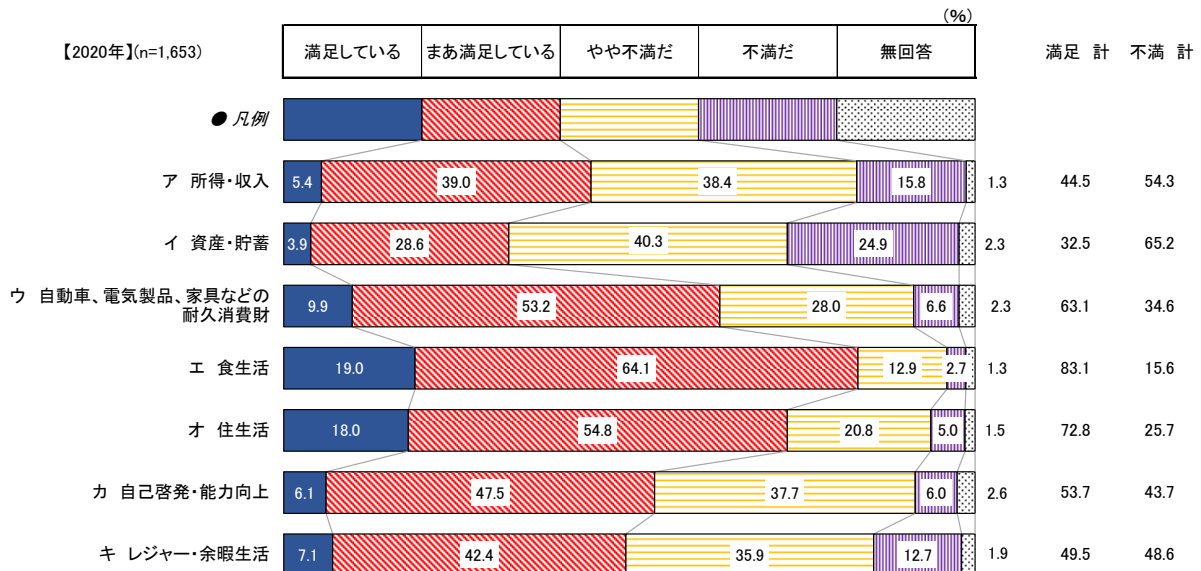
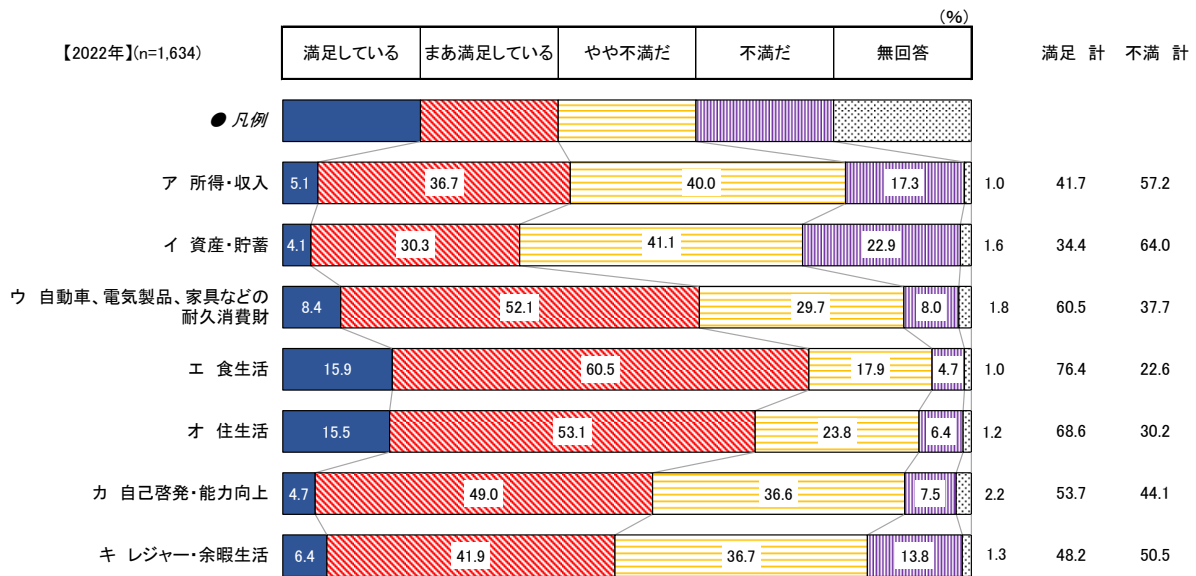
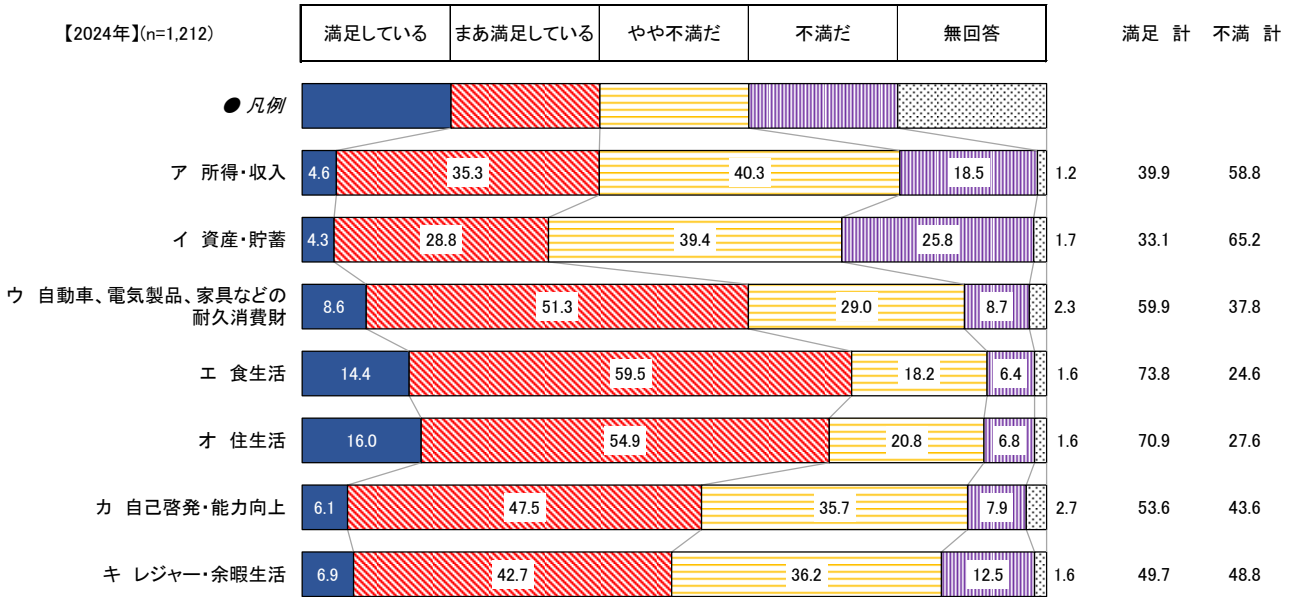
## (1) 現在の生活満足度

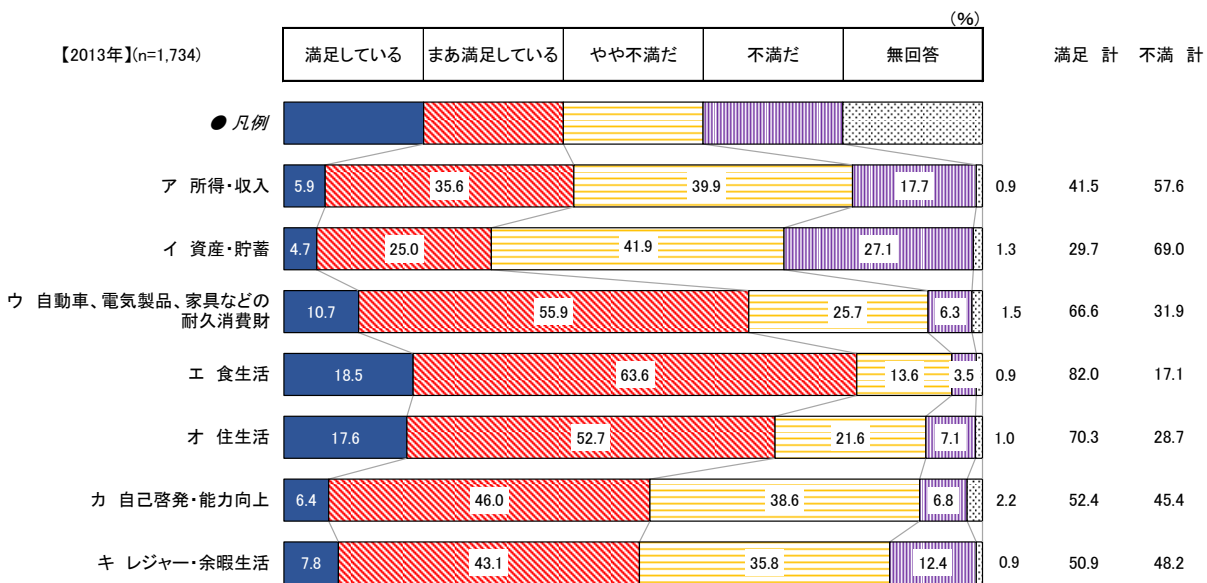
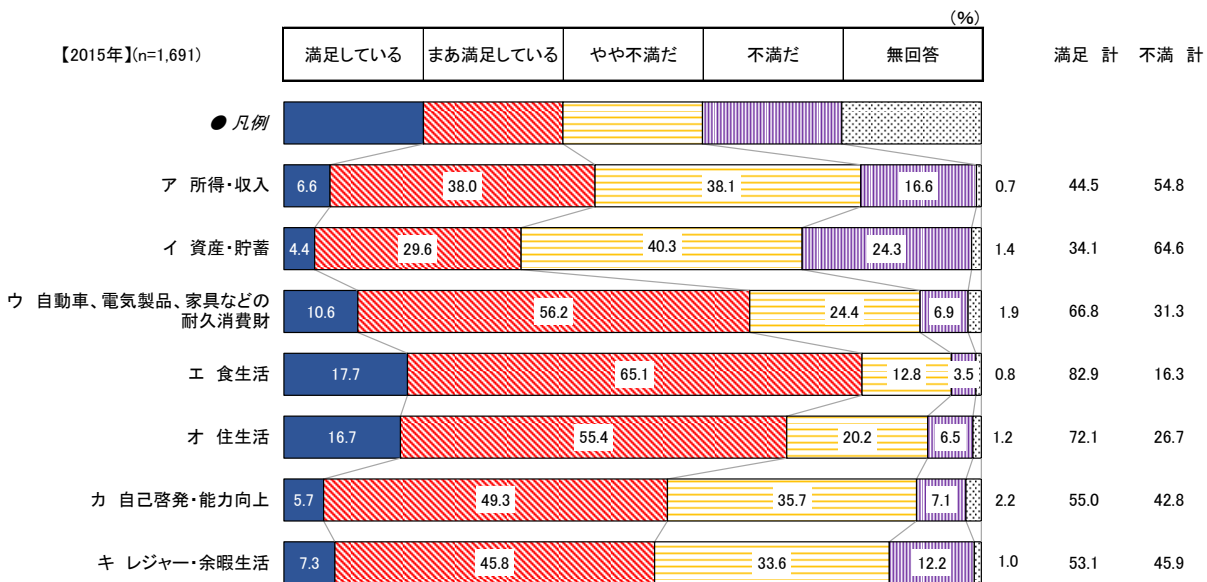
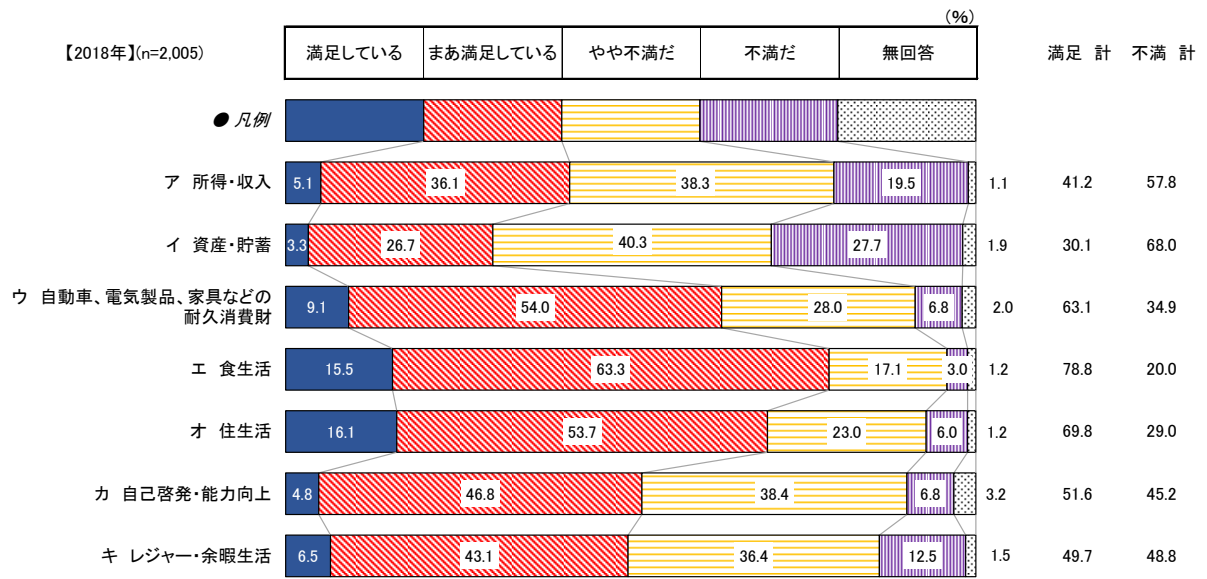
- 全体として、現在の生活に対する満足度は『満足 計』が 58.0%、『不満 計』が 39.4%で、その差は 18.6 ポイントであった。最も多かったのは「まあ満足している」(47.2%) であった。  
 \* 『満足 計』は「満足している」と「まあ満足している」の合計。『不満 計』は「不満だ」と「やや不満だ」の合計。
- 各生活面別の満足度では、“食生活”、“住生活”、“自動車、電気製品、家具などの耐久消費財”での満足度が高く、『満足 計』は過半数を超える。“資産・貯蓄”や“所得・収入”での満足度は 3 割台と低かった。  
 “所得・収入”は、『満足 計』(39.9%) を、『不満 計』(58.8%) が上回った。  
 “資産・貯蓄”は『満足 計』(33.1%) に対し、『不満 計』(65.2%) が 6 割半を占めた。  
 “自動車、電気製品、家具などの耐久消費財”は『満足 計』(59.9%) が約 6 割で、『不満 計』(37.8%) を上回った。  
 “食生活”と“住生活”は『満足 計』がそれぞれ 73.8%と 70.9%と高かった。  
 “自己啓発・能力向上”と“レジャー・余暇生活”は『満足 計』がいずれも 5 割程度(それぞれ 53.6%、49.7%) であった。

(図表 1-1) 全体としての生活満足度 (問 1)



(図表1-2) 現在の生活満足度(問2)

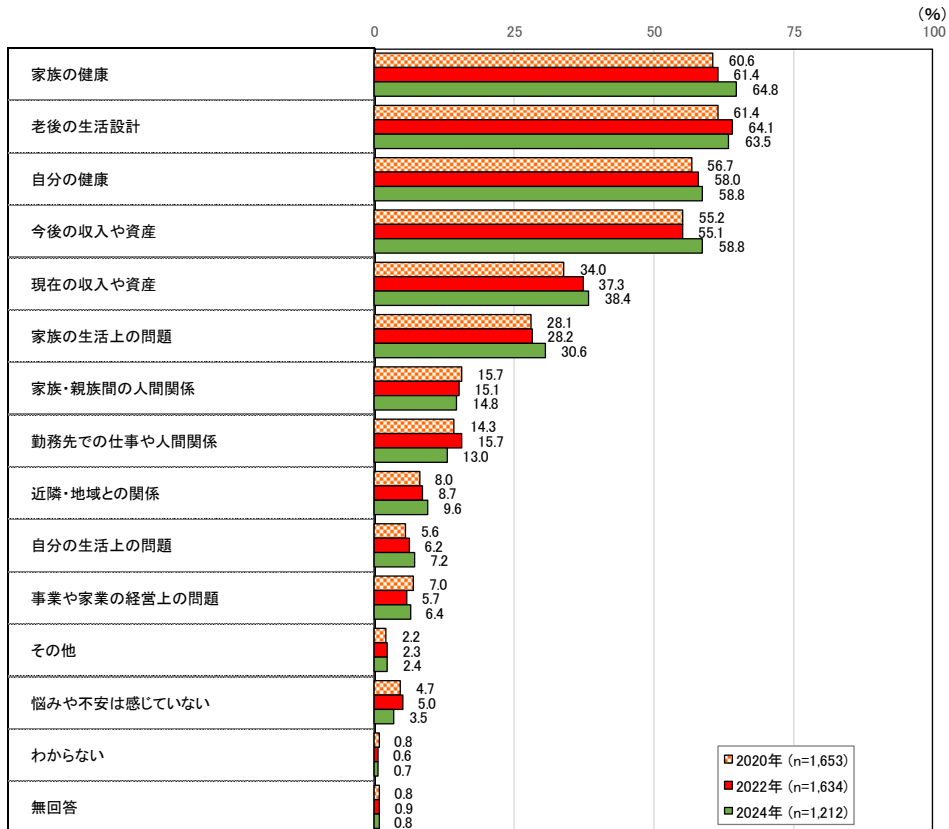




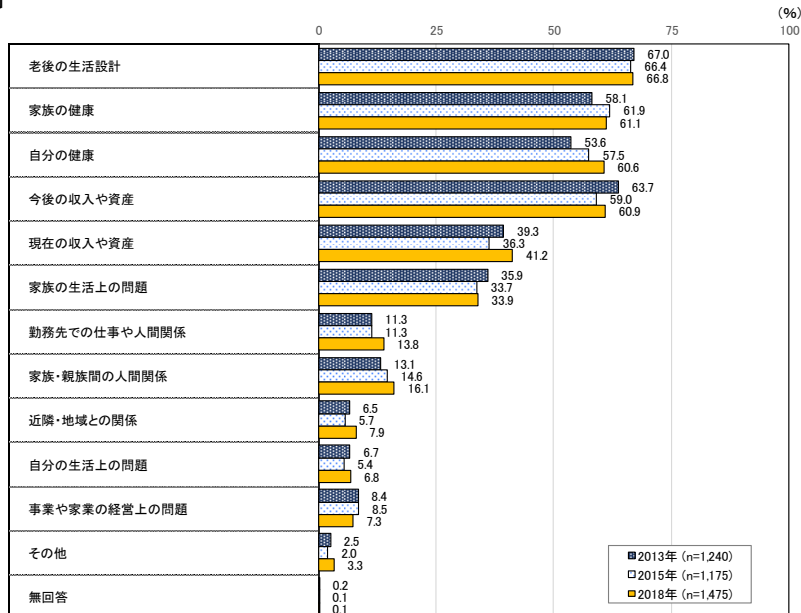
## (2) 日頃の生活の中での悩みや不安

- 日頃の生活の中での悩みや不安感について複数回答で聞くと、「家族の健康」(64.8%)、「老後の生活設計」(63.5%)が6割と多く、続いて「自分の健康」(58.8%)、「今後の収入や資産」(58.8%)が同率で続いた。「悩みや不安は感じていない」と答えた人は3.5%であった。

(図表1-3) 日頃から感じている不安内容(問3、複数回答)



## 〔過去の調査結果〕

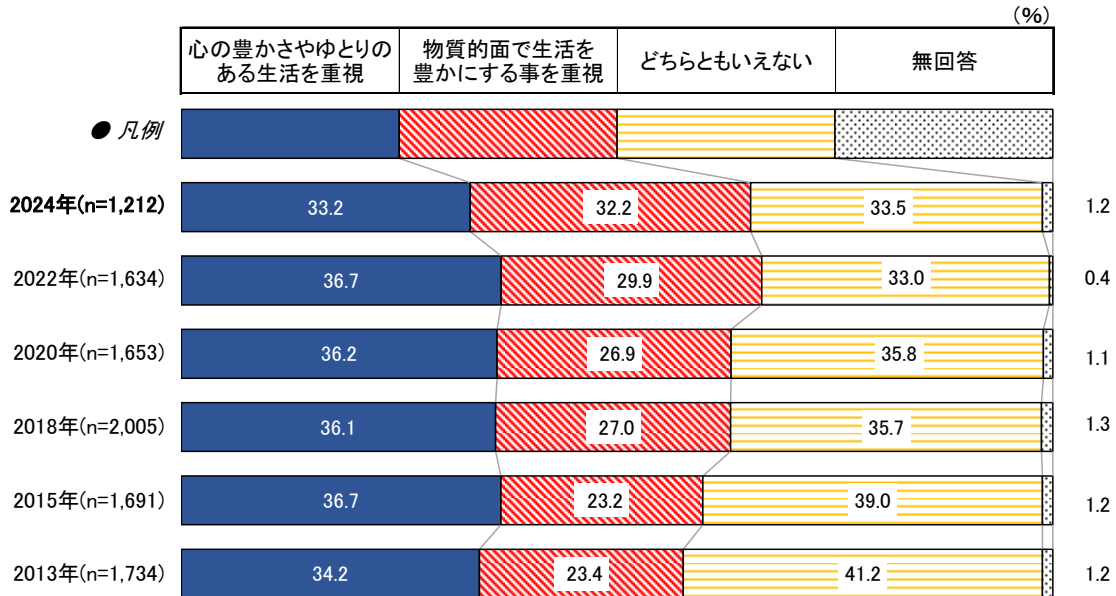


※2018年以前は「悩みや不安を感じている人がベース

### (3) 物の豊かさと心の豊かさ

- 今後の生活における「豊かさ」についての考え方は、「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」が33.2%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに、重きをおきたい」(32.2%)を1ポイント上回り、「どちらともいえない」が33.5%であった。

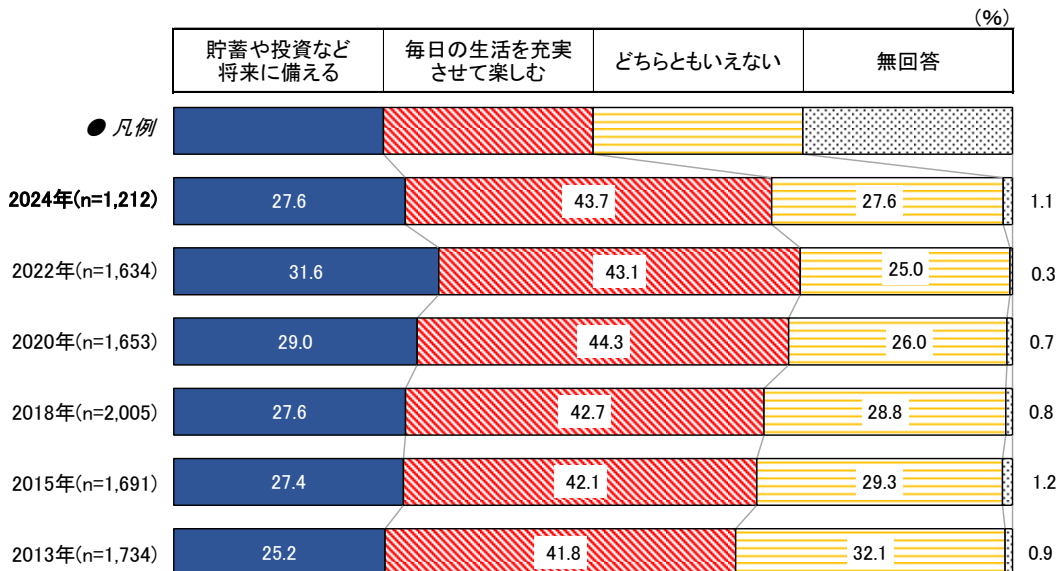
(図表1-4) 今後の生活における「豊かさ」についての考え方 (問4)



### (4) 今後の生活において重点を置きたいこと

- 今後の生活において重点を置きたいことは、「毎日の生活を充実させて楽しむ」が43.7%で「貯蓄や投資など将来に備える」(27.6%)を16.1ポイント上回った。「どちらともいえない」は27.6%であった。

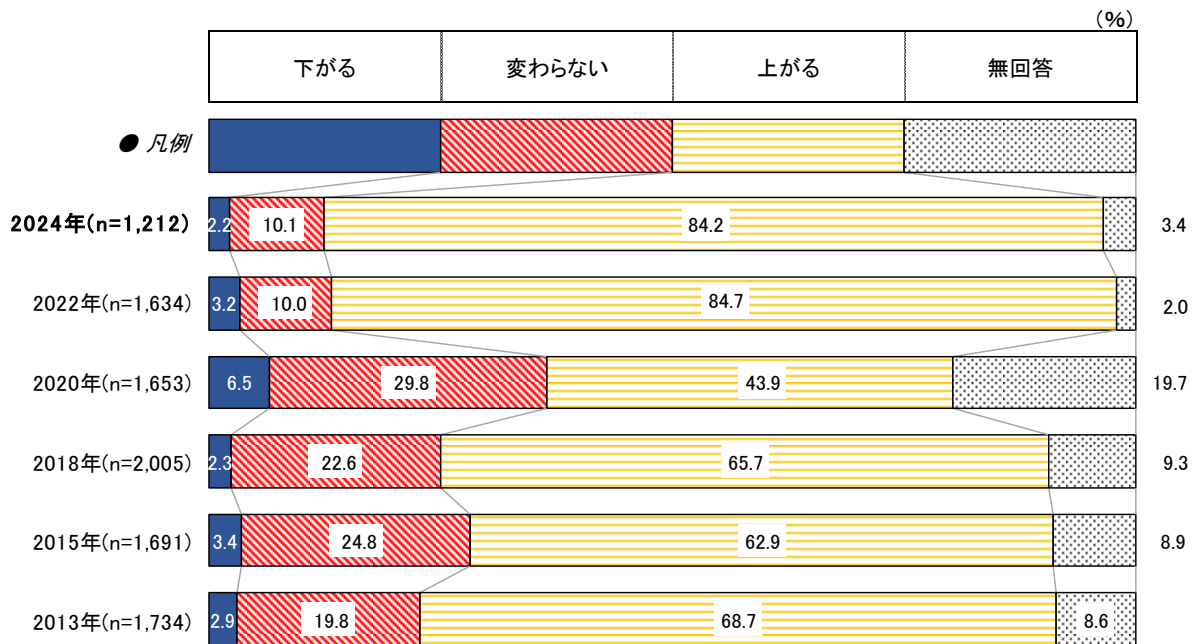
(図表1-5) 今後の生活において重点を置きたいこと (問5)



(5) 物価動向に関する考え

- 1年後の物価が現在と比べてどうなるかを尋ねたところ、物価の変動は、「上がる」が84.2%と8割を超え、「下がる」が2.2%、「変わらない」は10.1%であった。
- 「下がる」と回答した人(27人)が考える1年後の物価の下落幅としては、「2%~5%未満」が最も多く29.6%、続いて「2%未満」、「5%~10%未満」がともに25.9%であった。
- 「上がる」と回答した人(1,021人)が考える1年後の物価の上昇幅としては、「2%~5%未満」が46.3%、続いて「5%~10%未満」が31.2%、「10%以上」が11.9%であった。

(図表1-6) 現在と比べた1年後の物価の変動(問6)





(図表 1-7) 1年後の物価の下落幅・1年後の物価の上昇幅 (問6-1、問6-2)

		【2024年】 (%)				
		2%未満	2%~5%未満	5%~10%未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=27)	25.9	29.6	25.9	18.5	-
上がる幅	(n=1,021)	9.8	46.3	31.2	11.9	0.7

		【2022年】 (%)				
		2%未満	2%~5%未満	5%~10%未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=53)	43.4	35.8	11.3	9.4	-
上がる幅	(n=1,384)	9.8	40.3	33.7	15.5	0.7

		【2020年】 (%)				
		2%未満	2%~5%未満	5%~10%未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=108)	41.7	38.9	15.7	3.7	-
上がる幅	(n=726)	23.7	48.8	20.8	6.3	0.4

		【2018年】 (%)				
		2%未満	2%~5%未満	5%~10%未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=46)	52.2	30.4	6.5	8.7	2.2
上がる幅	(n=1,318)	27.5	50.5	18.3	3.5	0.3

		【2015年】 (%)				
		2%未満	2%~5%未満	5%~10%未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=57)	29.8	49.1	14.0	7.0	-
上がる幅	(n=1,064)	21.9	49.0	21.8	6.2	1.1

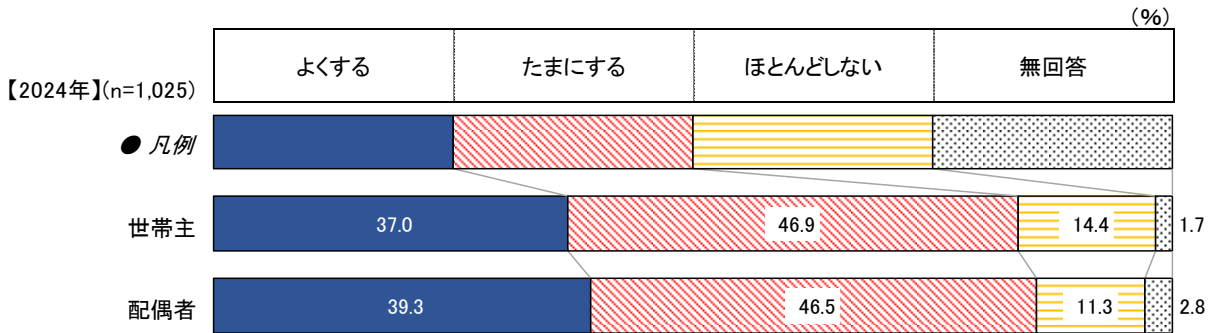
  

		【2013年】 (%)				
		2%未満	2%~5%未満	5%~10%未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=50)	46.0	36.0	14.0	4.0	-
上がる幅	(n=1,191)	15.9	51.0	26.7	6.0	0.3

(6) 電車やバスで席を譲るか

- 世帯主に、電車やバスの中で高齢者や障害者などに席を譲るかを尋ねたところ、配偶者のいる世帯主では「よくする」が37.0%と、「たまにする」が46.9%、「ほとんどしない」は14.4%であった。世帯主の配偶者では、「よくする」が39.3%と、「たまにする」が46.5%、「ほとんどしない」は11.3%であった。

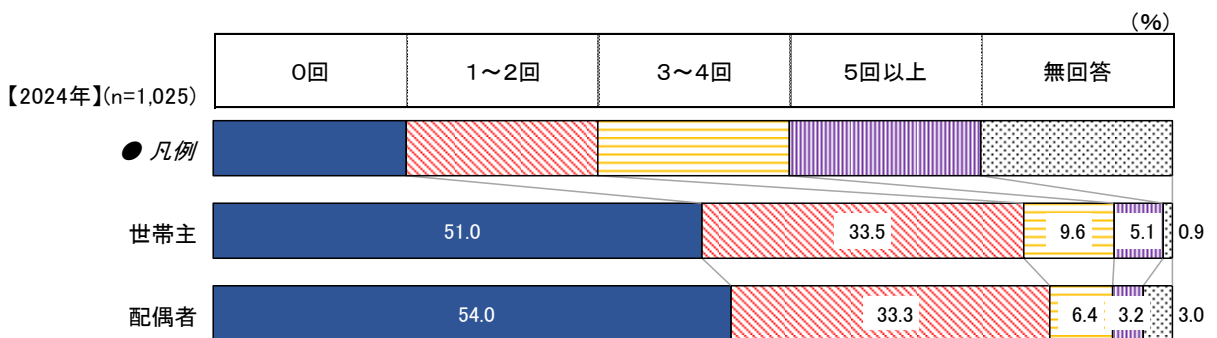
(図表 1-8) 電車やバスで席を譲るか (問7)



(7) 1年間の寄付や募金

- 世帯主に、直近1年間に寄付（ふるさと納税は除く）や募金をしたかを尋ねたところ、配偶者のいる世帯主では「0回」が51.0%と、「1~2回」が33.5%、「3~4回」が9.6%、「5回以上」は5.1%であった。世帯主の配偶者では、「0回」が54.0%と、「1~2回」が33.3%、「3~4回」が6.4%、「5回以上」は3.2%であった。

(図表 1-9) 1年間の寄付や募金 (問8)

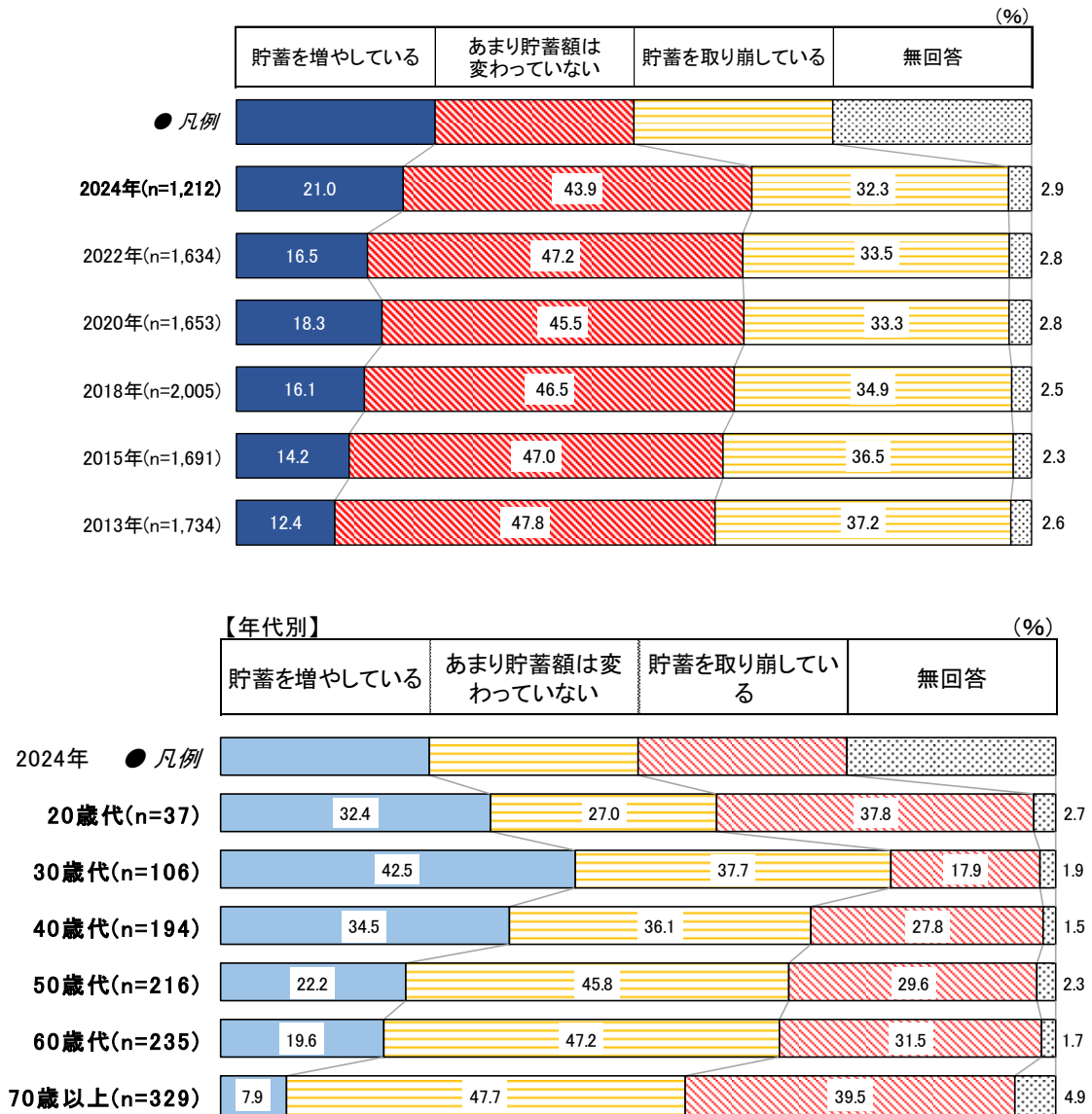


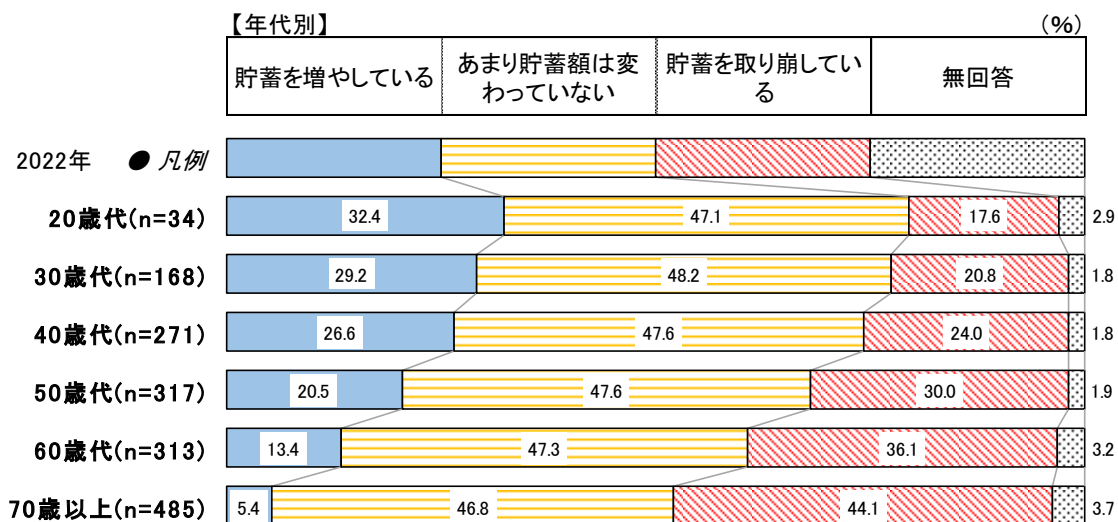
## 2. 貯蓄について

### (1) 世帯の貯蓄状況

- 世帯の現在の貯蓄状況について尋ねたところ、「あまり貯蓄額は変わっていない」が43.9%で最も多く、次いで「貯蓄を取り崩している」が32.3%、「貯蓄を増やしている」が21.0%であった。

(図表2-1) 世帯の貯蓄状況 (問9)

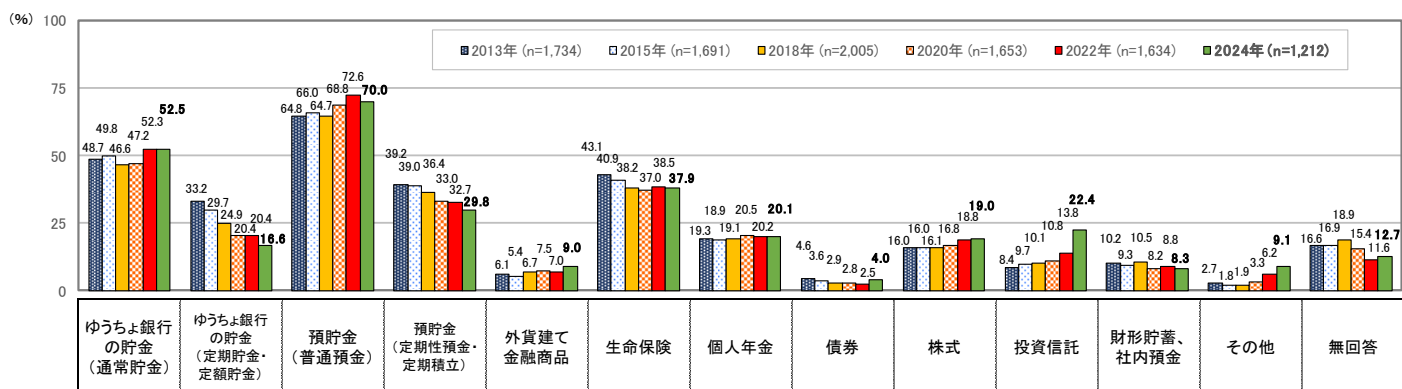




## (2) 世帯で保有している預貯金・金融商品

- 世帯で保有している預貯金・金融商品（複数回答）では、「預貯金（普通預金）」が70.0%で最も多く、次いで「ゆうちょ銀行の貯金（通常貯金）」（52.5%）で、普通・通常預貯金が上位を占めた。3位以下は、「生命保険」（37.9%）、「預貯金（定期性預金・定期積立）」（29.8%）、「投資信託」（22.4%）、「個人年金」（20.1%）、「株式」（19.0%）、「ゆうちょ銀行の貯金（定期貯金・定額貯金）」（16.6%）の順で続いた。
- 2013年からの推移では、「ゆうちょ銀行の貯金（定期貯金・定額貯金）」「預貯金（定期性預金・定期積立）」「生命保険」が減少傾向にあり、「投資信託」が増加傾向にある。

(図表2-2) 保有している預貯金・金融商品（問10(1)、複数回答）

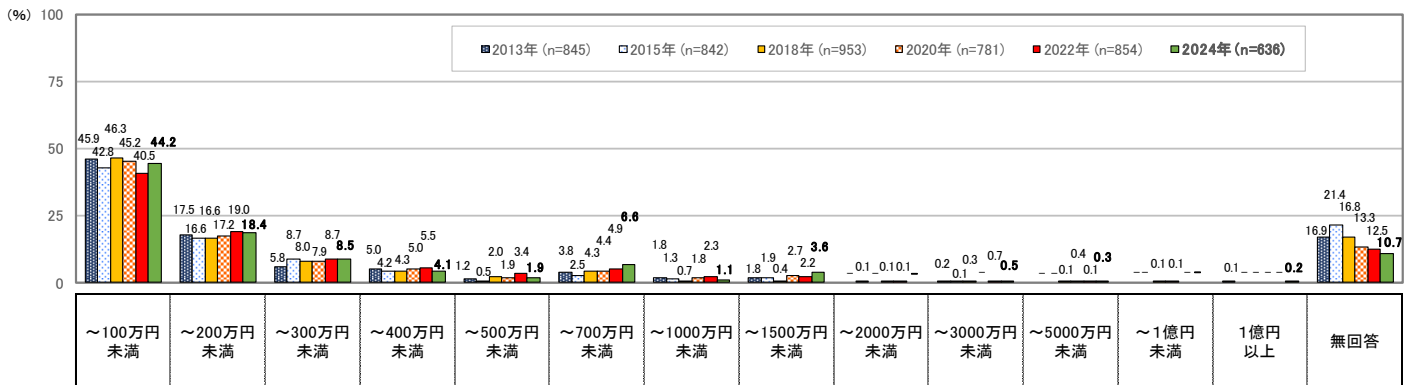


※「ゆうちょ銀行の貯金」は、2013年と2015年は「郵便貯金」として聞いた。

### (3) 保有している預貯金・金融商品の現在高

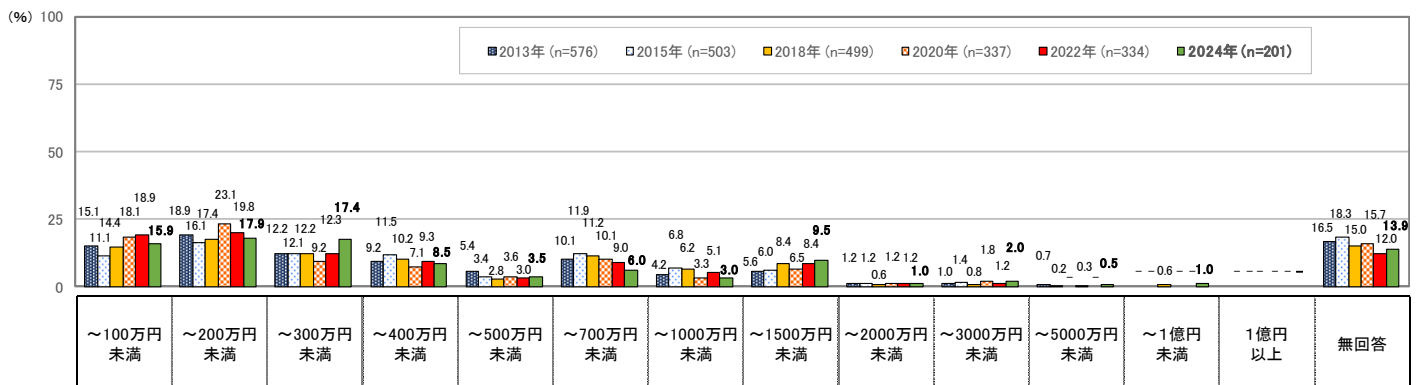
- ゆうちょ銀行の貯金（通常貯金）を保有している人（636人）の現在高は「～100万円未満」が最も多く44.2%を占め、続いて「100～200万円未満」が18.4%であった。
- ゆうちょ銀行の貯金（定期貯金・定額貯金）を保有している人（201人）の現在高は、「100～200万円未満」が最も多く17.9%、続いて「200～300万円未満」が17.4%、次いで「～100万円未満」が15.9%であった。
- 預貯金（普通預金）を保有している人（849人）の現在高は、「～100万円未満」が最も多く22.0%、続いて「100～200万円未満」が15.5%、「500～700万円未満」が11.8%であった。
- 預貯金（定期性預金・定期積立）を保有している人（361人）の現在高は、「100～200万円未満」と「1000～1500万円未満」が最も多く13.6%、続いて「～100万円未満」が12.2%、「500～700万円未満」が11.1%であった。

(図表2-3) ゆうちょ銀行の貯金（通常貯金）の現在高（問10(2)①）



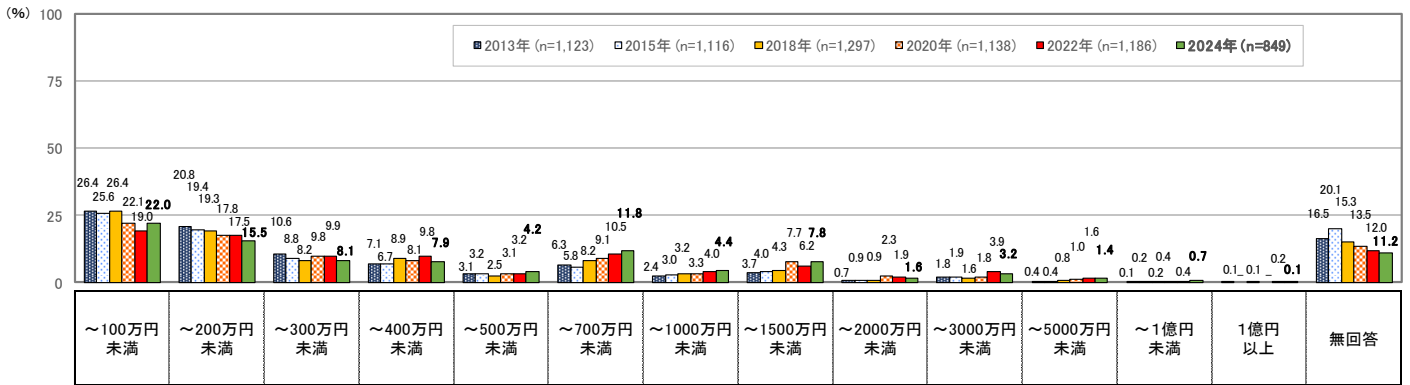
※「ゆうちょ銀行の貯金」は、2013年と2015年は「郵便貯金」として聞いた。

(図表2-4) ゆうちょ銀行の貯金（定期貯金・定額貯金）の現在高（問10(2)②）

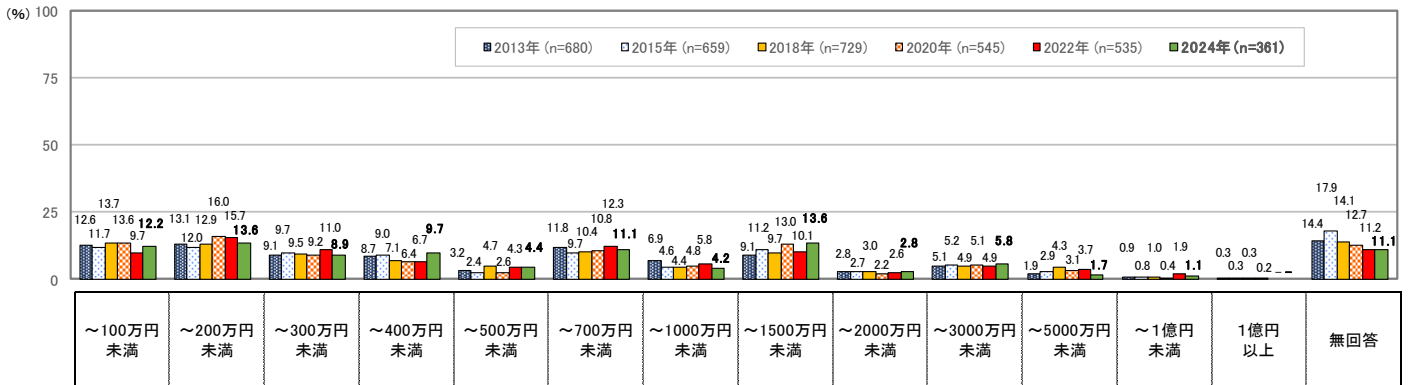


※「ゆうちょ銀行の貯金」は、2013年と2015年は「郵便貯金」として聞いた。

(図表 2-5) 預貯金（普通預金）の現在高（問10(2)③）

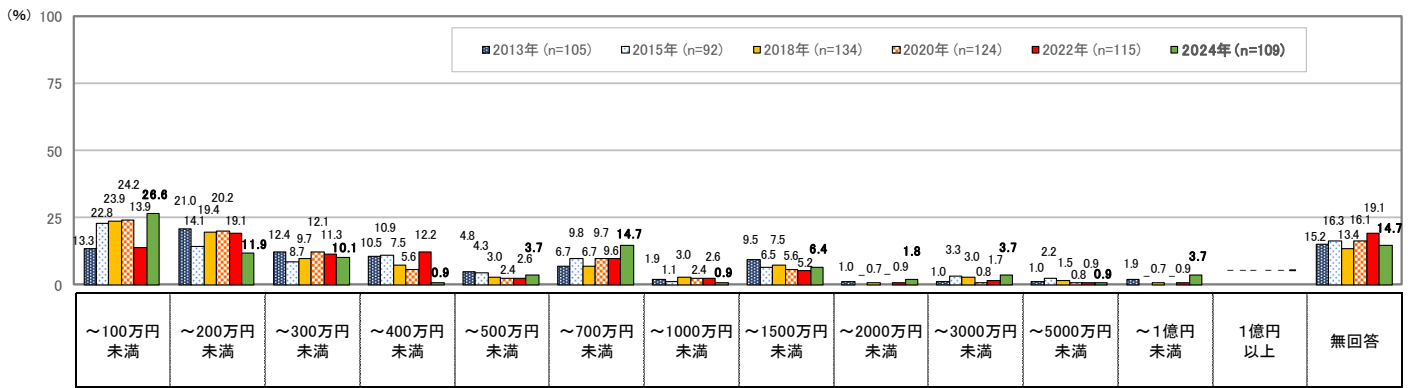


(図表 2-6) 預貯金（定期性預金・定期積立）の現在高（問10(2)④）

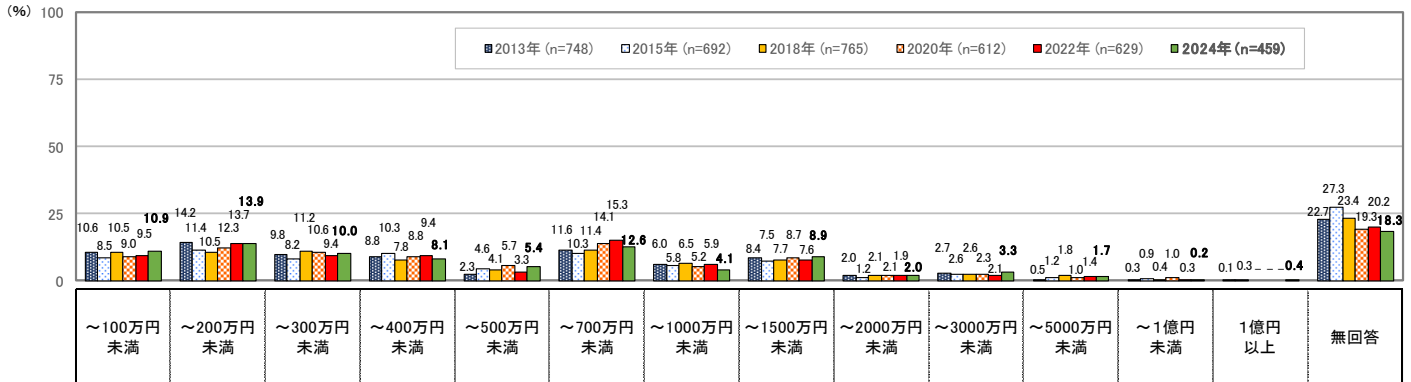


- 外貨建て金融商品（外貨預金、外国債券、外国投資信託、FX等）を保有している人（109人）の現在高は、「～100万円未満」が最も多く26.6%、続いて「500～700万円未満」が14.7%、「100～200万円未満」が11.9%であった。
- 生命保険（定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含まず）を保有している人（459人）の現在高は、「100～200万円未満」が最も多く13.9%、続いて「500～700万円未満」が12.6%であった。
- 個人年金（公的年金の保険料は含まず）を保有している人（244人）の現在高は、「100～200万円未満」が最も多く16.8%、続いて「～100万円未満」が15.2%、「500～700万円未満」が11.9%であった。

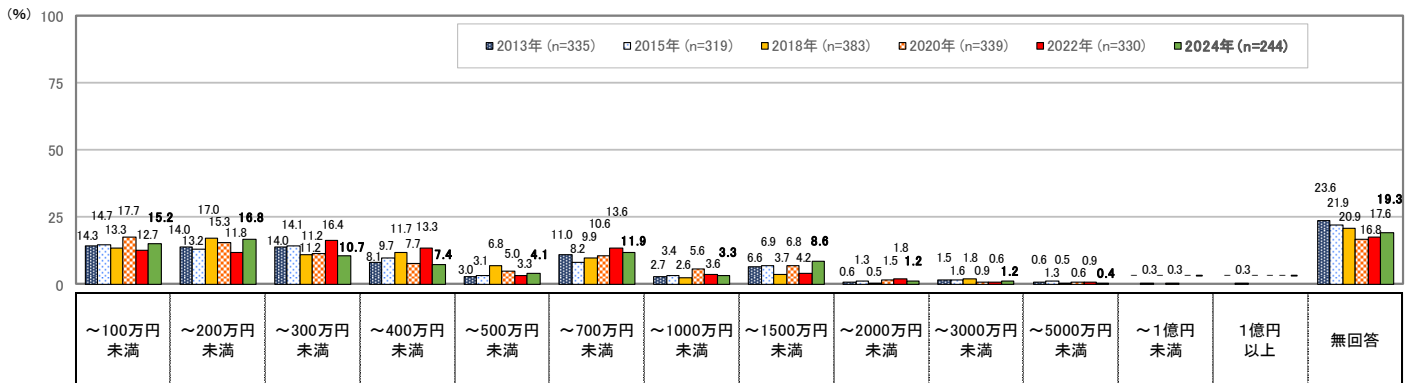
（図表2-7）外貨建て金融商品（外貨預金、外国債券、外国投資信託、FX等）の現在高（問10(2)⑤）



（図表2-8）生命保険（定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含まず）の現在高（問10(2)⑥）

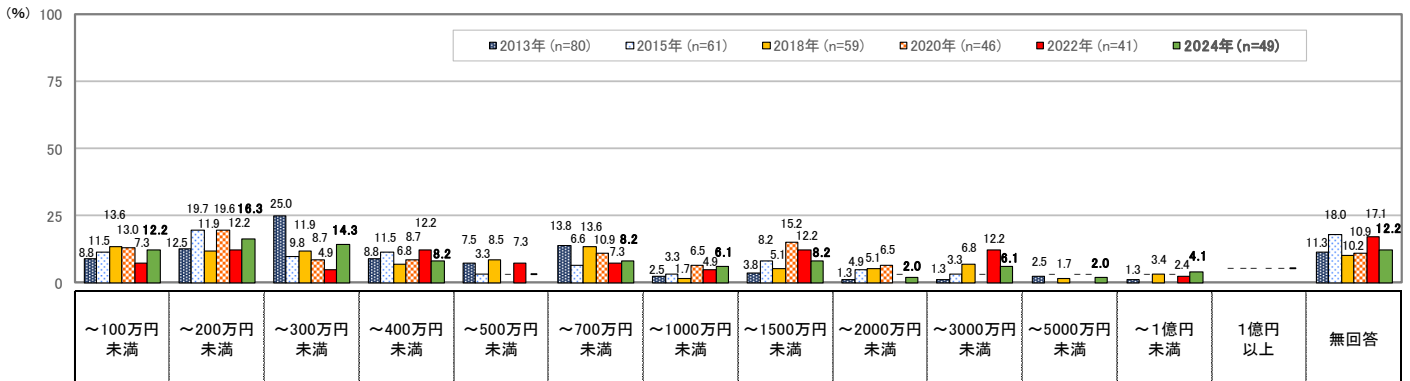


（図表2-9）個人年金（公的年金の保険料は含まず）の現在高（問10(2)⑦）

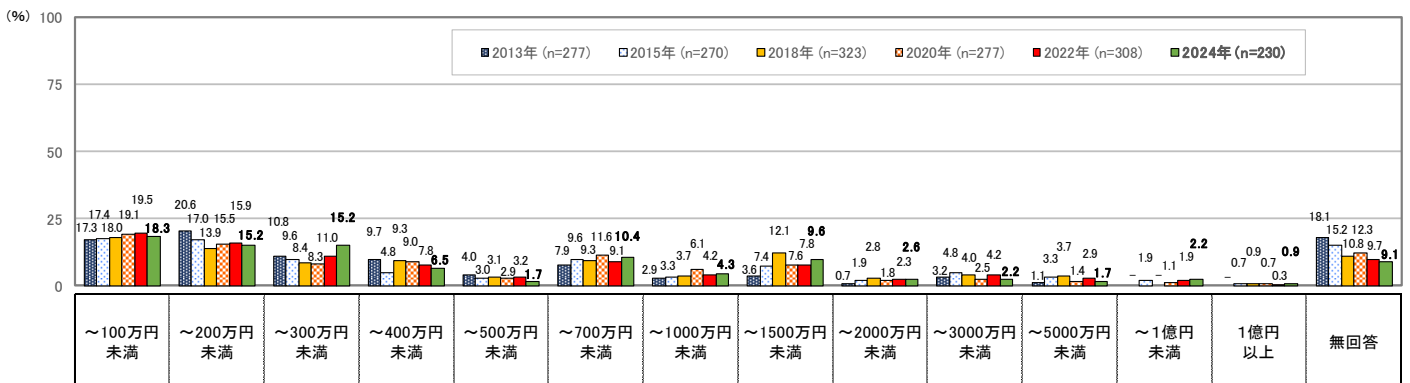


- 債券(国債、金融債、社債等)を保有している人(49人)の現在高は、「100～200万円未満」が最も多く16.3%、次いで「200～300万円未満」(14.3%)、「～100万円未満」(12.2%)と続いた。
- 株式(従業員持株制度による株式を含む)を保有している人(230人)の現在高は、「～100万円未満」が最多で18.3%、「100～200万円未満」、「200～300万円未満」が各15.2%であった。
- 投資信託(公社債投信、株式投信、MRF、REIT、ETF等)を保有している人(272人)の現在高は、「～100万円未満」が最多で21.7%、「100～200万円未満」が18.0%、「200～300万円未満」が13.2%で、『300万円未満』で約半数を占めた。
- 財形貯蓄、社内預金を保有している人(100人)の現在高は、「～100万円未満」が最多で21.0%、続いて「200～300万円未満」が16.0%、「100～200万円未満」が14.0%であった。
- その他(貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座、iDeCo等)の金融商品を保有している人(110人)の現在高は、「100～200万円未満」が最も多く23.6%、続いて「～100万円未満」が22.7%、「200～300万円未満」、「500～700万円未満」がともに8.2%であった。

(図表2-10) 債券(国債、金融債、社債等)の現在高(問10(2)⑧)

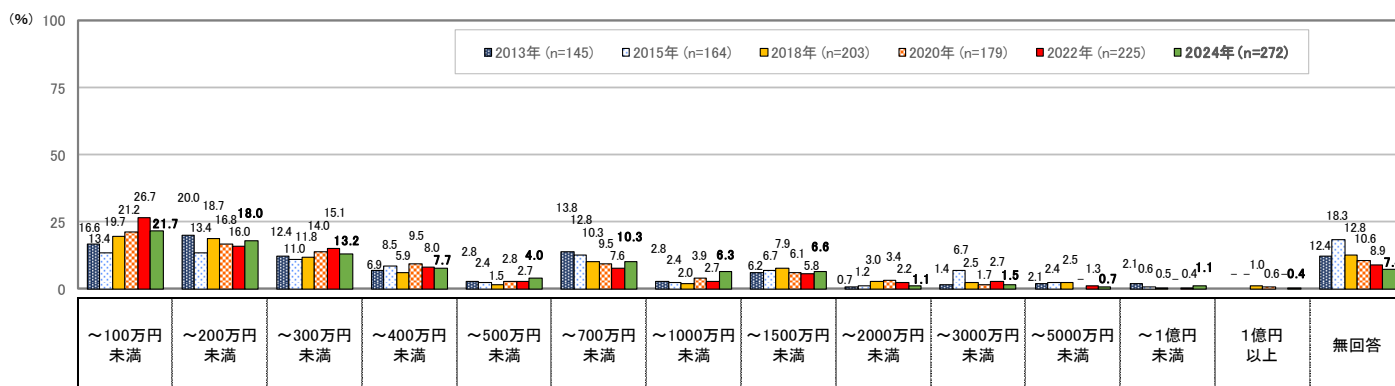


(図表2-11) 株式(従業員持株制度による株式を含む)の現在高(問10(2)⑨)



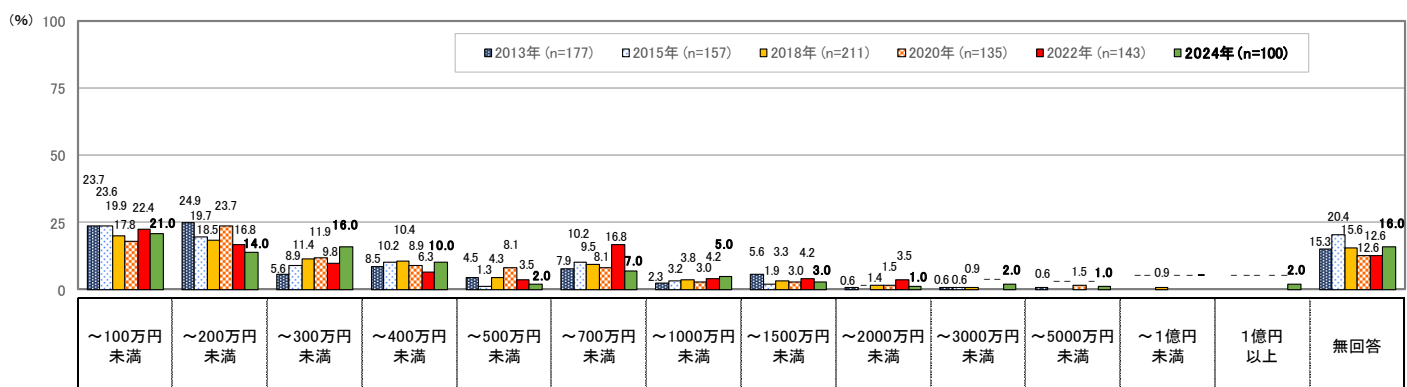


(図表 2-12) 投資信託(公社債投信、株式投信、MRF、REIT、ETF 等)の現在高 (問 10(2)⑩)

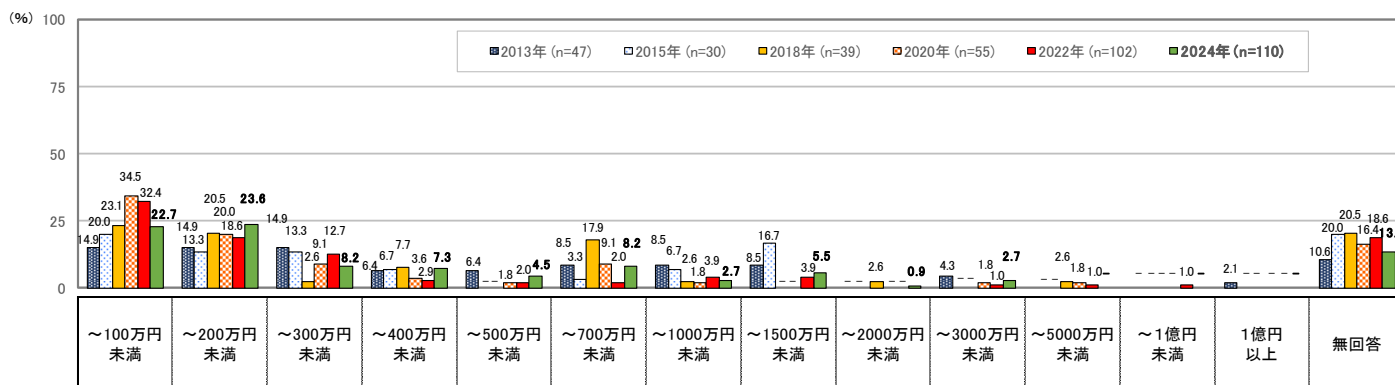


※2018年までは例示に「REIT」、2020年までは「ETF」を含めていない

(図表 2-13) 財形貯蓄、社内預金の現在高 (問 10(2)⑪)



(図表 2-14) その他(貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座、iDeCo 等)の現在高 (問 10(2)⑫)

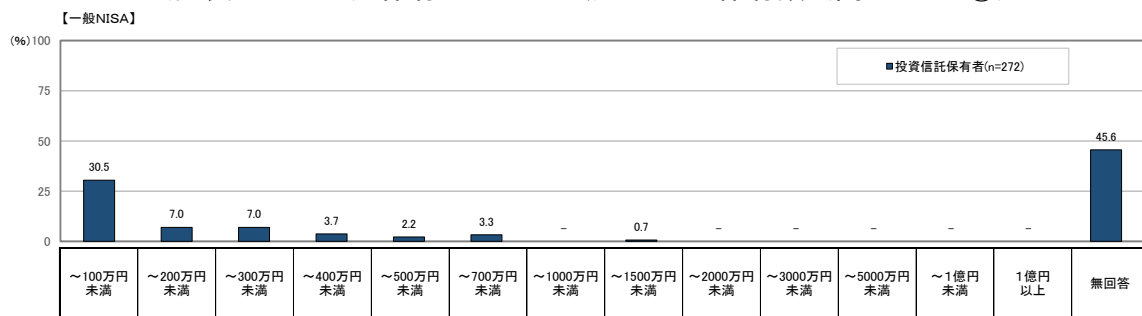


※2018年までは例示に「iDeCo」を含めていない

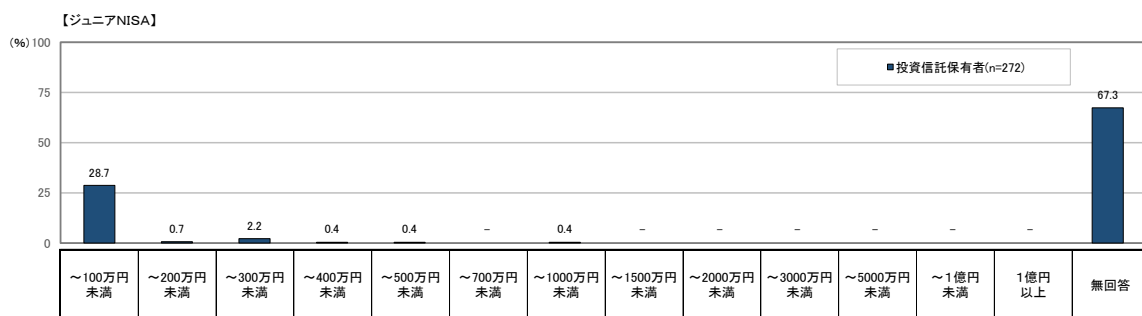
#### (4) 保有しているNISAの保有額

- 投資信託を保有している人（272人）の一般NISAの保有額は、「～100万円未満」が最多で30.5%、次いで「100～200万円未満」、「200～300万円未満」が各7.0%であった。
- 投資信託を保有している人（272人）のジュニアNISAの保有額も、「～100万円未満」が最も多く28.7%、「200～300万円未満」が2.2%と続いた。
- 投資信託を保有している人（272人）のつみたてNISAの保有額も、「～100万円未満」が最多で33.8%、次いで「100～200万円未満」が10.7%、「200～300万円未満」が7.0%と続いた。
- 投資信託を保有している人（272人）の新NISA つみたて投資枠の保有額も、「～100万円未満」が最多で43.8%、続いて「100～200万円未満」が10.3%、「200～300万円未満」が2.6%であった。
- 投資信託を保有している人（272人）の新NISA 成長投資枠の保有額も、「～100万円未満」が最多で32.0%、続いて「200～300万円未満」が8.1%、「100～200万円未満」が6.6%であった。

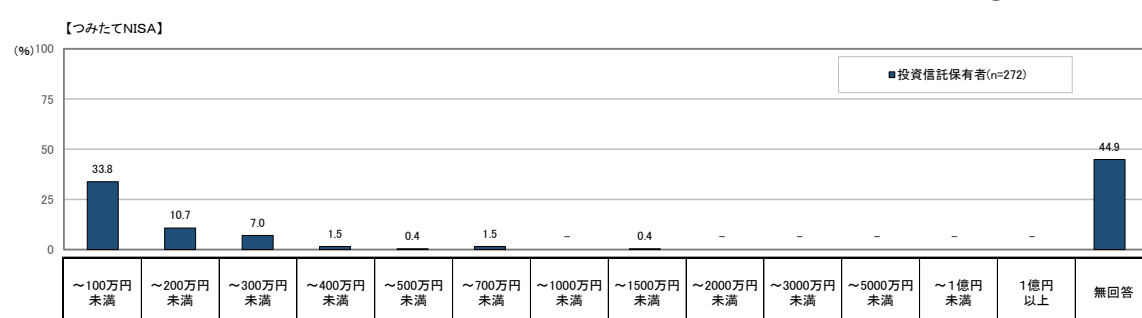
(図表2-15) 保有している一般NISAの保有額 (問10-1①)



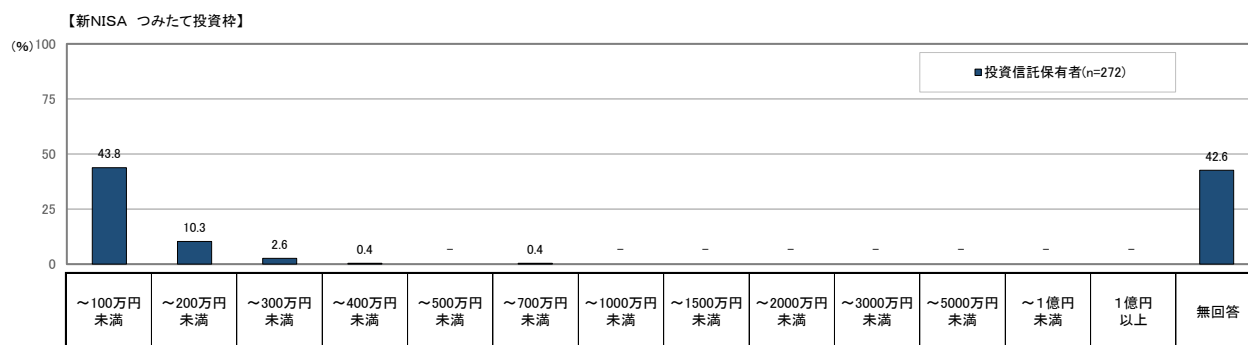
(図表2-16) 保有しているジュニアNISAの保有額 (問10-1②)



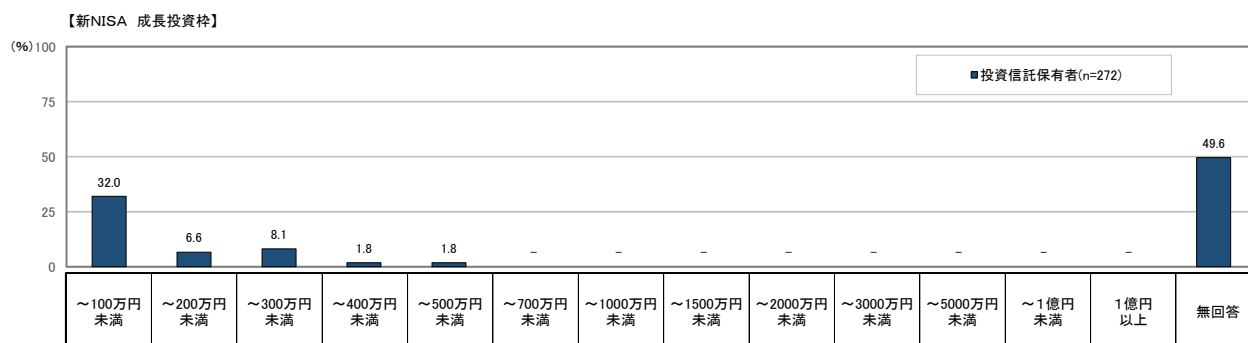
(図表2-17) 保有しているつみたてNISAの保有額 (問10-1③)



(図表 2-18) 保有している新 NISA つみたて投資枠の保有額 (問 10-1 ④)



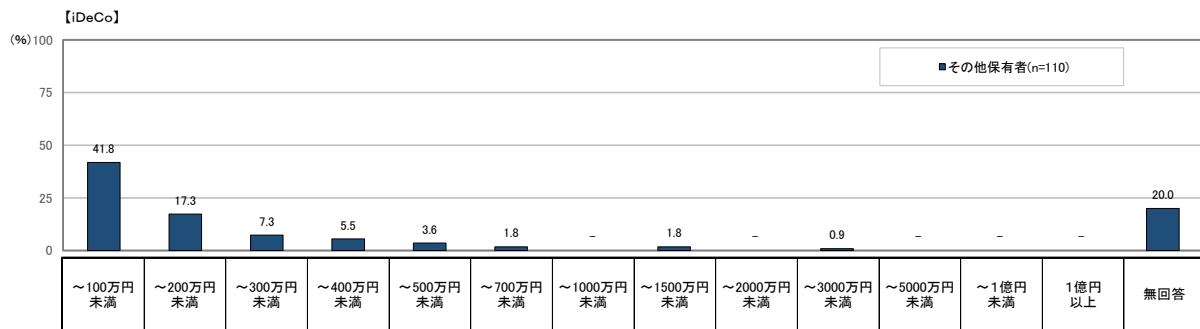
(図表 2-19) 保有している新 NISA 成長投資枠の保有額 (問 10-1 ⑤)



(5) 保有している iDeCo の保有額

- その他の金融商品を保有している人（110人）の個人型確定拠出年金（企業型確定拠出年金を除く）の保有額は、「～100万円未満」が最多で41.8%、続いて「100～200万円未満」が17.3%、「200～300万円未満」が7.3%であった

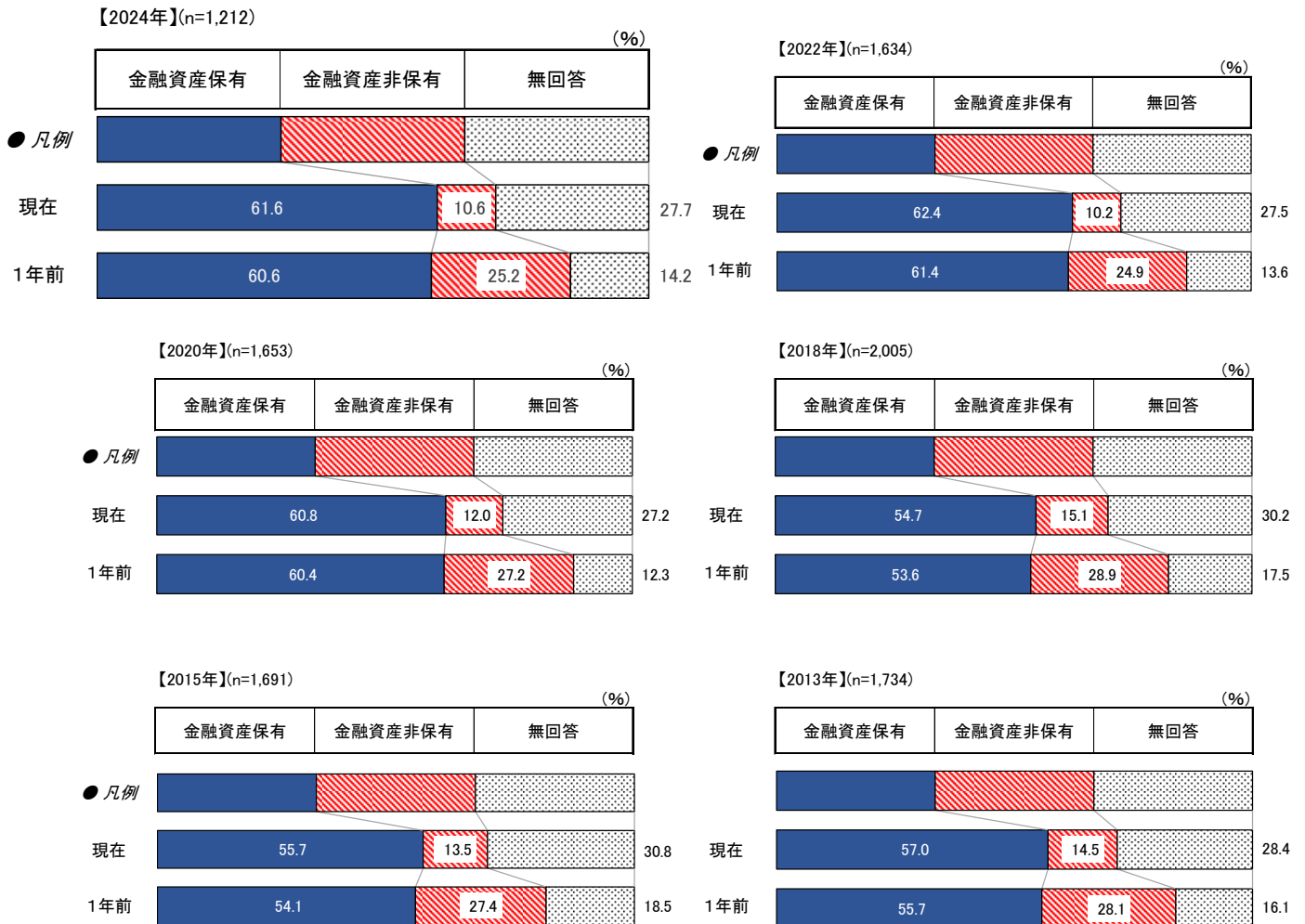
(図表2-20) 保有している iDeCo の保有額 (問10-2)



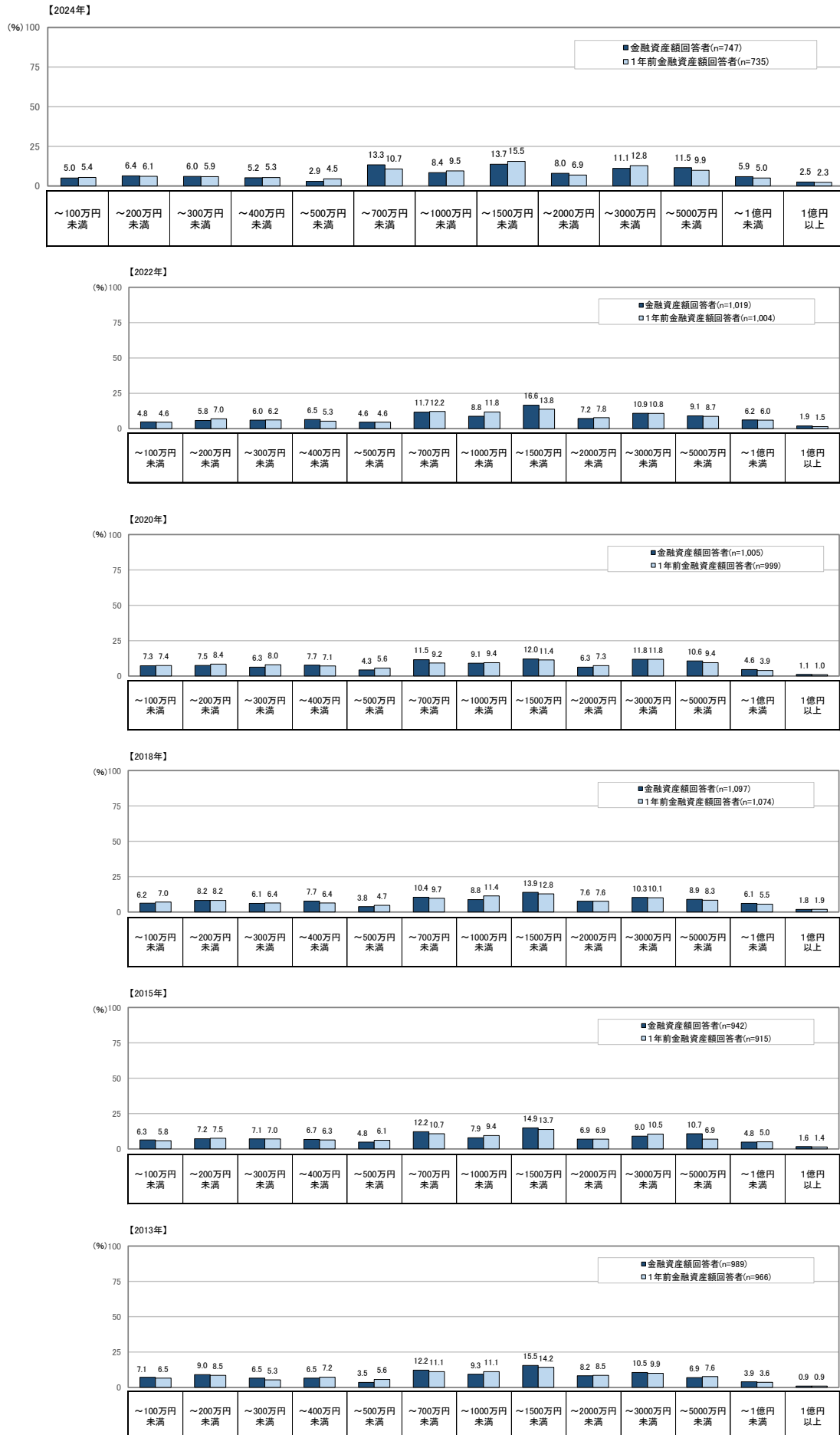
(6) 金融資産の世帯保有状況

- 現金や決済性預金を含めた金融資産の世帯保有状況は、現在 61.6%が保有、1年前は 60.6%が保有との回答であった。
- 現在保有残高を回答した人（747人）の現金や決済性預金を含めた世帯金融資産残高は、「1000～1500万円未満」が最多で13.7%、続いて「500～700万円未満」が13.3%、「3000～5000万円未満」が11.5%。『1000万円未満』の割合は47.3%であった。
- 1年前の保有残高を回答した人（735人）の1年前の現金や決済性預金を含めた世帯金融資産残高は、「1000～1500万円未満」（15.5%）、「2000～3000万円未満」（12.8%）、「5000～7000万円未満」（10.7%）の順。『1000万円未満』の割合は47.5%であった。

(図表2-21) 現在・1年前の金融資産 世帯保有状況有無 (問11(1)・(2))



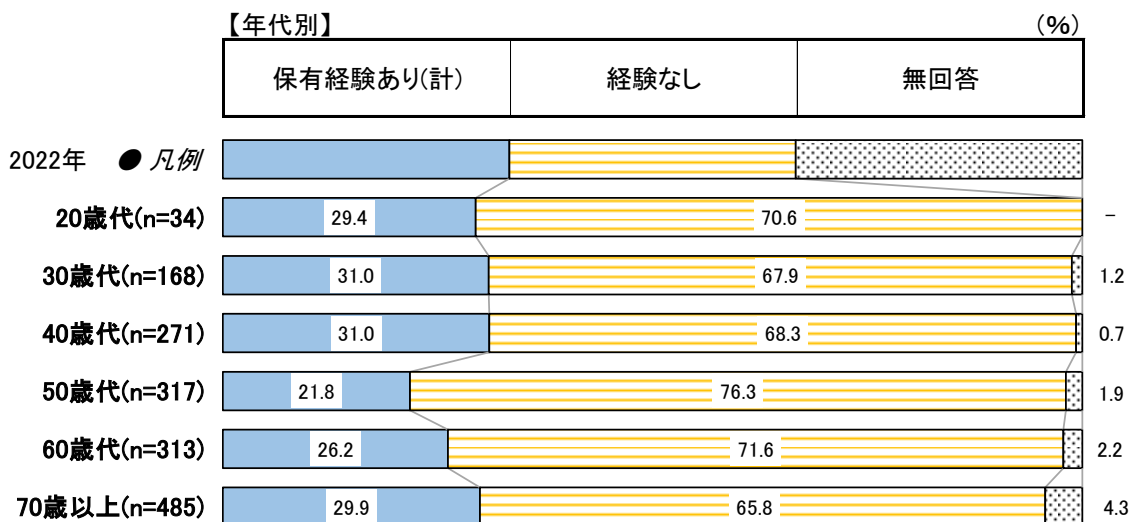
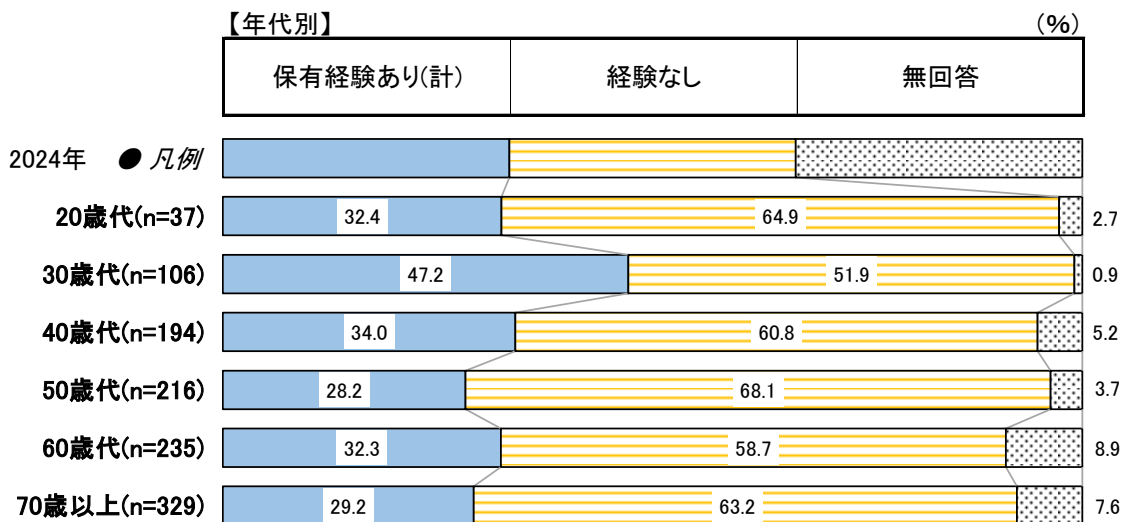
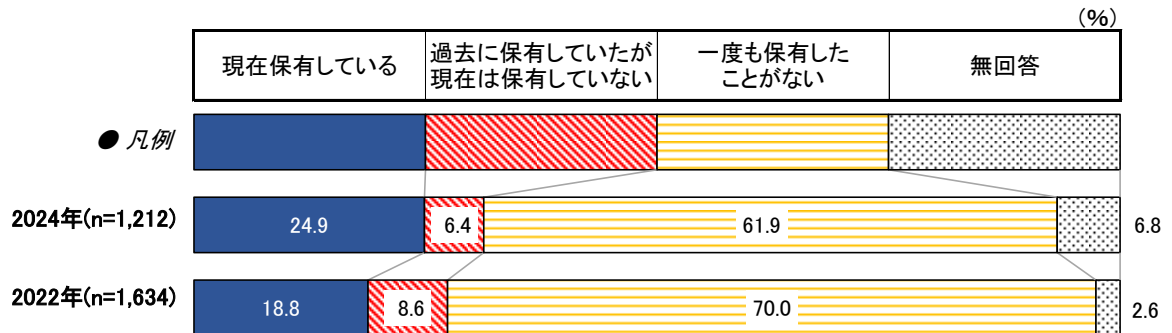
(図表2-22) 現在・1年前世帯保有の金融資産残高 (問11(1)・(2))



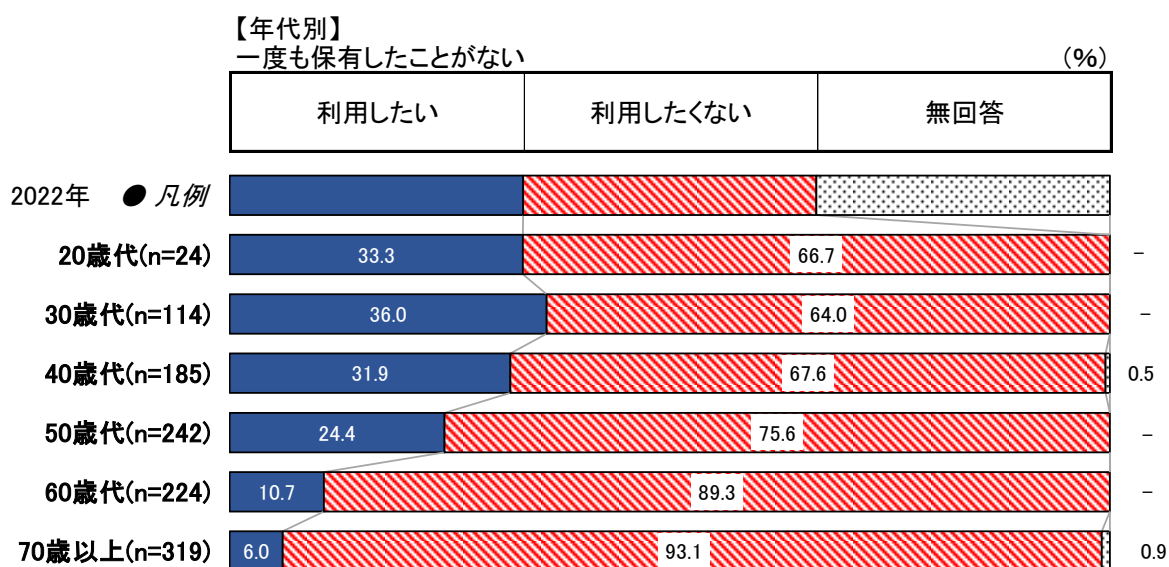
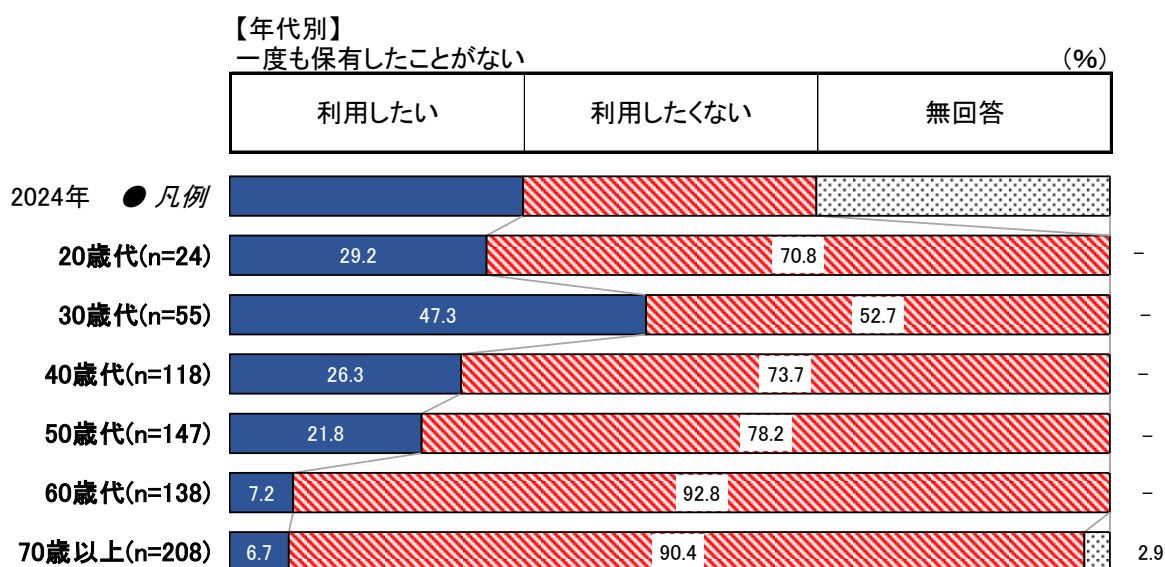
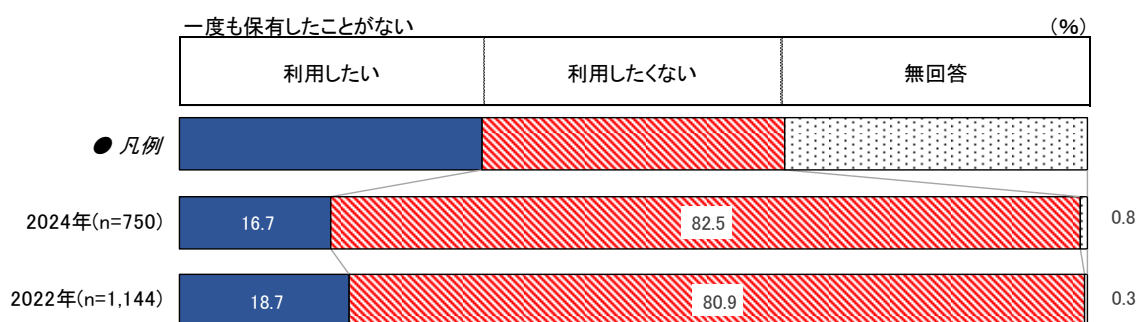
(7) 投資信託の利用状況

- 投資信託の世帯保有状況は、「現在保有している」が24.9%、「過去に保有していたが現在は保有していない」が6.4%、「一度も保有したことがない」が61.9%であった。
- 一度も保有したことがない人（750人）の今後の投資信託の利用意向は、「利用したい」が16.7%、「利用したくない」が82.5%であった。

(図表2-23) 投資信託の保有状況（問12）



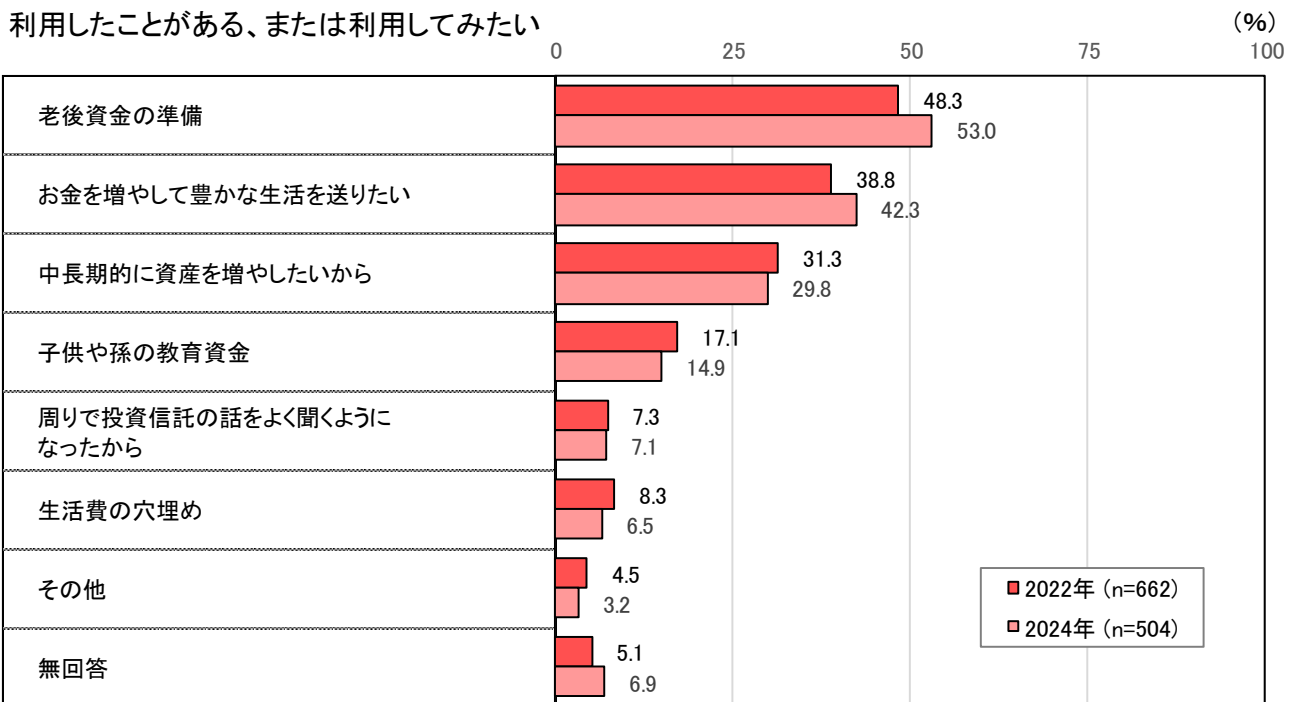
(図表 2-24) 今後の投資信託の利用意向 (問 12-1)



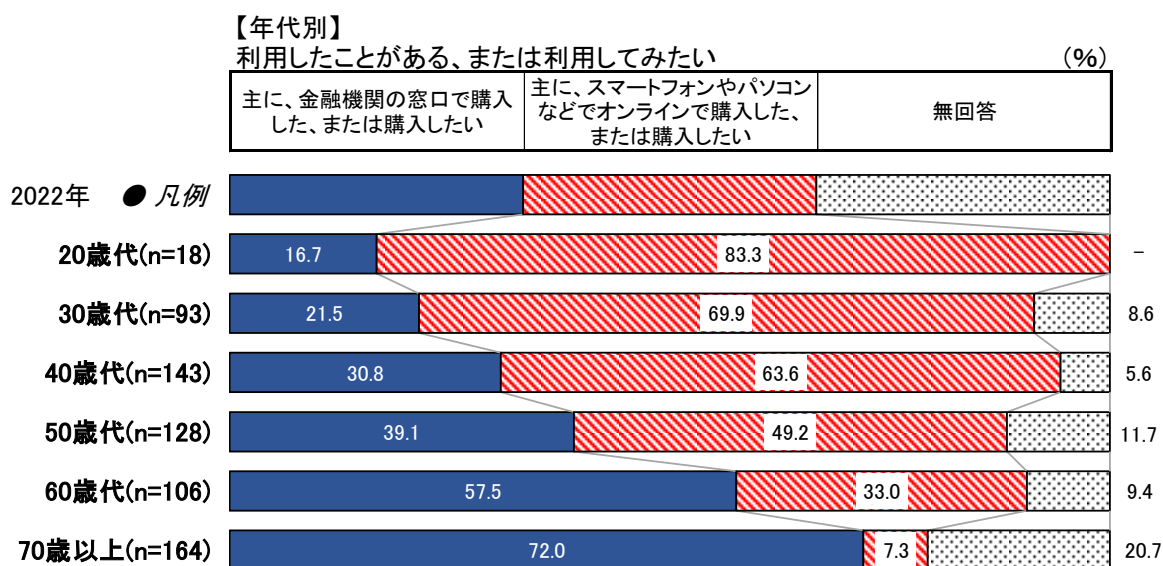
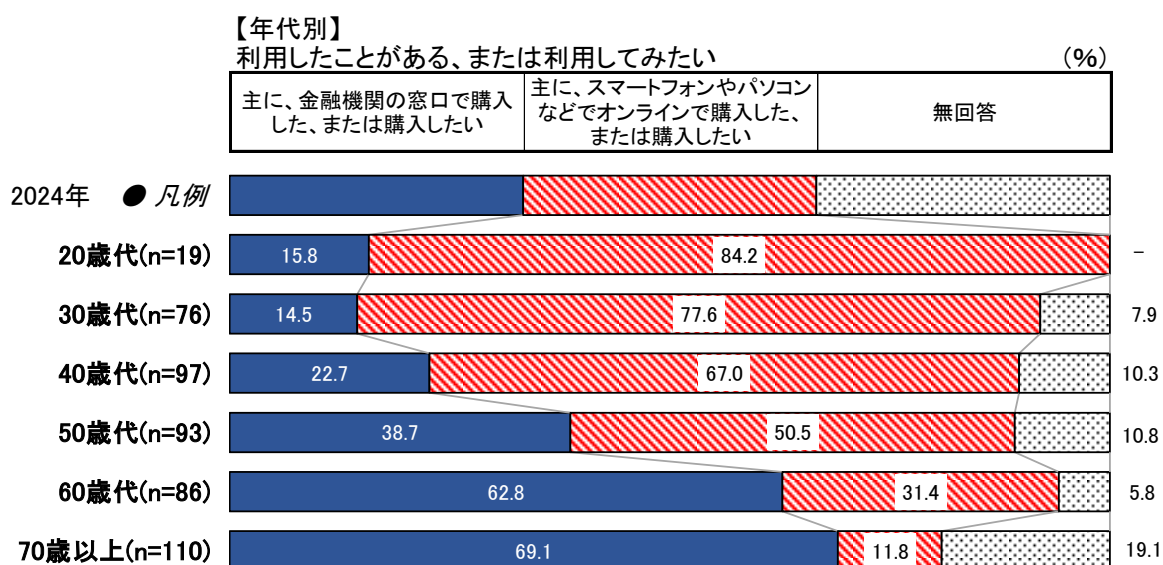
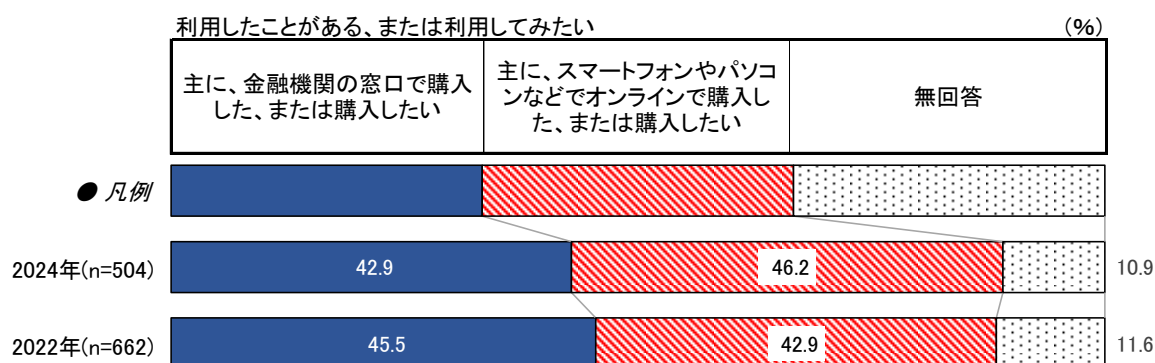


- 投資信託を利用した、または利用してみたい人（504人）に利用理由を2つまでの複数回答で尋ねたところ、「老後資金の準備」が53.0%で最多、続いて「お金を増やして豊かな生活を送りたい」（42.3%）、「中長期的に資産を増やしたいから」（29.8%）の順であった。
- 投資信託の購入方法は、「主に、金融機関の窓口で購入した、または購入したい」が42.9%、「主に、スマートフォンやパソコンなどオンラインで購入した、または購入したい」が46.2%と、ほぼ半数ずつであった。
- 投資信託商品を選択する際の考え方は、「好みのものを自分で選びたい」（46.0%）が最も多く、「投資方針を伝え投資判断等は専門家に一任したい」（38.7%）が続き、「専門家ではなくロボアドバイザー（AI）に任せたい」は6.3%であった。

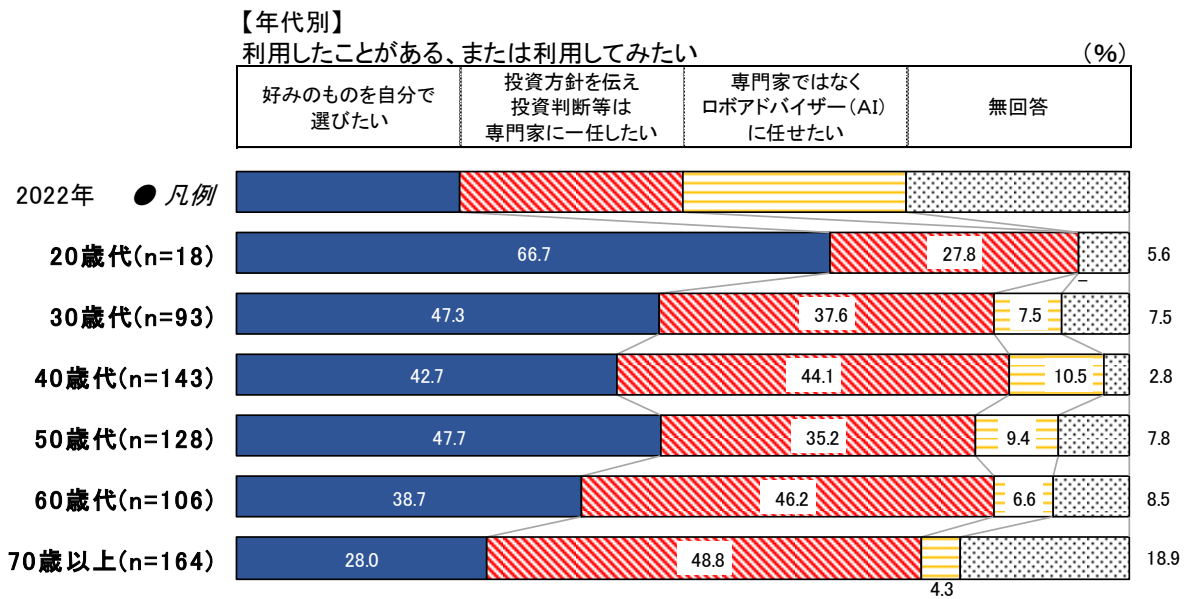
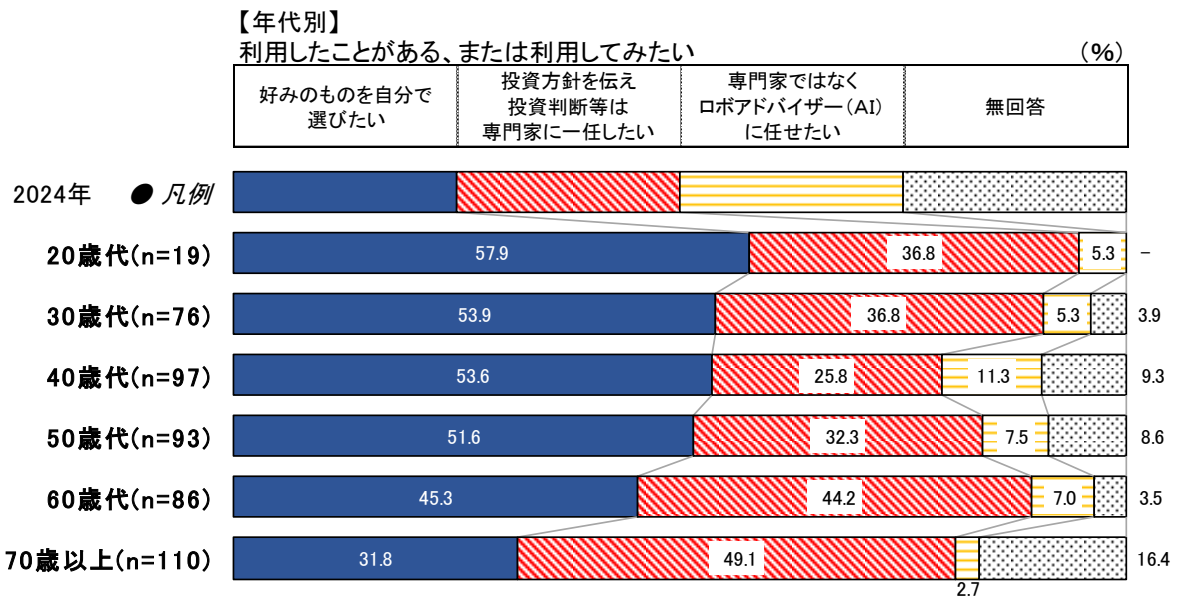
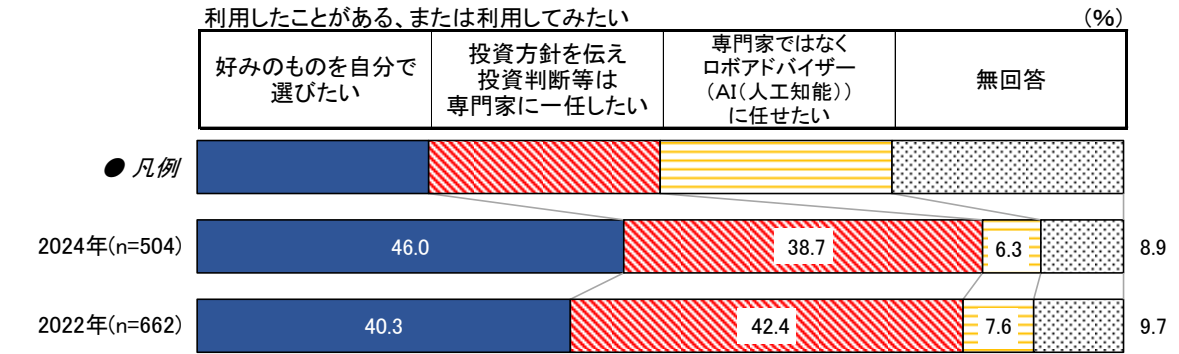
（図表2-25）投資信託を利用した、または利用したい理由  
（問12-2、2つまでの複数回答）



(図表 2-26) 投資信託の購入方法 (問 12-3)

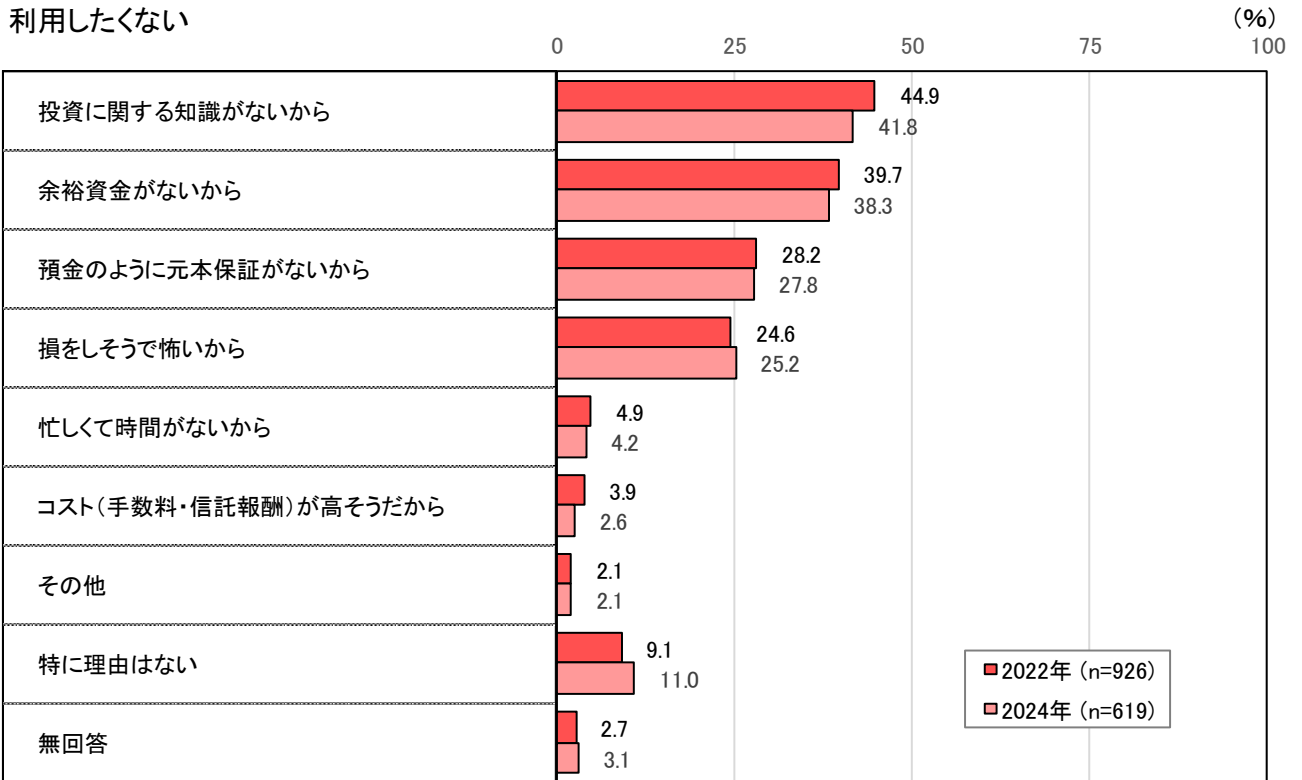


(図表 2-27) 投資信託商品を選択する際の考え方 (問12-4)



- 投資信託を利用したくない人（619人）に利用したくない理由を2つまでの複数回答で尋ねたところ、「投資に関する知識がないから」が41.8%で最も多く、続いて「余裕資金がないから」（38.3%）、「預金のように元本保証がないから」（27.8%）、「損をしそうで怖いから」（25.2%）の順であった。

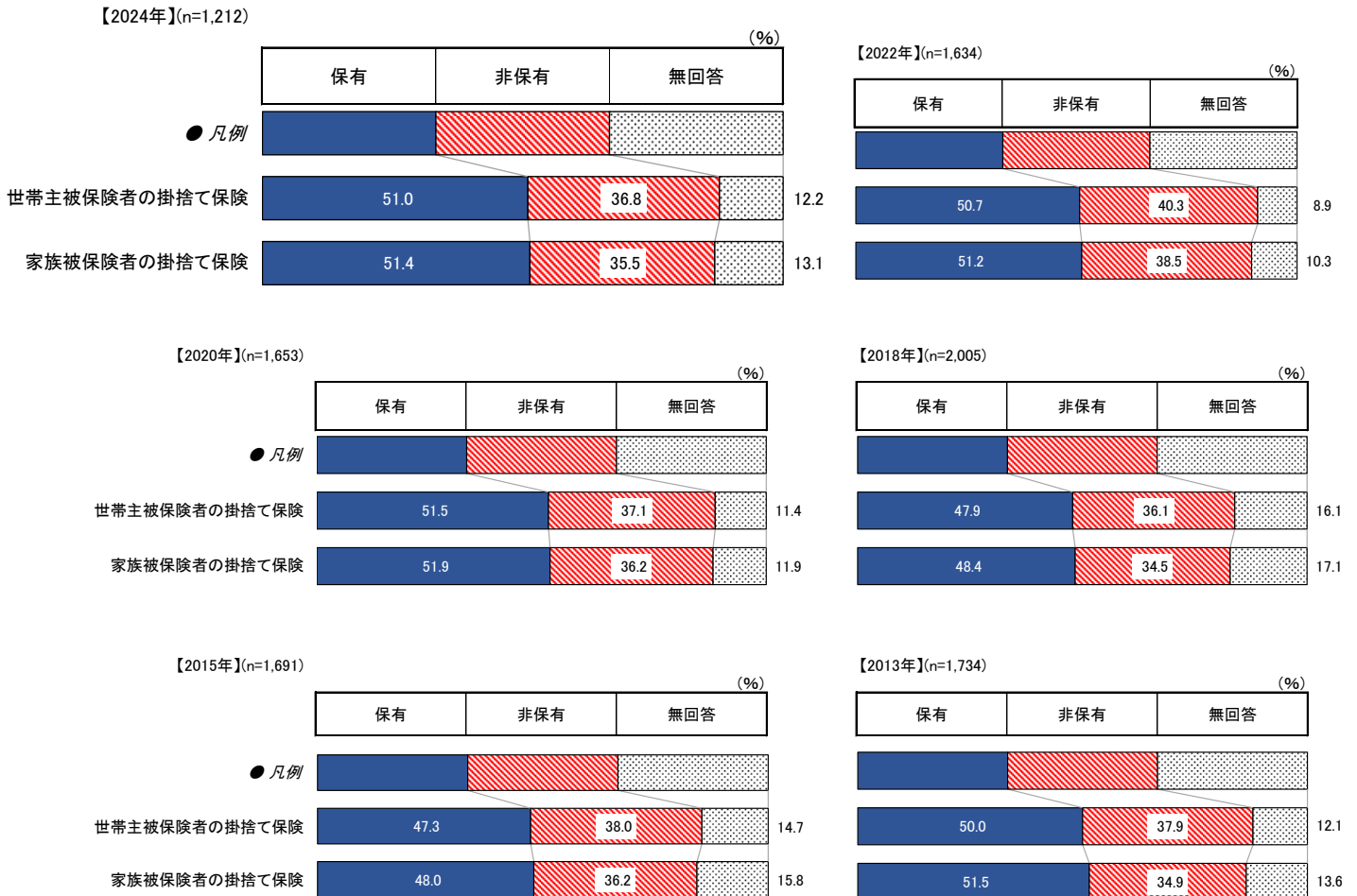
（図表2-28）投資信託を利用したくない理由（問12-5、2つまでの複数回答）



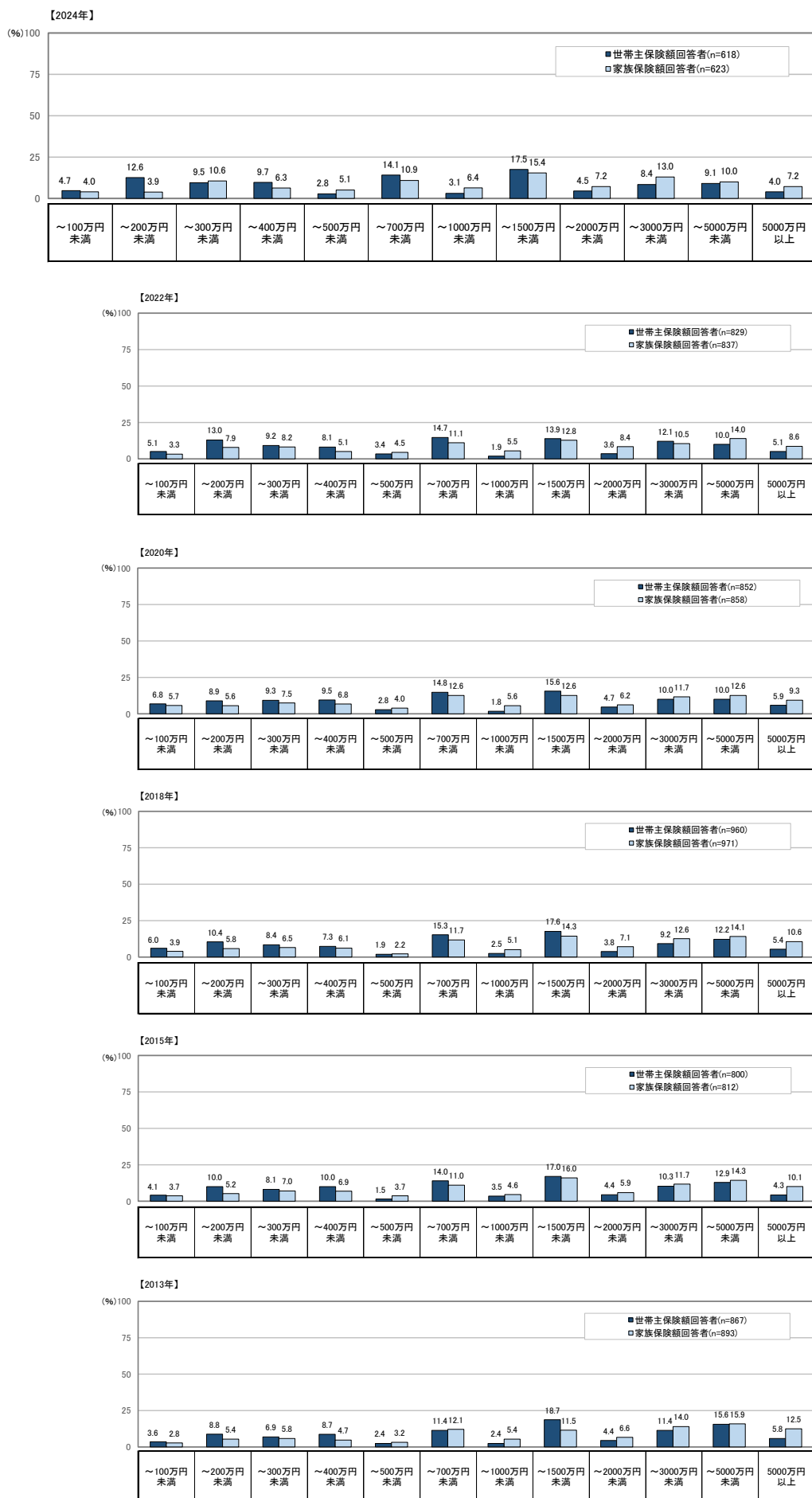
## (8) 保険商品の保有状況

- 世帯主が被保険者となっている掛け捨て保険を保有しているのは51.0%、非保有は36.8%。家族全員の掛け捨て保険の保有有無を見ると、51.4%が保有、35.5%が非保有であった。
- 世帯主が被保険者となっている掛け捨て保険に入っている世帯（618人）の死亡保障金額は、「1000～1500万円未満」が最多で17.5%、「500～700万円未満」が14.1%、「100～200万円未満」が12.6%であった。
- 世帯主を含む家族が掛け捨て保険に入っている世帯（623人）の家族全員の死亡保障合計金額は、「1000～1500万円未満」が最多で15.4%、「2000～3000万円未満」が13.0%、「500～700万円未満」が10.9%であった。

(図表2-29) 世帯主被保険者・家族被保険者の掛け捨て保険 (問13(1)(2))



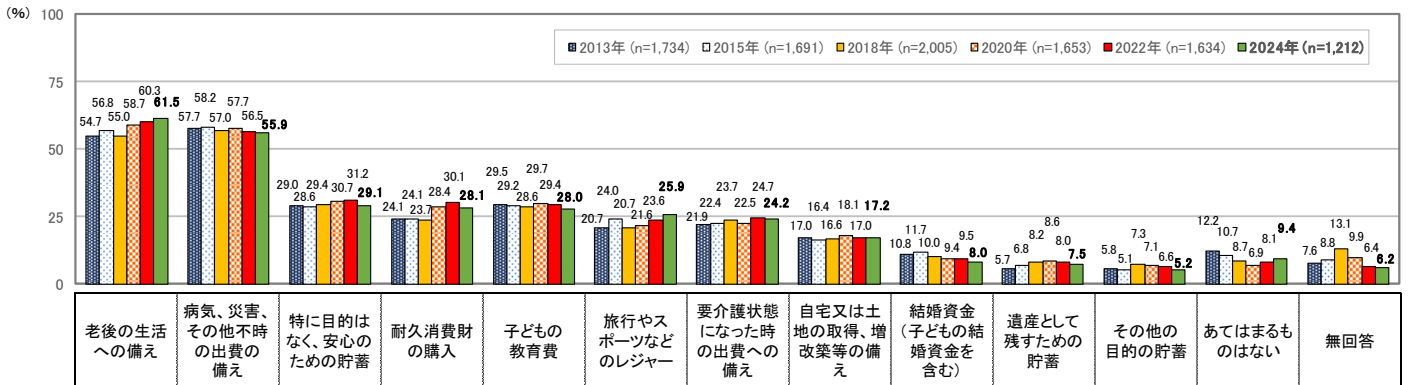
(図表 2-30) 世帯主保有掛捨て保険・家族保有掛捨て保険死亡保障金額 (問 13(1)・(2))



### (9) 世帯貯蓄の目的

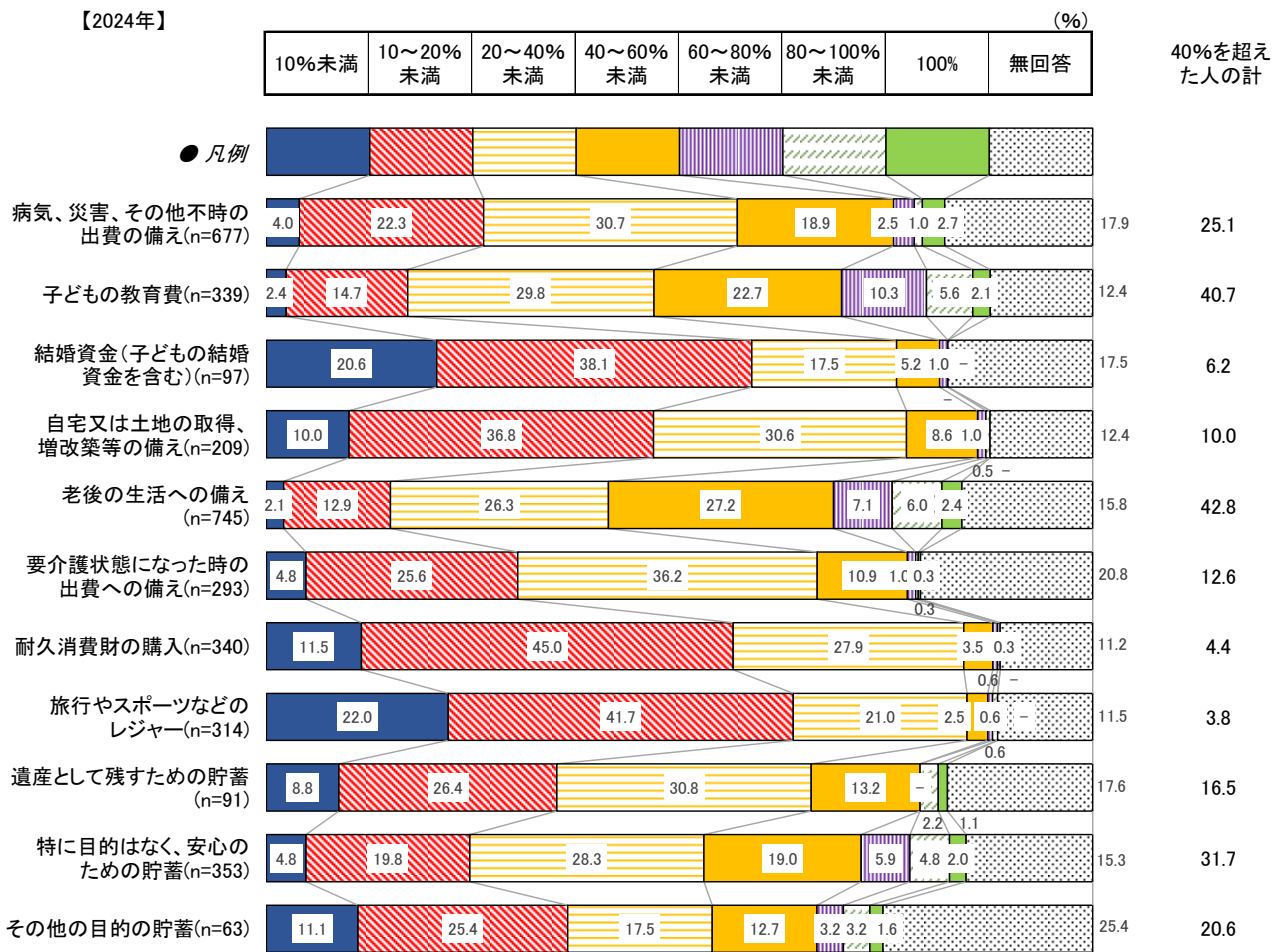
- 世帯で貯蓄している目的を複数回答で尋ねたところ、「老後の生活への備え」(61.5%)と「病気、災害、その他不時の出費の備え」(55.9%)が抜きんでて多く、「特に目的はなく、安心のための貯蓄」(29.1%)、「耐久消費財の購入」(28.1%)、「子どもの教育費」(28.0%)が僅差で続いた。

(図表 2-31) 貯蓄の目的 (問14(1)、複数回答)



- 各目的の貯蓄が貯蓄総額に占める割合を尋ねたところ、目的種別として最も多くの人挙げた「老後の生活への備え」(745人)では、「40～60%未満」が27.2%、40%以上を答えた人が42.8%と、かなりの比率を占めた。次いで多かった「病気、災害、その他不時の出費への備え」(677人)では「20～40%未満」が30.7%、40%以上を答えた人は25.1%であった。
- 割り当て率が40%以上と回答した世帯が多い項目は、「老後の生活への備え」(42.8%)、「子どもの教育費」(40.7%)、「特に目的はなく安心のための貯蓄」(31.7%)の順であった。逆に「10%未満」が高い項目をみると、「旅行やスポーツ等のレジャー」(22.0%)と「結婚資金」(20.6%)の順であった。

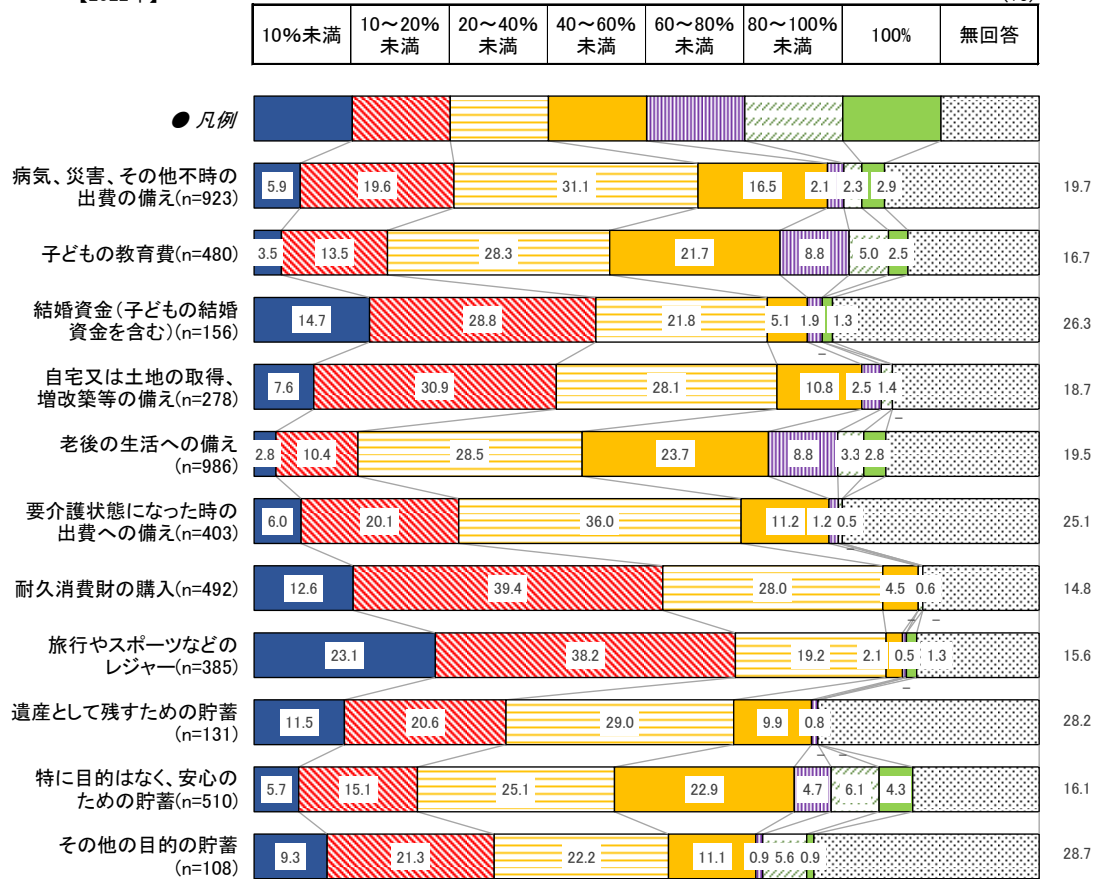
(図表2-32) 各貯蓄が総額に占める割合 (問14(2))





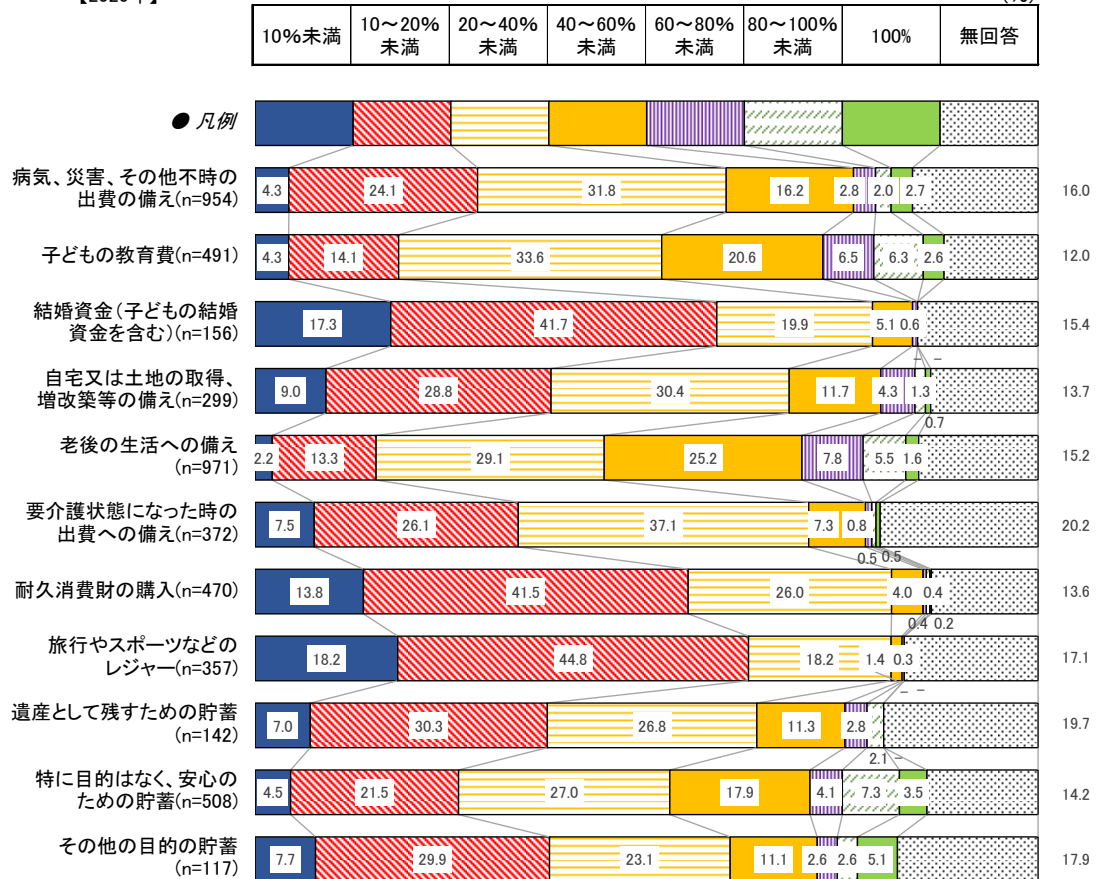
【2022年】

(%)

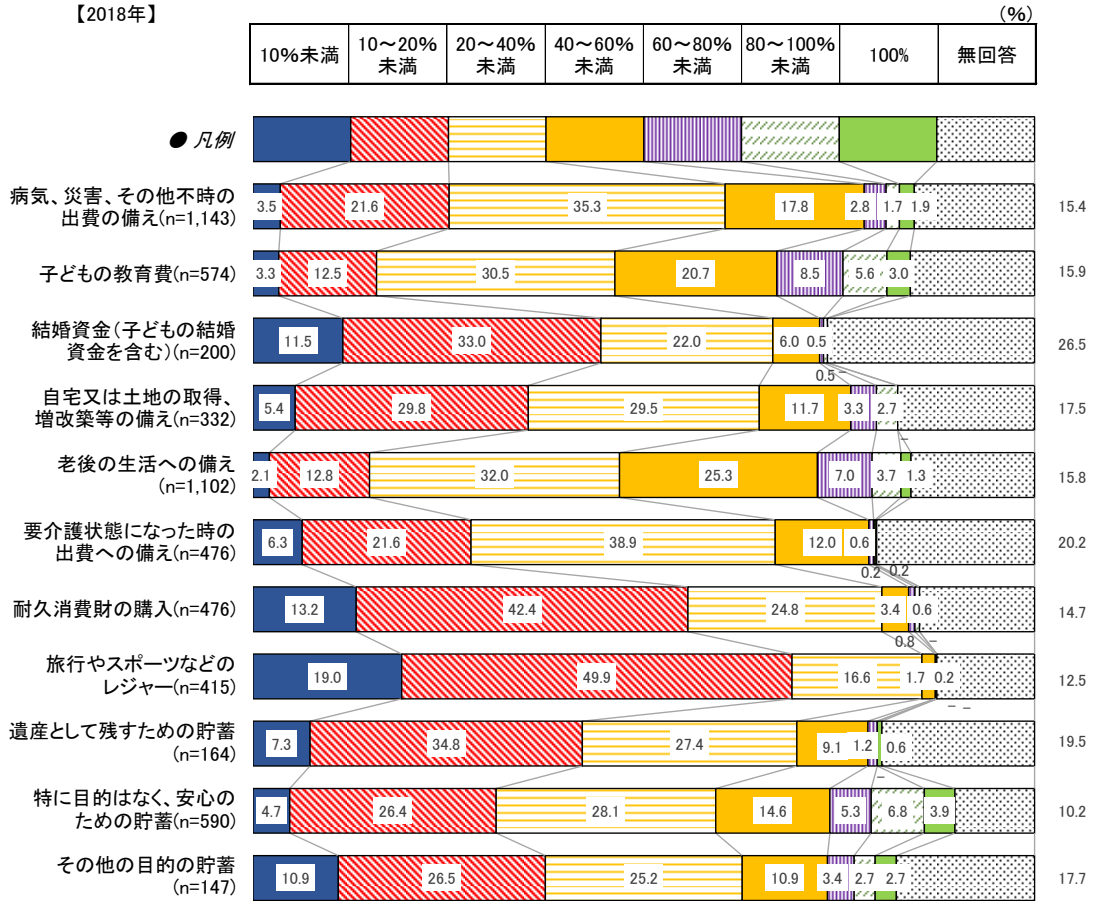


【2020年】

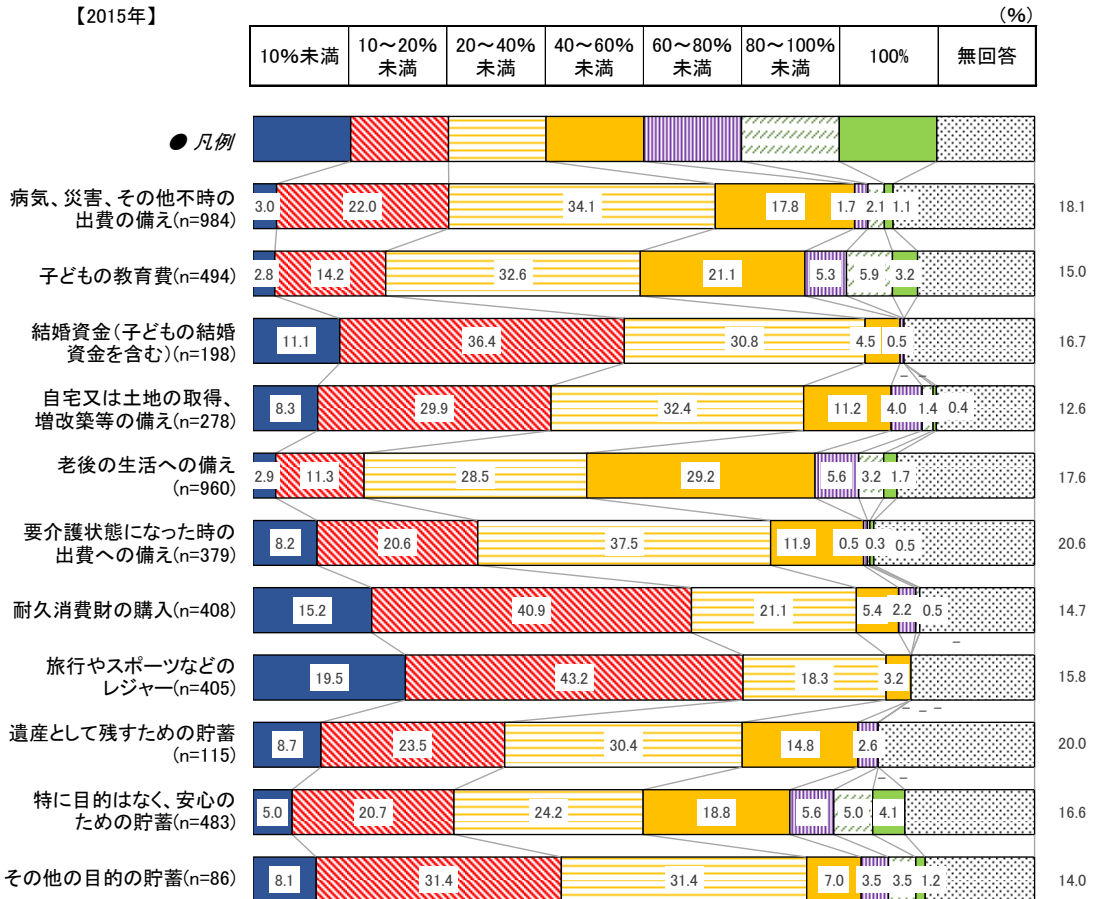
(%)



【2018年】

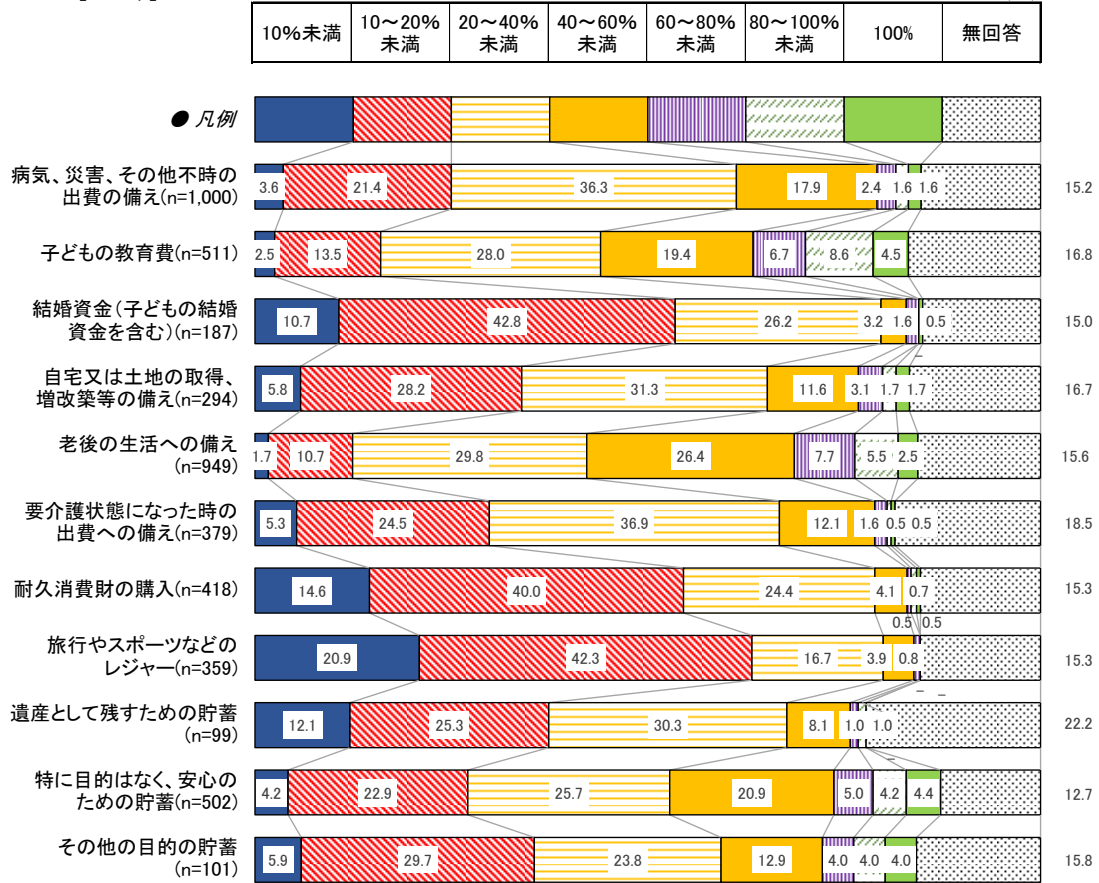


【2015年】



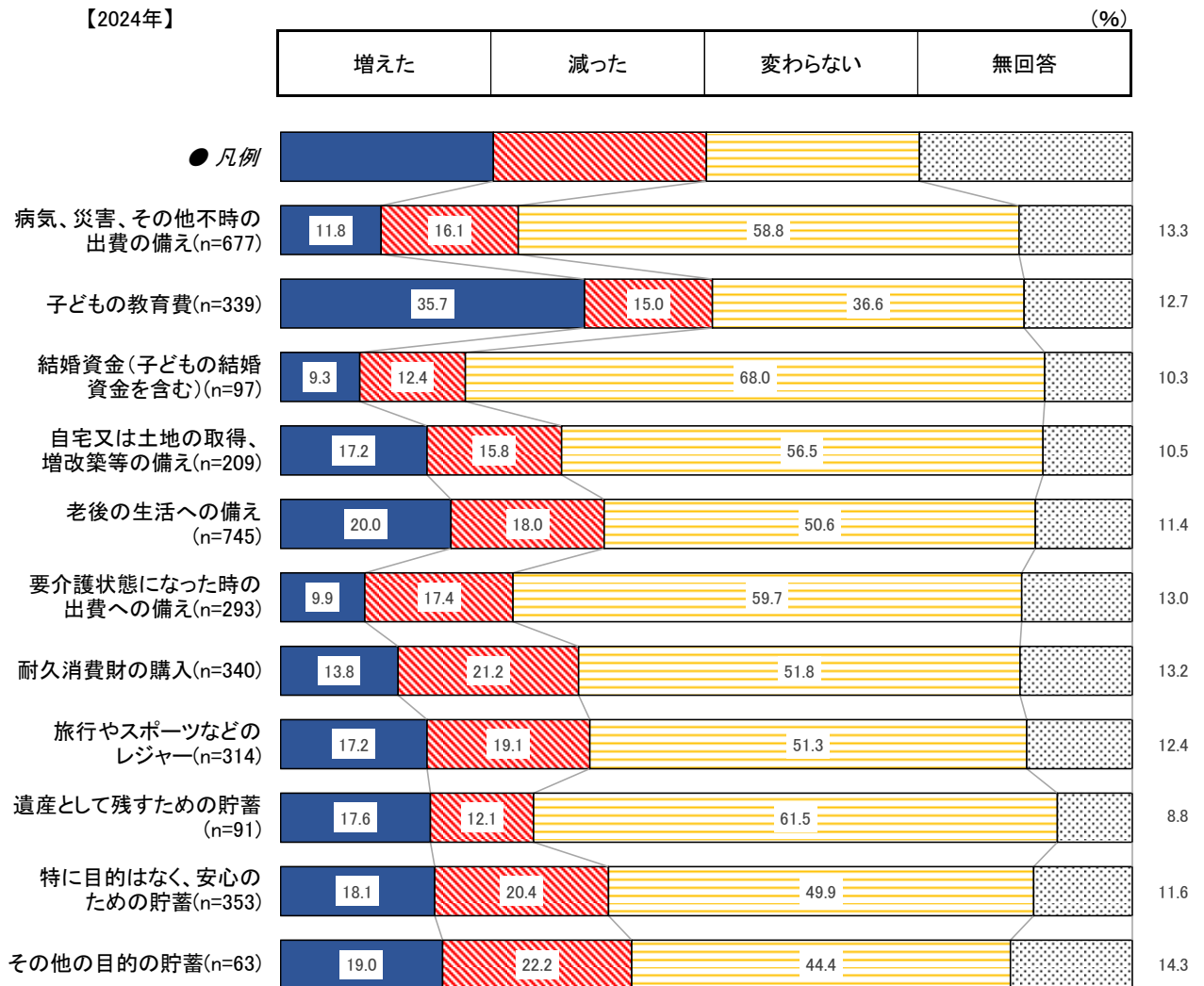
【2013年】

(%)



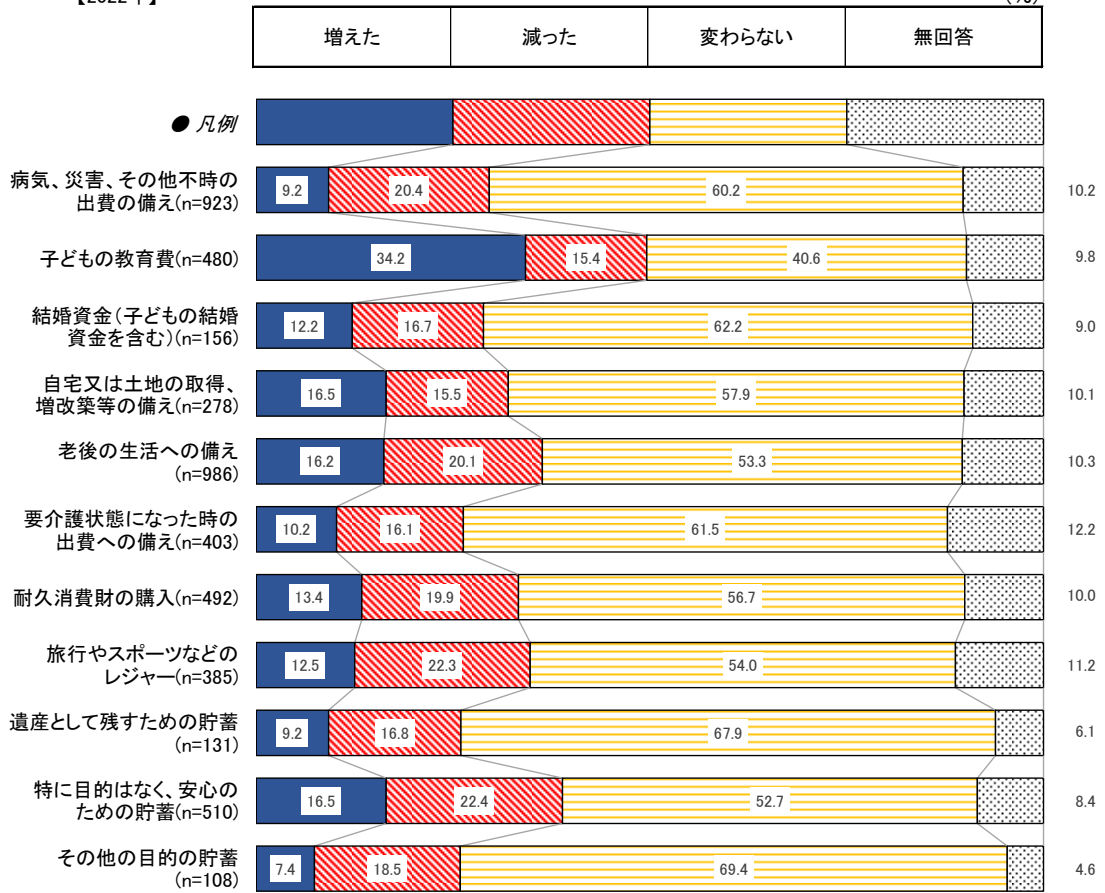
- 貯蓄目的がある人に、その目的の貯蓄の1年前に比べた増減を尋ねたところ、「増えた」の回答が多い項目は、「子どもの教育費」が35.7%で特に多く、次いで「老後の生活への備え」(20.0%)、「その他の目的の貯蓄」(19.0%)が続いた。逆に「減った」の回答は、「その他の目的の貯蓄」(22.2%)、「耐久消費財の購入」(21.2%)、「特に目的はなく安心のための貯蓄」(20.4%)で多かった。

(図表2-33) 貯蓄額の1年前との比較 (問14(3))



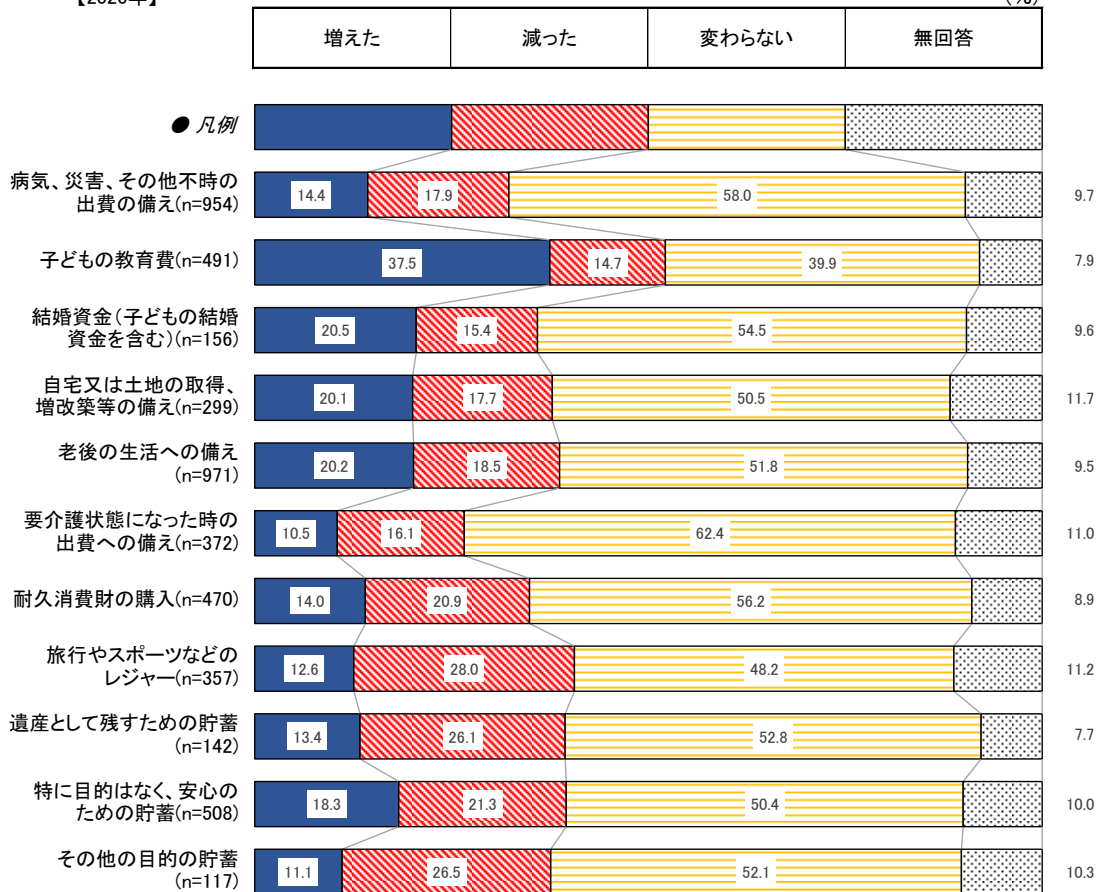
【2022年】

(%)



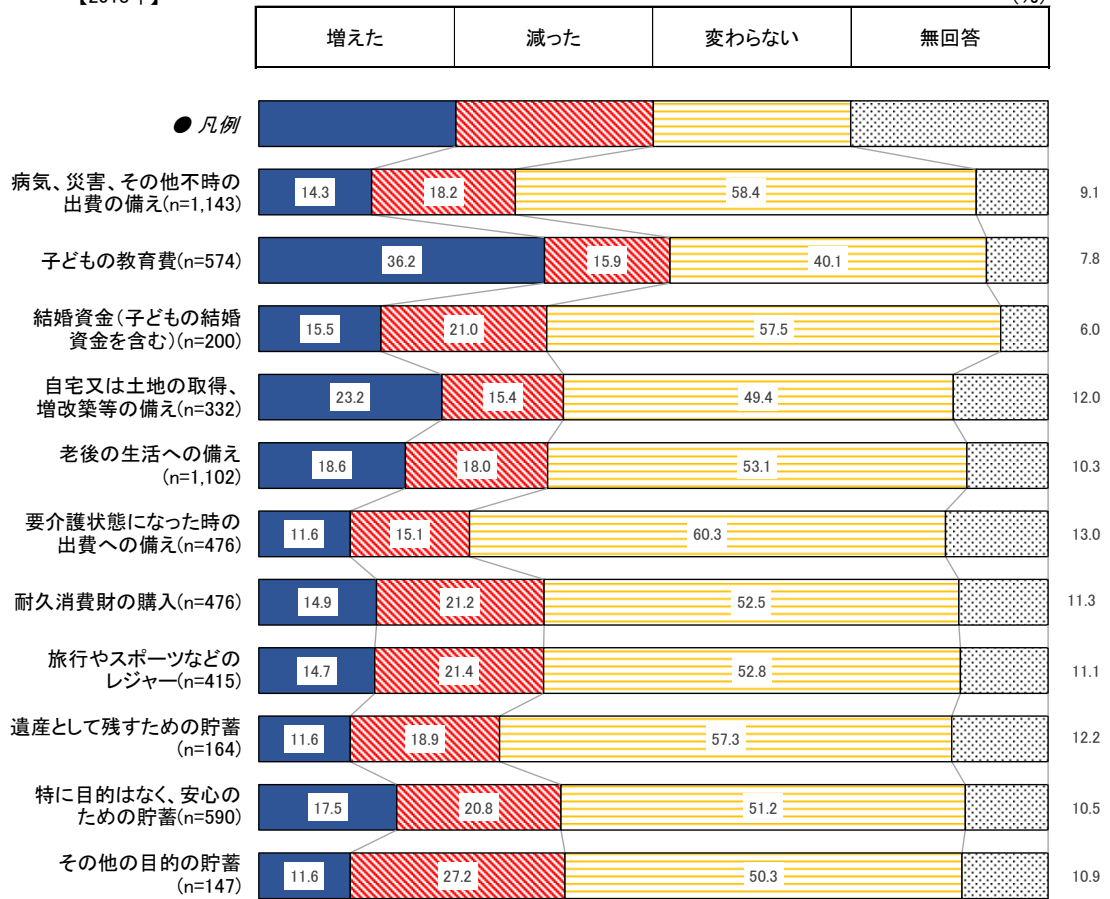
【2020年】

(%)



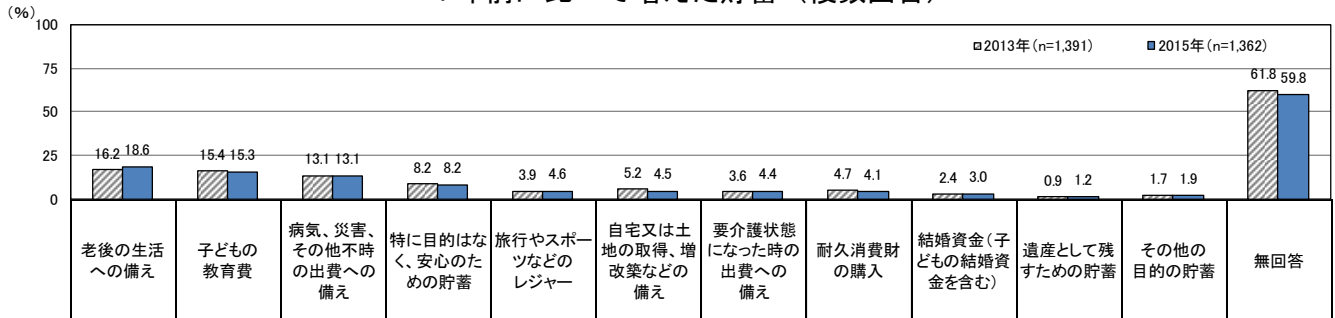
【2018年】

(%)

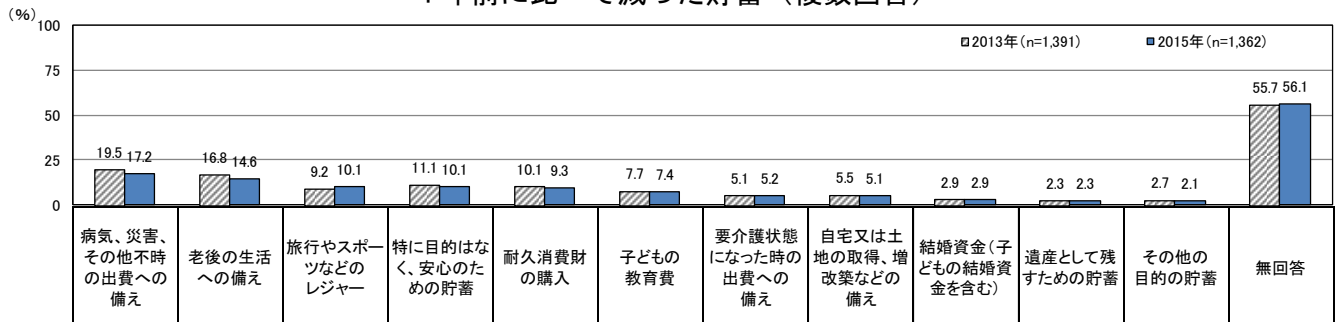


【参考】

1年前に比べて増えた貯蓄（複数回答）



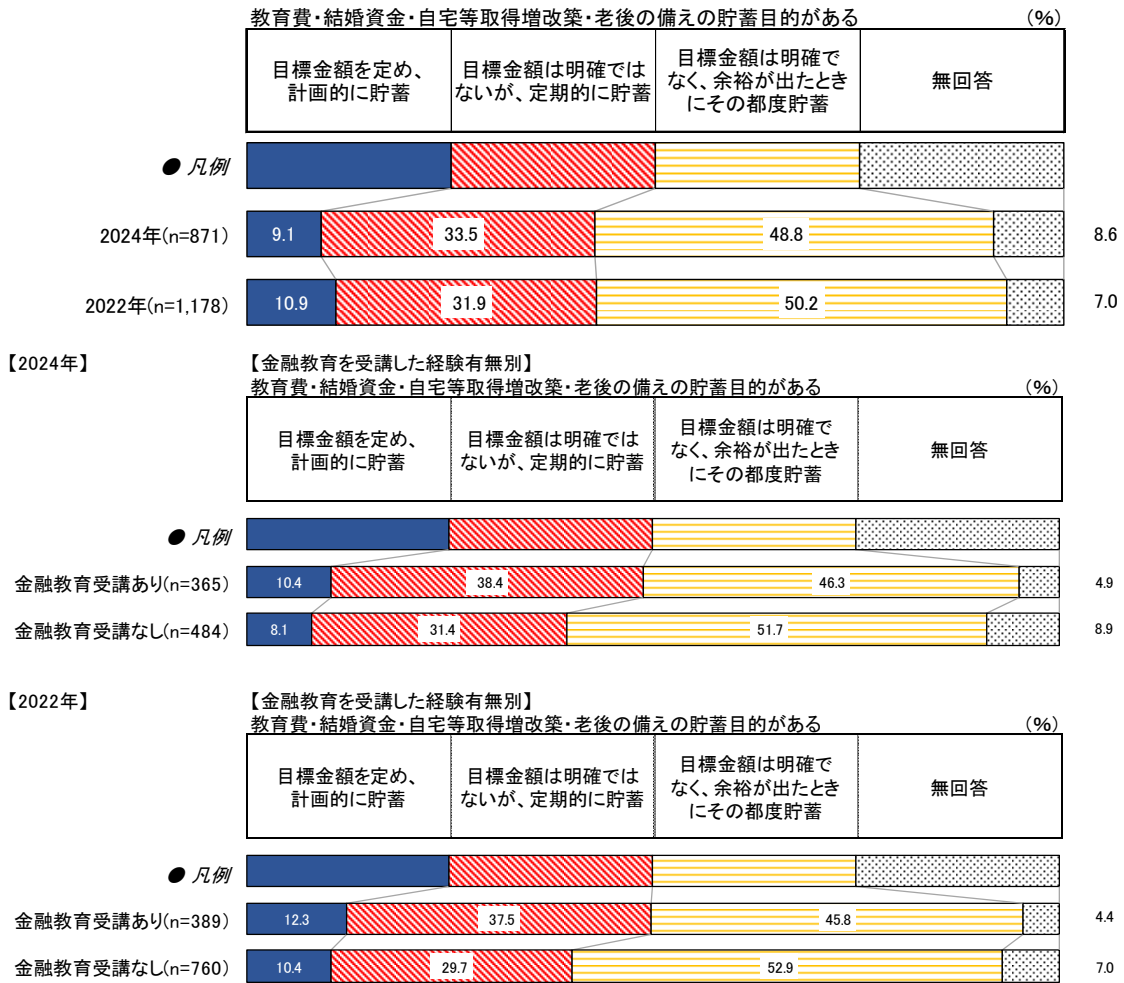
1年前に比べて減った貯蓄（複数回答）



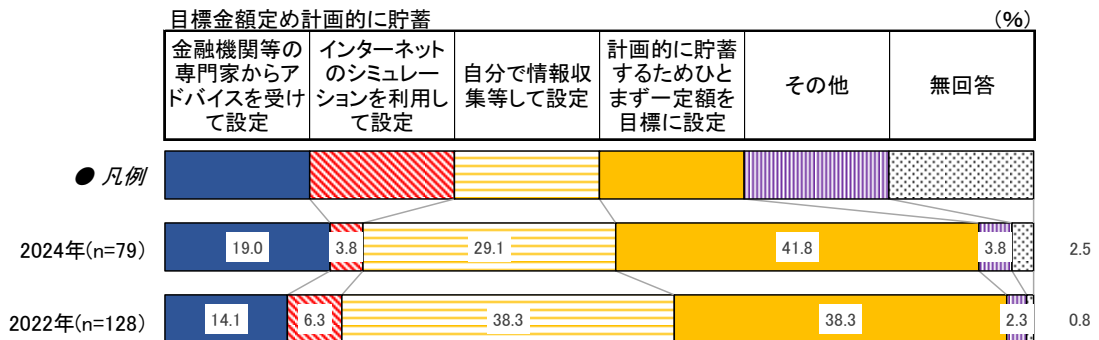
※2015年までは「1年前に比べて増えた貯蓄」と「1年前に比べて減った貯蓄」を複数回答で聞いた。

- 教育費・結婚資金・自宅等取得増改築・老後の備えの貯蓄目的がある人（871人）に、その目標金額（目安）の設定と貯蓄の状況を尋ねたところ、「目標金額は明確でなく、余裕が出たときにその都度貯蓄」が48.8%で半数を占め、「目標金額は明確ではないが、定期的に貯蓄」が33.5%、「目標金額を定め、計画的に貯蓄」は9.1%であった。
- 目標金額を定め、定期的に貯蓄している人（79人）に貯蓄目標金額の設定方法を尋ねたところ、「計画的に貯蓄するためにひとまず一定額を目標に設定」が41.8%、「自分で情報収集等して設定」が29.1%と続き、「金融専門家からアドバイスを受けて設定」が19.0%、「インターネットのシミュレーションを利用して設定」が3.8%であった。

（図表2-34）貯蓄目標金額の設定と貯蓄の状況（問14-1）



（図表2-35）貯蓄目標金額の設定方法（問14-2）



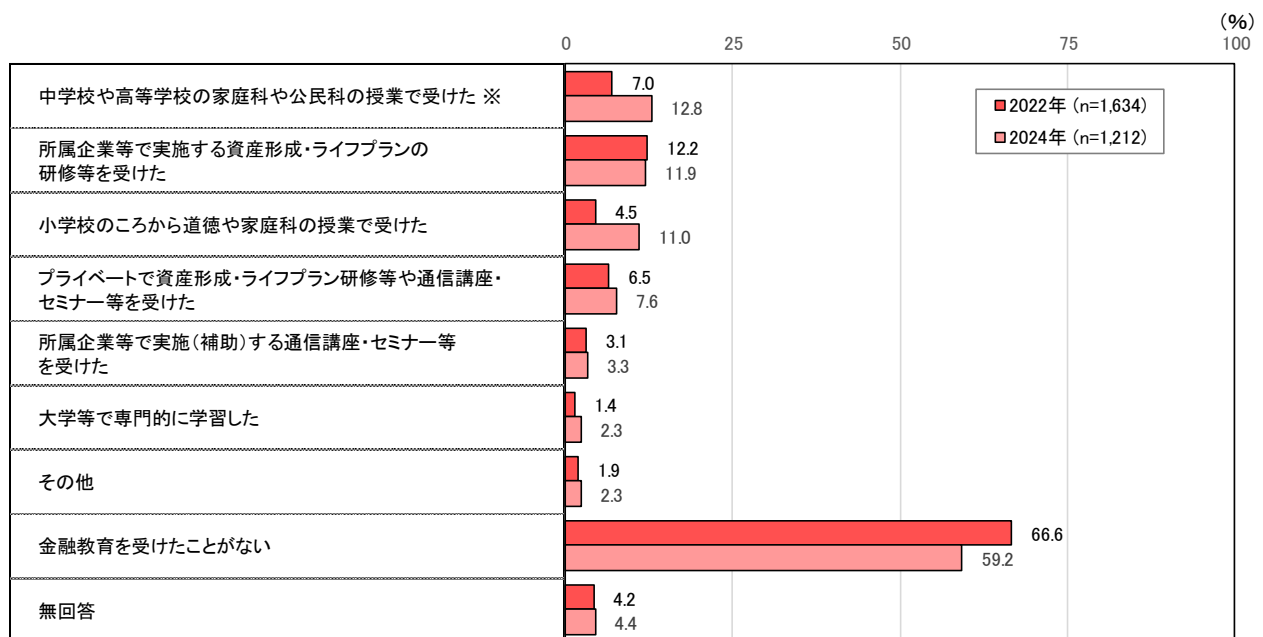


### 3. 金融教育・金融知識について

#### (1) 金融知識

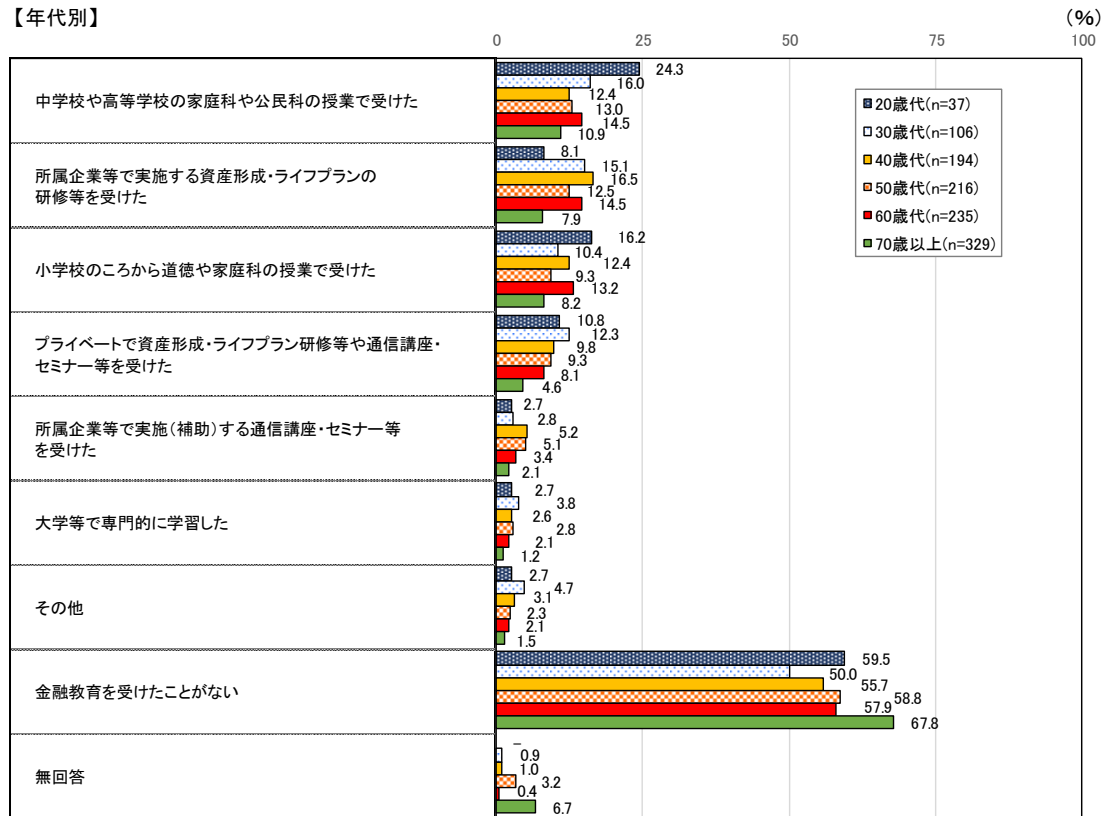
- これまでに学校や企業等の中で金融教育を受けたことがあるかを複数回答で尋ねたところ、「金融教育を受けたことがない」が過半数を占めた（59.2%）。を受けたことがある金融教育では、「中学校や高等学校の家庭科や公民科の授業で受けた」が12.8%で最多であった。
- 自身の金融知識はどのレベルにあるか尋ねたところ、『平均よりも詳しい』と答えた人の合計は9.5%、『平均よりも劣る』と答えた人の合計は48.3%、「平均的である」は21.5%であった。  
 \* 『平均よりも詳しい』は「平均よりもかなり詳しい」、「平均よりも少し詳しい」の合計。『平均よりも劣る』は「平均よりも少し劣る」、「平均よりもかなり劣る」の合計。
- 金融知識をさらに身に付けたいと思うか尋ねたところ、『そう思う』と答えた人の合計は53.5%、『そう思わない』と答えた人の合計は44.1%で、過半数がさらに身に付けたいと答えた。  
 \* 『そう思う』は「とてもそう思う」、「ややそう思う」の合計。『そう思わない』は「あまりそう思わない」、「まったくそう思わない」の合計。

(図表3-1) 金融教育を受けた経験の有無（問15、複数回答）

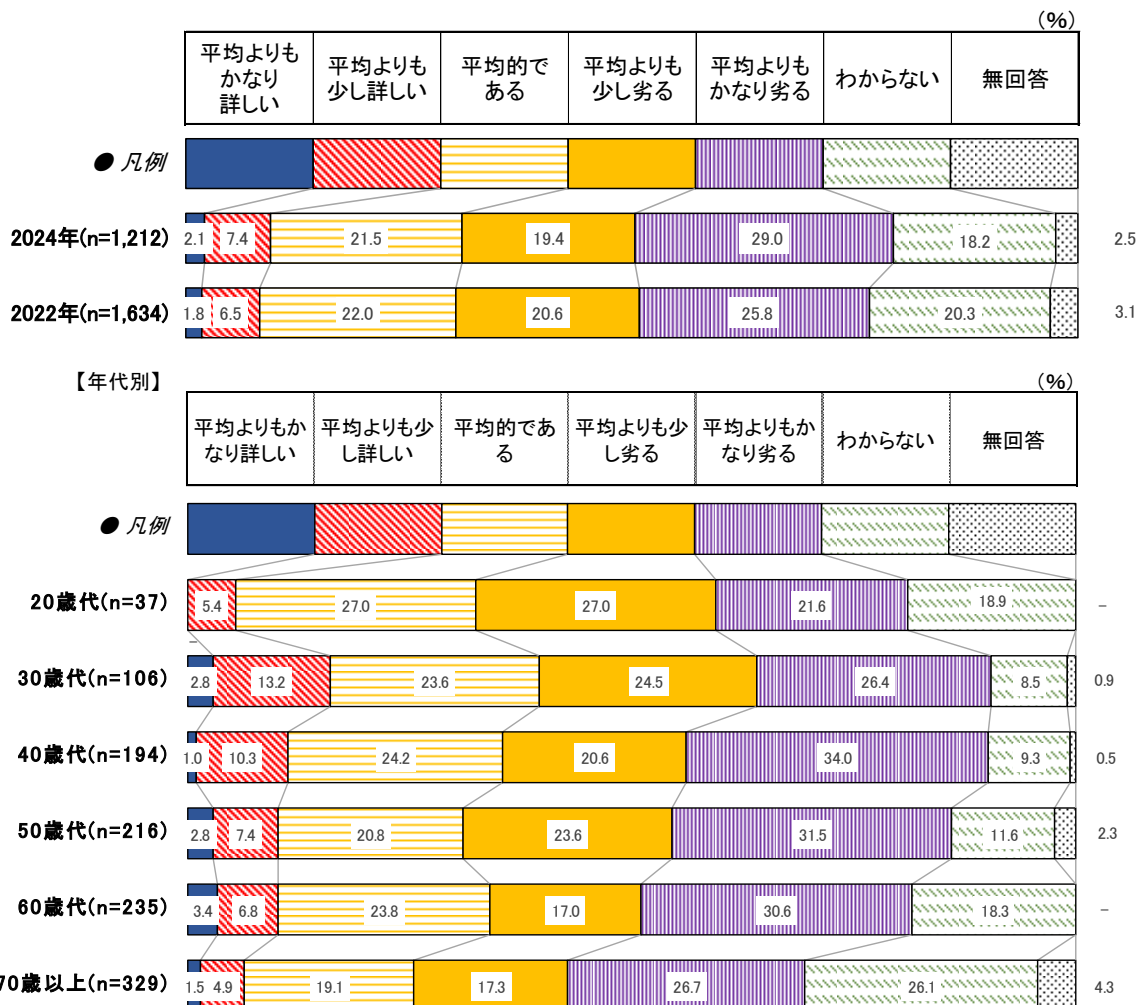


※2022年は「中学校や高等学校の公民分野の授業で受けた」

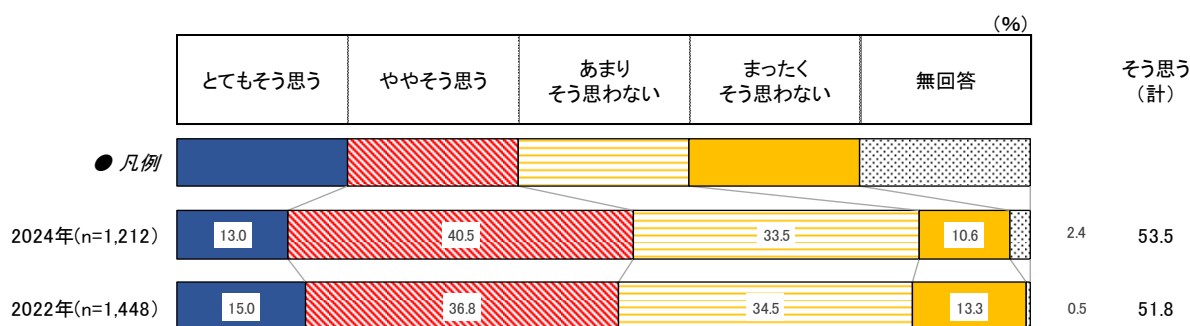
【年代別】



(図表3-2) 自身の金融知識のレベル (問16)

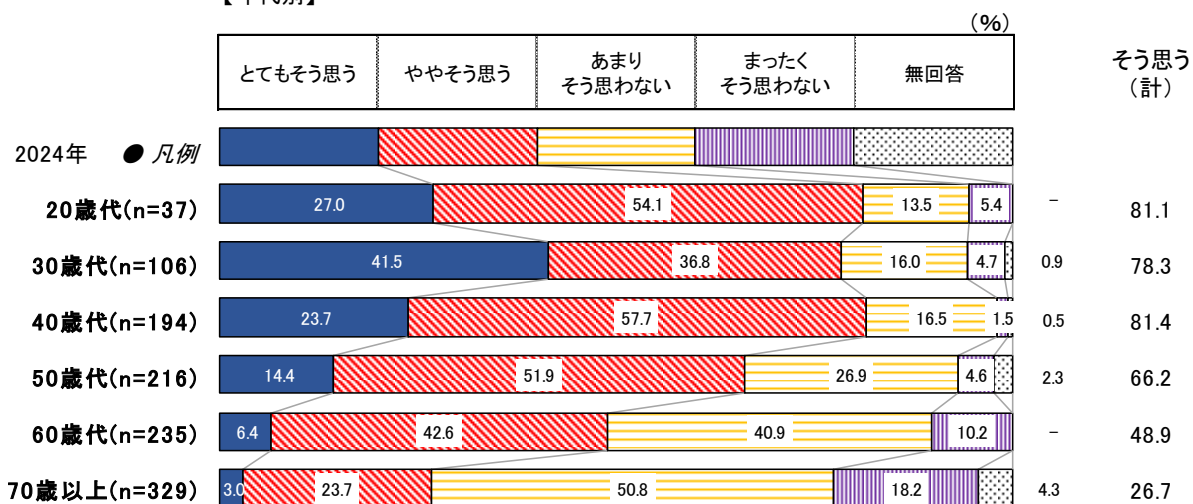


(図表3-3) 金融知識を身に付けたいと思うか (問17)



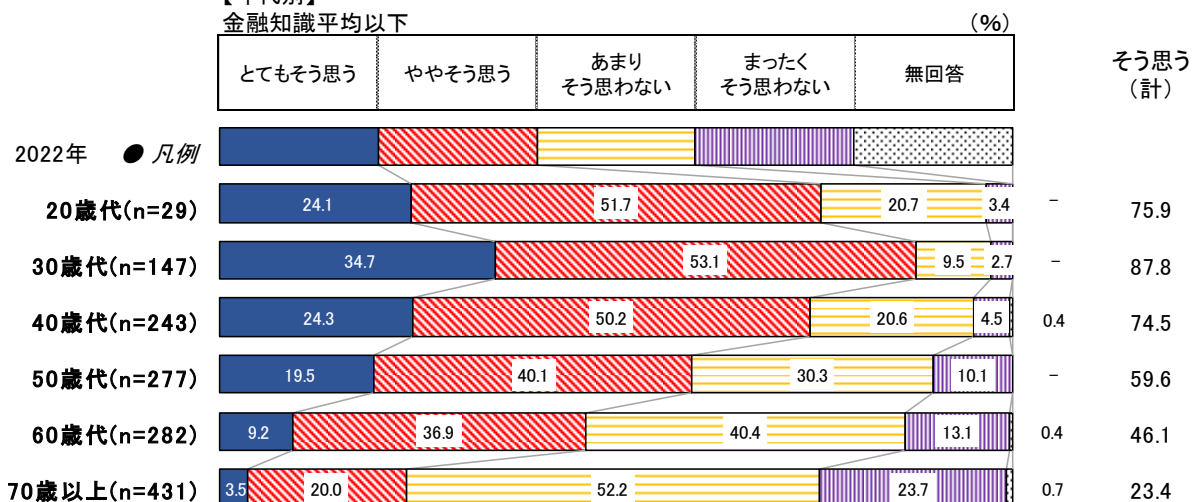
※2022年調査は自分の金融知識が「平均的である」、「平均よりも少し劣る」、「平均よりもかなり劣る」、「わからない」と答えた者のみに質問した。

【年代別】



【年代別】

金融知識平均以下



## 4. 住居について

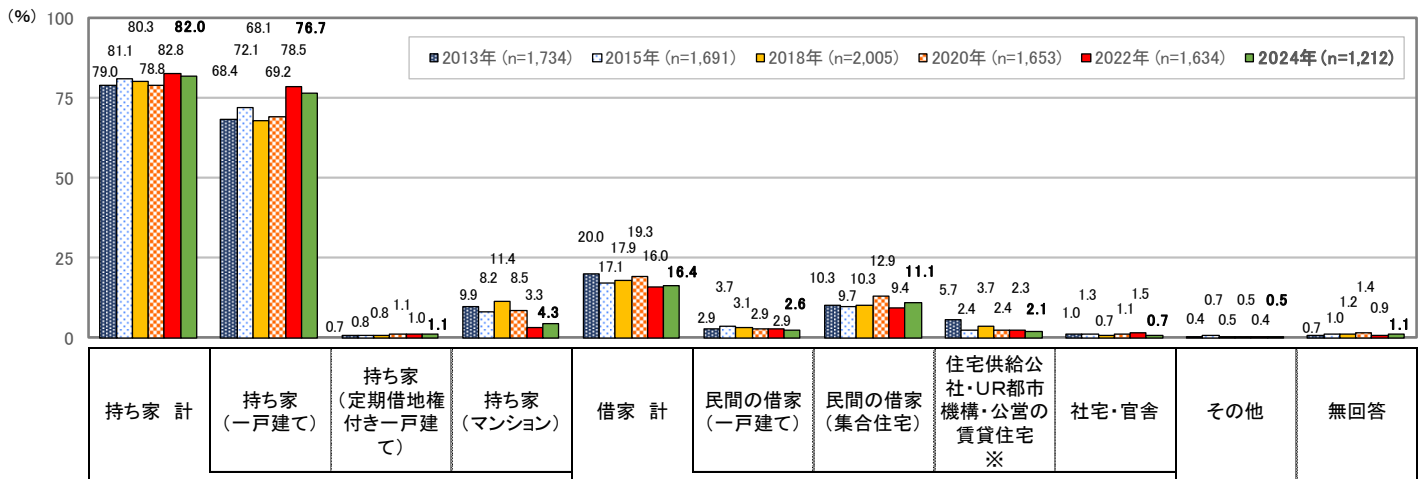
### (1) 現在の住居の住居形態・所有者・取得方法・取得時期

- 現在の住居の住居形態は、『持ち家計』が82.0%、『借家計』が16.4%であった。『持ち家計』の内訳では、「持ち家（一戸建て）」が76.7%、「持ち家（マンション）」が4.3%、『借家計』の内訳では、「民間の借家（集合住宅）」（11.1%）、「民間の借家（一戸建て）」（2.6%）、「住宅供給公社・UR都市機構・公営の賃貸住宅」（2.1%）であった。

\* 『持ち家計』は「持ち家（一戸建て）」、「持ち家（定期借地権付き一戸建て住宅）」、「持ち家（マンション）」の合計。『借家計』は「民間の借家（一戸建て）」「民間の借家（マンション、アパート等の集合住宅）」「住宅供給公社・UR都市機構・公営の賃貸住宅」「社宅・官舎」の合計

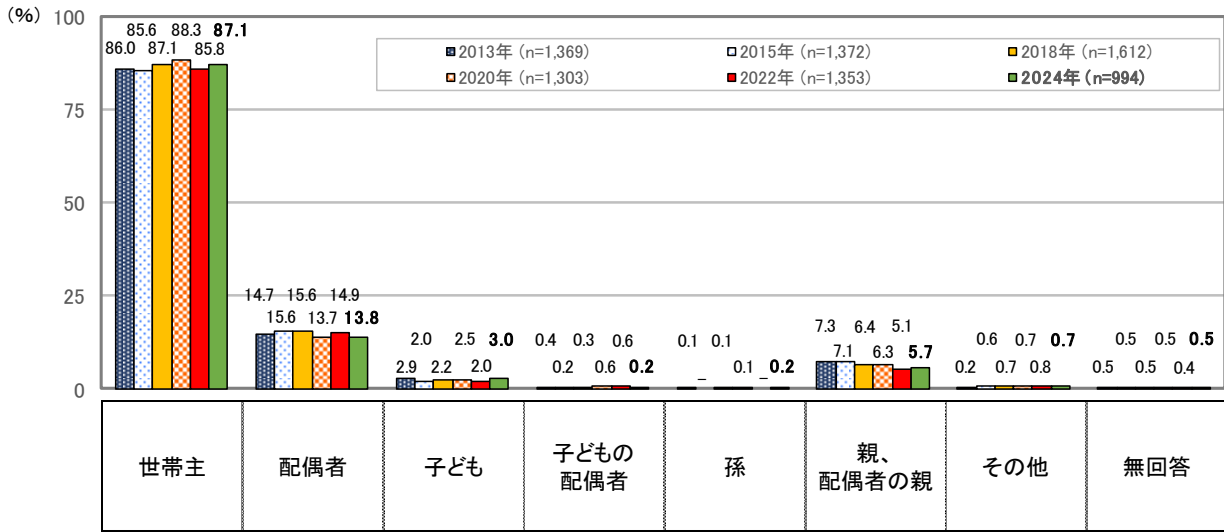
- 持ち家に居住している世帯（994人）に現在の住居（建物）の所有者を複数回答で尋ねたところ、「世帯主」が最多で87.1%、次いで「配偶者」が13.8%。「親、配偶者の親」が5.7%と続いた。
- 世帯主または配偶者所有の持ち家に居住している世帯（915人）に、住居建物の取得方法を尋ねたところ、「購入した」が78.6%、「相続または譲渡を受けた」が18.7%、「その他」が1.2%であった。
- 世帯主または配偶者所有の持ち家に居住している世帯（915人）に、住居建物を購入・相続・譲渡した時期を尋ねたところ、「10～15年未満」が最も多く13.2%、続いて「5～10年未満」が12.2%、「30～40年未満」が11.6%であった。

(図表4-1) 現在の住居の住居形態（問18）

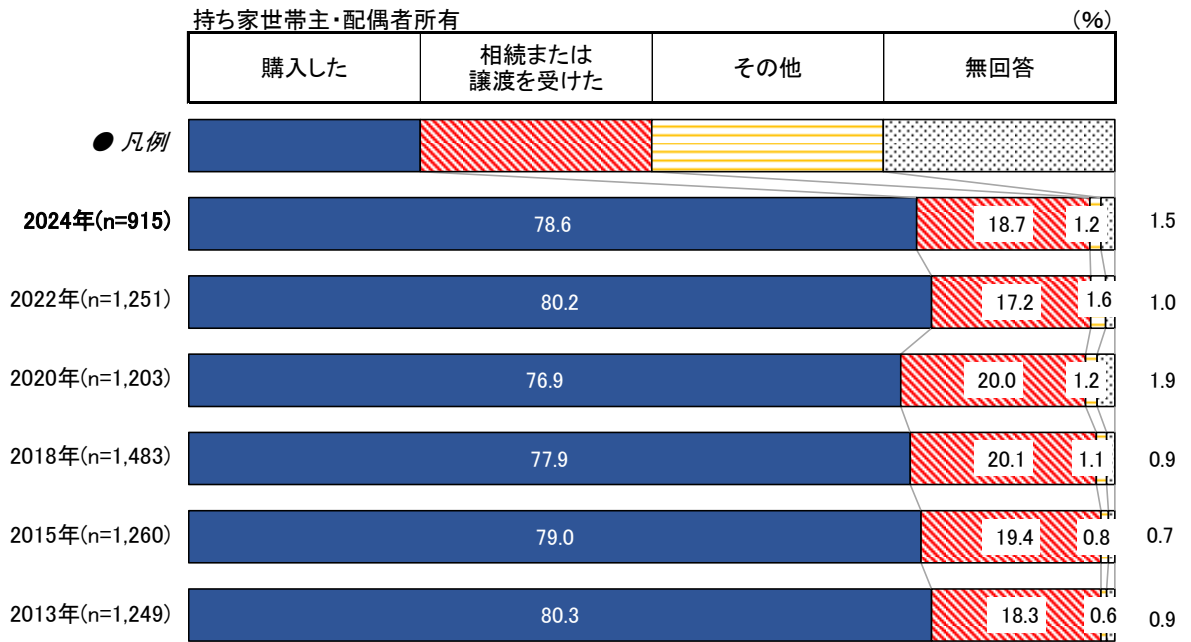


※2018年までは「公団・公社・公営の賃貸アパート」と表記

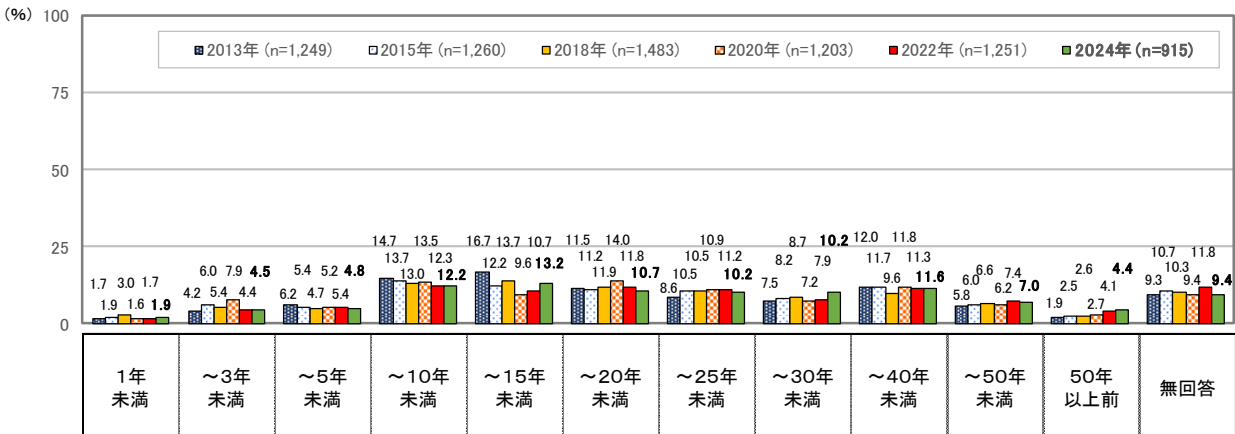
(図表 4-2) 現在の住居建物の所有者 (問 18-1、複数回答)



(図表 4-3) 現住の住居建物の取得方法 (問 18-2)



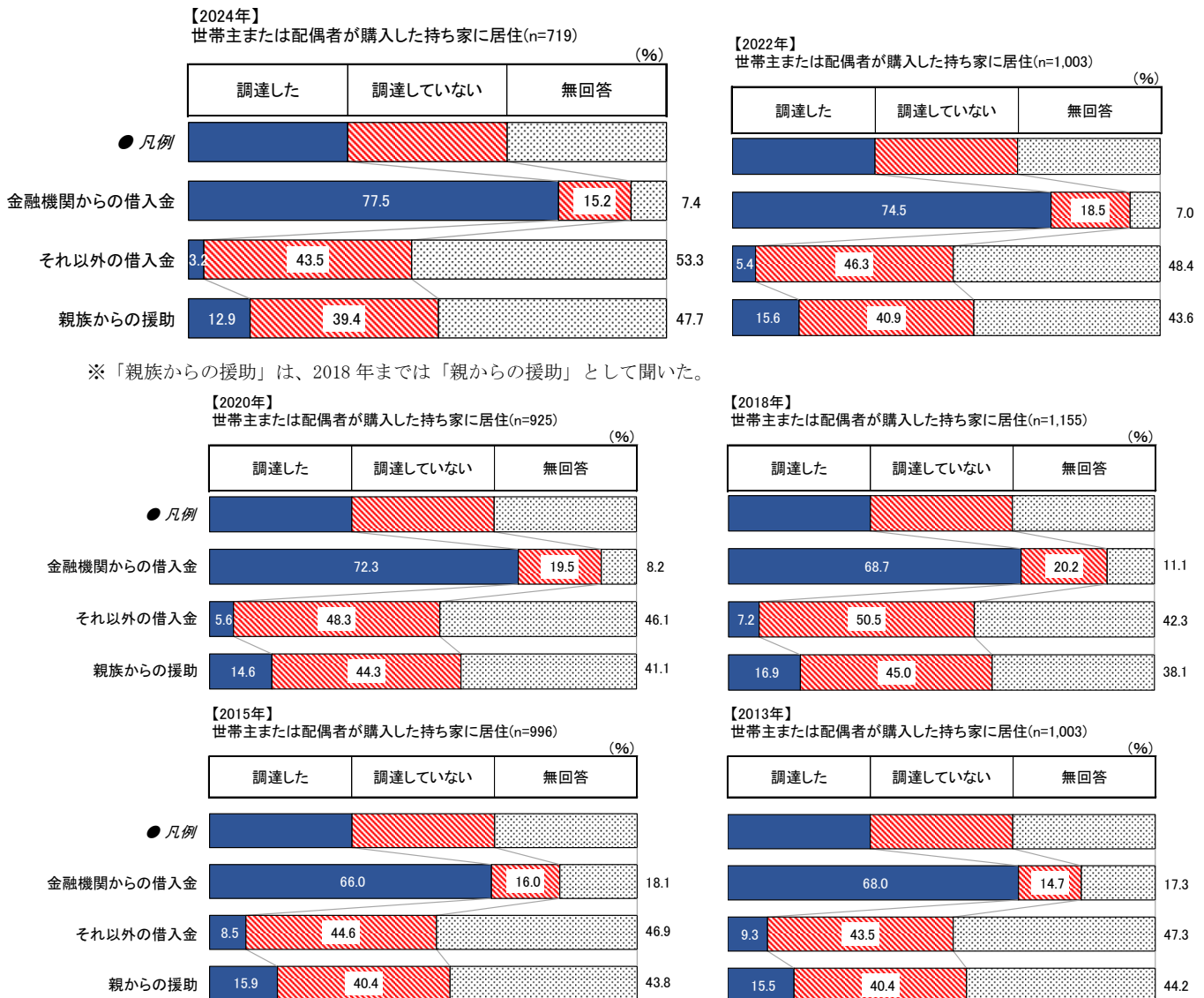
(図表 4-4) 住居の建物を購入、相続、譲渡した時期 (問 18-3)



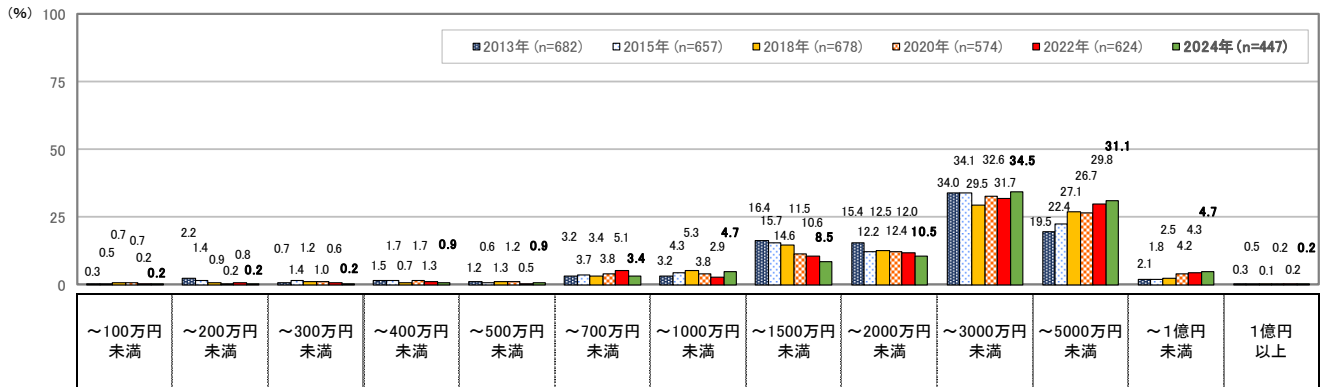
## (2) 住居の購入資金

- 世帯主または配偶者が購入した持ち家に居住している世帯（719人）に資金調達の内訳を尋ねたところ、金融機関からの借入金は77.5%、それ以外の借入金は3.2%、親族からの援助を受けたのは12.9%であった（※調達元それぞれについて調達の有無を回答）。
- 金融機関からの借入金を調達した世帯（447人）の借入金は、「2000～3000万円未満」が最多で34.5%、「3000～5000万円未満」が31.1%、「1500～2000万円未満」が10.5%。
- 金融機関以外の借入金を調達した世帯（18人）の借入金は、「700～1000万円未満」、「300～400万円未満」がいずれも22.2%で並び、続いて「1000～1500万円未満」が16.7%、「500～700万円未満」が11.1%。
- 親族からの援助を調達した世帯（86人）の借入金は、「500～700万円未満」が最多で25.6%、「1000～1500万円未満」が22.1%、続いて「100～200万円未満」が12.8%。

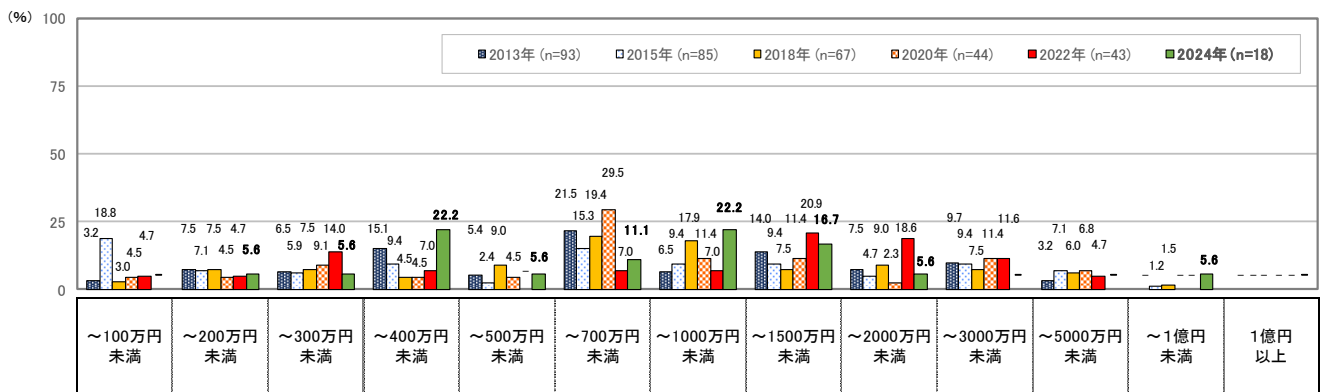
(図表4-5) 購入資金調達有無 (問18-4①、問18-4②、問18-4③)



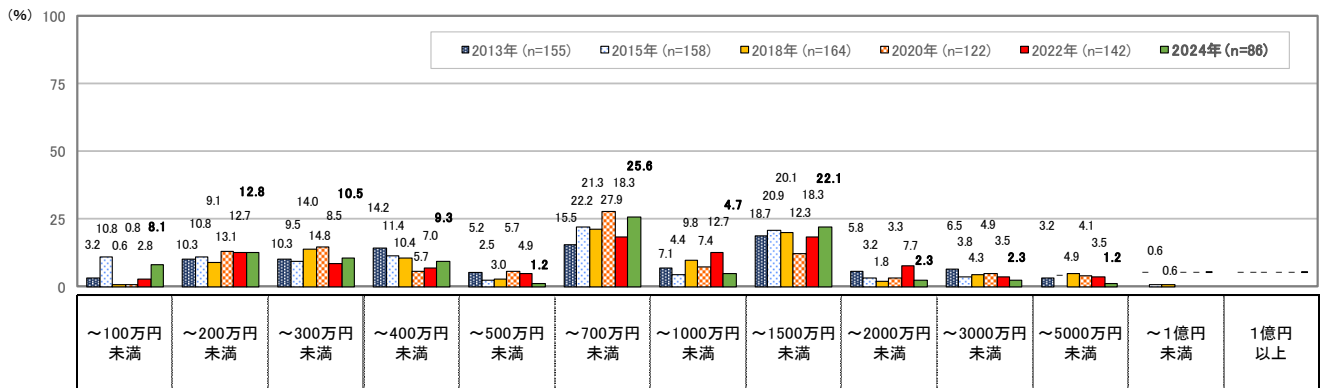
(図表 4-6) 資金調達内訳 (金融機関からの借入金) (問 18-4 ①)



(図表 4-7) 資金調達内訳 (金融機関以外の借入金) (問 18-4 ②)



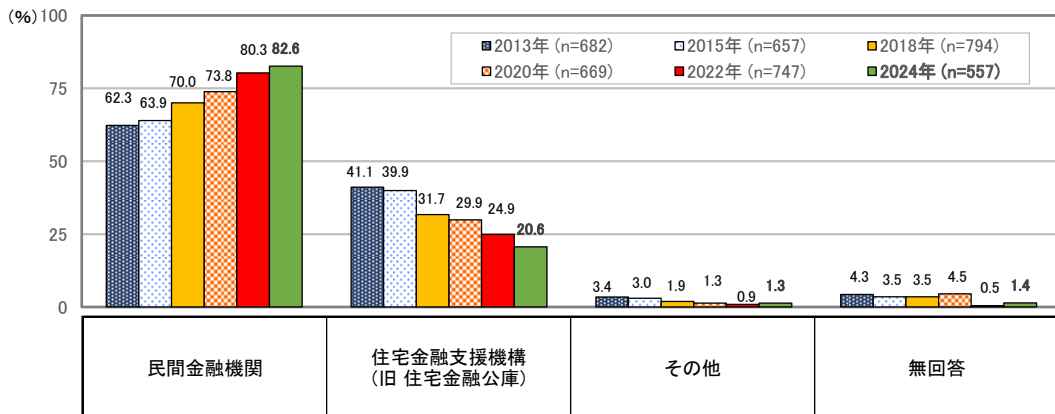
(図表 4-8) 資金調達内訳 (親族からの援助) (問 18-4 ③)



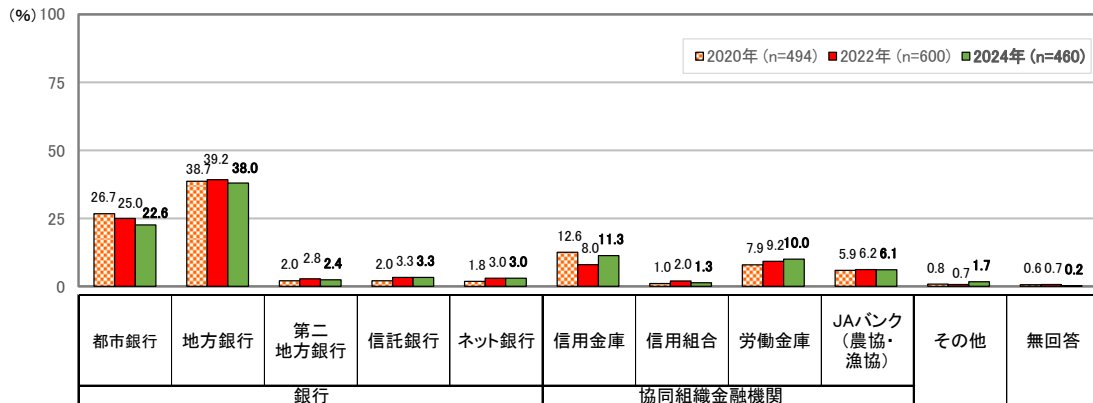
### (3) 現在の住居の購入資金調達先

- 世帯主または配偶者が購入した持ち家に居住している世帯のうち、金融機関からの借入で調達した世帯（557人）が主に調達した金融機関種別を複数回答で尋ねたところ、「民間金融機関」が82.6%、「住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）」が20.6%、「その他」が1.3%であった。2013年からの推移では、「民間金融機関」は増加傾向、逆に「住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）」は減少傾向にある。
- 「民間金融機関」で主に調達した世帯（460人）に借入先金融機関を尋ねたところ、「銀行」が69.3%、「協同組織金融機関」が28.7%、「その他」が1.7%であった。

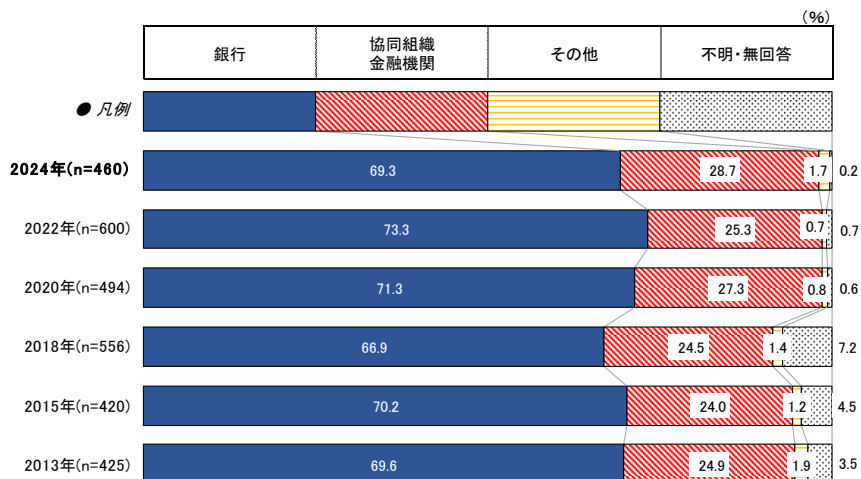
(図表4-9) 主に調達した金融機関（問18-5、複数回答）



(図表4-10) 最も借入金額の多い民間金融機関（問18-6）



(図表4-10-1) 主に調達した民間の金融機関（問18-6）



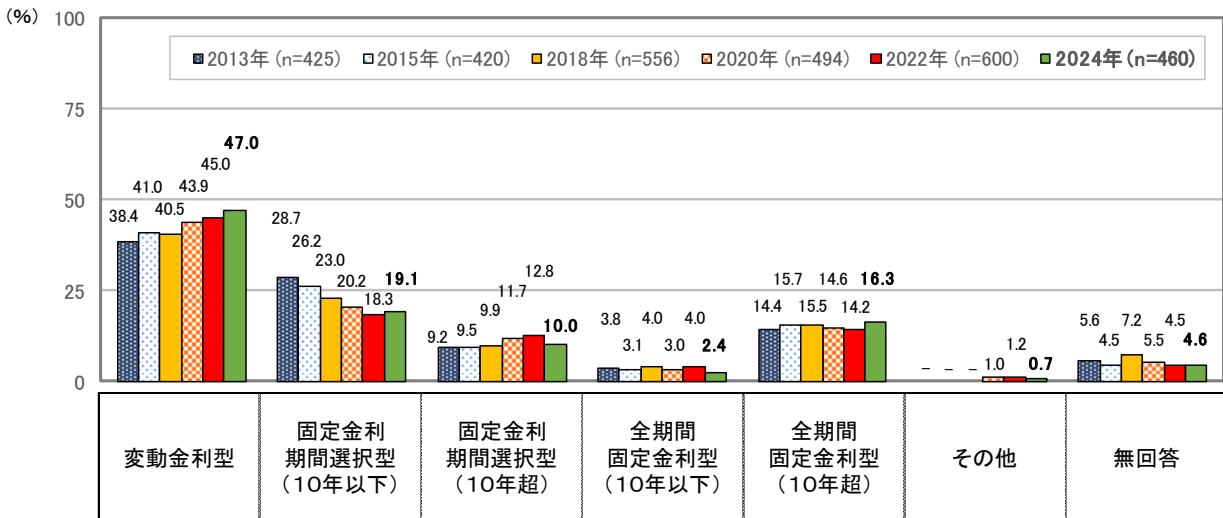
※2018年までは、金融機関名の自由記述回答を左記の分類で整理していた。



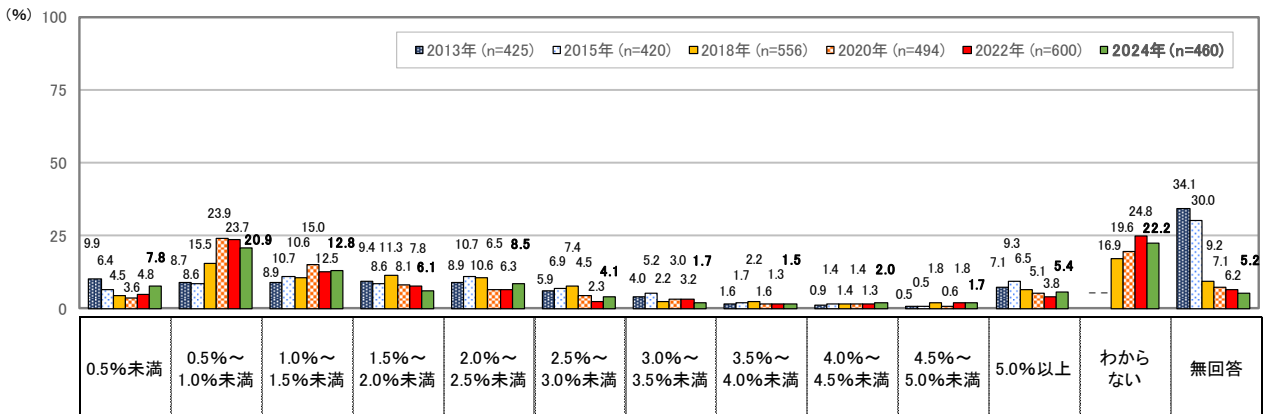
#### (4) 民間金融機関からの借入金の金利

- 主に「民間金融機関」から調達した世帯（460人）の借入金の金利タイプは、「変動金利型」が47.0%で最も多く、次いで「固定金利期間選択型（10年以下）」（19.1%）、「全期間固定金利型（10年超）」（16.3%）の順であった。
- 民間金融機関からの借入金利率としては、「0.5%～1.0%未満」が20.9%で最も多く、次いで「1.0%～1.5%未満」が12.8%だった。一方、「わからない」が22.2%に上った。

(図表4-11) 民間金融機関からの借入金の金利タイプ (問18-7)



(図表4-12) 民間金融機関からの借入金の金利 (問18-8)



(5) 現在の住居の資産価値

- 現在の住居が持ち家またはその他（借家以外）の世帯（1,000人）に、保有している土地、建物の時価評価額について尋ねたところ、保有している土地・建物ともに「1000～1500万円未満」がそれぞれ9.6%、8.8%と最多であった。
- 現在の住居が持ち家またはその他（借家以外）の世帯（1,000人）に、現在の住居の3年後の資産価値がどのようになると思うかを尋ねたところ、「下がる」が43.1%、「変わらない」が31.0%、「上がる」が11.0%であった。2013年からの推移では、「下がる」は減少傾向で、「変わらない」が比較的增加傾向にある。
- 資産価値が「下がる」と回答した人（431人）に、下落幅の程度を尋ねたところ、「5%～10%未満」が最も多く29.7%、続いて「5%未満」が26.9%、「10%～20%未満」が19.3%であった。
- 資産価値が「上がる」と回答した人（110人）に、上昇幅の程度を尋ねたところ、「5%未満」（50.0%）が半数を占め、次いで「5%～10%未満」が32.7%、「10%～20%未満」が13.6%であった。

(図表4-13) 居住している土地・建物の時価評価額（問19）

	【2024年】		(%)
	現在居住している土地 (n=1,000)	現在居住している建物 (n=1,000)	合計 (n=1,000)
～100万円未満	1.6	4.9	0.2
～200万円未満	2.0	3.6	0.6
～300万円未満	2.4	3.4	1.0
～400万円未満	2.3	2.8	0.8
～500万円未満	0.5	1.5	1.4
～700万円未満	6.3	6.2	2.6
～1000万円未満	3.8	3.6	4.2
～1500万円未満	9.6	8.8	6.2
～2000万円未満	3.4	3.4	5.6
～3000万円未満	6.1	5.6	9.1
～5000万円未満	6.1	3.0	10.4
～1億円未満	1.2	0.4	4.7
1億円以上	0.4	0.1	0.7
無回答	54.3	52.7	52.5

※2024年は「現在居住している土地」と「現在居住している建物」のみを全員に聞いた。  
2022年以前は「その他の土地および建物」、「その他」もたずねており、合計にはそれらを含む。  
また、2022年以前は各資産項目を持っているとした該当者にのみ金額をたずねている。

【過去】

【2022年】

(%)

	現在居住 している土地	現在居住 している建物	合計
	(n=1,128)	(n=1,158)	(n=1,634)
～100万円未満	1.4	7.3	1.6
～200万円未満	2.6	6.4	0.1
～300万円未満	2.7	5.4	0.3
～400万円未満	3.7	6.1	0.5
～500万円未満	1.6	2.1	0.4
～700万円未満	11.0	11.9	1.7
～1000万円未満	7.4	3.8	1.7
～1500万円未満	16.8	10.9	3.0
～2000万円未満	6.5	4.9	2.8
～3000万円未満	8.7	7.2	4.3
～5000万円未満	4.6	3.5	2.8
～1億円未満	1.9	0.2	1.5
1億円以上	0.4	-	0.5
無回答	30.7	30.5	3.8

【2020年】

(%)

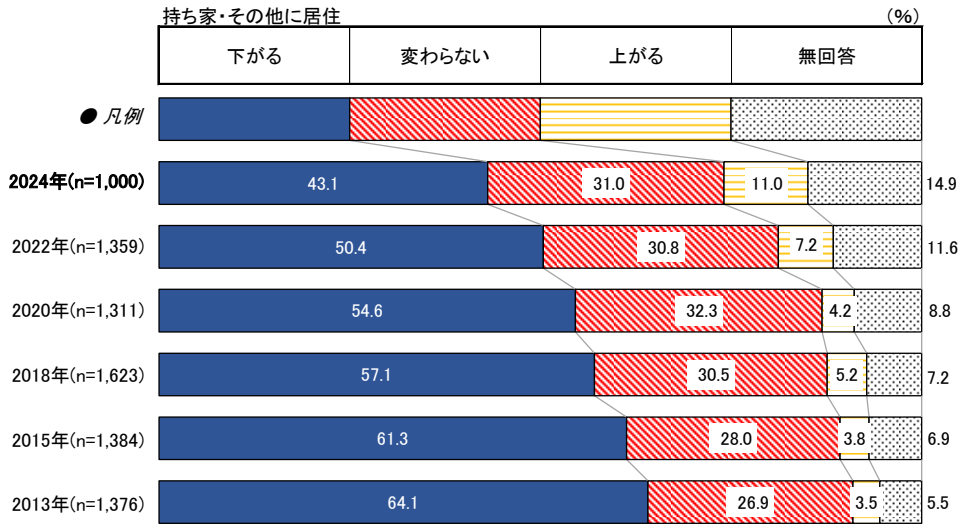
	現在居住 している土地	現在居住 している建物	合計
	(n=1,000)	(n=1,063)	(n=1,653)
～100万円未満	1.5	9.6	1.4
～200万円未満	3.8	7.4	0.5
～300万円未満	2.6	5.1	0.6
～400万円未満	5.9	4.5	0.7
～500万円未満	2.9	2.4	0.7
～700万円未満	9.5	10.3	1.8
～1000万円未満	6.3	3.5	1.4
～1500万円未満	12.8	10.0	3.4
～2000万円未満	6.0	3.7	2.1
～3000万円未満	9.2	6.2	4.2
～5000万円未満	4.7	2.7	2.1
～1億円未満	0.8	1.4	1.3
1億円以上	0.2	-	0.4
無回答	33.8	33.2	9.4

【2018年】

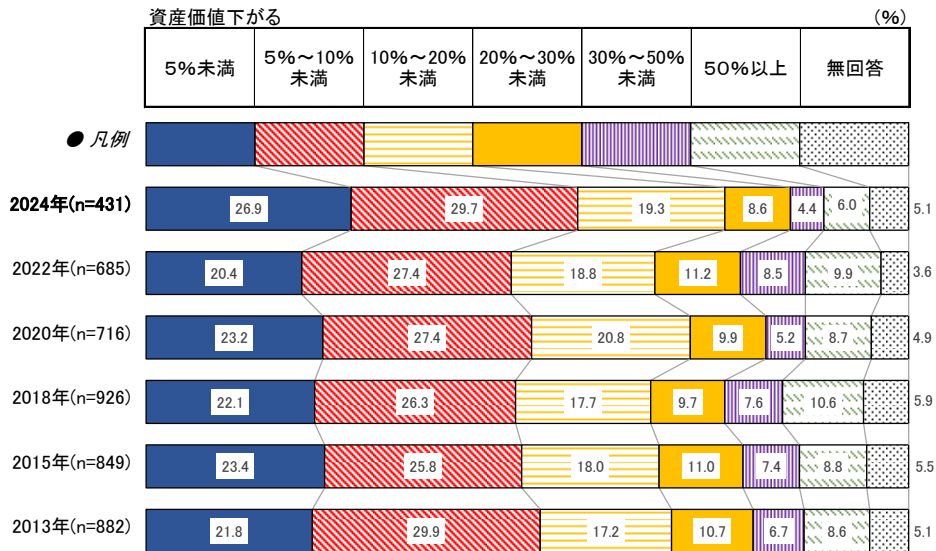
(%)

	現在居住 している土地	現在居住 している建物	合計
	(n=1,202)	(n=1,339)	(n=2,005)
～100万円未満	1.7	8.0	1.5
～200万円未満	3.1	4.9	0.4
～300万円未満	1.6	4.3	0.3
～400万円未満	3.2	4.1	0.4
～500万円未満	2.2	1.3	0.4
～700万円未満	9.5	9.5	1.9
～1000万円未満	7.2	4.8	2.3
～1500万円未満	13.7	10.4	3.1
～2000万円未満	5.3	4.0	2.2
～3000万円未満	6.7	6.3	5.0
～5000万円未満	4.9	3.2	3.5
～1億円未満	1.7	1.0	1.8
1億円以上	0.7	0.1	0.9
無回答	38.5	38.2	76.0

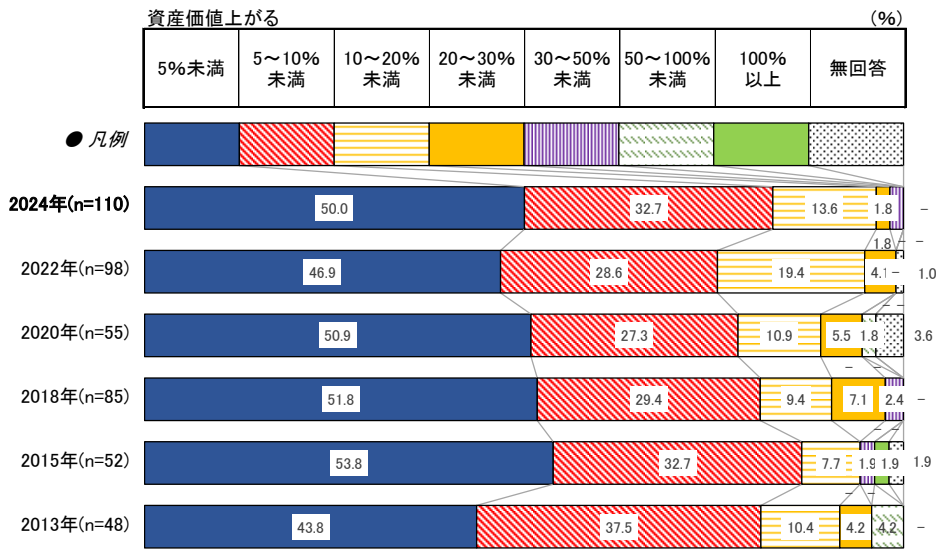
(図表 4-14) 現在の住居の3年後の資産価値 (問19-1)



(図表 4-15) 現在の住居の3年後の資産価値下落幅 (問19-2)



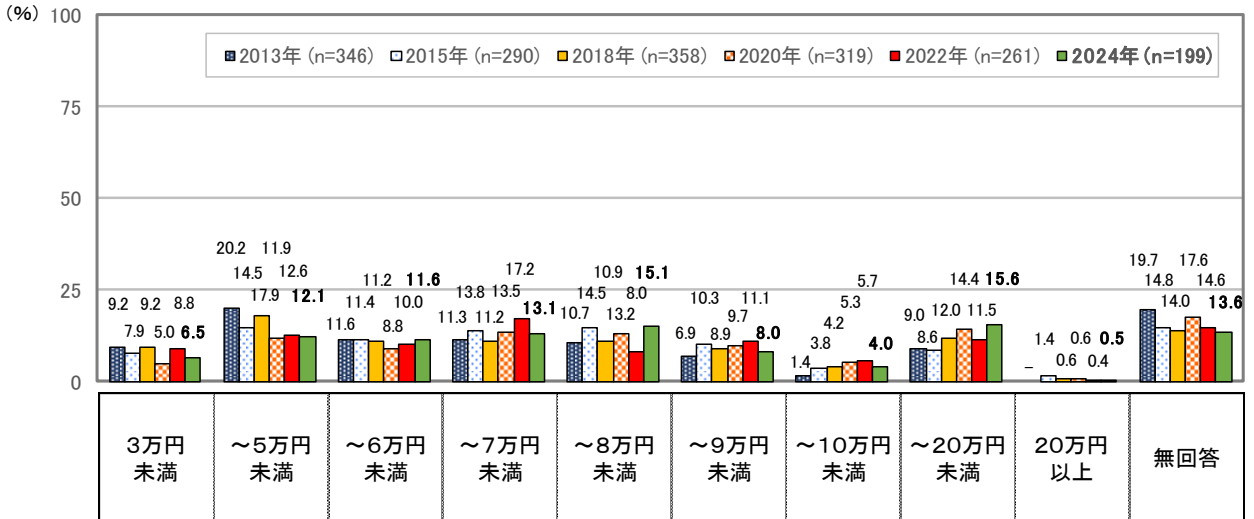
(図表 4-16) 現在の住居の3年後の資産価値上昇幅 (問19-2)



(6) 現在の住居の家賃

- 現在賃貸住宅または社宅・官舎に居住している世帯（199人）に現在の住居のひと月の家賃（共益費、管理費を含む）を尋ねたところ、「10～20万円未満」が15.6%を占めた。次いで「7～8万円未満」が15.1%、「6～7万円未満」が13.1%であった。

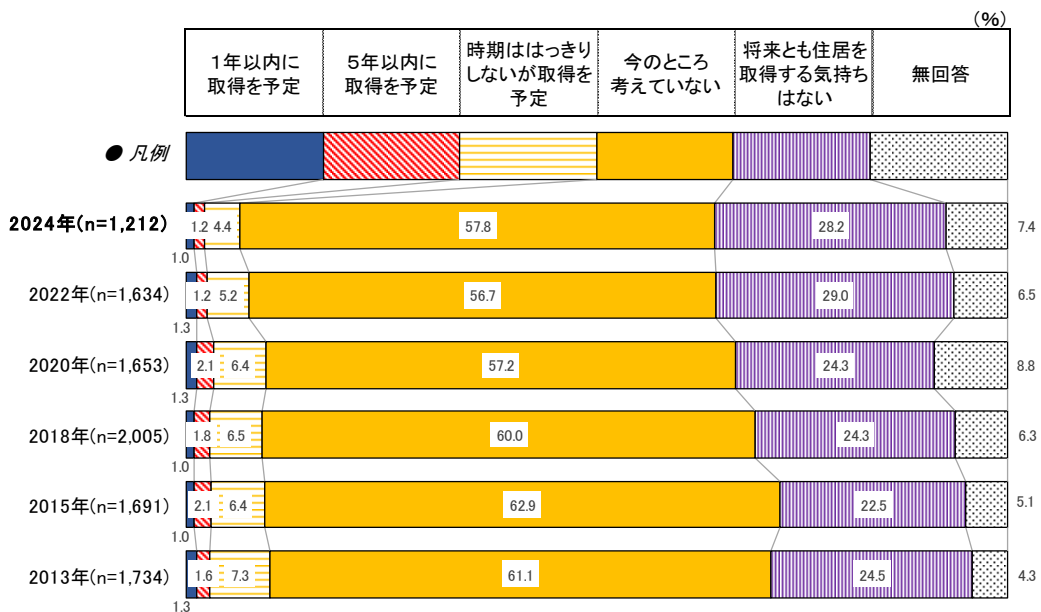
(図表4-17) 現在の住居の家賃（問20）



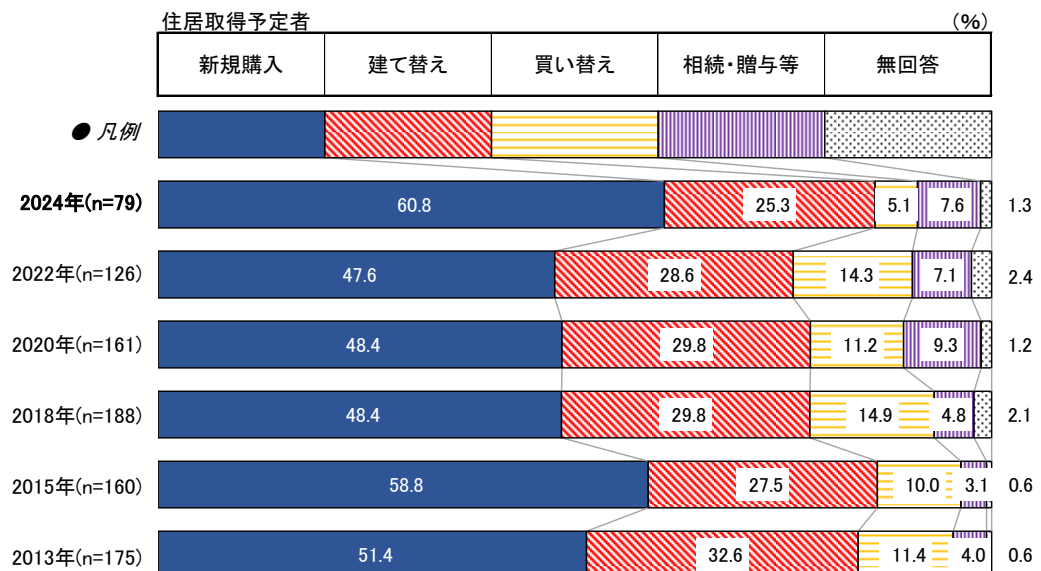
(7) 住居の取得予定

- 住居の取得（建て替え、買い替えなどを含む）予定について尋ねたところ、住居の取得予定の有無は、「今のところ考えていない」が 57.8%を占め、「将来とも住居を取得する予定はない」が 28.2%、「時期ははっきりしないが取得を予定」（ 4.4%）を含めた取得予定世帯は全体の 6.5%であった。
- 取得予定世帯（79人）が希望する住居取得方法は、「新規購入」が最も多く 60.8%、続いて「建て替え」が 25.3%、「相続・贈与等」が 7.6%、「買い替え」が 5.1%であった。
- 取得予定世帯（79人）に調達資金の内訳を尋ねると、「金融機関からの借入金」は 48.1%、「それ以外の借入金」の回答者はなく、「親族からの援助」 8.9%であった。
- 金融機関からの調達予定者（34人）の借入金予定額は、「3000～5000万円未満」が最も多く 41.2%、続いて「5000万～1億円未満」が 26.5%であった。

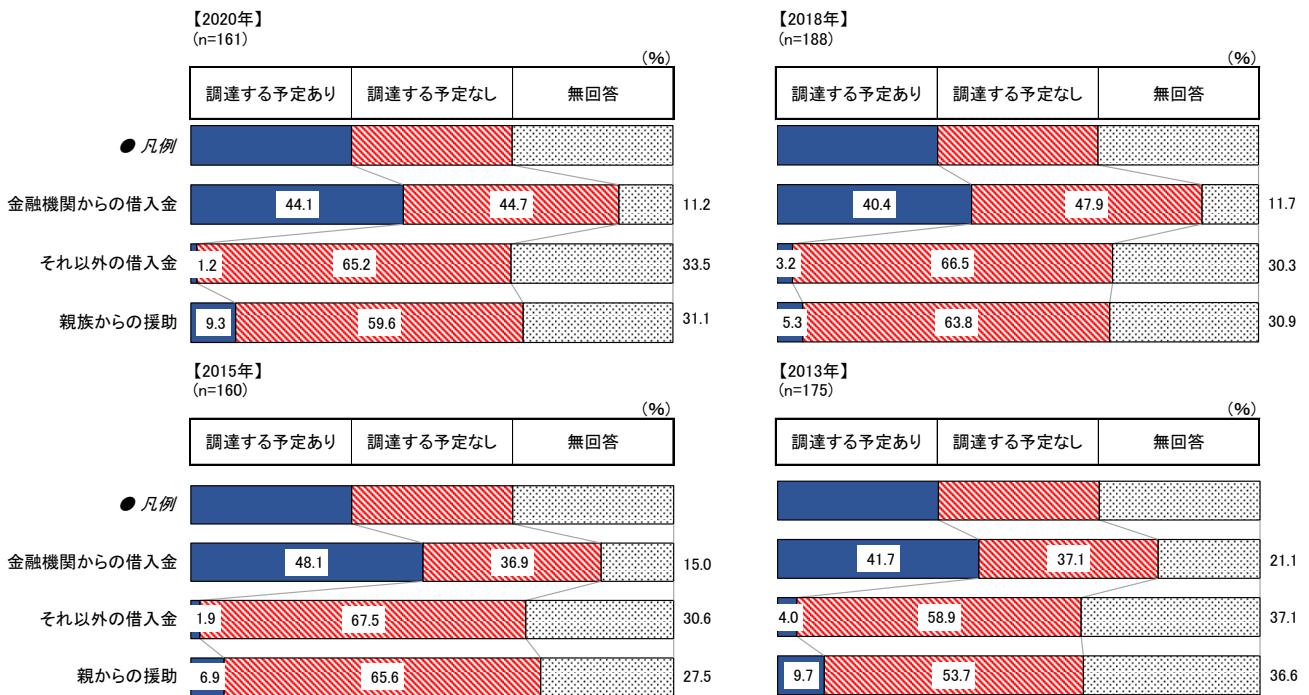
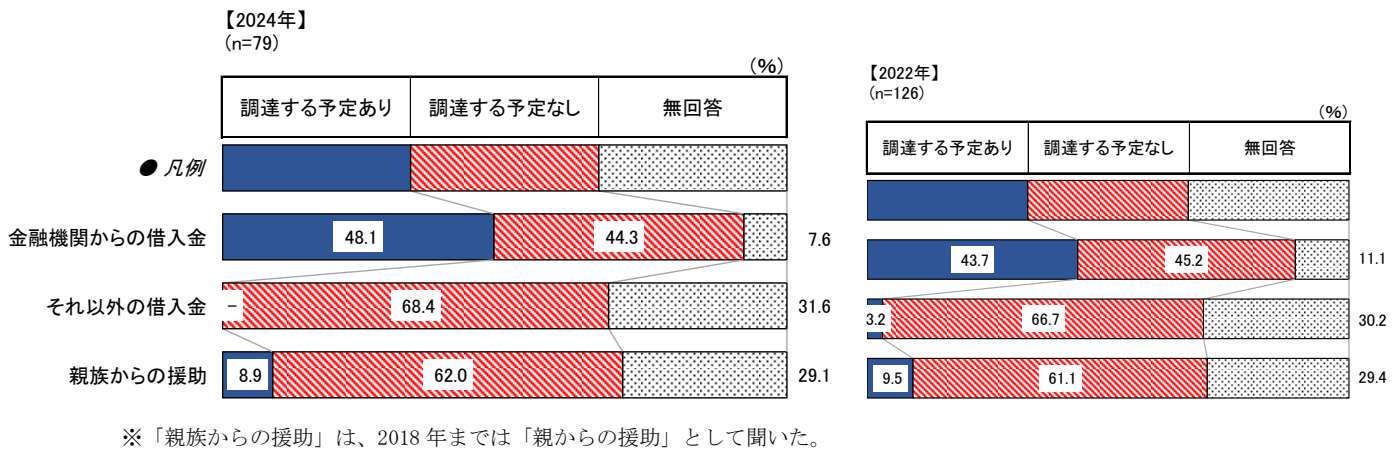
(図表 4-18) 住居の取得予定 (問 21)



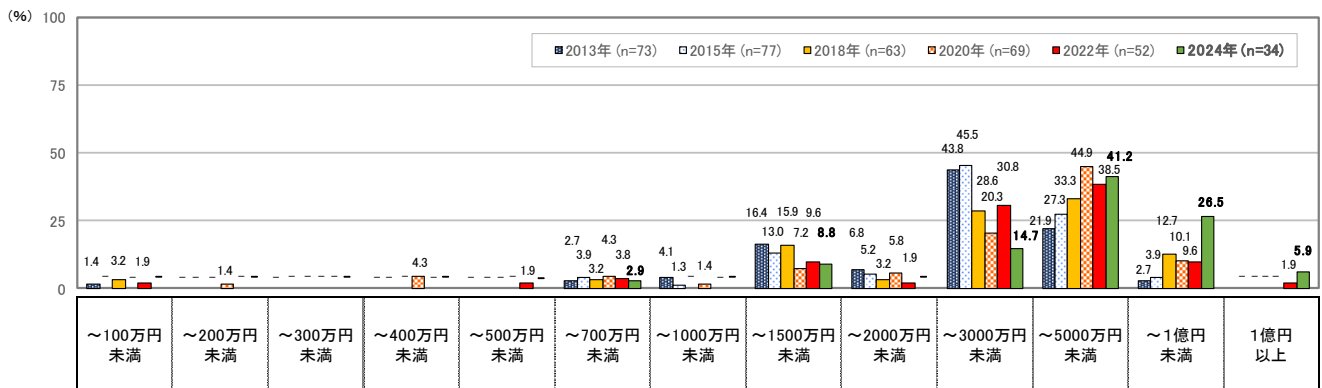
(図表 4-19) 取得予定の住居の取得方法 (問 21-1)



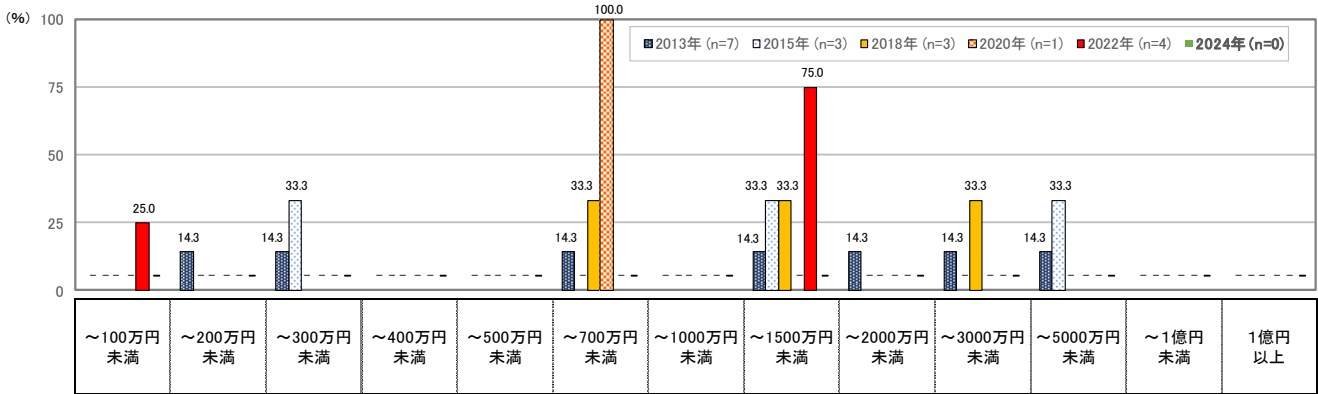
(図表4-20) 資金調達予定有無 (問21-2①、問21-2②、問21-2③)



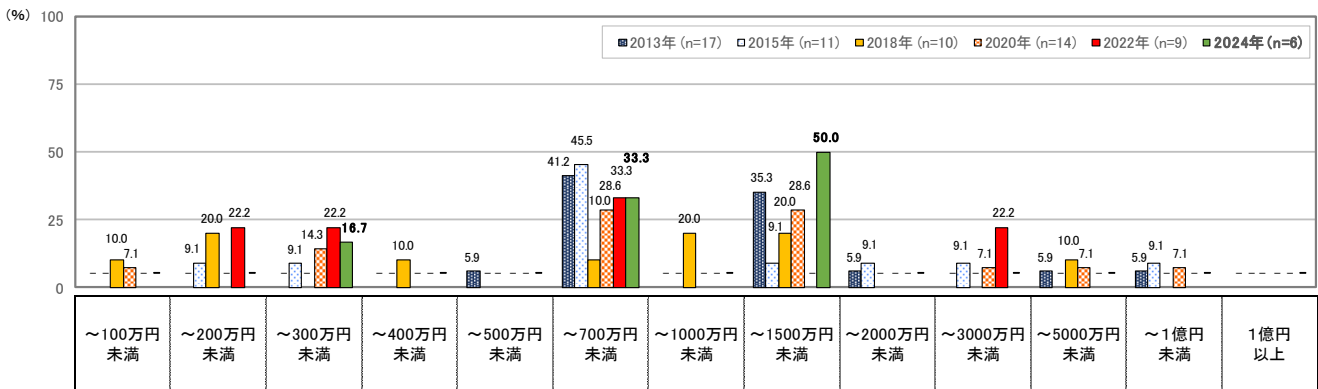
(図表4-21) 資金調達内訳 (金融機関) (問21-2①)



(図表4-22) 資金調達内訳 (金融機関以外) (問21-2②)

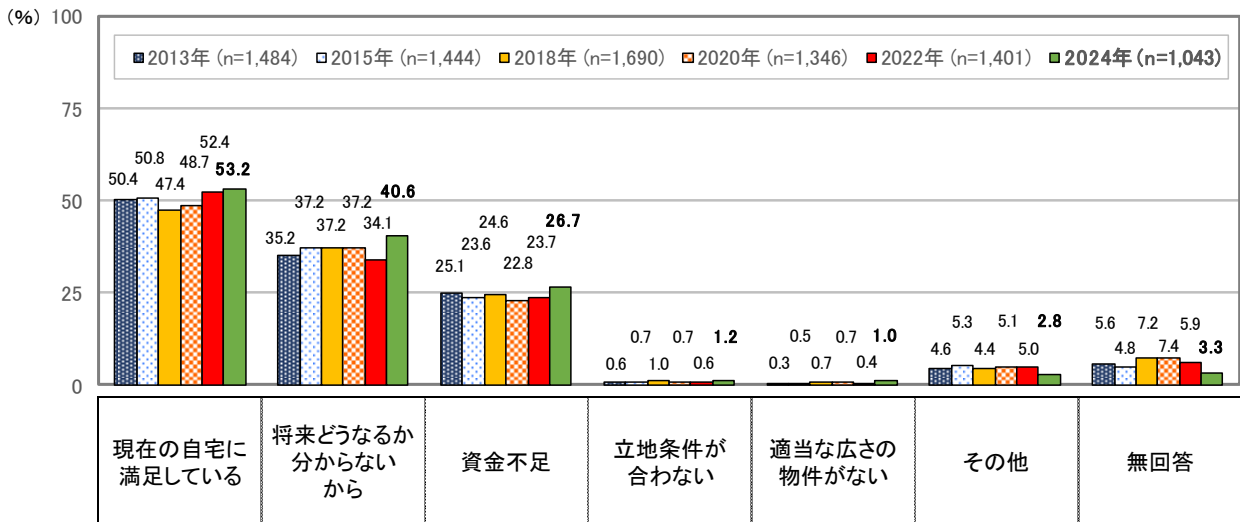


(図表4-23) 資金調達内訳 (親族からの援助) (問21-2③)



- 取得予定のない世帯 (1,043 人) に住居取得を考えない理由を複数回答で尋ねたところ、多い順に「現在の自宅に満足している」(53.2%)、「将来どうなるか分からないから」(40.6%)、「資金不足」(26.7%)、「立地条件が合わない」(1.2%)、「適当な広さの物件がない」(1.0%)であった。

(図表4-24) 住居取得を考えない理由 (問21-3、複数回答)



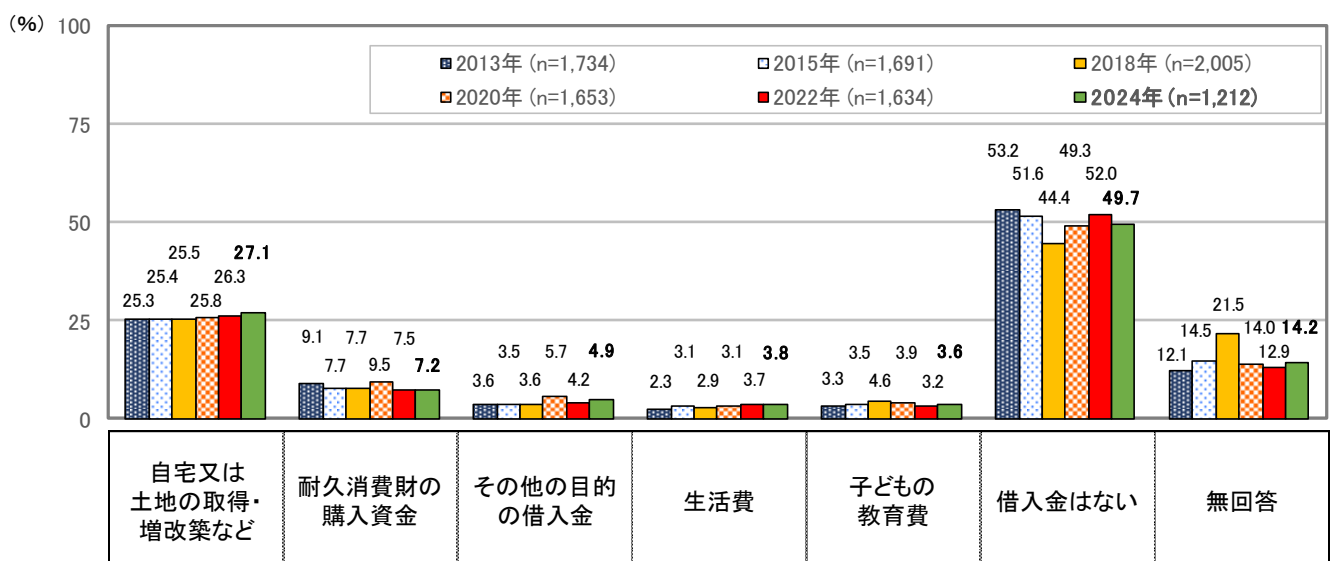


## 5. 負債について

### (1) 借入の状況

- 世帯借入の内訳を複数回答で尋ねたところ、「借入金はない」が最も多く49.7%、続いて「自宅又は土地の取得・増改築など」が27.1%、「耐久消費財の購入資金」が7.2%であった。次いで、「その他の目的の借入金」が4.9%、「生活費」が3.8%。
- 自宅又は土地の取得・増改築などで借入がある世帯（329人）の現在借入残高は、「2000～3000万円未満」が19.8%、「3000万円以上」が19.5%で、合計39.2%が2000万円以上の残高がある。
- 耐久消費財（自動車、家具、家電など）の購入資金で借入がある世帯（87人）の現在借入残高は、「100万円未満」（29.9%）、「100～200万円未満」が26.4%と多く、合わせて56.3%が200万円未満の残高であった。
- その他の目的で借入がある世帯（59人）の現在の借入残高は、「100～200万円未満」が33.9%と多く、「100万円未満」（16.9%）と合わせて残高200万円未満が50.8%を占めた。
- 生活費の借入がある世帯（46人）の現在の借入残高は、「100万円未満」が50.0%、「100～200万円未満」が19.6%で、合計69.6%が200万円未満であった。
- 借入残高合計金額を回答した世帯（362人）のうち、「3000万円以上」が18.0%、「2000～3000万円未満」が17.7%で、合計35.6%が2000万円以上の残高がある。
- 現在借入残高がある世帯（438人）において、1年前に比べて残高が減った借入目的（複数回答）は、「自宅又は土地の取得・増改築など」が65.1%、「耐久消費財の購入資金」が13.9%であった。

(図表5-1) 借入の目的（問22(1)、複数回答）



(図表5-2) 借入金の残高 (問22(2))

【2024年】

(%)

	自宅又は 土地の取得・ 増改築など	耐久消費財の 購入資金	子どもの 教育費	生活費	その他の目的 の借入金
	(n=329)	(n=87)	(n=44)	(n=46)	(n=59)
～100万円未満	0.9	29.9	18.2	50.0	16.9
～200万円未満	3.3	26.4	15.9	19.6	33.9
～300万円未満	3.3	13.8	18.2	13.0	8.5
～400万円未満	1.2	12.6	18.2	4.3	6.8
～500万円未満	1.8	5.7	11.4	-	5.1
～700万円未満	5.2	4.6	6.8	-	6.8
～1000万円未満	7.3	-	2.3	2.2	5.1
～1500万円未満	13.1	-	-	-	1.7
～2000万円未満	16.7	-	2.3	-	3.4
～3000万円未満	19.8	-	-	-	1.7
3000万円以上	19.5	-	-	-	6.8
無回答	7.9	6.9	6.8	10.9	3.4

【2022年】

(%)

	自宅又は 土地の取得・ 増改築など	耐久消費財の 購入資金	子どもの 教育費	生活費	その他の目的 の借入金
	(n=430)	(n=122)	(n=52)	(n=60)	(n=68)
～100万円未満	0.7	27.0	13.5	33.3	14.7
～200万円未満	2.6	23.8	26.9	28.3	25.0
～300万円未満	1.4	21.3	11.5	11.7	19.1
～400万円未満	2.6	13.9	17.3	5.0	7.4
～500万円未満	1.9	3.3	5.8	1.7	1.5
～700万円未満	5.6	1.6	9.6	-	5.9
～1000万円未満	6.0	0.8	-	1.7	4.4
～1500万円未満	12.8	-	1.9	-	1.5
～2000万円未満	14.2	0.8	-	-	1.5
～3000万円未満	27.7	-	-	-	1.5
3000万円以上	16.7	-	-	-	10.3
無回答	7.9	7.4	13.5	18.3	7.4

【2020年】

(%)

	自宅又は 土地の取得・ 増改築など	耐久消費財の 購入資金	子どもの 教育費	生活費	その他の目的 の借入金
	(n=427)	(n=157)	(n=65)	(n=52)	(n=95)
～100万円未満	2.1	18.5	16.9	26.9	23.2
～200万円未満	2.3	37.6	27.7	32.7	21.1
～300万円未満	1.6	19.1	9.2	5.8	12.6
～400万円未満	2.1	10.8	10.8	-	7.4
～500万円未満	2.3	3.8	4.6	-	3.2
～700万円未満	7.0	0.6	15.4	5.8	1.1
～1000万円未満	7.7	-	-	-	6.3
～1500万円未満	14.3	-	-	-	4.2
～2000万円未満	12.2	-	-	-	1.1
～3000万円未満	18.7	0.6	-	1.9	4.2
3000万円以上	17.3	-	-	-	4.2
無回答	12.2	8.9	15.4	26.9	11.6

【2018年】

(%)

	自宅又は 土地の取得・ 増改築など	耐久消費財の 購入資金	子どもの 教育費	生活費	その他の目的 の借入金
	(n=512)	(n=154)	(n=93)	(n=59)	(n=73)
～100万円未満	2.5	30.5	23.7	33.9	20.5
～200万円未満	2.5	30.5	22.6	22.0	20.5
～300万円未満	2.7	17.5	15.1	10.2	15.1
～400万円未満	2.0	8.4	9.7	3.4	11.0
～500万円未満	1.6	1.3	4.3	-	1.4
～700万円未満	5.1	0.6	1.1	-	6.8
～1000万円未満	8.0	0.6	2.2	-	1.4
～1500万円未満	16.6	-	4.3	1.7	1.4
～2000万円未満	11.7	-	-	-	1.4
～3000万円未満	18.4	-	-	-	-
3000万円以上	13.9	-	-	-	4.1
無回答	15.0	10.4	17.2	28.8	16.4

【2015年】

(%)

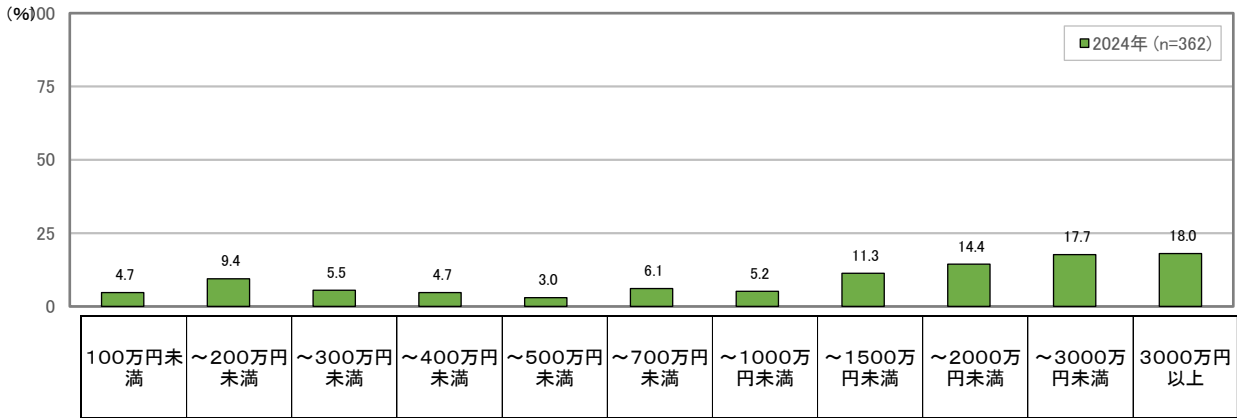
	自宅又は 土地の取得・ 増改築など	耐久消費財の 購入資金	子どもの 教育費	生活費	その他の目的 の借入金
	(n=430)	(n=130)	(n=59)	(n=53)	(n=60)
～100万円未満	0.5	33.1	18.6	43.4	31.7
～200万円未満	3.2	25.4	18.6	15.1	16.7
～300万円未満	4.0	14.6	20.3	13.2	10.0
～400万円未満	2.3	6.9	5.1	3.8	3.3
～500万円未満	2.6	0.8	10.2	-	5.0
～700万円未満	5.3	2.3	5.1	1.9	3.3
～1000万円未満	6.0	-	3.4	-	1.7
～1500万円未満	15.6	-	-	-	-
～2000万円未満	14.4	-	-	-	-
～3000万円未満	16.5	-	-	-	-
3000万円以上	10.2	-	-	-	-
無回答	20.2	16.9	18.6	22.6	28.3

【2013年】

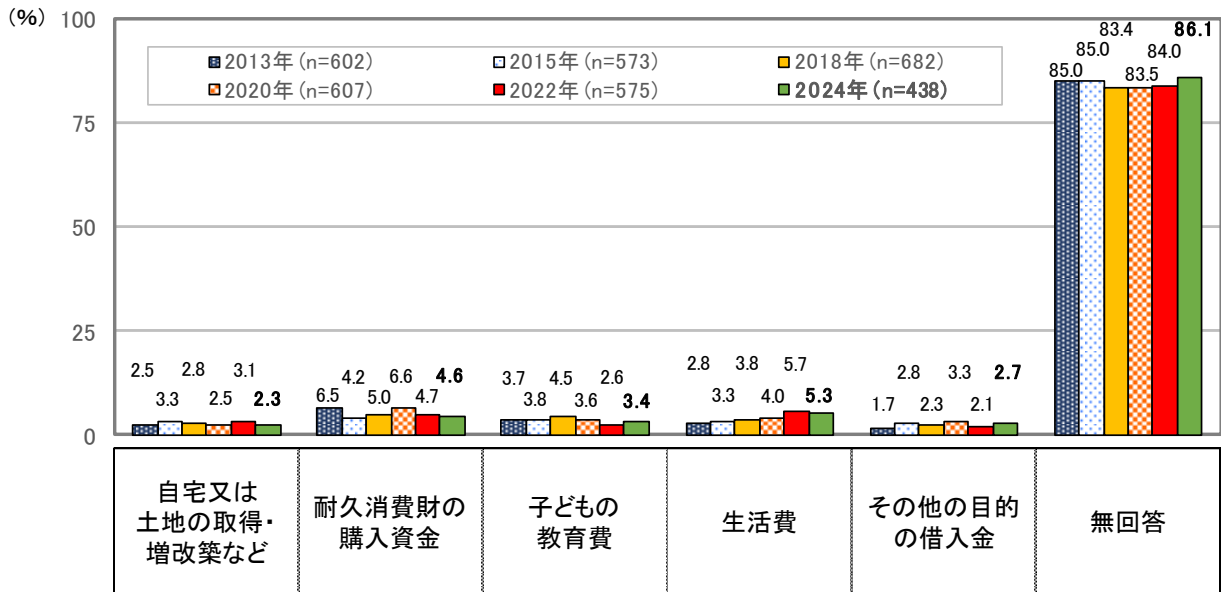
(%)

	自宅又は 土地の取得・ 増改築など	耐久消費財の 購入資金	子どもの 教育費	生活費	その他の目的 の借入金
	(n=438)	(n=157)	(n=58)	(n=40)	(n=63)
～100万円未満	1.4	30.6	24.1	37.5	22.2
～200万円未満	2.5	31.8	25.9	20.0	15.9
～300万円未満	3.2	13.4	17.2	7.5	15.9
～400万円未満	2.3	7.6	10.3	7.5	4.8
～500万円未満	3.4	1.9	3.4	-	-
～700万円未満	7.8	1.9	3.4	-	6.3
～1000万円未満	6.4	-	1.7	-	4.8
～1500万円未満	16.9	-	-	-	7.9
～2000万円未満	13.0	-	-	-	1.6
～3000万円未満	21.0	-	-	-	6.3
3000万円以上	7.8	-	-	-	9.5
無回答	14.4	12.7	13.8	27.5	4.8

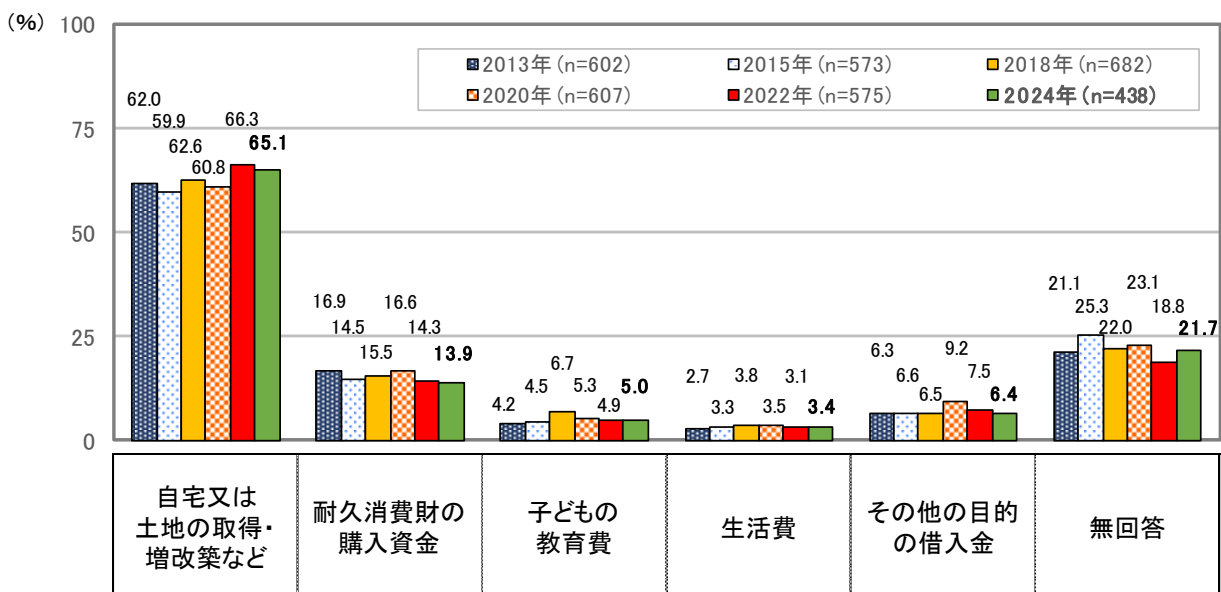
(図表5-3) 借入金の残高の合計 (問22(2))



(図表5-4) 1年前に比べて増加した借入金 (問22(3)、複数回答)



(図表5-5) 1年前に比べて減少した借入金 (問22(4)、複数回答)

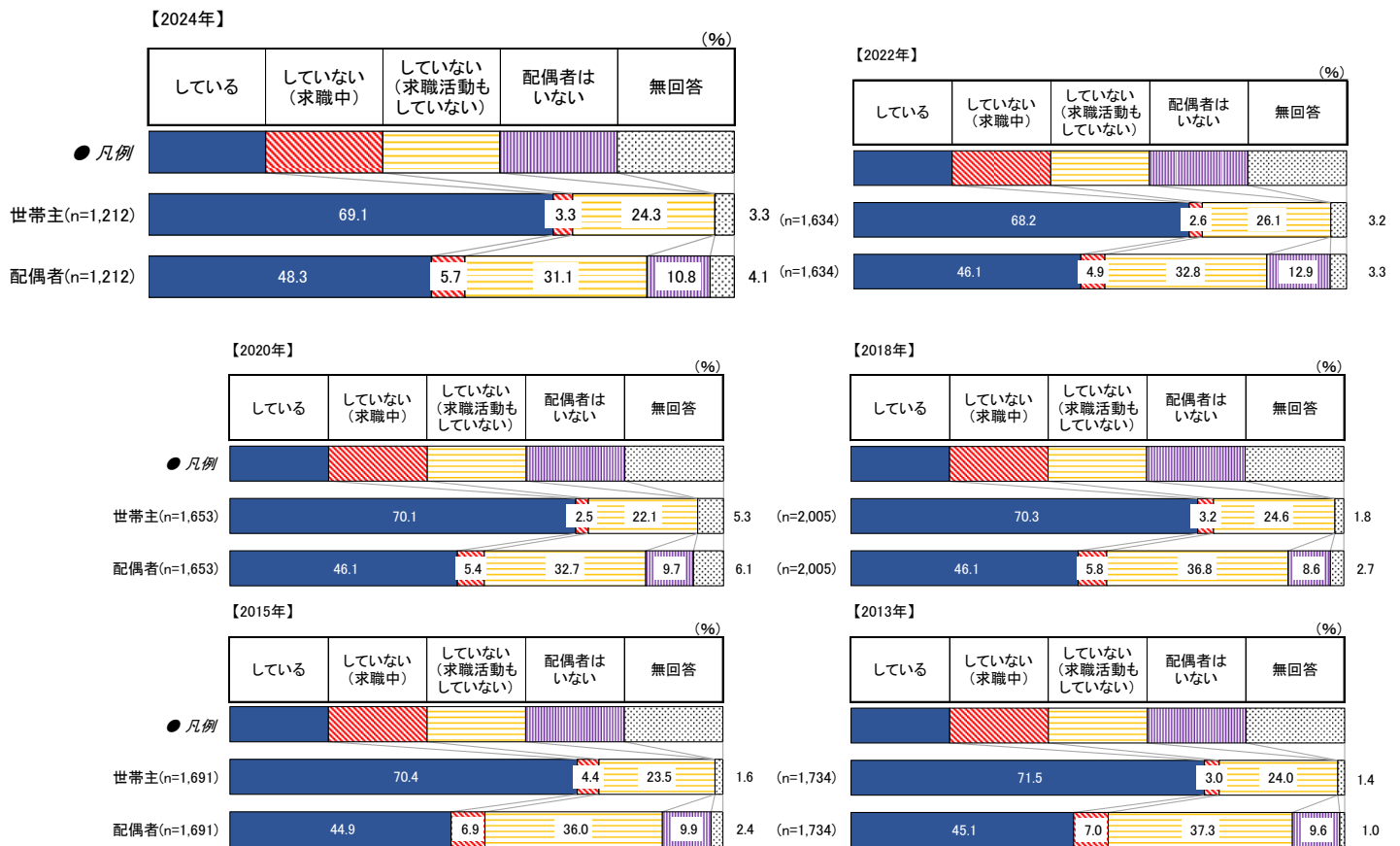


## 6. 仕事と家計について

### (1) 世帯主・配偶者の就労有無

- 世帯主が現在収入をとまなう仕事をしているかについて尋ねたところ、「している」が69.1%、「していない（求職活動もしていない）」は24.3%、「していない（求職中）」は3.3%であった。
- 配偶者は、「している」が48.3%、続いて「していない（求職活動もしていない）」が31.1%、「していない（求職中）」が5.7%であった。

(図表6-1) 世帯主・配偶者の就労有無 (問23・問24)

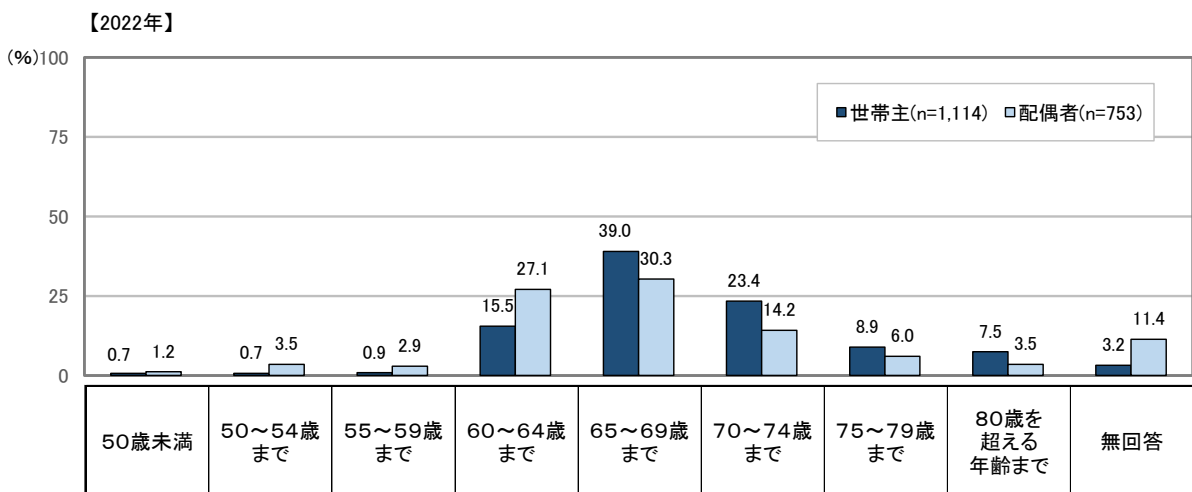
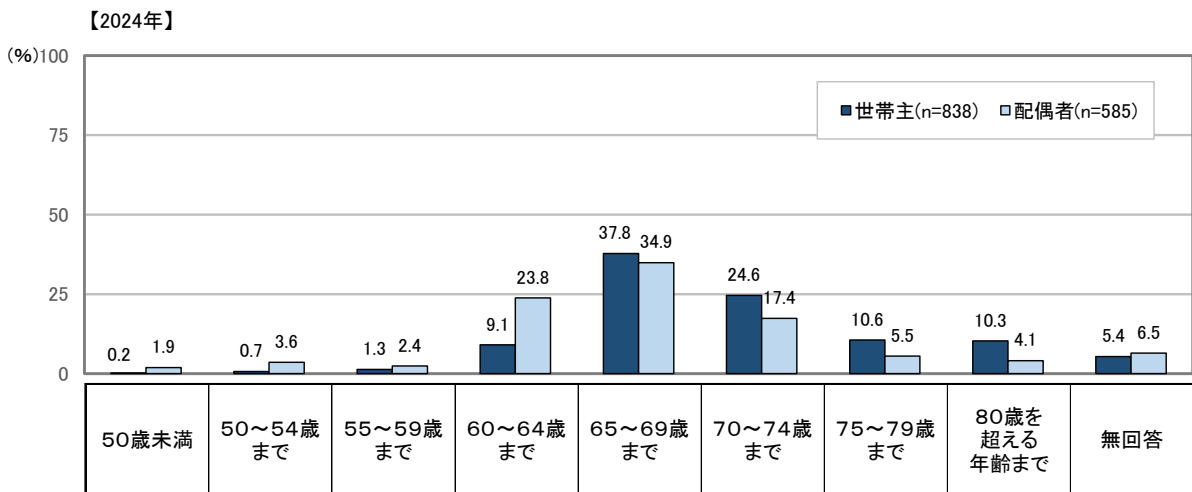


※配偶者は、「配偶者はいない」分を含む

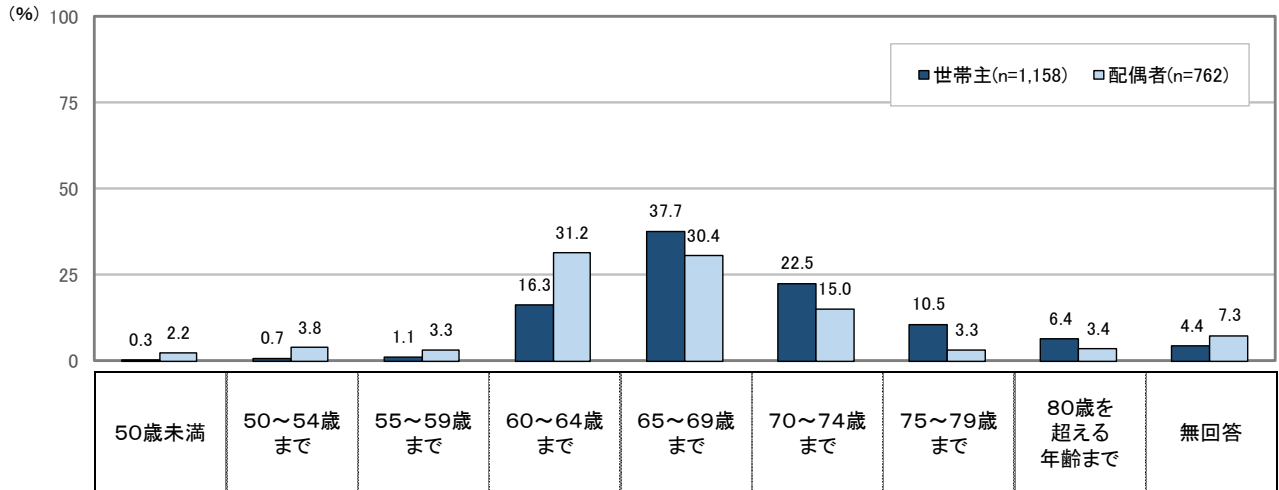
## (2) 就業中世帯主・配偶者の就労継続希望年齢

- 現在就業中の世帯主（838人）に、何歳まで働きたいかを尋ねたところ、「65～69歳まで」が最も多く37.8%、続いて「70～74歳まで」が24.6%、「75～79歳まで」が10.6%であった。現在就業中の配偶者（585人）では、「65～69歳まで」が最も多く34.9%、続いて「60～64歳まで」が23.8%、「70～74歳まで」が17.4%であった。2013年からの推移では、『70歳以上』の回答が増加傾向にあり、2024年調査で『70歳以上』を回答した人は世帯主の45.5%、配偶者の27.0%に上った。

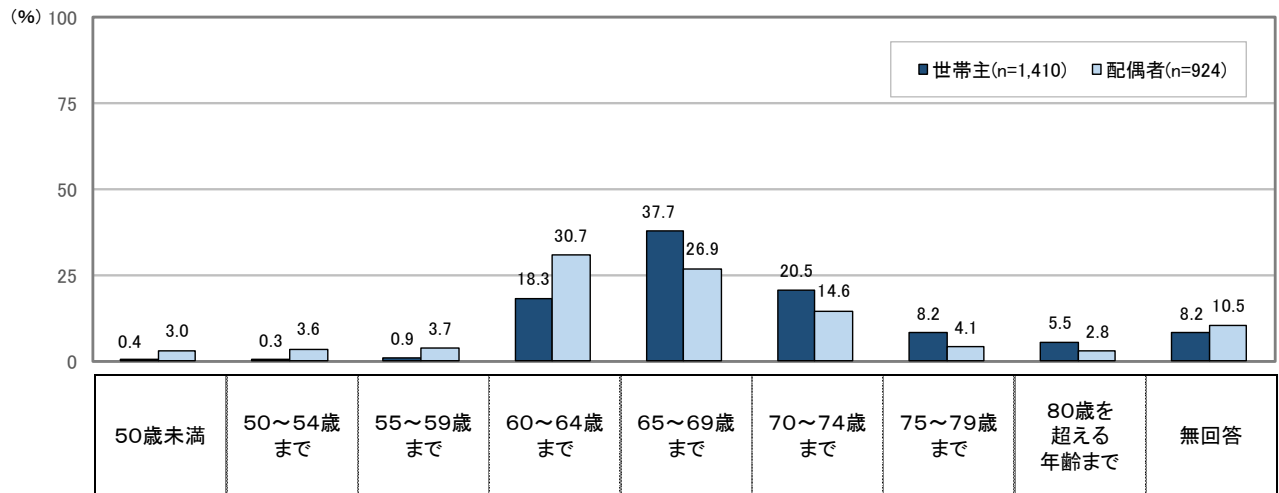
(図表6-2) 世帯主・配偶者の就労継続希望年齢（問23-1・問24-1）



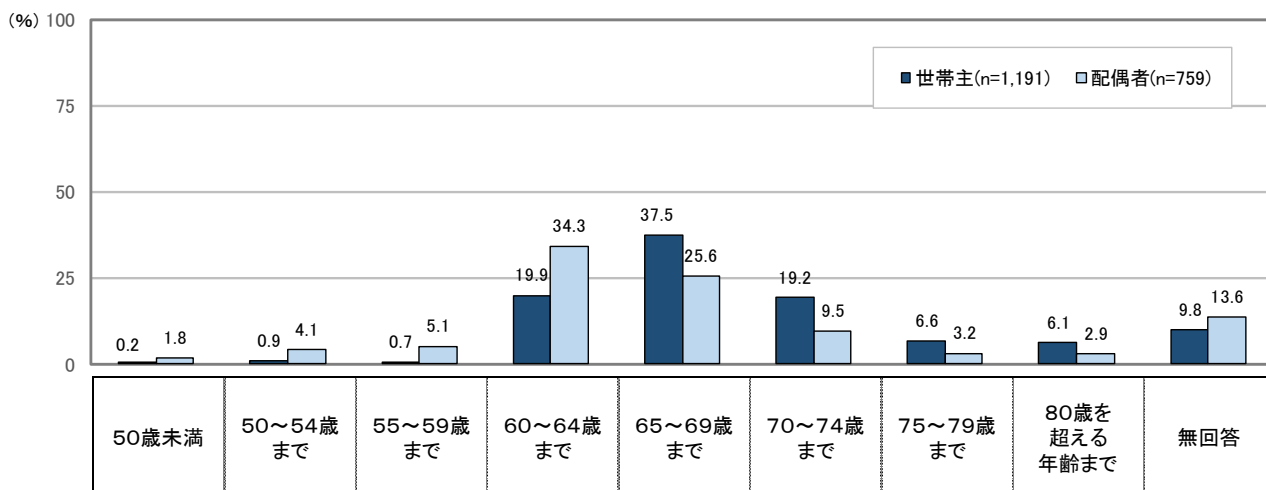
【2020年】



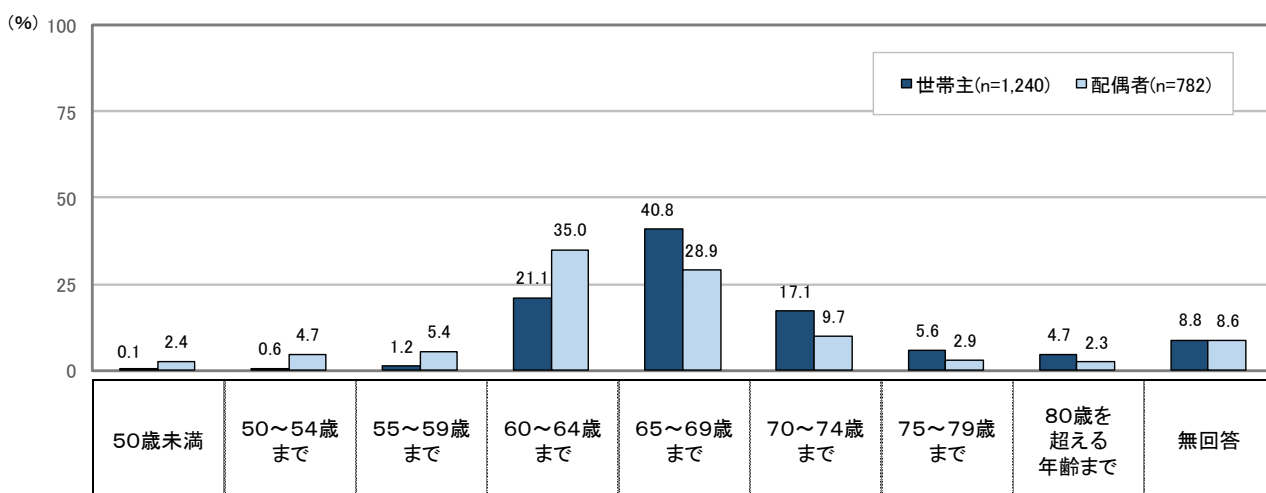
【2018年】



【2015年】



【2013年】

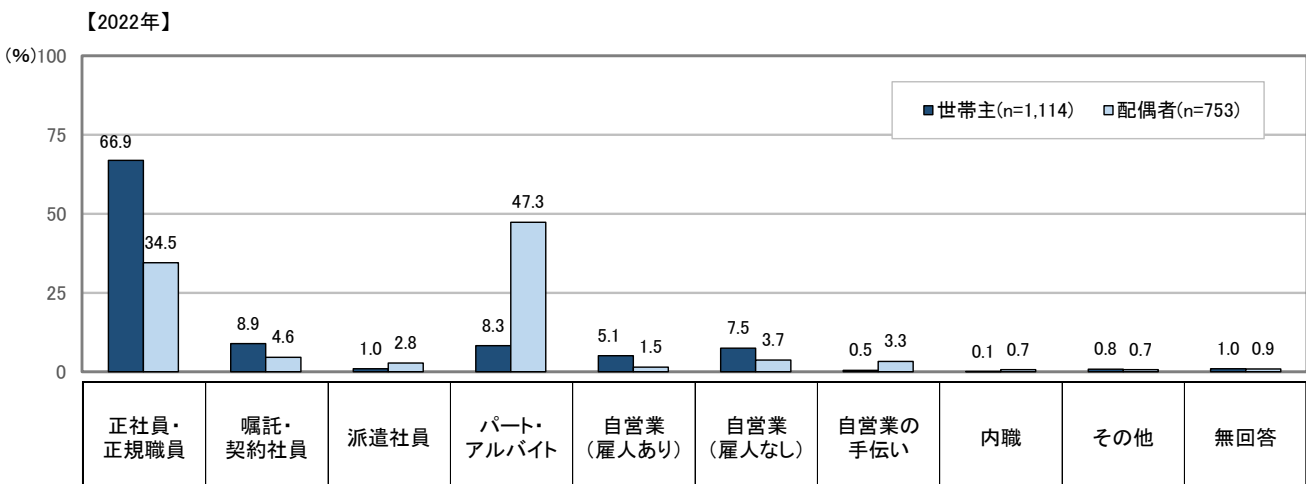
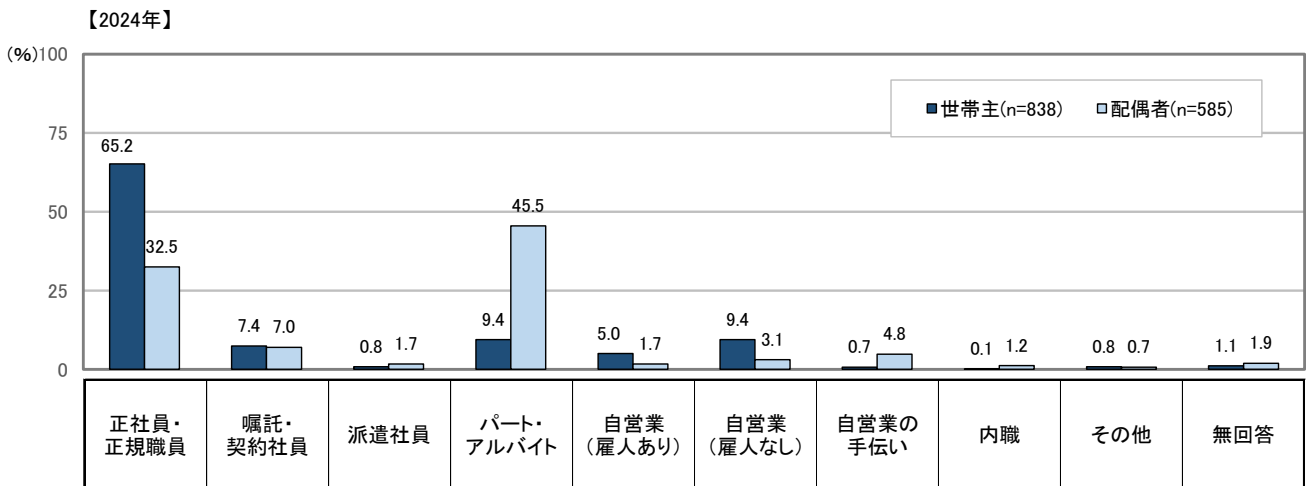




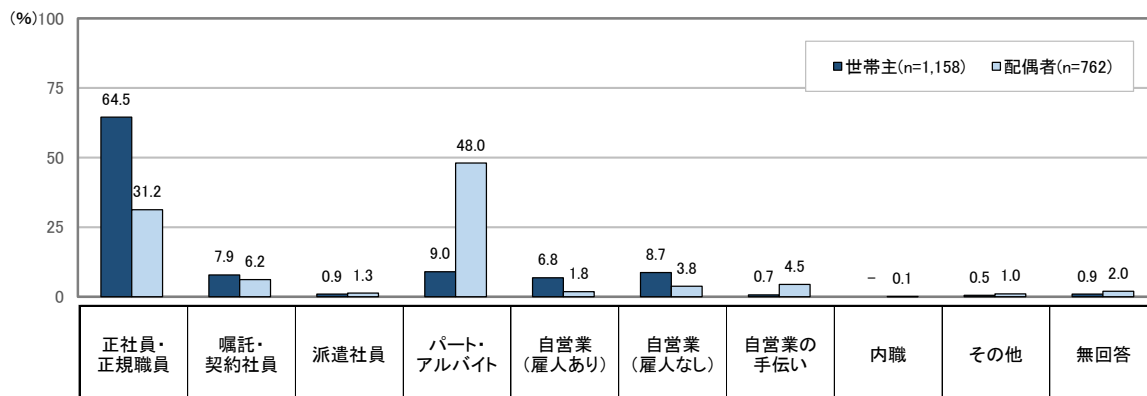
### (3) 現在就業中の世帯主・配偶者の就労状況

- 現在就業中の世帯主（838人）の雇用形態は、「正社員・正規職員」が65.2%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」（9.4%）、「自営業（雇人なし）」（9.4%）が同率で並び、「嘱託・契約社員」（7.4%）が続いた。現在就業中の配偶者（753人）の雇用形態は、「パート・アルバイト」が45.5%で最も多く、「正社員・正規職員」が32.5%、「嘱託・契約社員」が7.0%の順であった。
- 就業者の業種内訳は、世帯主は「その他サービス業」が22.7%で最多で、「製造業」が20.3%が続いた。配偶者も「その他サービス業」が22.6%で最も多く、「医療・福祉」が21.0%が続いた。
- 就業者の職種は、世帯主では「専門・技術的職業」が20.5%で最も多く、次いで「技能工・生産工程に関わる職業」（18.7%）、「事務的な仕事」（11.8%）、「営業・販売の仕事」（11.1%）の順であった。配偶者では、「事務的な仕事」（24.6%）に、「専門・技術的職業」（22.6%）、「サービスの職業」（22.1%）が僅差で続いた。

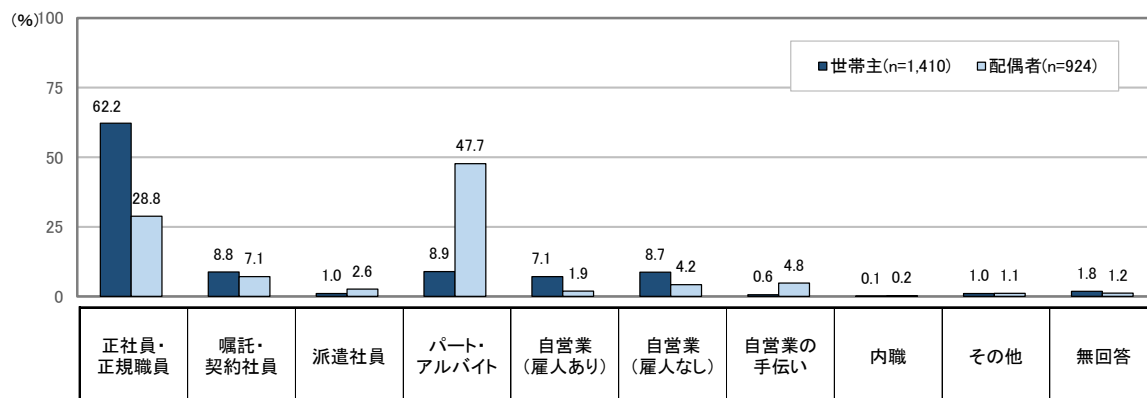
(図表6-3) 就業中世帯主・配偶者の雇用形態（問23-2(1)・問24-2(1)）



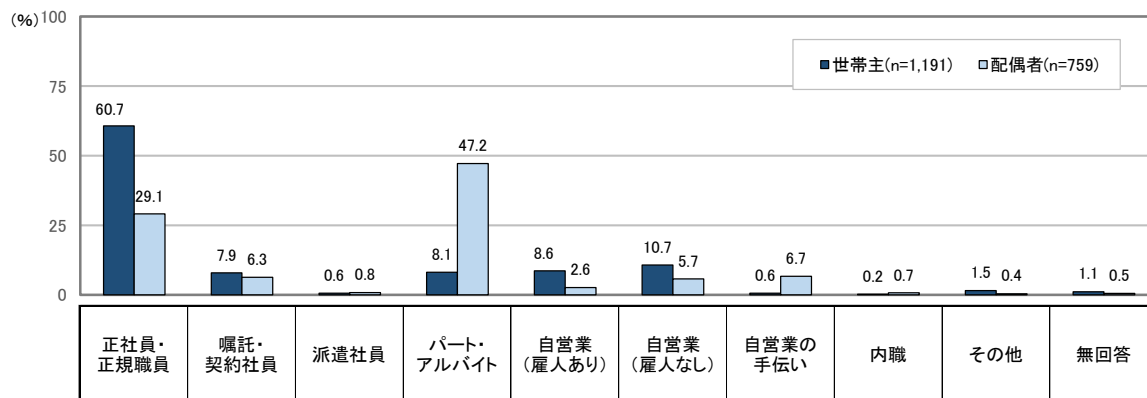
【2020年】



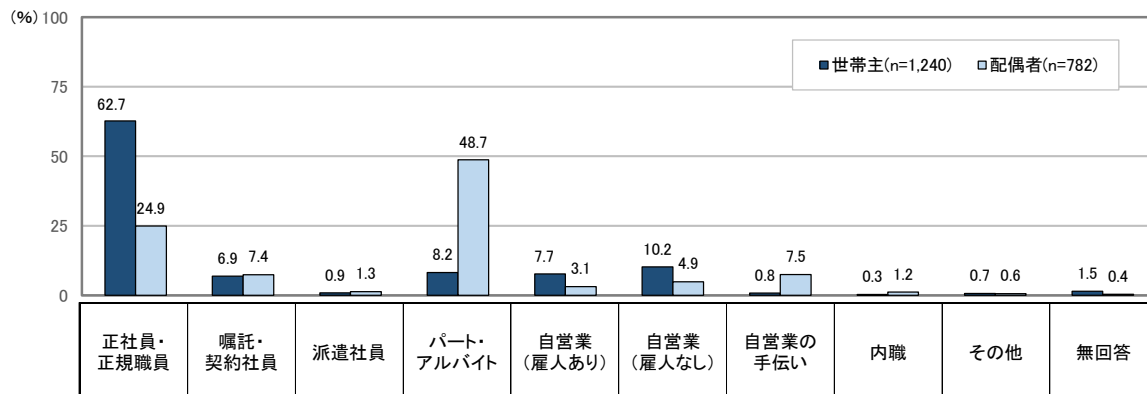
【2018年】



【2015年】

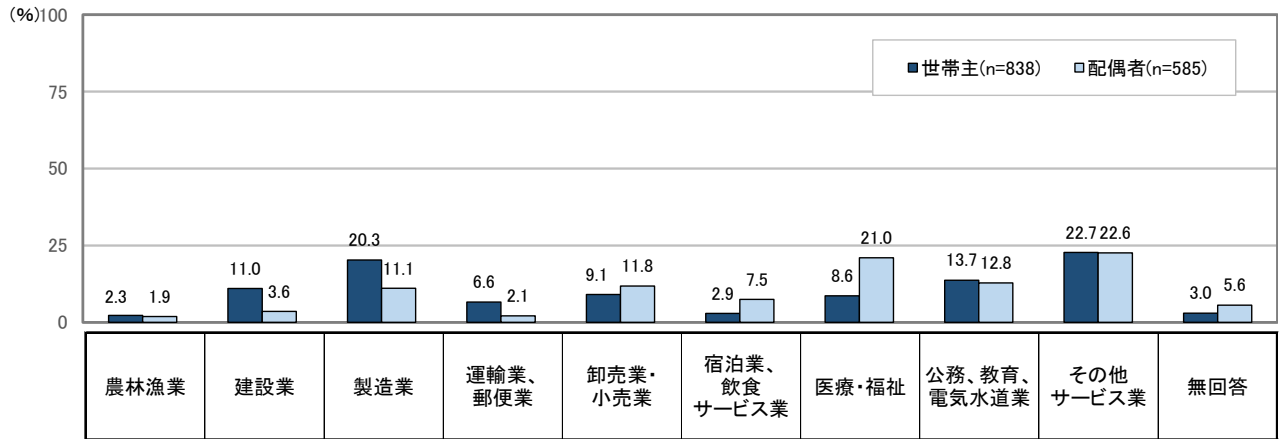


【2013年】

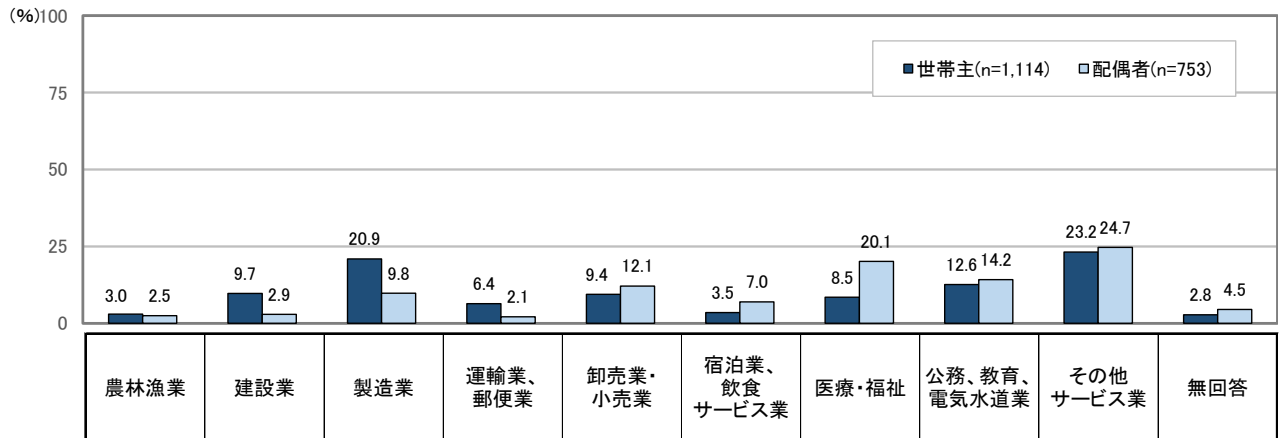


(図表6-4) 就業中世帯主・配偶者の業種 (問23-2(2)、問24-2(2))

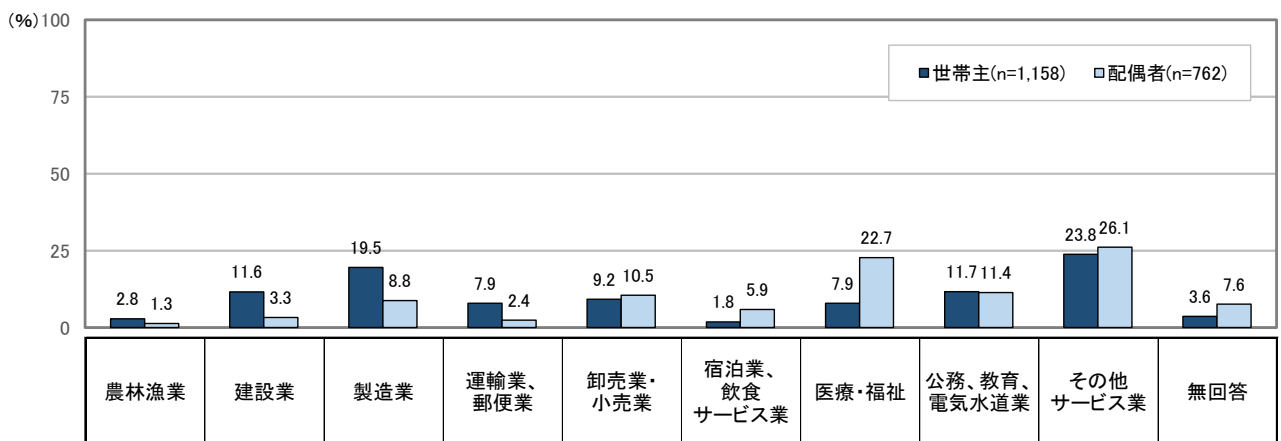
【2024年】



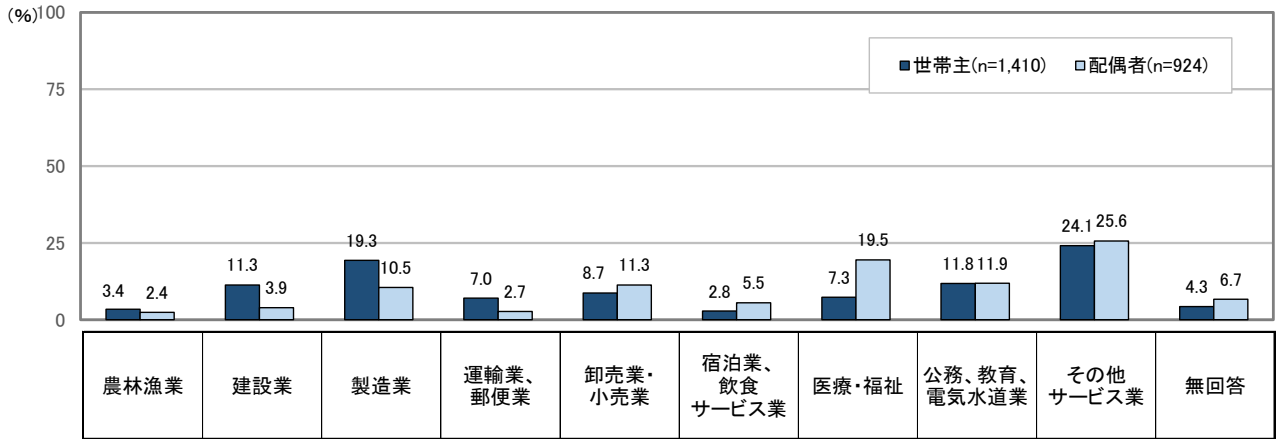
【2022年】



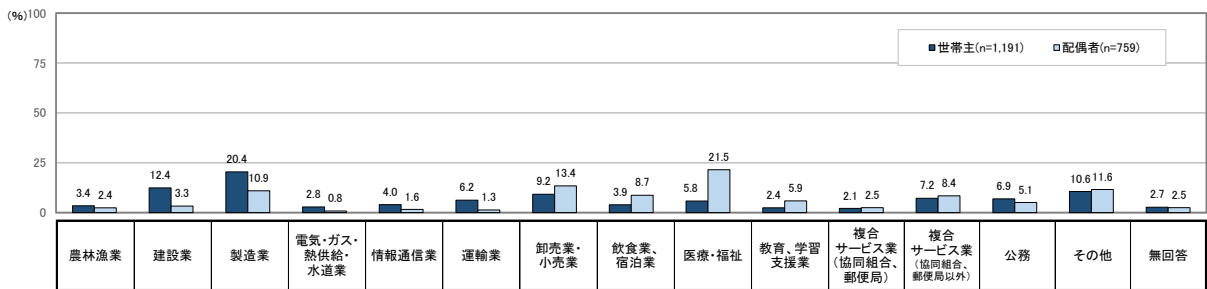
【2020年】



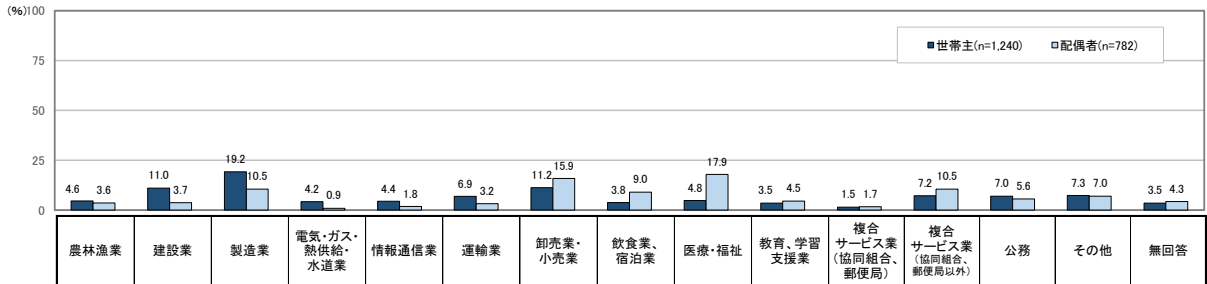
【2018年】



【2015年】

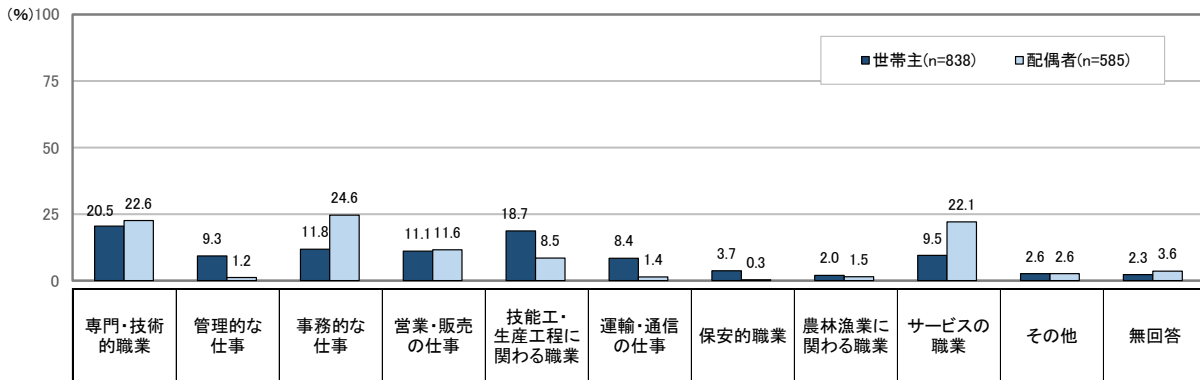


【2013年】

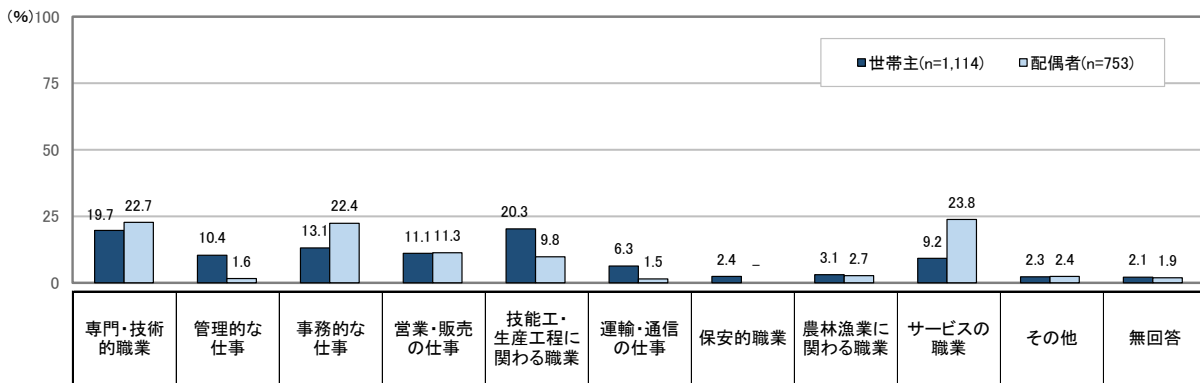


(図表6-5) 就業者世帯主・配偶者の職種 (問23-2(3)、問24-2(3))

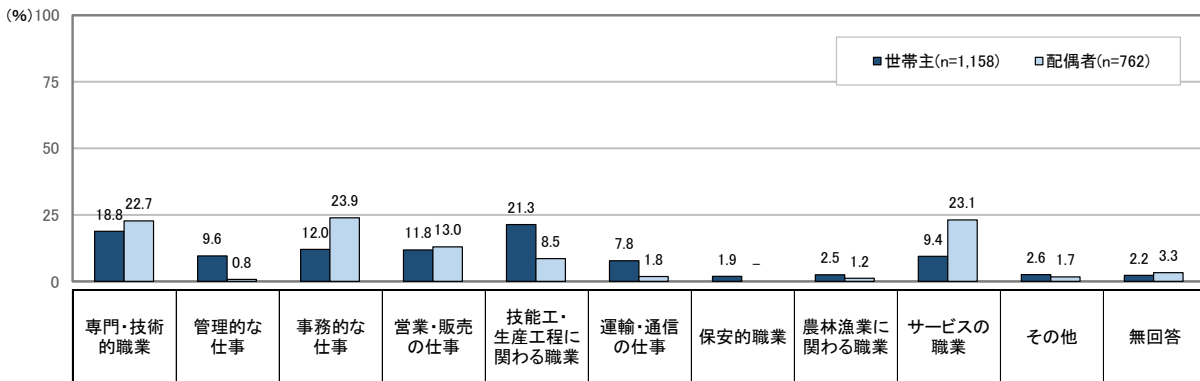
【2024年】



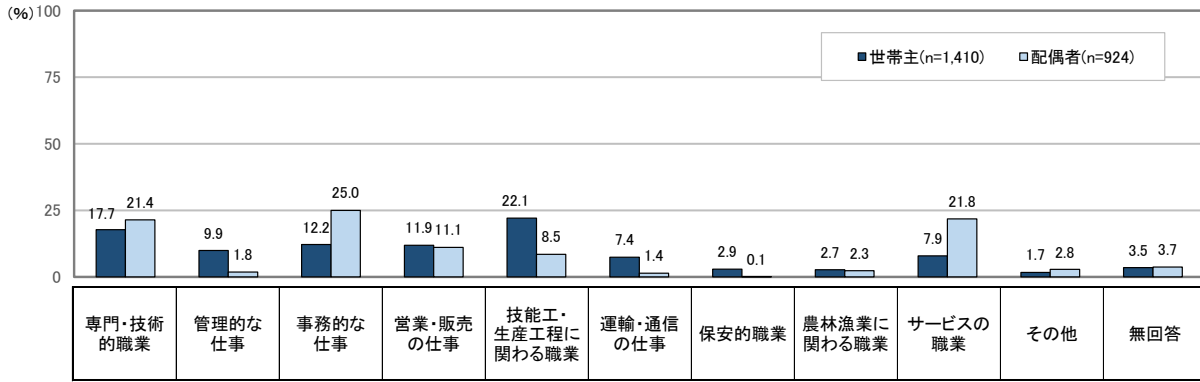
【2022年】



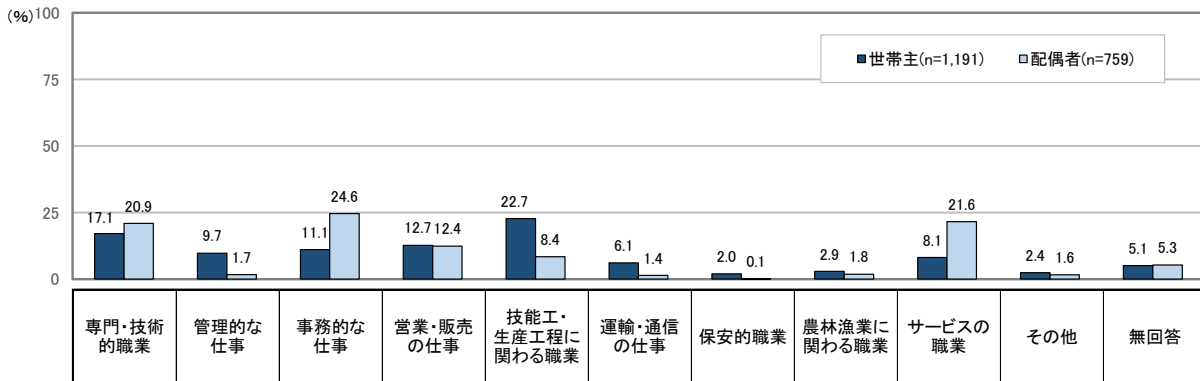
【2020年】



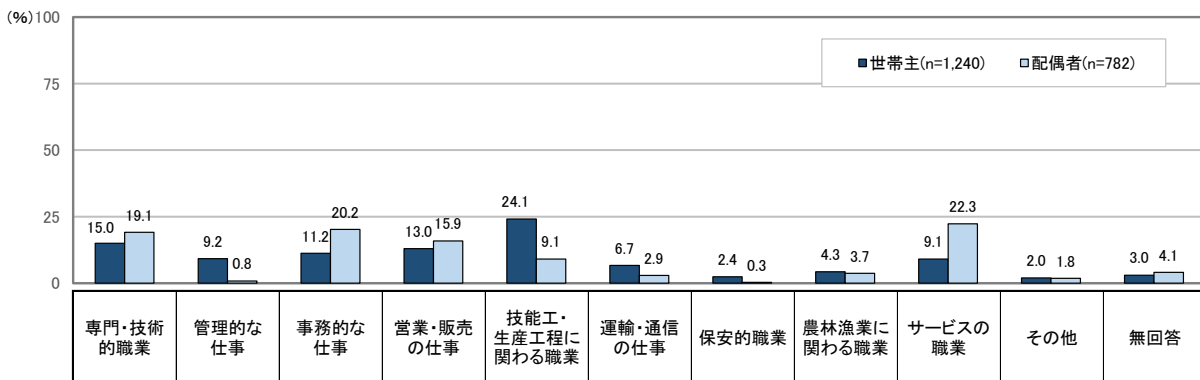
【2018年】



【2015年】

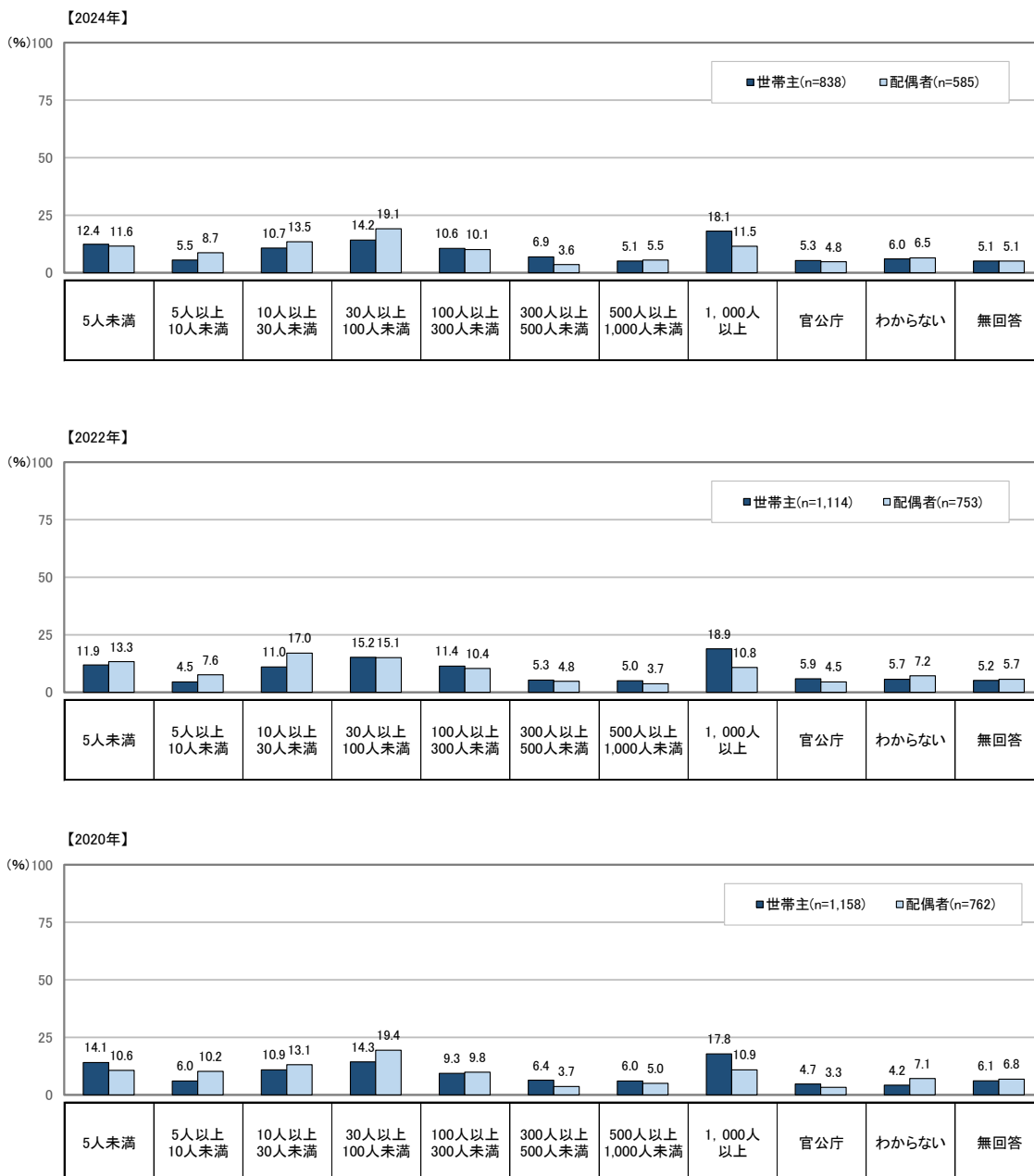


【2013年】

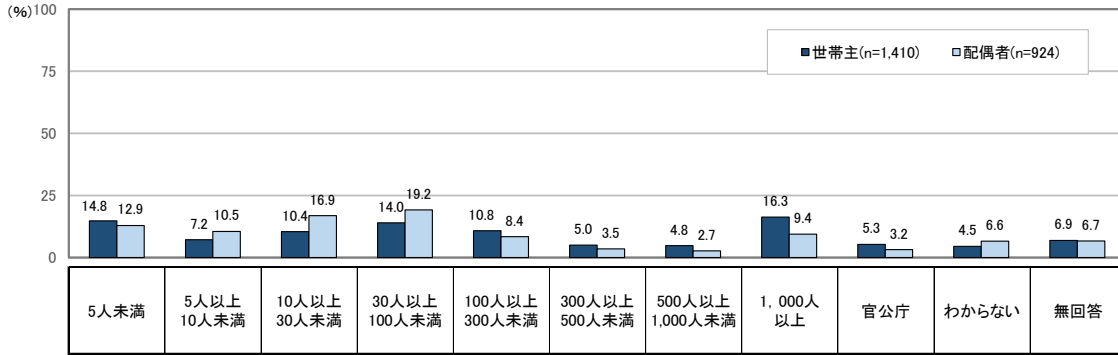


- 勤務先従業員数は、世帯主では「1,000人以上」が最も多く18.1%、次いで「30人以上100人未満」(14.2%)、「5人未満」(12.4%)の順であった。配偶者では、「30人以上100人未満」(19.1%)、「10人以上30人未満」(13.5%)の順であった。
- 週平均就労時間は、世帯主、配偶者ともに「40～50時間未満」が最も多く、世帯主では41.1%、配偶者では27.7%を占めた。そのうち残業時間については、「0時間」が世帯主の31.1%、配偶者の54.0%で最も多く、そのほかでは、世帯主は「5時間未満」「5～10時間未満」「10～15時間未満」、「15時間以上」がいずれも約1割ずつ、配偶者は「5時間未満」が11.6%で最も多かった。
- 入社時期は、世帯主では「2010年代」が最多で26.6%、「2020年代」が21.6%で続き、配偶者では「2020年代」が最も多く33.5%、次いで「2010年代」が33.3%と僅差で続いた。

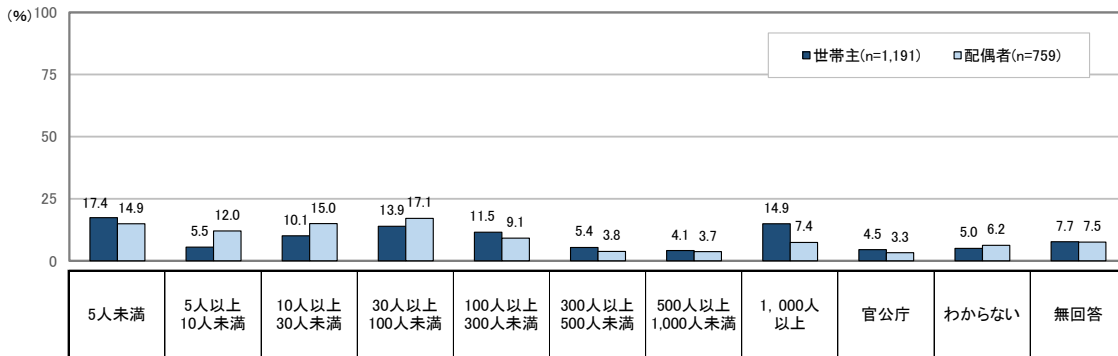
(図表6-6) 就業中世帯主・配偶者勤務先の従業員数(問23-2(4)、問24-2(4))



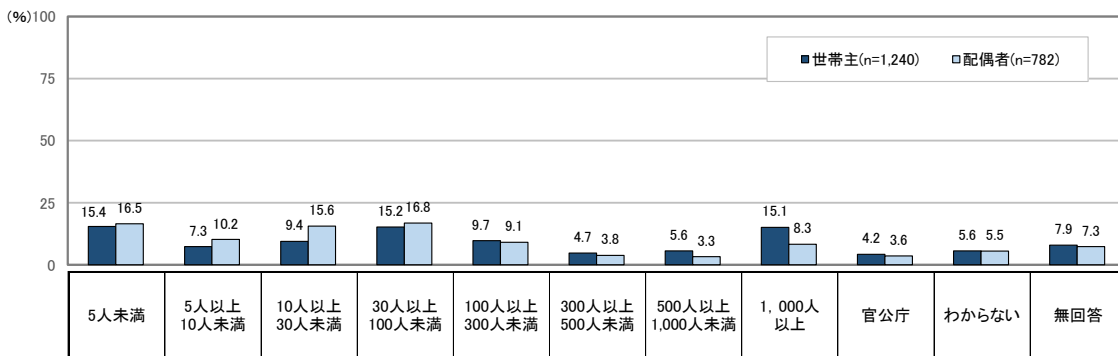
【2018年】



【2015年】



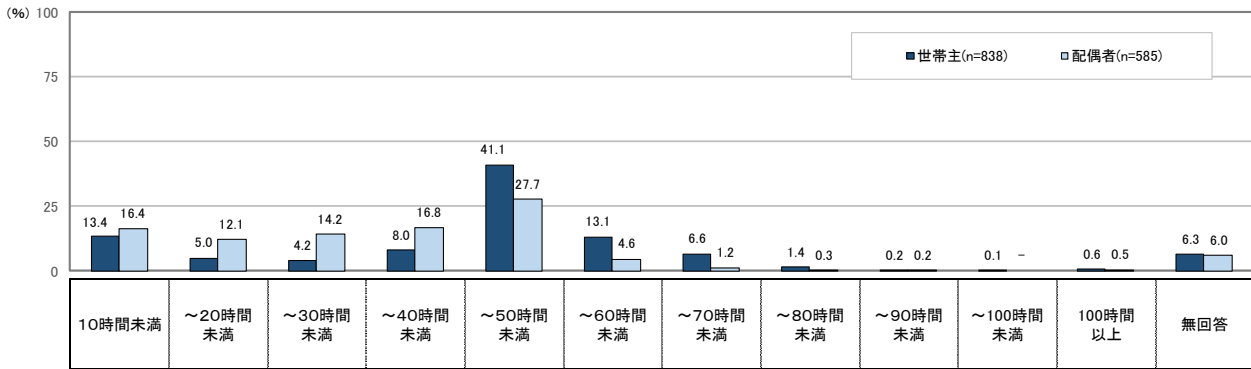
【2013年】



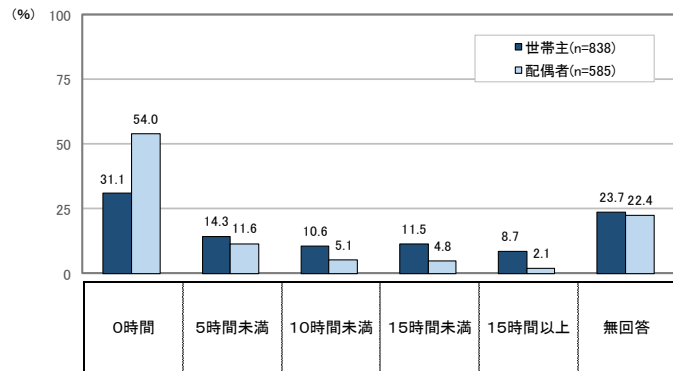


(図表6-7) 就業中世帯主・配偶者の週平均就労時間 (問23-2(5)、問24-2(5))

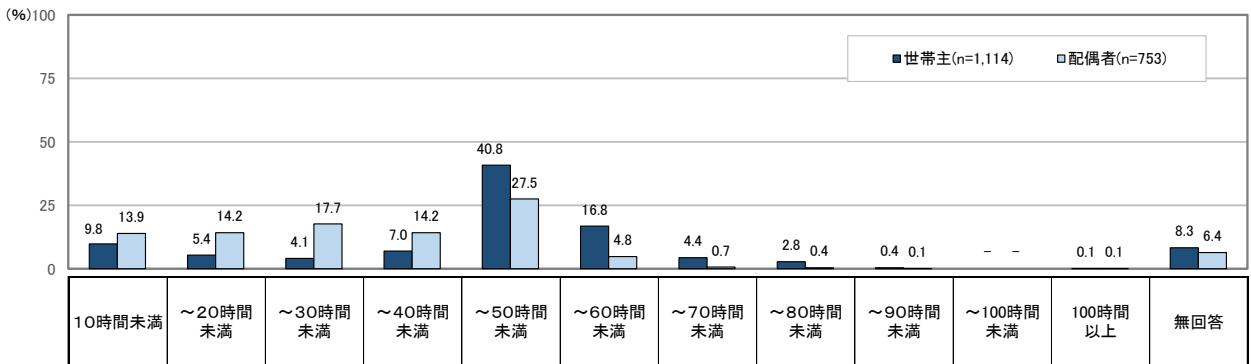
【2024年】



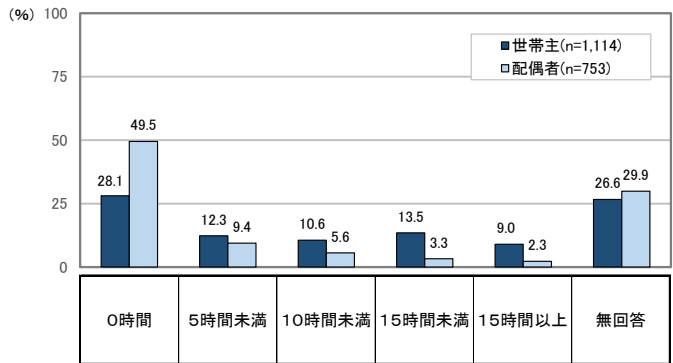
〔うち 残業時間〕 →

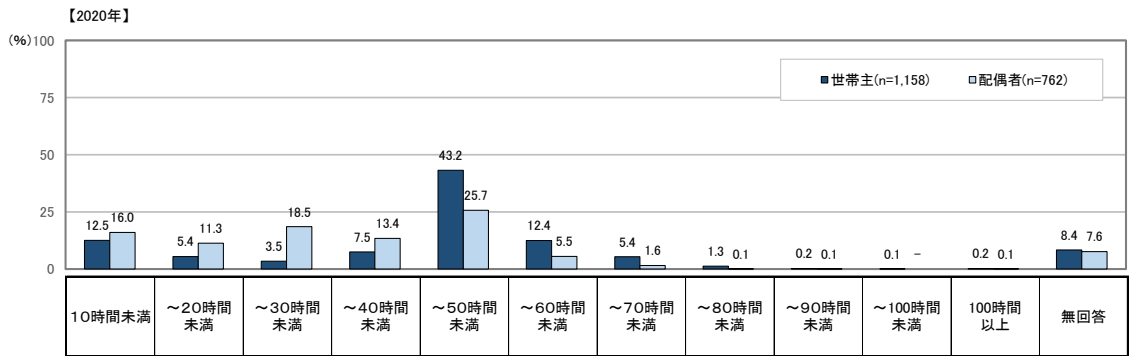


【2022年】

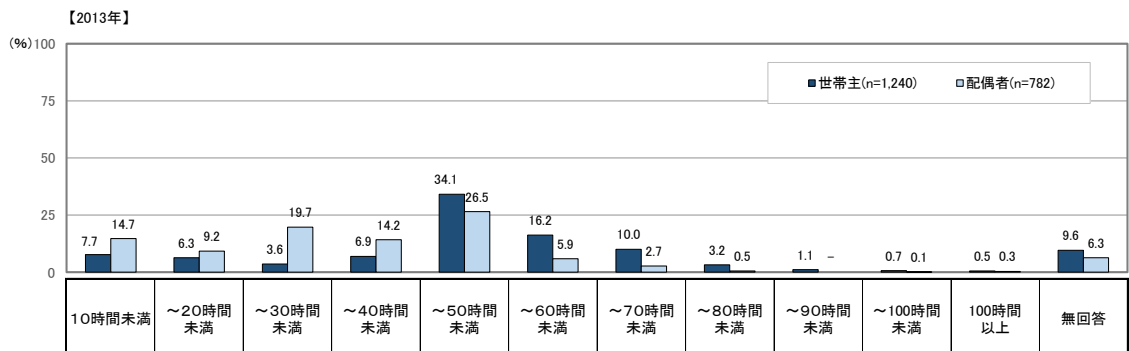
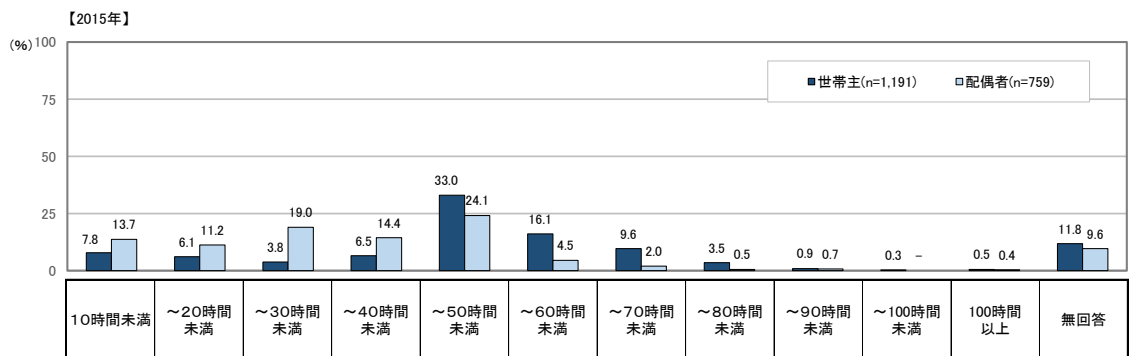
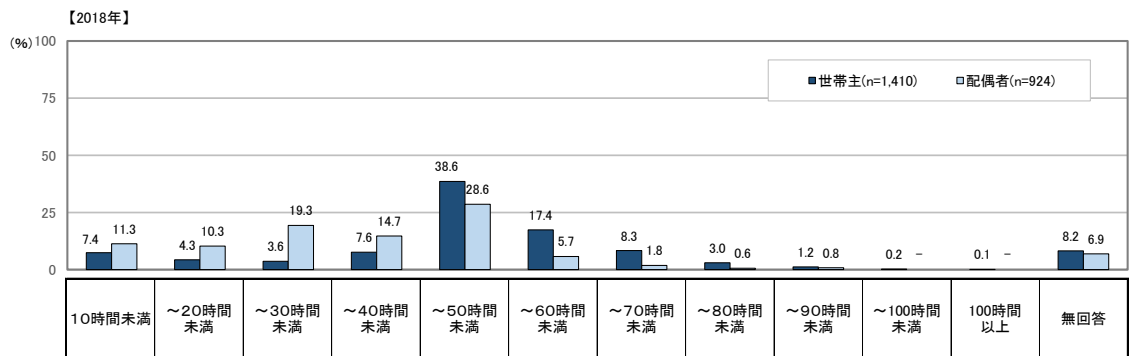
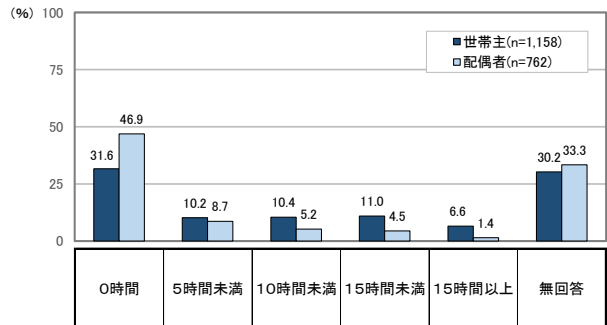


〔うち 残業時間〕 →



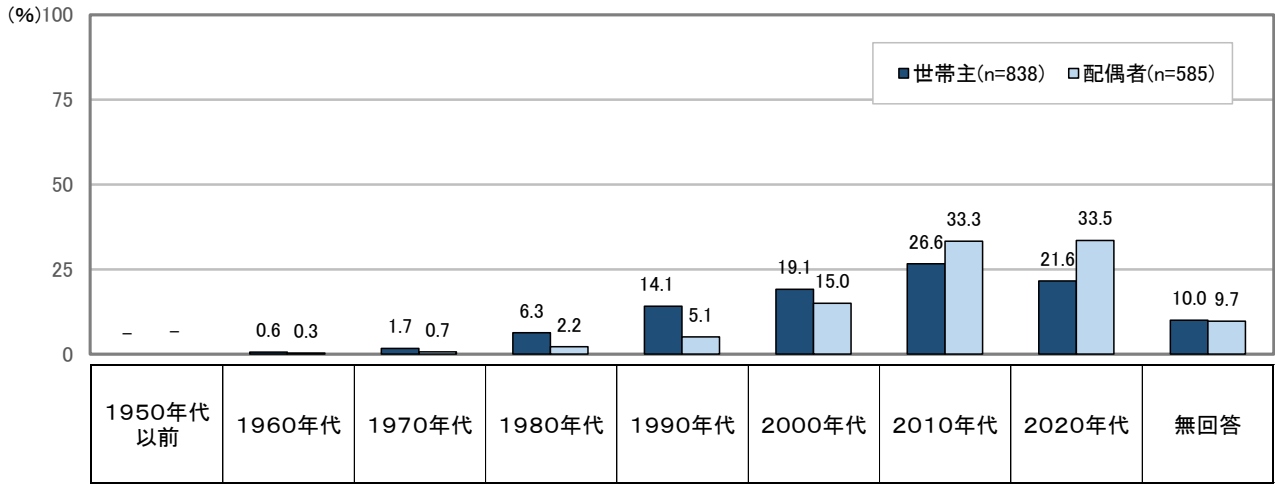


〔うち 残業時間〕 →

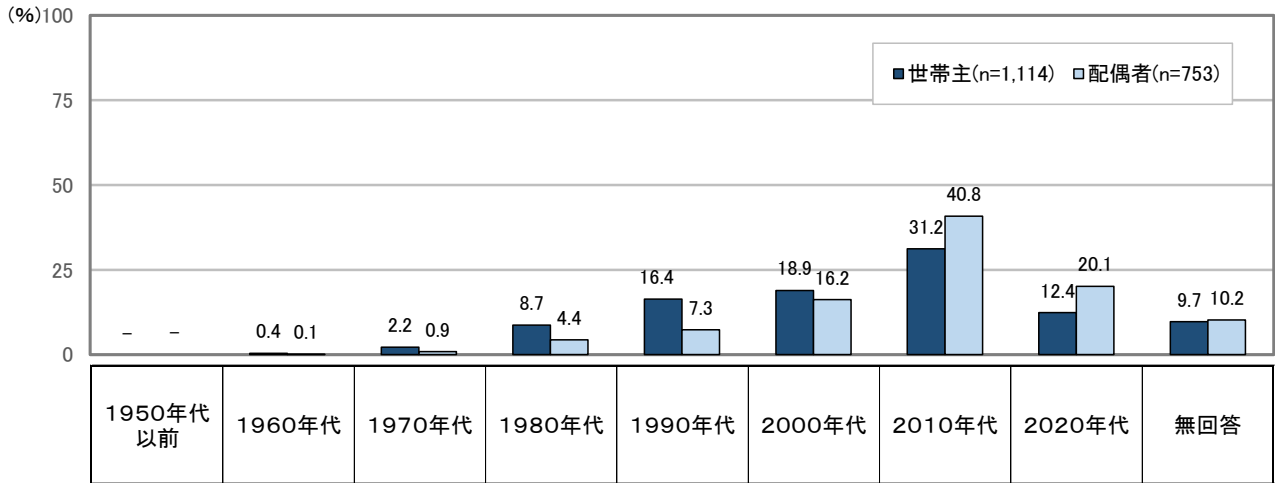


(図表6-8) 就業者中世帯主・配偶者の入社時期 (問23-2(6)、問24-2(6))

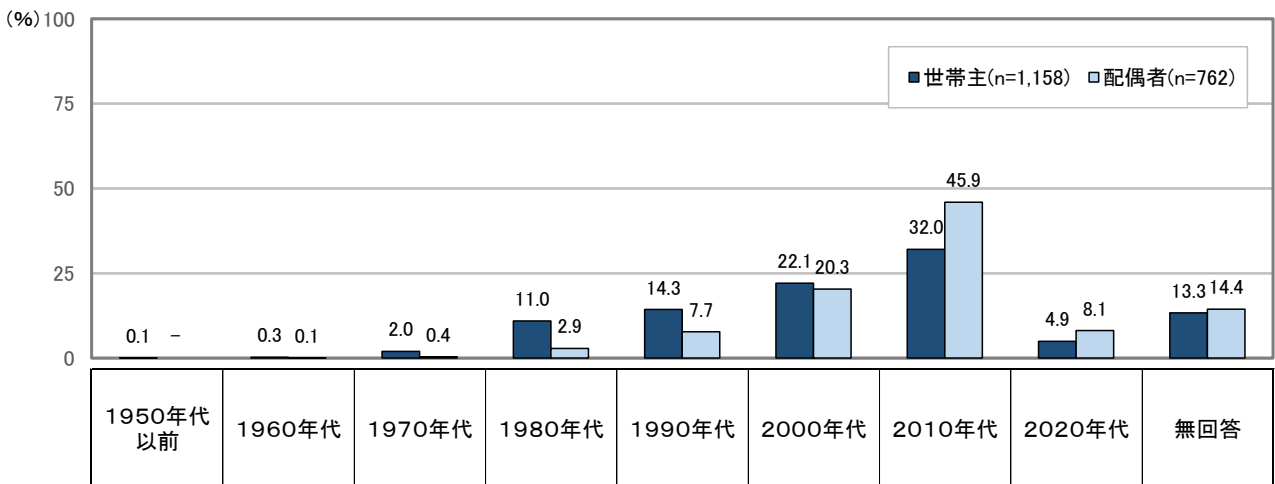
【2024年】

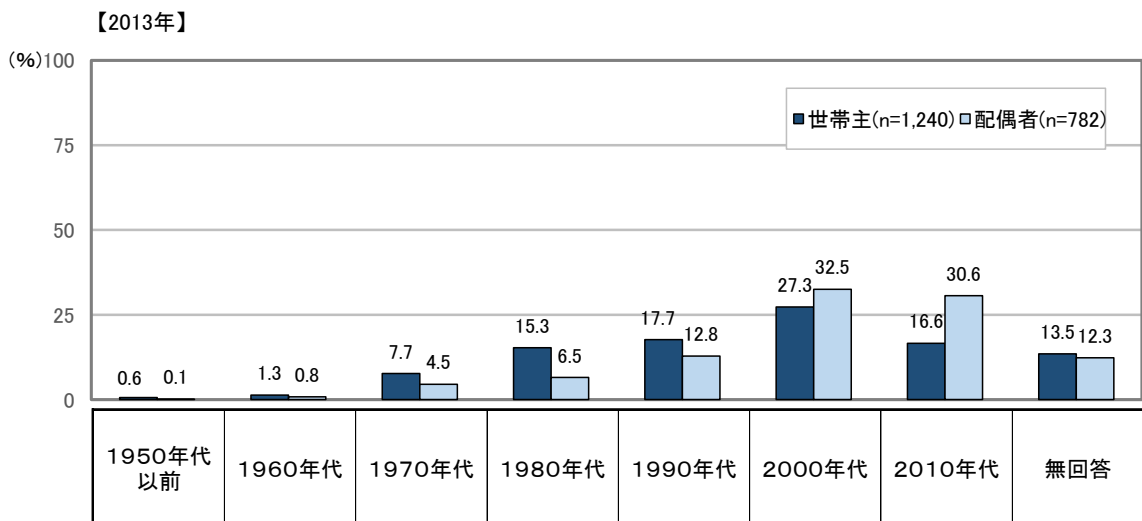
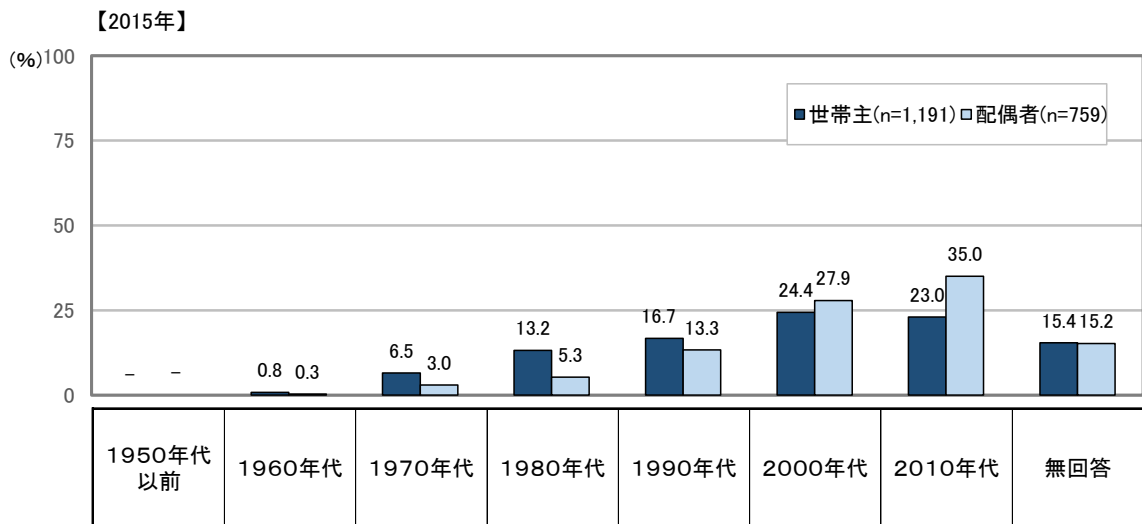
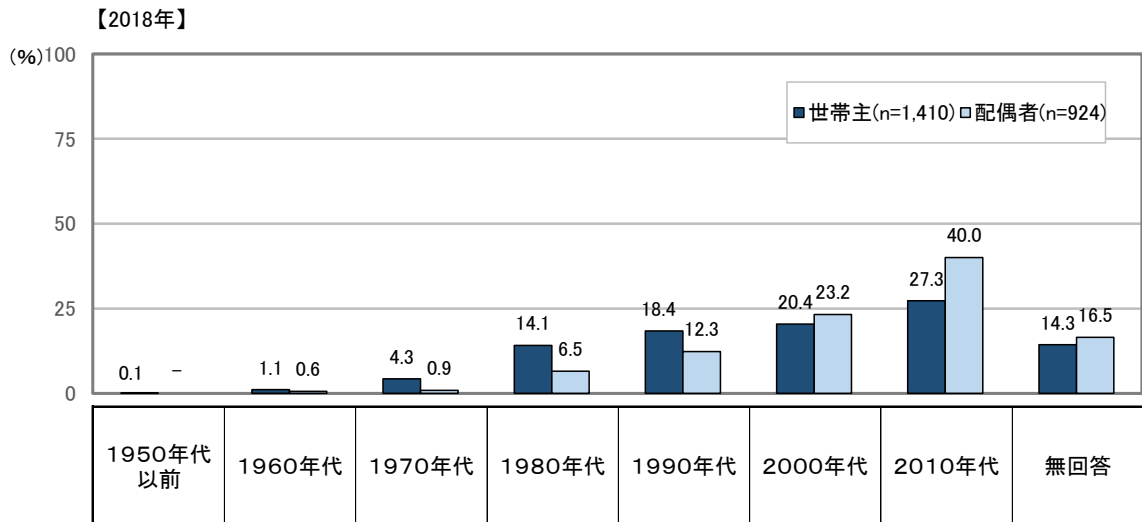


【2022年】



【2020年】

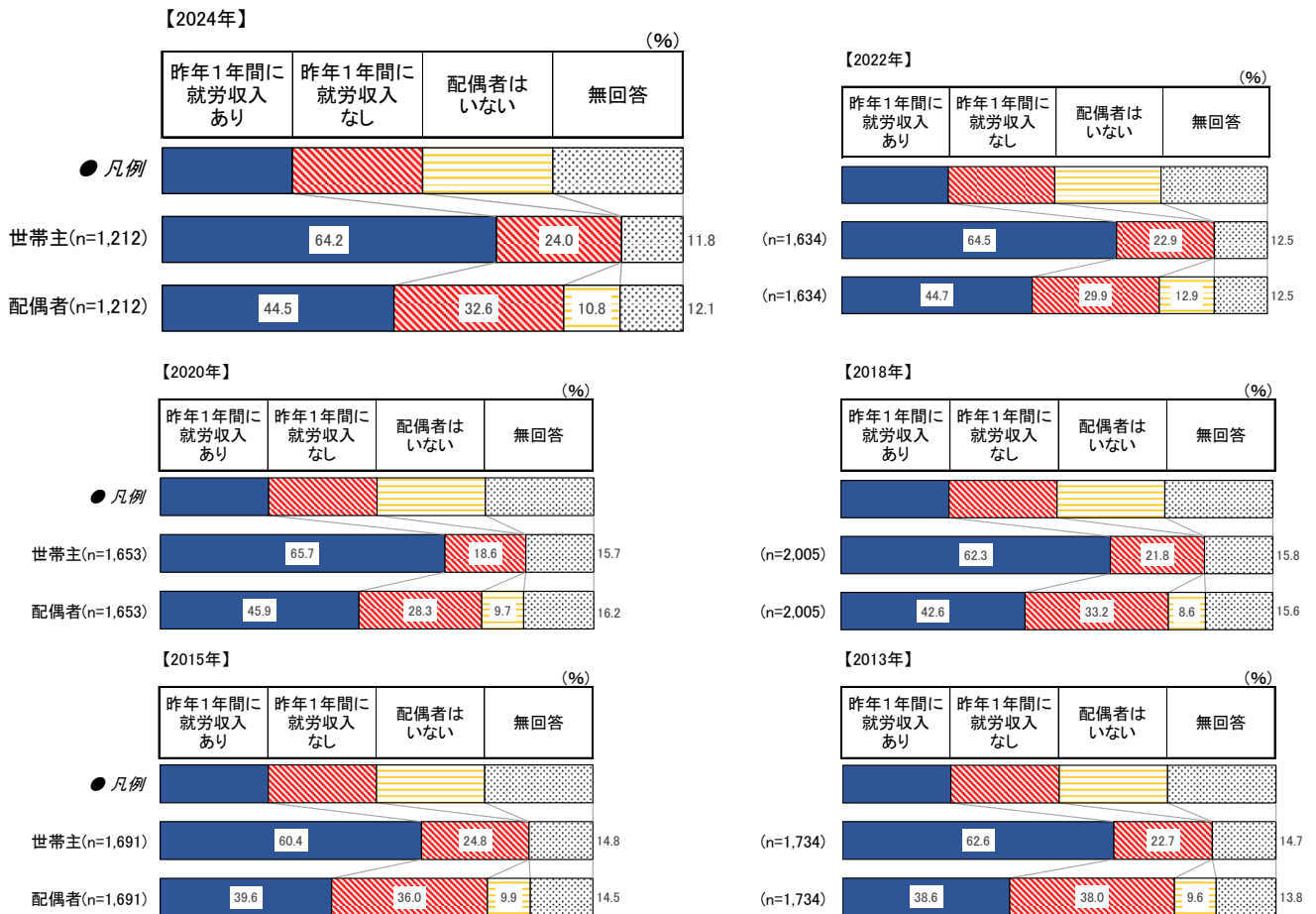




#### (4) 就労収入

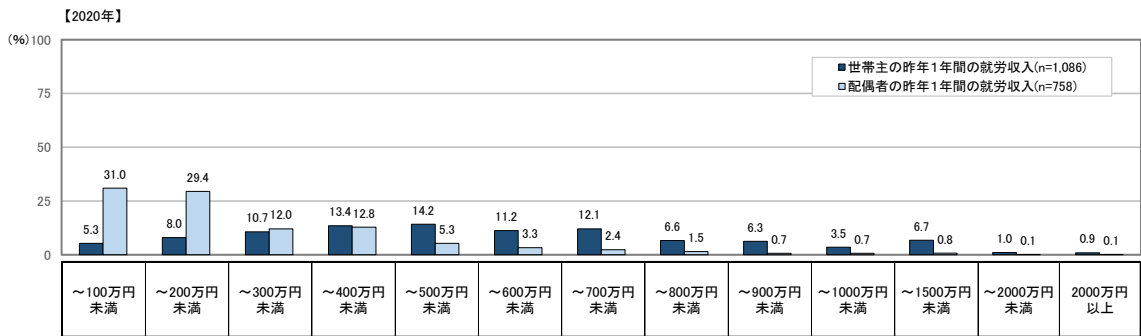
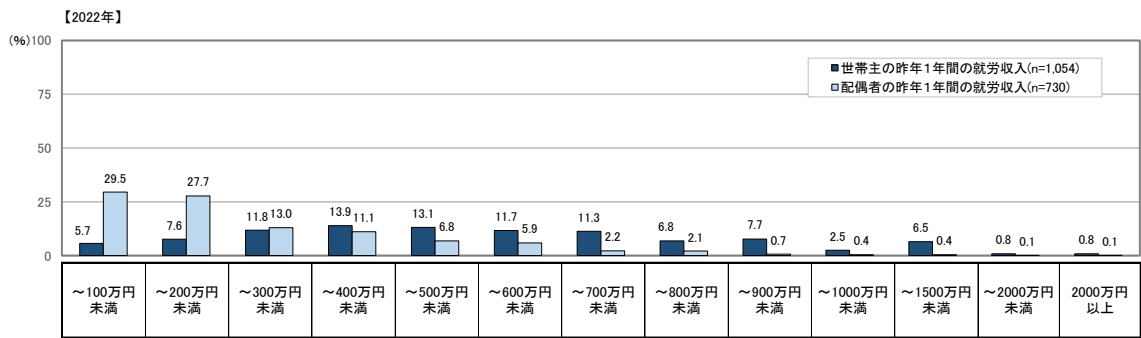
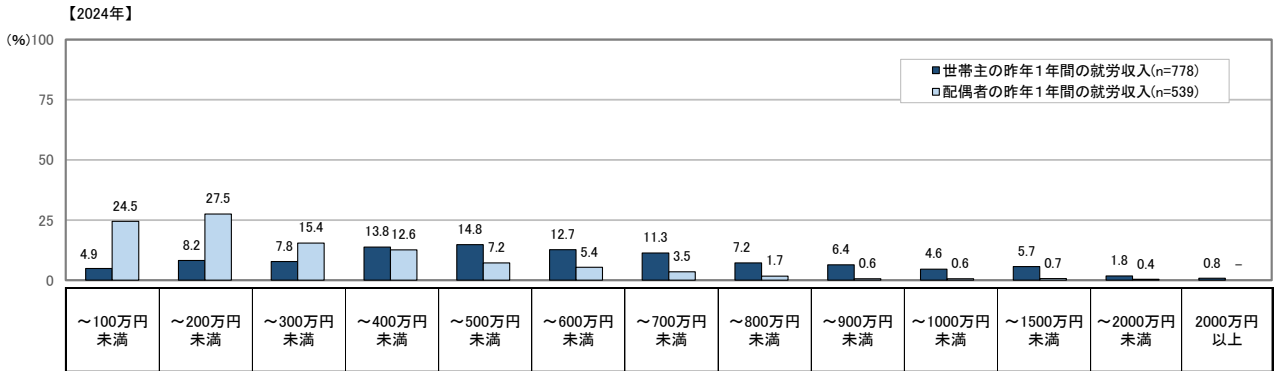
- 前年（2021年）1年間に就労収入があった人は、世帯主では64.2%、配偶者では44.5%であった。配偶者の「昨年1年間に就労収入あり」は、2013年以降増加傾向にある。
- 前年1年間に就労収入があった世帯主（778人）の前年の就労収入（税込）は、「400～500万円未満」（14.8%）、「300～400万円未満」（13.8%）が多く、「500～600万円未満」（12.7%）、「600～700万円未満」（11.3%）と続き、『300～700万円未満』の幅に5割が収まった。
- 同様に、前年1年間に就労収入があった配偶者（539人）の前年の就労収入（税込）をみると、「100～200万円未満」が27.5%で最多、次いで「～100万円未満」が24.5%で、200万円未満が過半数を占めた。

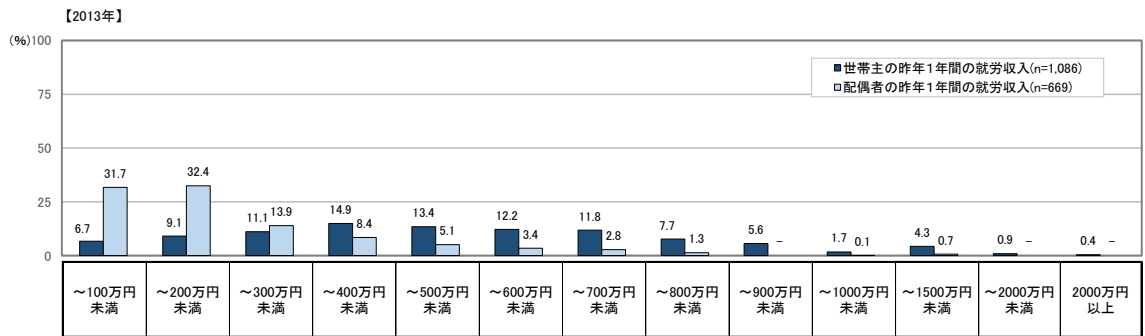
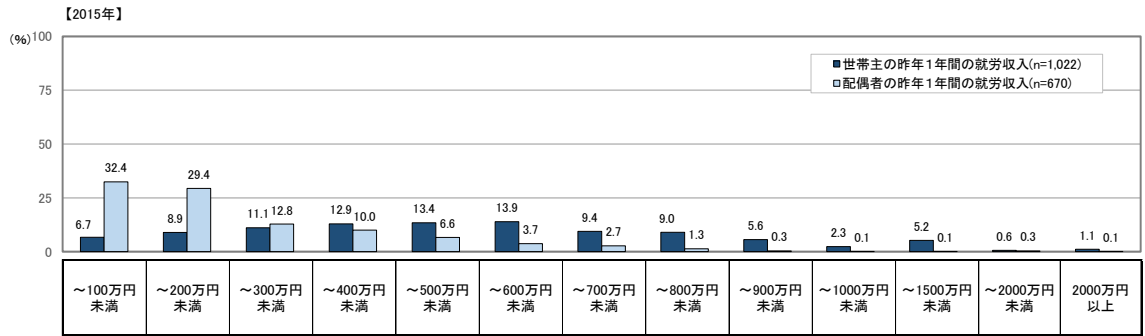
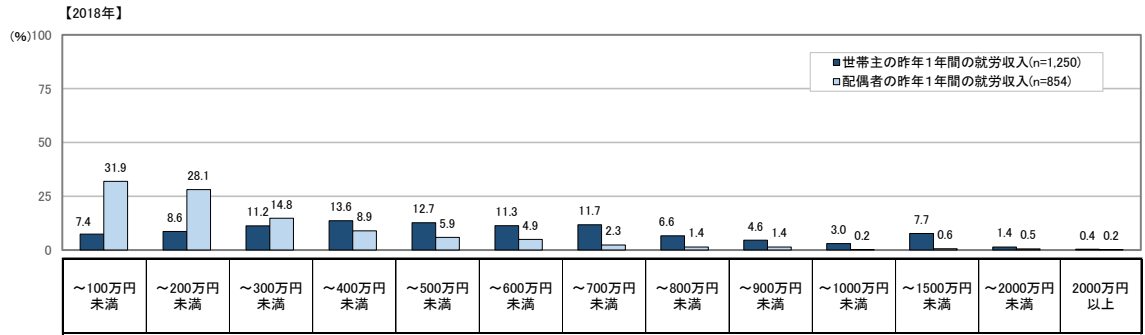
(図表6-9) 世帯主・配偶者の前年1年間の就労収入有無（問25(1)・(2)）



※配偶者は、「配偶者はいない」分を含む

(図表6-10) 世帯主・配偶者の前年1年間の就労収入(問25(1)・(2))

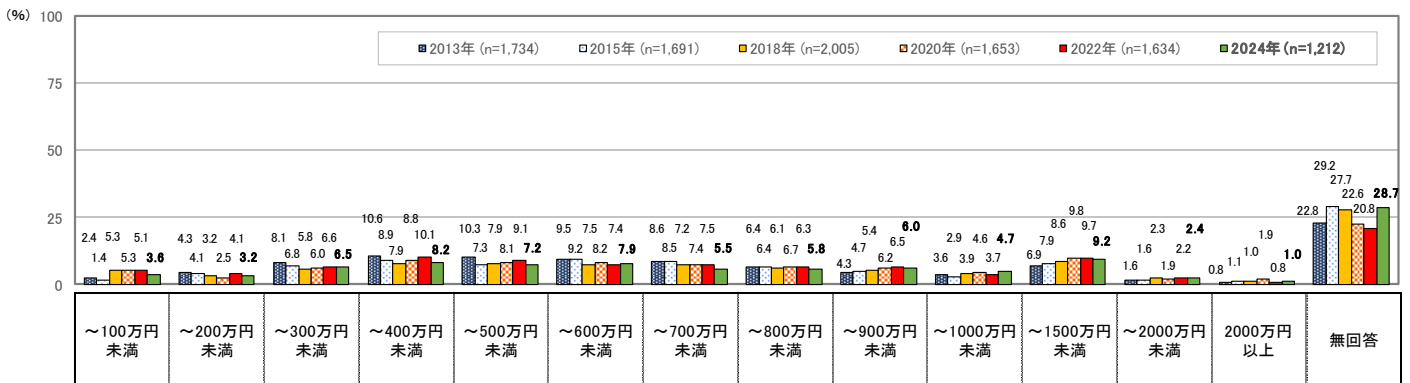




## (5) 世帯収入

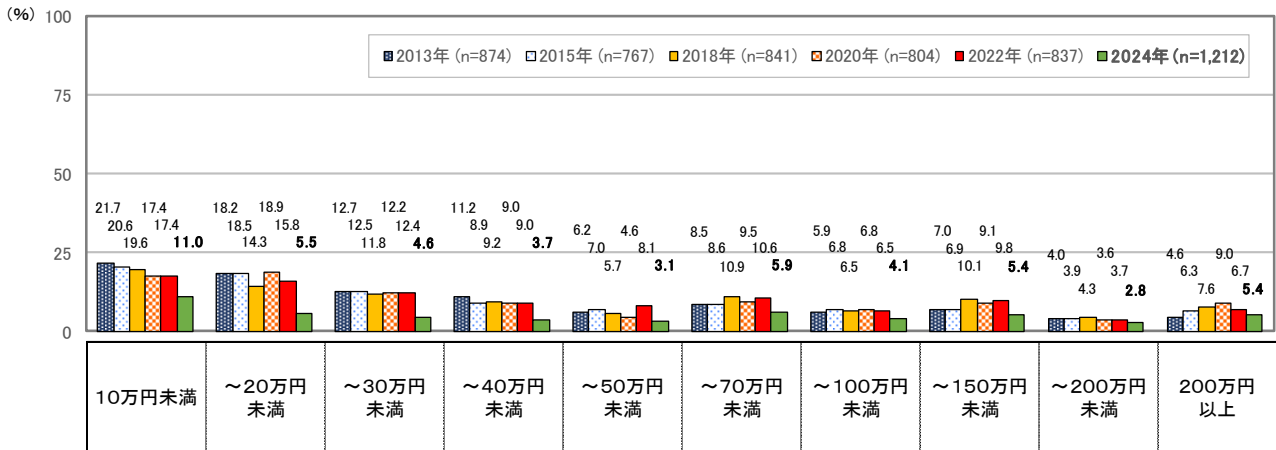
- 昨年1年間の世帯収入（税込総収入）は、「1000～1500万円未満」が最も多く9.2%で、続いて「300～400万円未満」（8.2%）、「500～600万円未満」（7.9%）、「400～500万円未満」（7.2%）が僅差で並んだ。
- 昨年1年間の税金・社会保険料は、所得税・住民税では「10万円未満」が最も多く11.0%で、続いて「50～70万円未満」（5.9%）、「10～20万円未満」（5.5%）、と続いた。社会保険料では、「100～150万円未満」が最多で11.1%、「50～70万円未満」（7.1%）、「70～100万円未満」（6.6%）と続いた。
- 昨年1年間の税抜き手取り額の世帯収入は、「300～400万円未満」（9.6%）、「400～500万円未満」（7.3%）、「500～600万円未満」（6.9%）、「200～300万円未満」（6.8%）の順であった。『500万円未満』が全体の32.1%を占めた。

(図表6-11) 世帯の総収入（問26(1)）



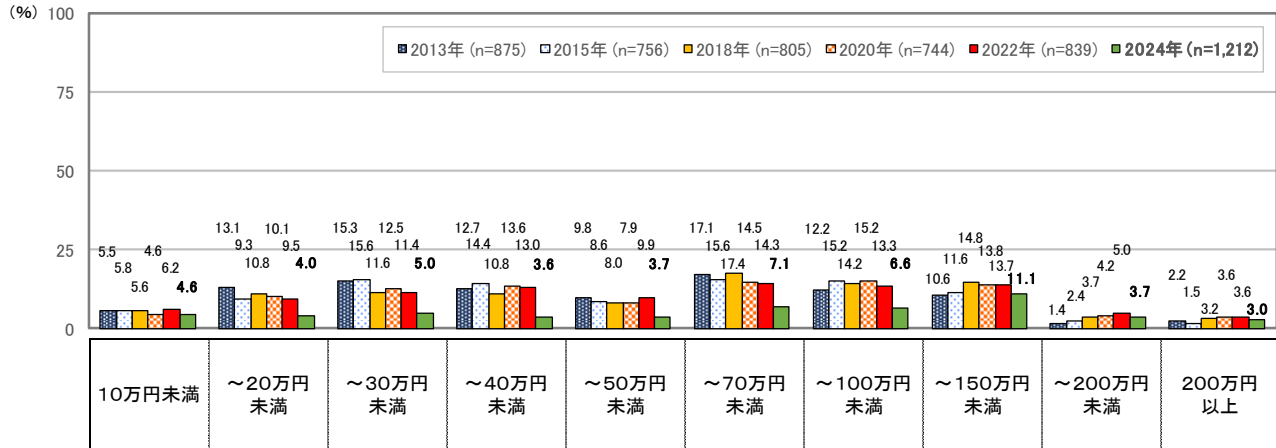


(図表 6-12) 世帯の所得税・住民税額 (問 26(2)①)



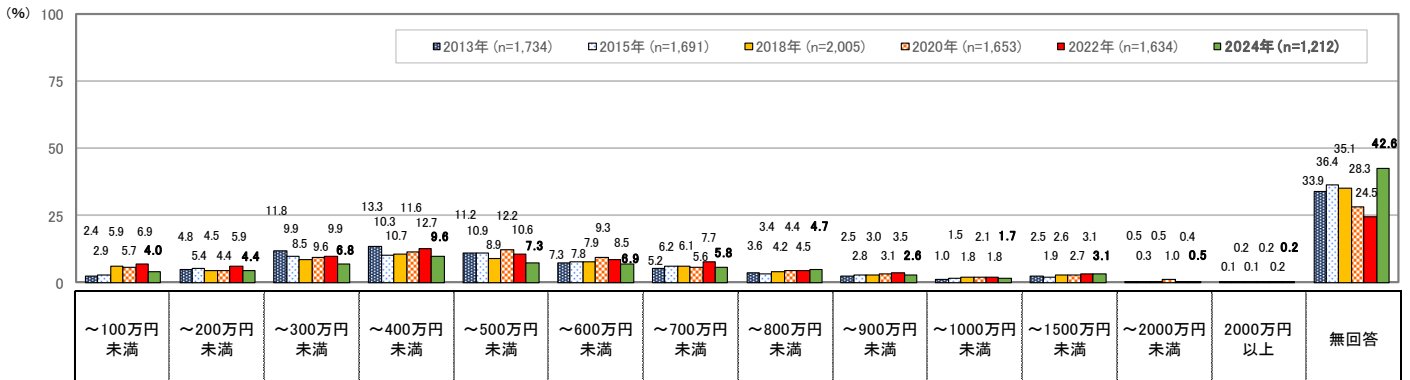
※2024年は全員にたずねており、無回答は48.3%。2022年までは支払いがあると回答した人に金額をたずねている。

(図表 6-13) 世帯の社会保険料額 (問 26(2)②)



※2024年は全員にたずねており、無回答は47.6%。2022年までは支払いがあると回答した人に金額をたずねている。

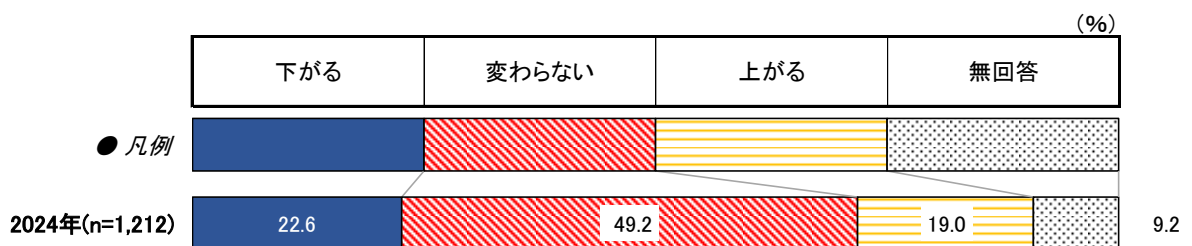
(図表 6-14) 世帯の手取り額 (問 26(3))



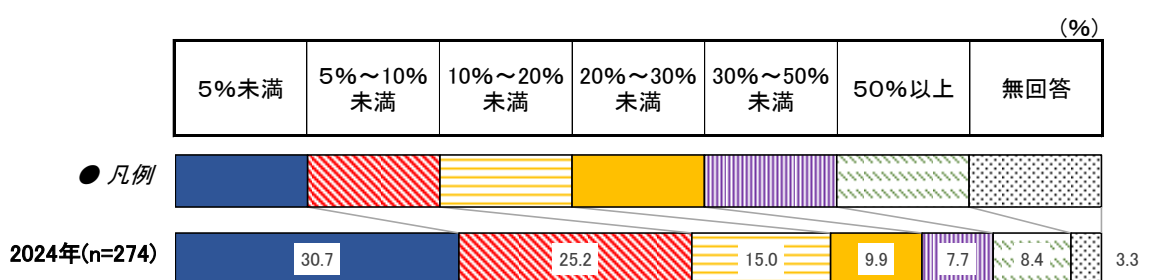
(6) 世帯年収の変動

- 今年1年間の収入見込みは、昨年に比べてどのようになると思うかを尋ねたところ、「下がる」が22.6%、「変わらない」が49.2%、「上がる」が19.0%であった。
- 収入が「下がる」と回答した人(274人)に、下落幅の程度を尋ねたところ、「5%未満」が最も多く30.7%、続いて「5%~10%未満」が25.2%、「10%~20%未満」が15.0%であった。
- 収入が「上がる」と回答した人(230人)に、上昇幅の程度を尋ねたところ「5%未満」(57.0%)が過半数を占め、次いで「5%~10%未満」が22.6%、「10%~20%未満」が8.3%であった。
- 1年後の年間総収入は、今年1年間の収入見込みに比べてどのようになると思うかを尋ねたところ、「下がる」が22.1%、「変わらない」が52.1%、「上がる」が17.0%であった。
- 収入が「下がる」と回答した人(268人)に、下落幅の程度を尋ねたところ、「5%未満」が最も多く33.6%、続いて「5%~10%未満」が23.9%、「10%~20%未満」が15.7%であった。
- 収入が「上がる」と回答した人(206人)に、上昇幅の程度を尋ねたところ、「5%未満」(57.8%)が半数を占め、次いで「5%~10%未満」が24.3%、「10%~20%未満」が9.2%であった。

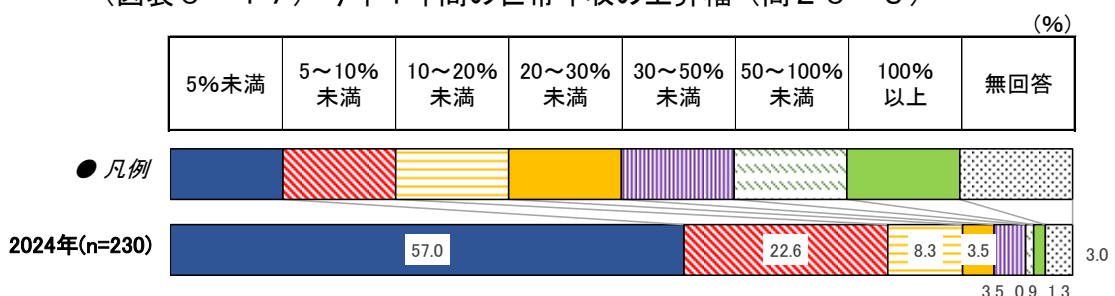
(図表6-15) 昨年の世帯年収と今年1年間の見込み世帯年収の変動 (問26-1)



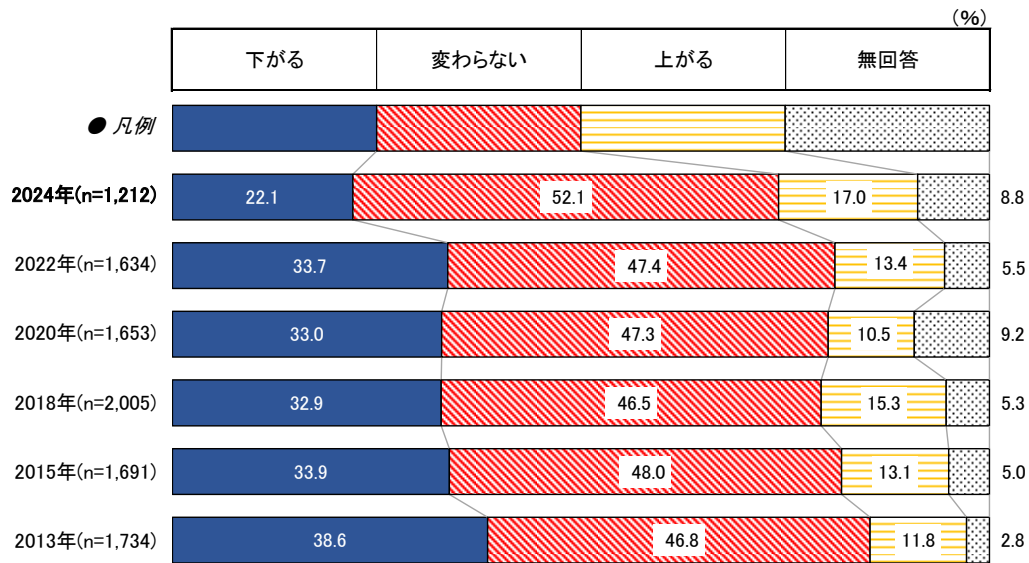
(図表6-16) 今年1年間の世帯年収の下落幅 (問26-2)



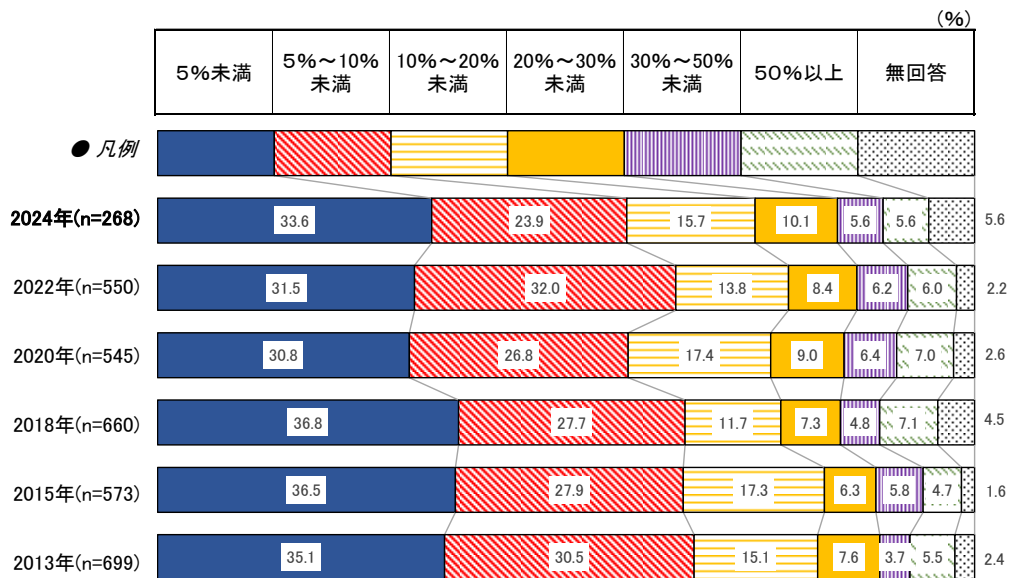
(図表6-17) 今年1年間の世帯年収の上昇幅 (問26-3)



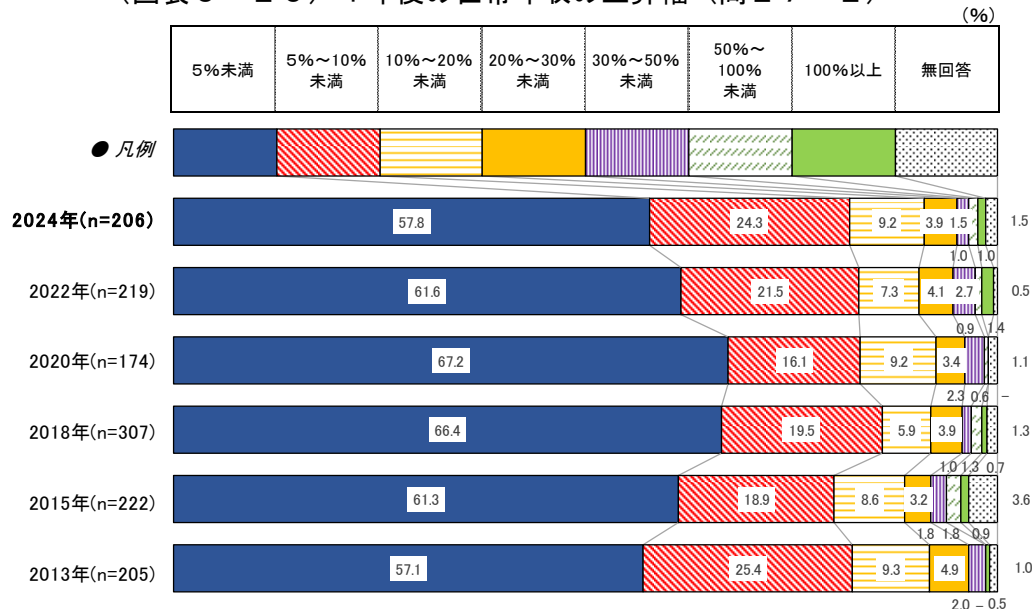
(図表6-18) 今年1年間の見込み世帯年収と1年後の世帯年収の変動 (問27)



(図表6-19) 1年後の世帯年収の下落幅 (問27-1)



(図表6-20) 1年後の世帯年収の上昇幅 (問27-2)

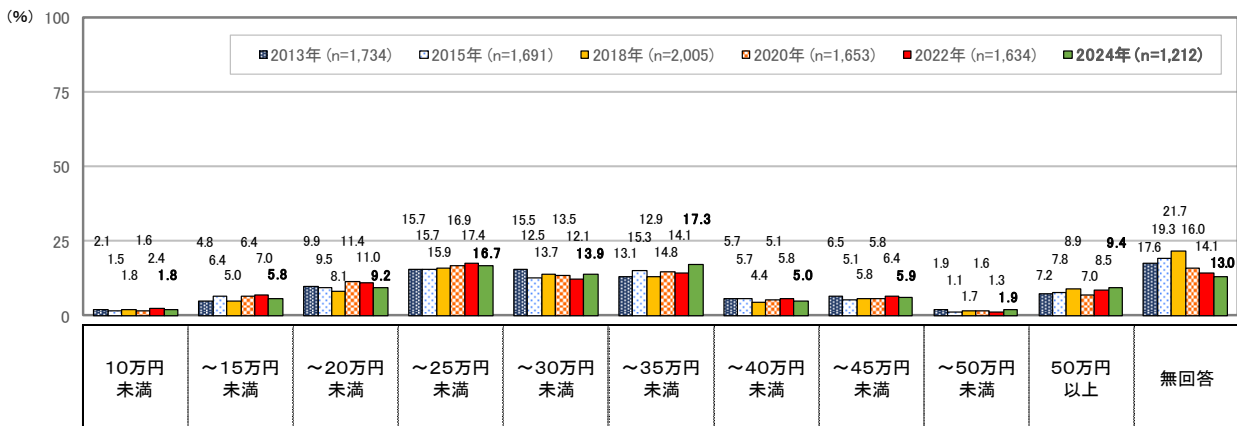


## 7. 支出について

### (1) 世帯支出

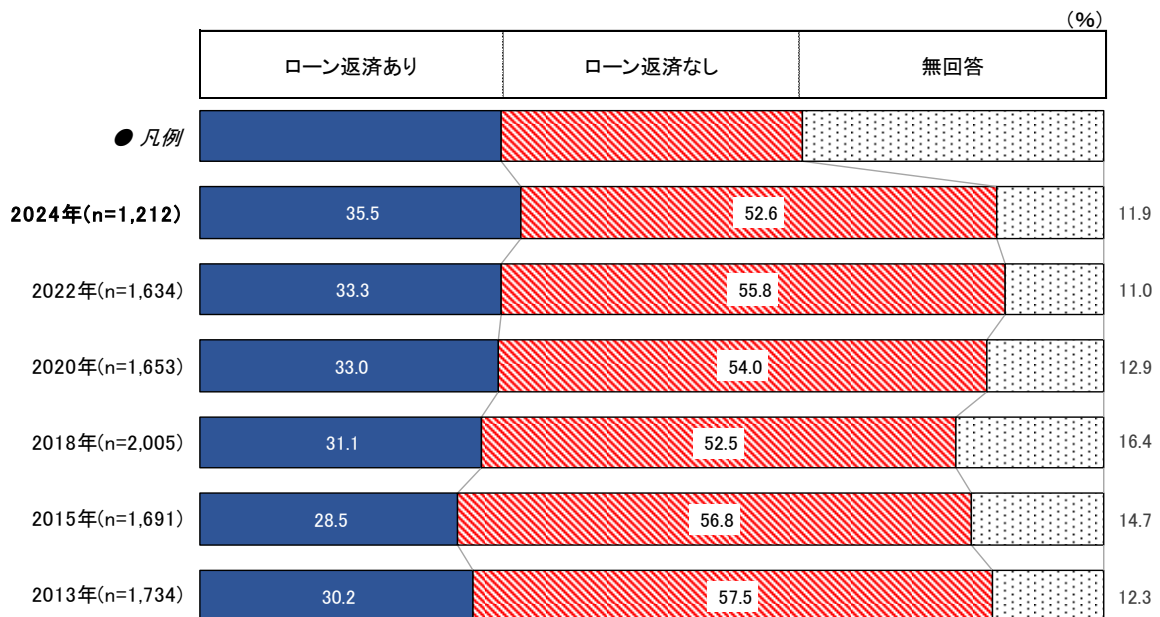
- 今年の一か月あたりの平均支出は、「30～35万円未満」が最も多く17.3%、続いて「20～25万円未満」が16.7%、「25～30万円未満」が13.9%であった。
- 今年ローン返済があった世帯は35.5%（430人）で、一か月あたりのローン返済額は、「10万円未満」が60.7%。「10～15万円未満」が27.7%、「15～20万円未満」は5.8%で、それ以上の金額の回答はわずかであった。

(図表7-1) 一か月あたりの世帯支出 (問28(1))



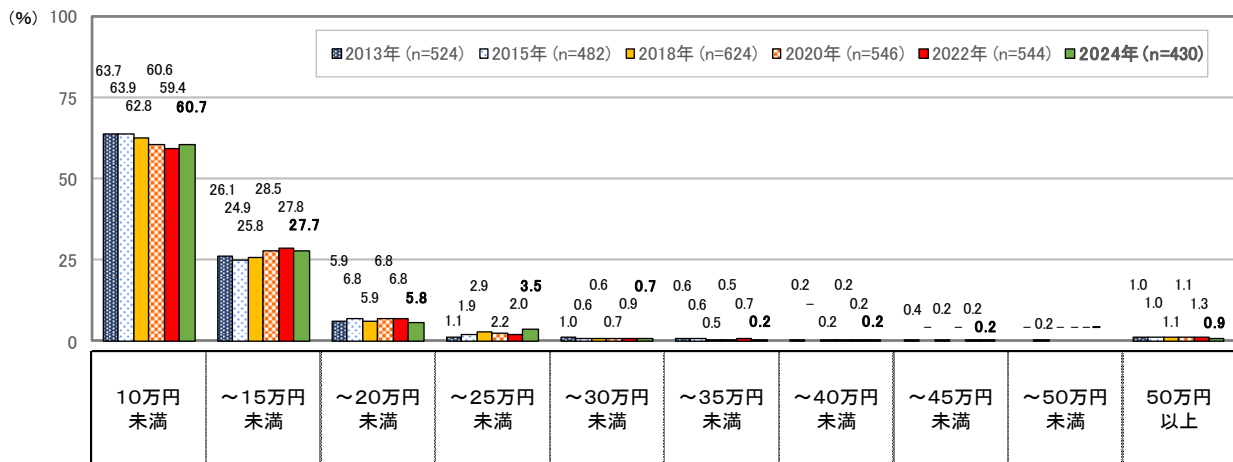
※2022年までは昨年の一か月あたりの支出

(図表7-2) 一か月あたりの住宅などのローン返済の有無 (問28(2))



※2022年までは昨年の一か月あたりについて

(図表 7-3) 一か月あたりの住宅などのローン返済額 (問 28 (2))

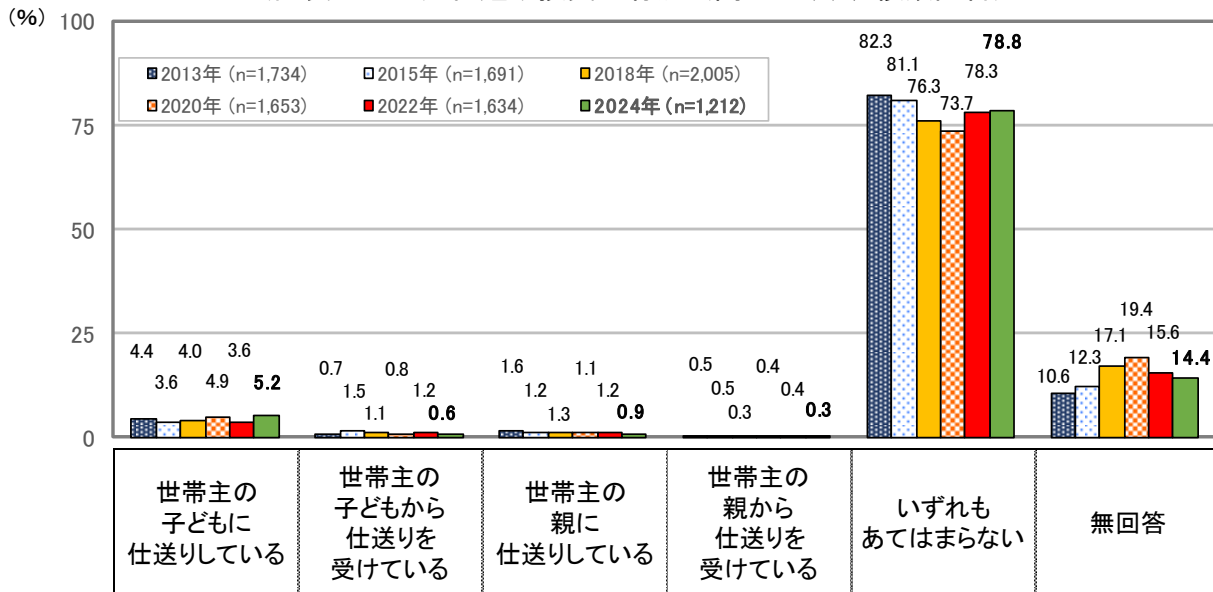


※2022年までは昨年の一か月当たりの支出金額

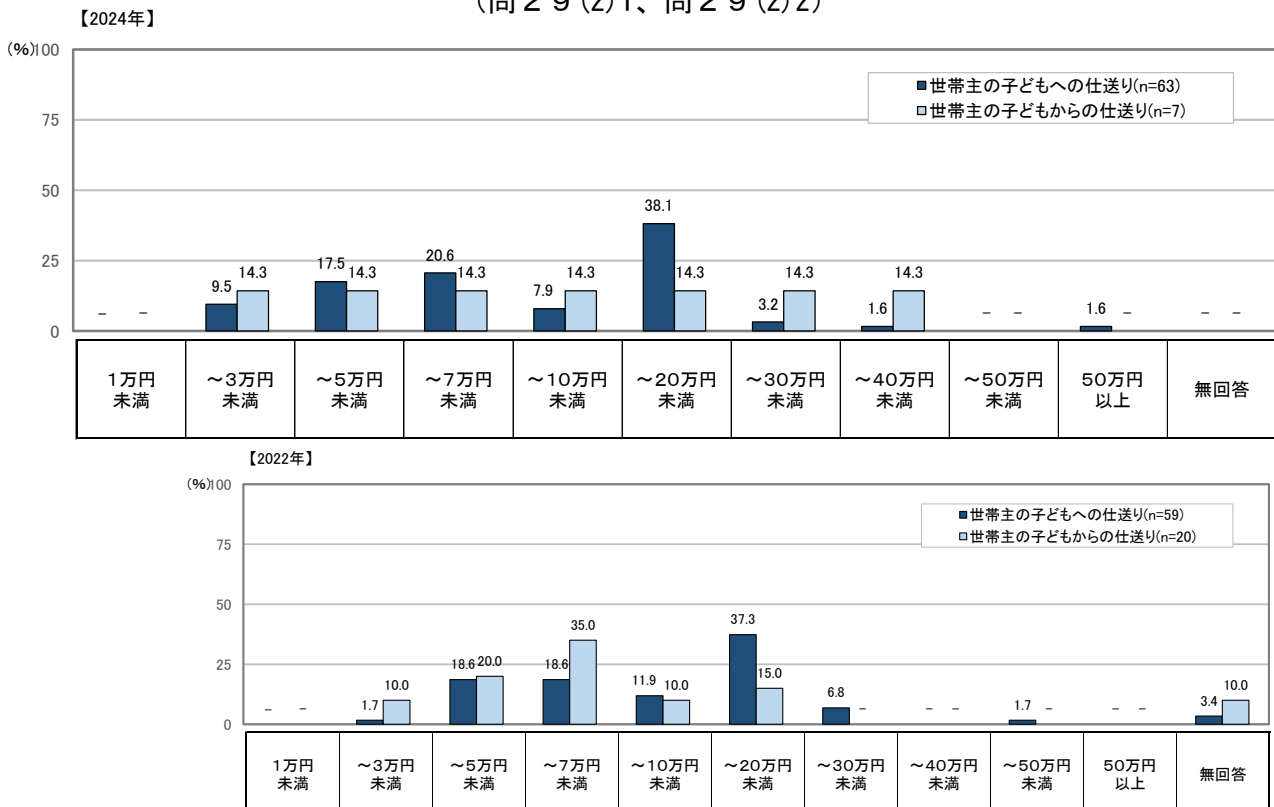
## (2) 仕送り

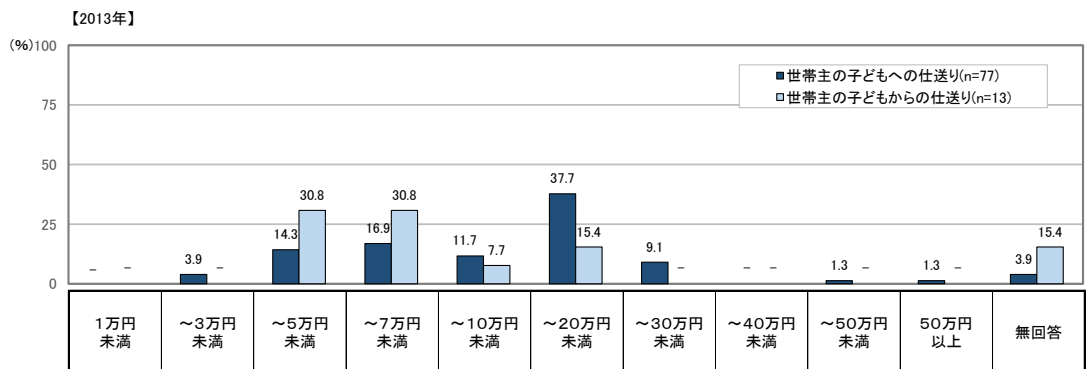
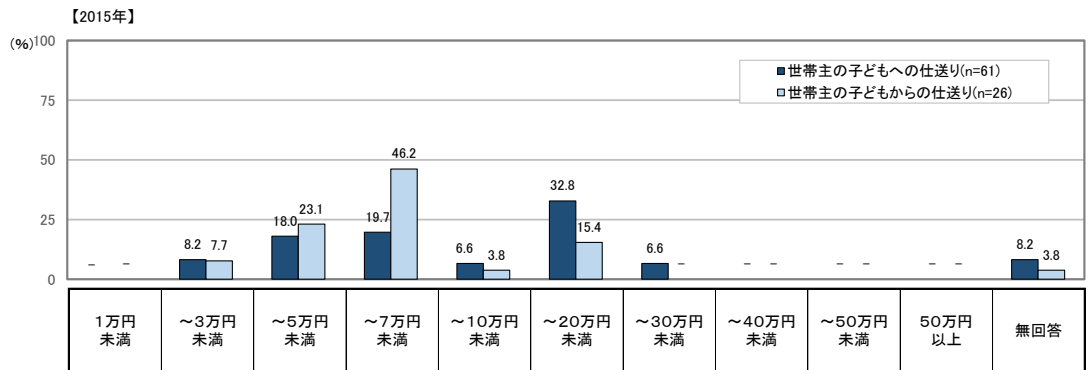
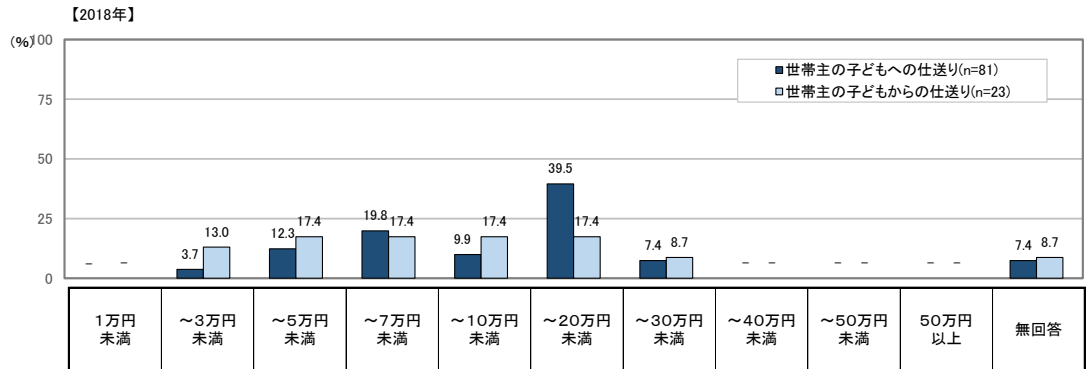
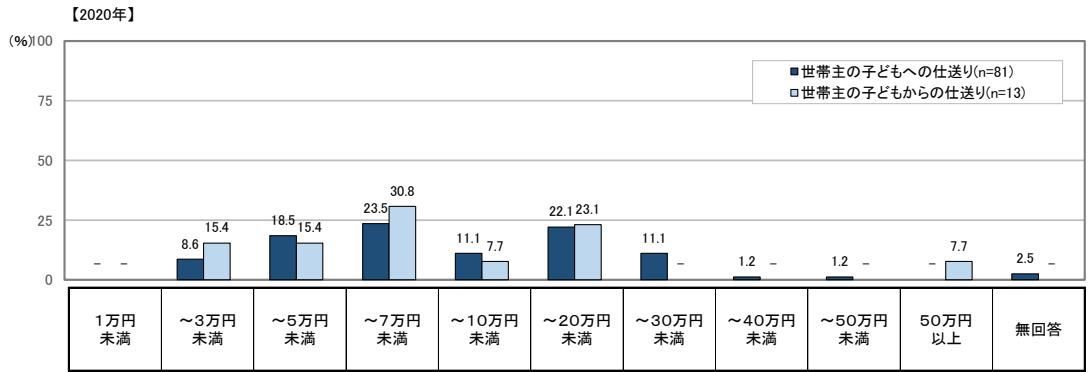
- 子どもや親との仕送りについて、いずれかのやりとりがあると回答した世帯は7.0%。仕送りのやり取りが無い「上記にいずれもあてはまらない」が78.8%を占めた。仕送りのやり取りの中では、「世帯主の子どもに仕送りをしている」が5.2%で最も多かった。
- 世帯主の子どもへの仕送りをしている世帯（63人）の月々の仕送り金額は、「10～20万円未満」（38.1%）が多く、「5～7万円未満」（20.6%）、「3～5万円未満」（17.5%）と続いた。

(図表7-4) 仕送り授受の有無 (問29(1)、複数回答)



(図表7-5) 月々の仕送り金額 (子どもへの仕送り・子どもからの仕送り)  
(問29(2)1、問29(2)2)

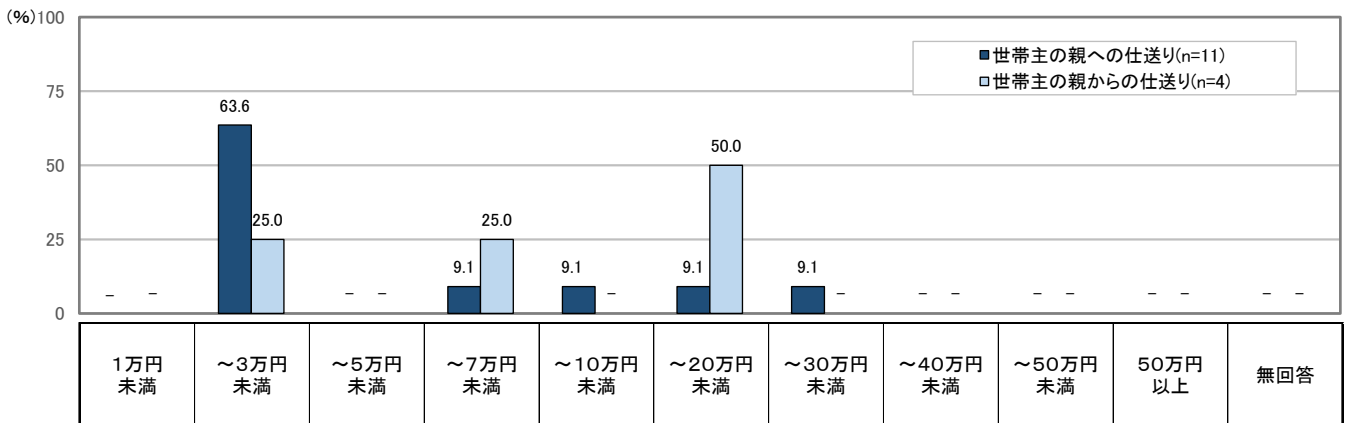




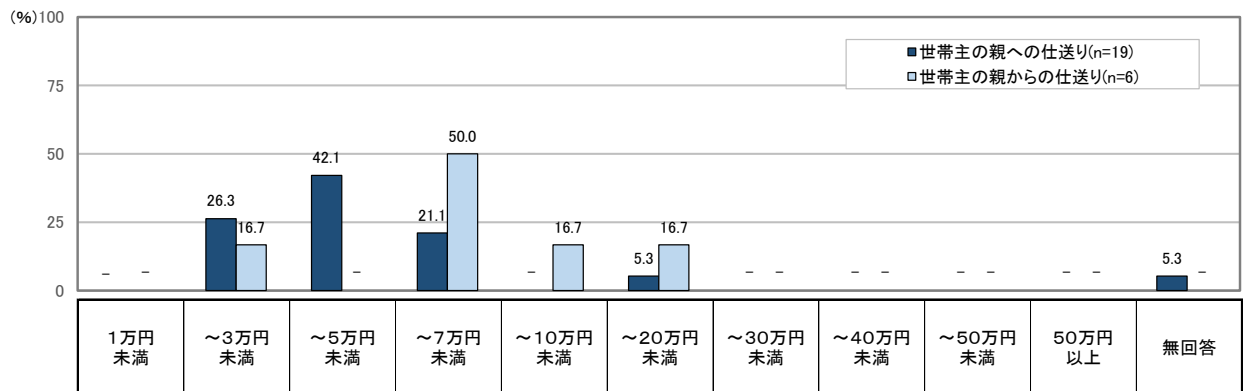
(図表 7-6) 月々の仕送り金額 (親への仕送り・親からの仕送り)

(問 29 (2)3、問 29 (2)4)

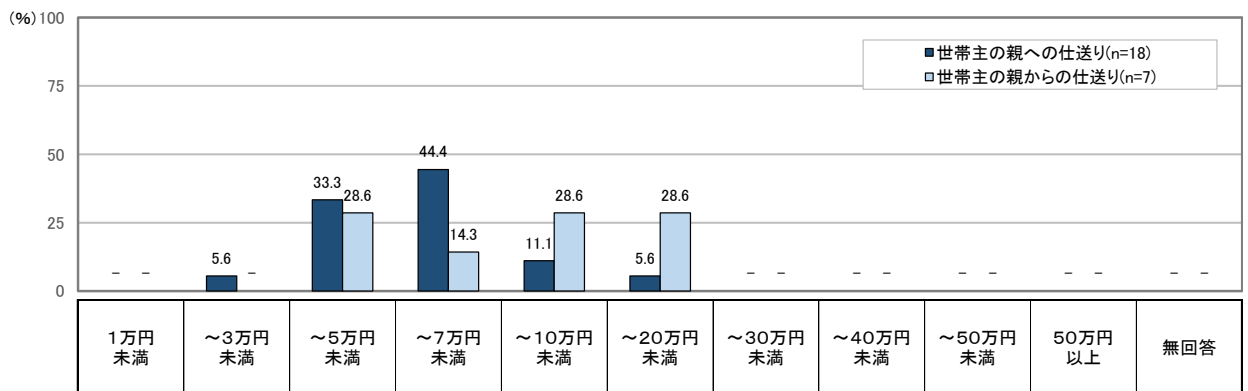
【2024年】



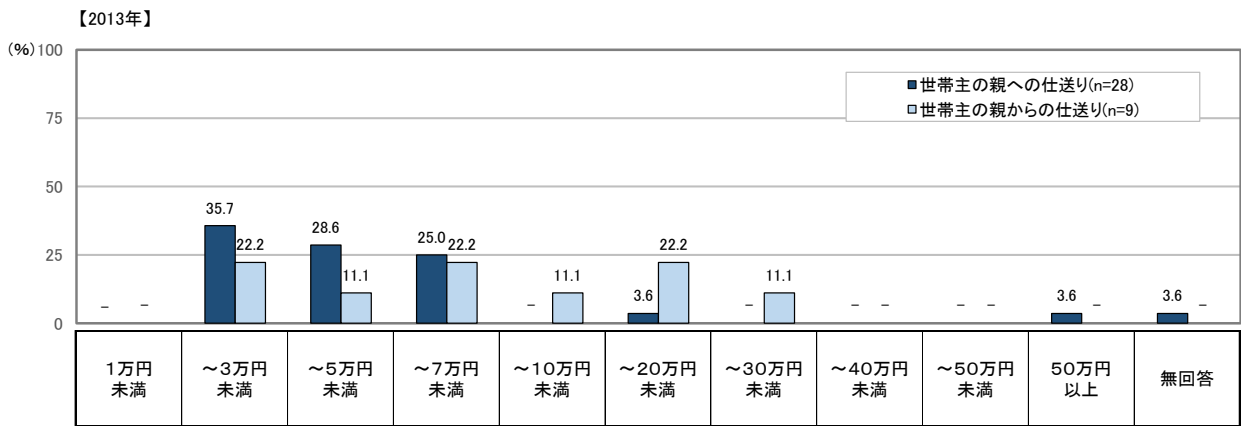
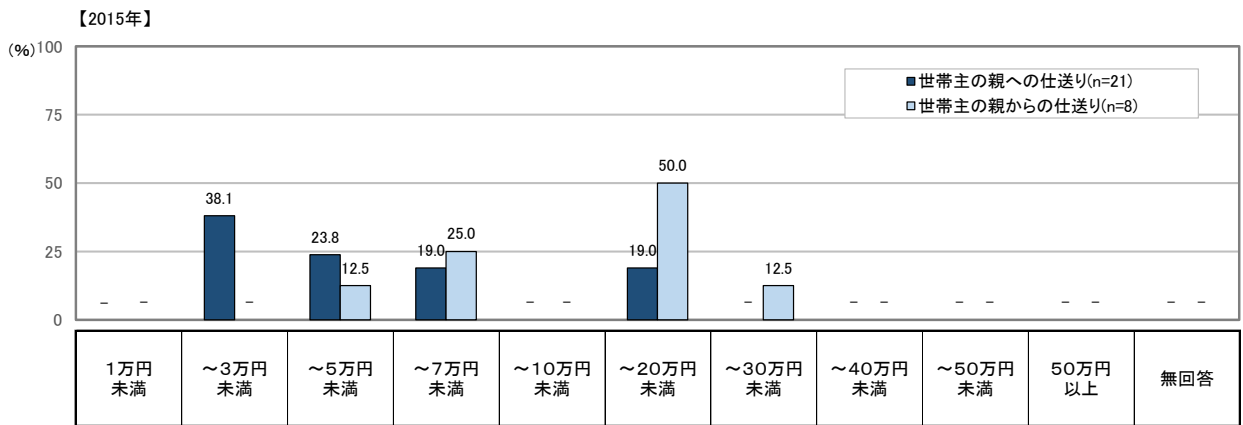
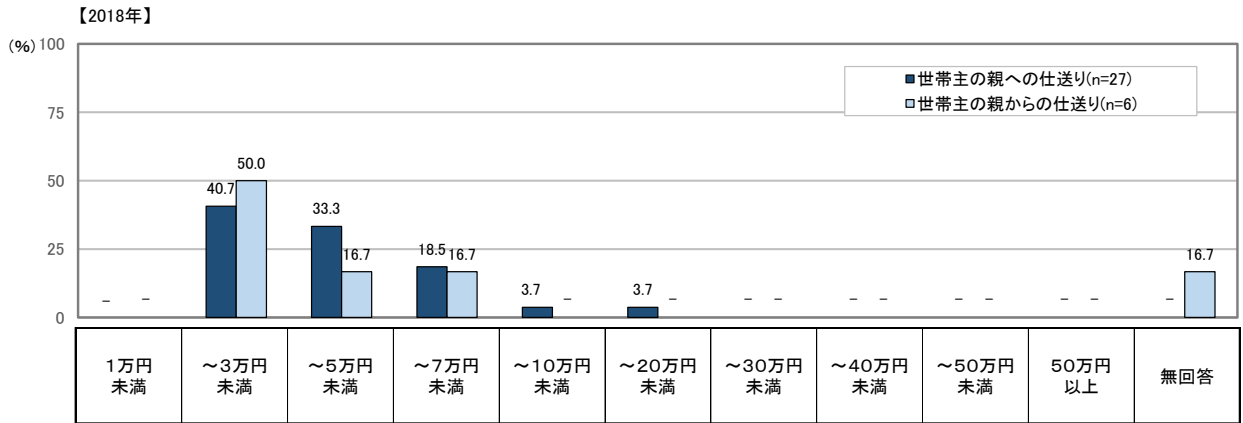
【2022年】



【2020年】





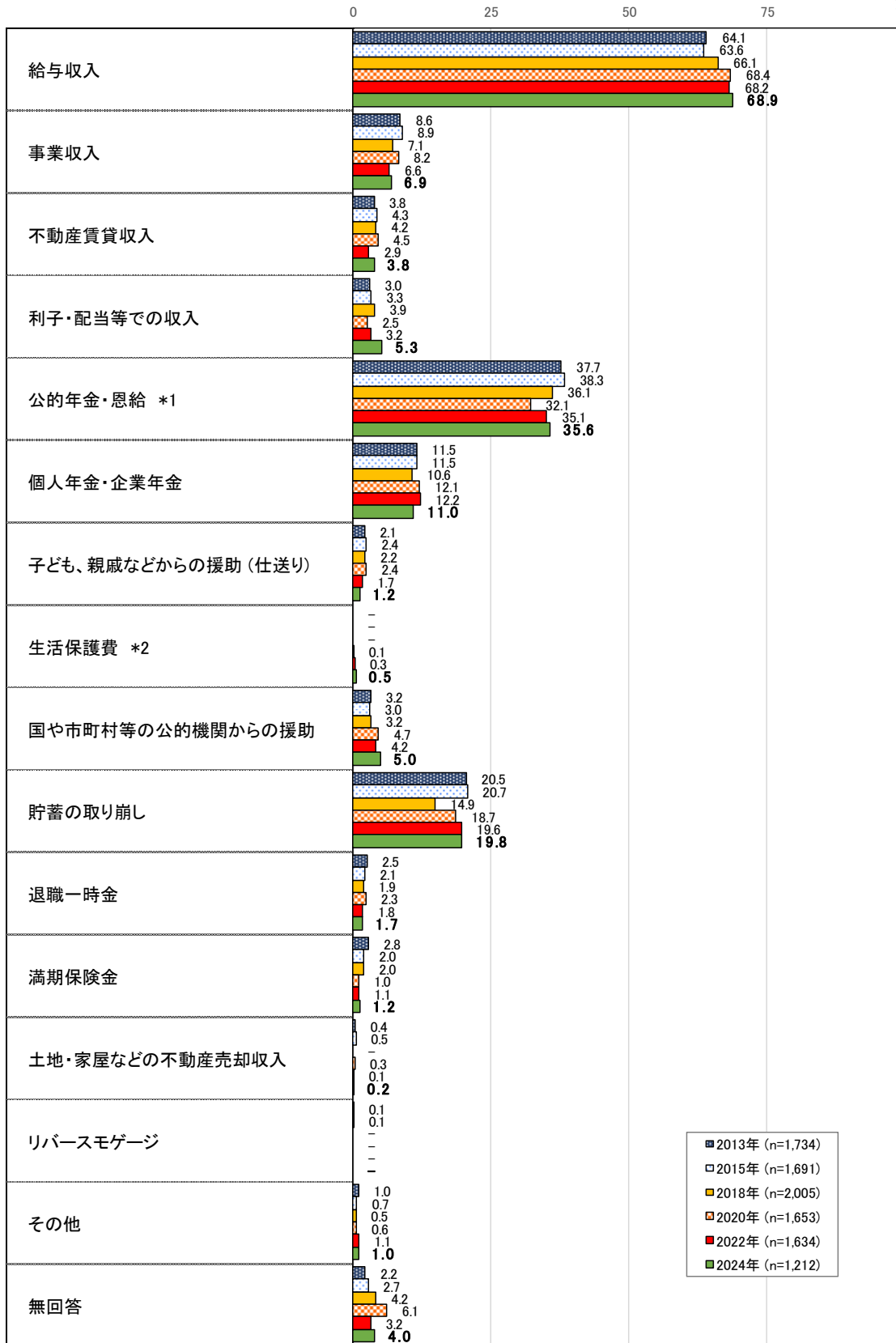


### (3) 世帯の家計をまかなう収入源

- 家計支出をまかなっている世帯の収入源（複数回答）の種類としては、「給与収入」が68.9%で最も多く、次いで「公的年金・恩給」（35.6%）、「貯蓄の取り崩し」（19.8%）の順であった。
- 2013年からの推移をみると、2015年以降、「給与収入」が増加傾向にある一方「公的年金・恩給」が減少傾向にある。
- 家計の支出をまかなっている世帯の収入源のうち最も金額が大きい収入は、「給与収入」が57.6%で最も多く、次いで「公的年金・恩給」（20.6%）、「事業収入」（3.3%）であった。

(図表7-7) 家計を賄う収入源 (問30(1)、複数回答)

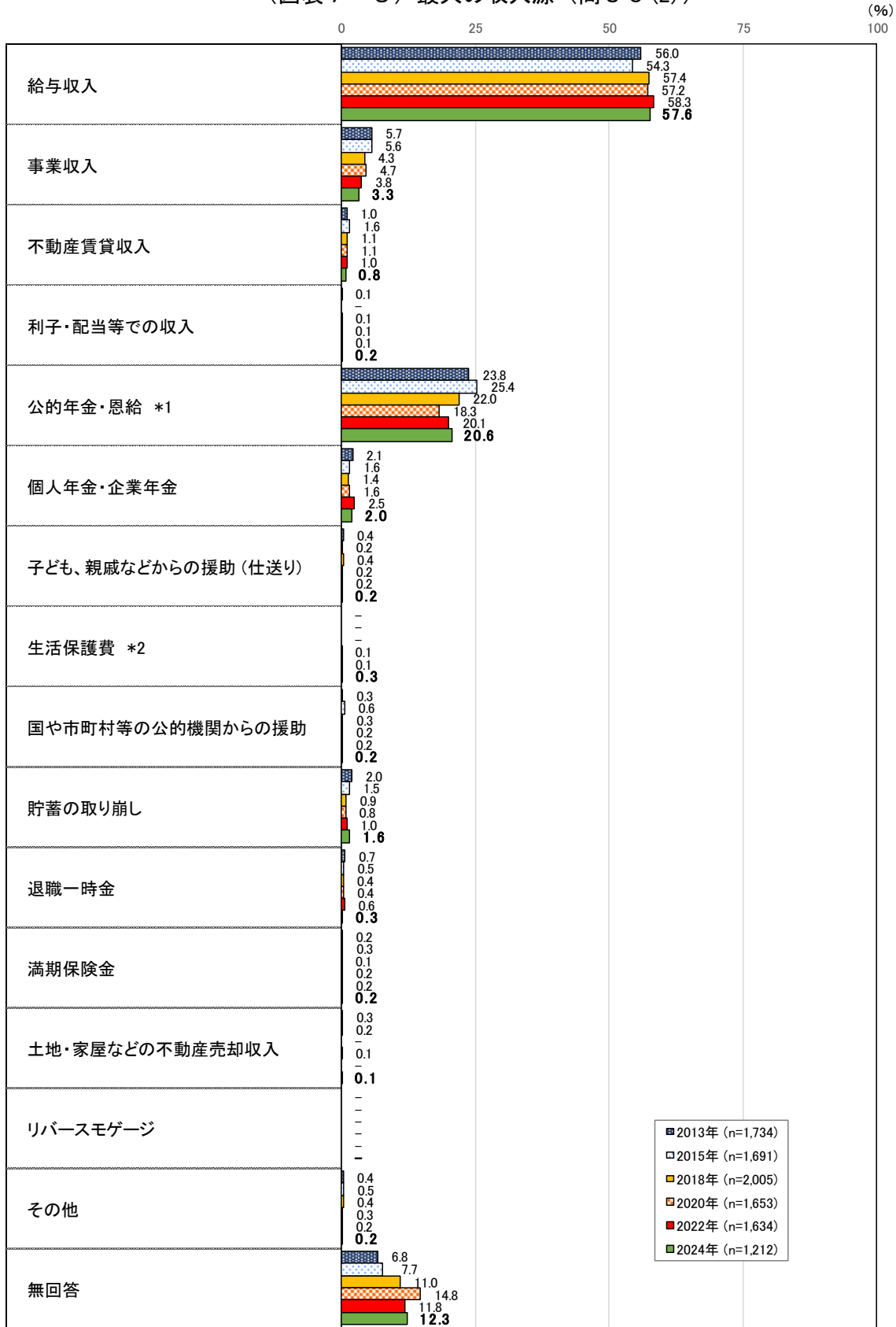
(%)  
100



\*1 : 2018年までは「公的年金」、2020年から「公的年金・恩給」と表記

\*2 : 2018年までは「国や市町村等の公的機関からの援助」に「生活保護費」が含まれていたが、2020年からは「生活保護費」の選択肢を設けた。

(図表 7-8) 最大の収入源 (問 30 (2))



\*1：2018年までは「公的年金」、2020年から「公的年金・恩給」と表記

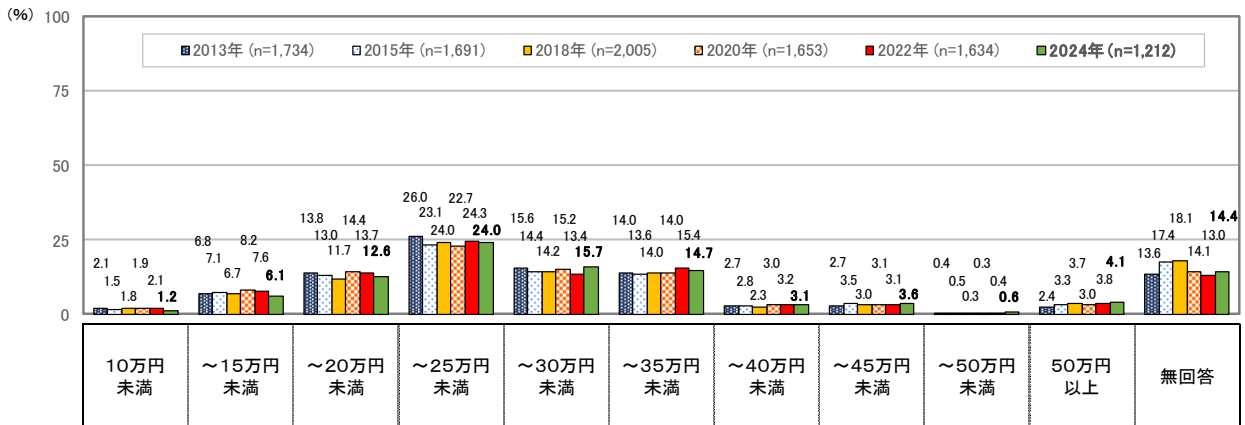
\*2：2018年までは「国や市町村等の公的機関からの援助」に「生活保護費」が含まれていたが、2020年からは「生活保護費」の選択肢を設けた。

## 8. 老後の生活について

### (1) 高齢期（65歳以上）における一か月の世帯支出額見込み

- 65歳以上の高齢期を迎えたときの世帯の一か月の支出額の予測を尋ねると、「20～25万円未満」が最も多く24.0%、続いて「25～30万円未満」が15.7%、「30～35万円未満」が14.7%であった。

(図表8-1) 高齢期（65歳以上）の一か月あたりの世帯支出額見込み（問31）

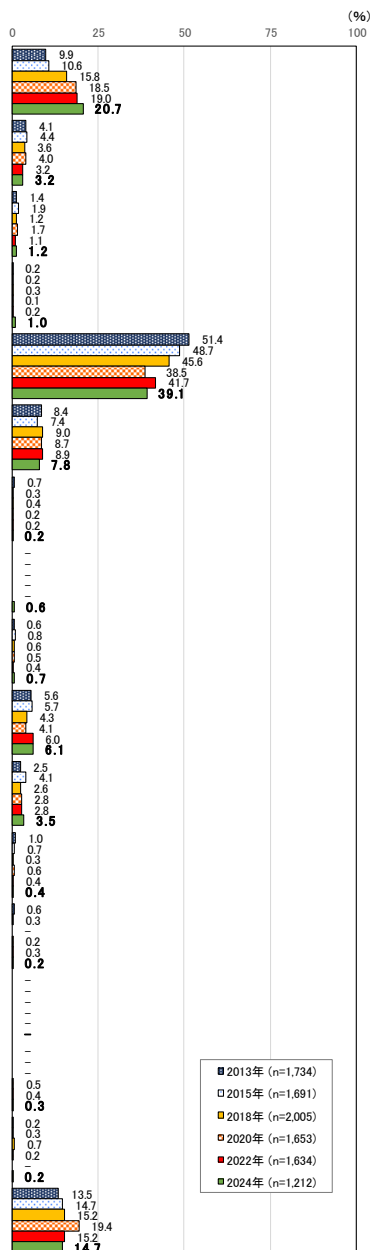
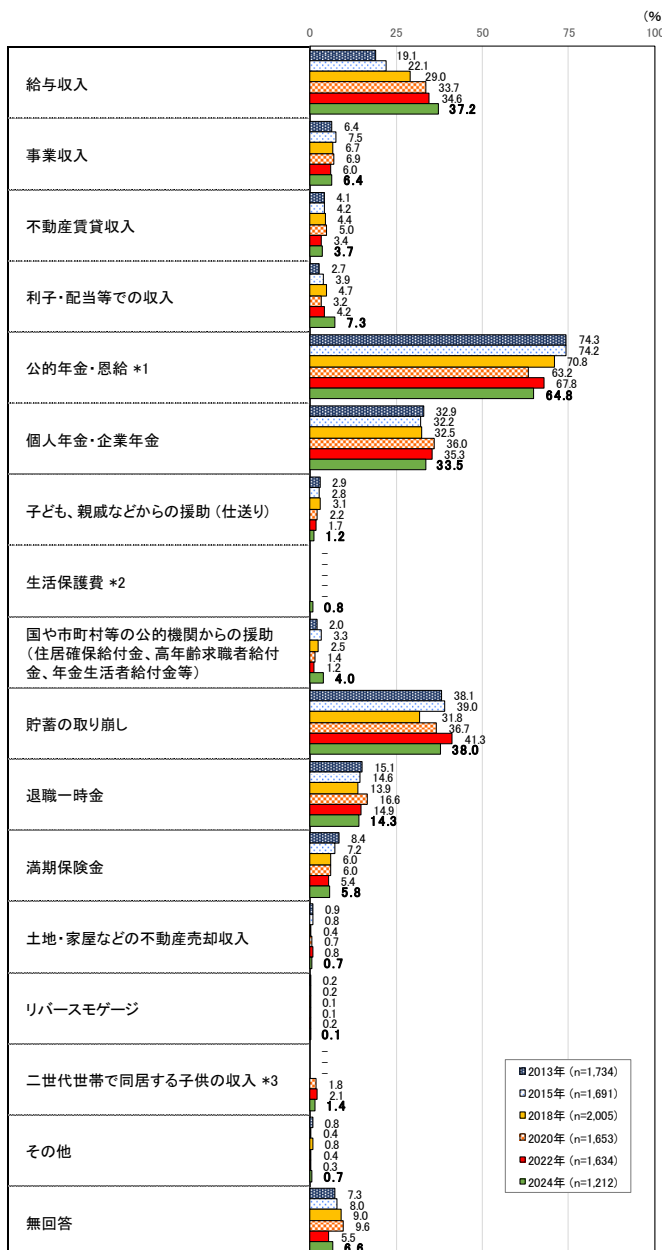


(2) 高齢期（65歳以上）を迎えたときの家計支出の収入源

- 65歳以上の高齢期を迎えたときの世帯の家計をまかなう収入源（複数回答）として考えているものについて尋ねたところ、「公的年金・恩給」が64.8%で最も多く、次いで「貯蓄の取り崩し」(38.0%)、「給与収入」(37.2%)、「個人年金・企業年金」(33.5%)の順。
- 65歳以上世帯の家計をまかなう収入源のうち最も金額が大きくなると考えているもの（単数回答）は、「公的年金・恩給」(39.1%)、「給与収入」(20.7%)、「個人年金・企業年金」(7.8%)の順であった。
- 2013年からの推移では、複数回答・単数回答とも、「公的年金・恩給」が減少し、「給与収入」は増加の傾向。

(図表8-2) 高齢期（65歳以上）の収入源  
(問32(1)、複数回答)

(図表8-3) 高齢期（65歳以上）の  
最も大きな収入源（問32(2)）



\*1：2018年までは「公的年金」、2020年から「公的年金・恩給」と表記

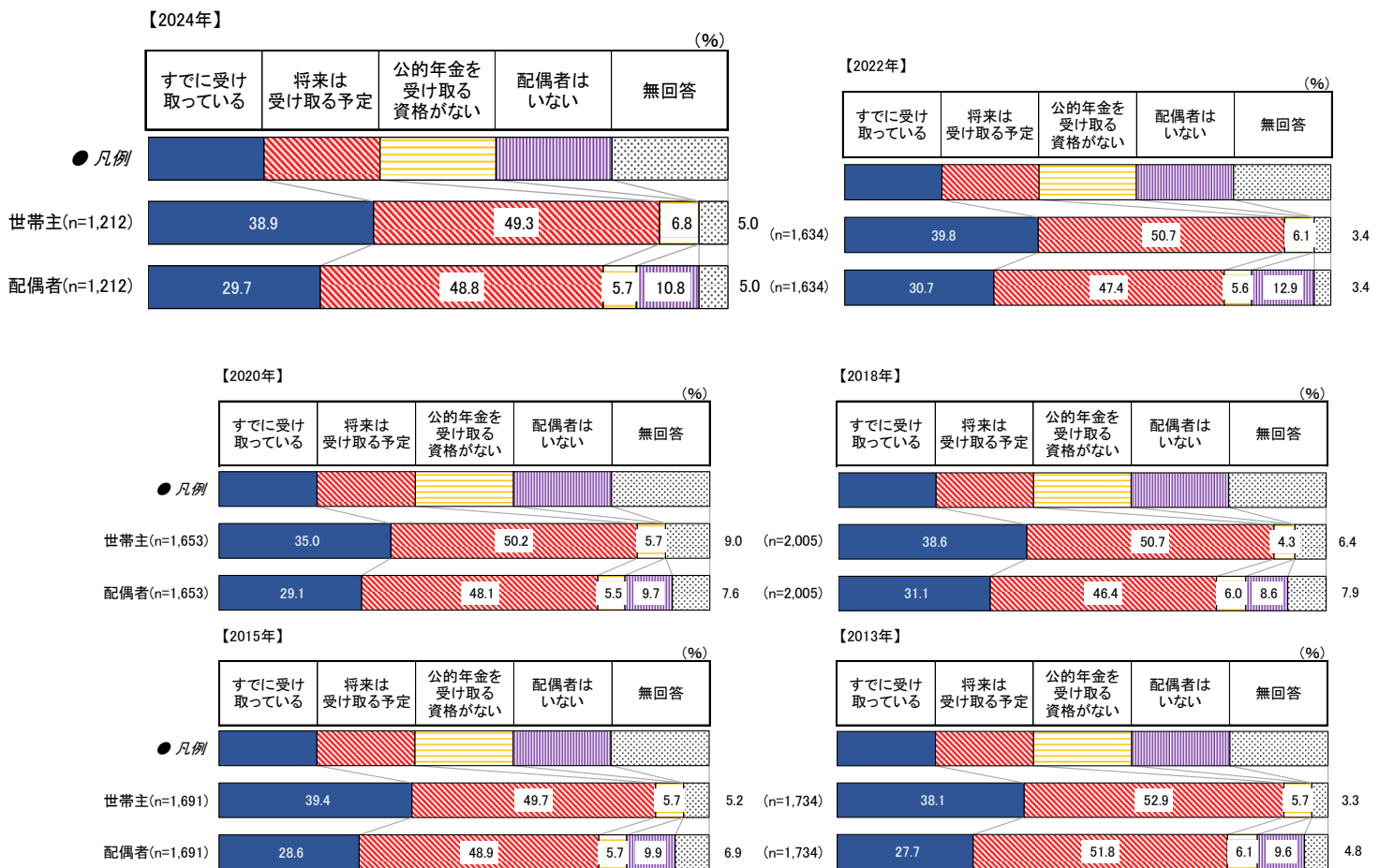
\*2：2024年に新設。2022年までは「国や市町村等の公的機関からの援助」のカッコ書きに生活保護費と記載していた。

\*3：2020年に新設

### (3) 世帯主・配偶者の公的年金

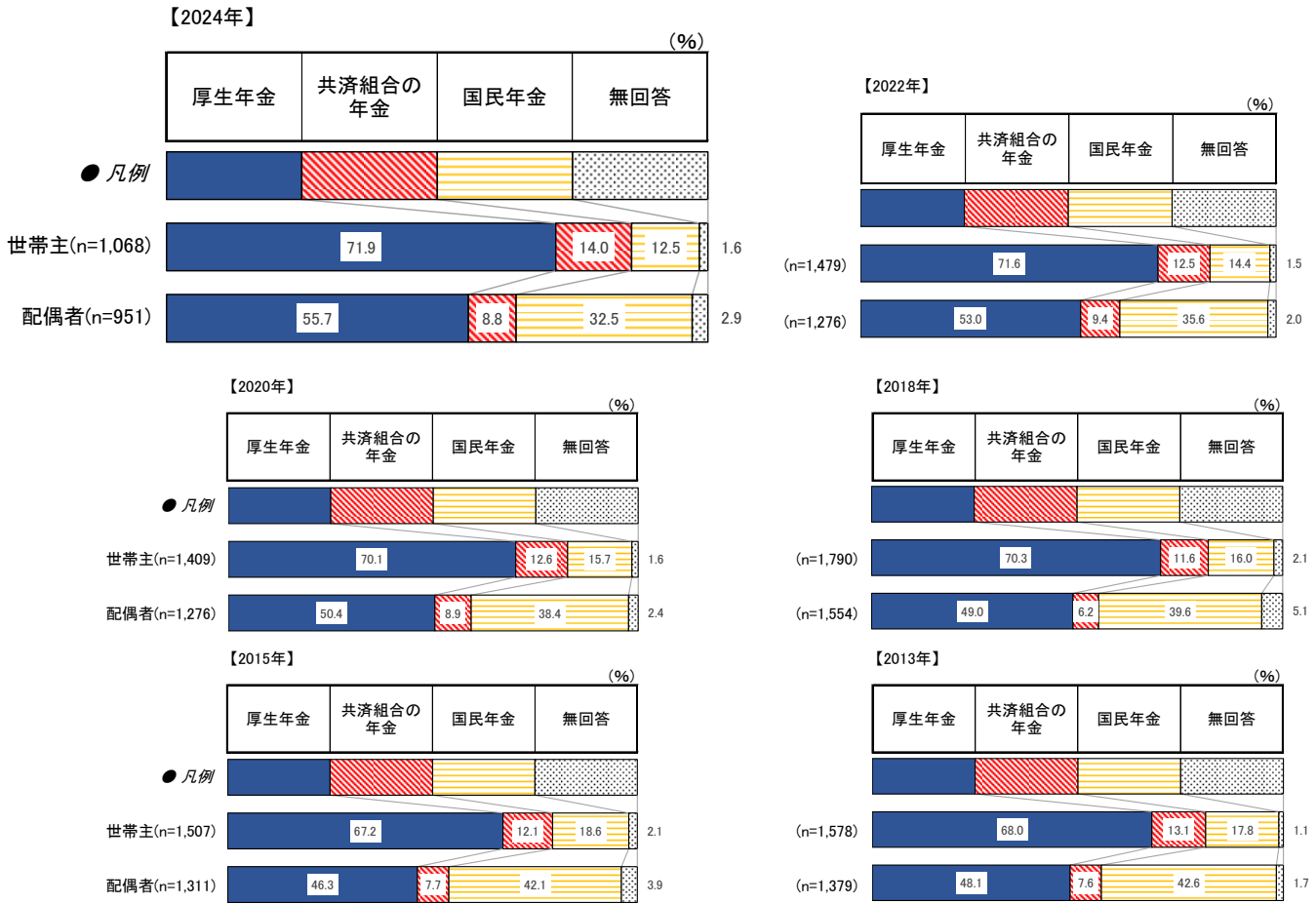
- 現在公的年金の給付があるかどうかを尋ねたところ、世帯主については「すでに受け取っている」が38.9%、「将来は受け取る予定」が49.3%、「公的年金を受け取る資格がない」が6.8%であった。  
配偶者については、「すでに受け取っている」が29.7%、「将来は受け取る予定」が48.8%、「公的年金を受け取る資格がない」が5.7%であった。
- すでに受け取っているまたは将来受け取る予定の人の公的年金の種類は、世帯主（1,068人）については、「厚生年金」が71.9%、「共済組合の年金」が14.0%、「国民年金」が12.5%であった。  
配偶者（951人）については、「厚生年金」が55.7%、「共済組合の年金」が8.8%、「国民年金」が32.5%であった。
- すでに受け取っているまたは将来受け取る予定の公的年金の受給開始年齢は、世帯主と配偶者ともに、「65歳」が6割弱を占め（世帯主55.1%、配偶者59.8%）、次いで「60～65歳未満」が2割半程度（同26.0%、24.2%）で、「66歳以上」は1割前後（同10.4%、7.5%）であった。2013年からの推移では、66歳以上の比率が増加傾向にある。

(図表8-4) 世帯主・配偶者の公的年金給付の有無 (問33、問34)



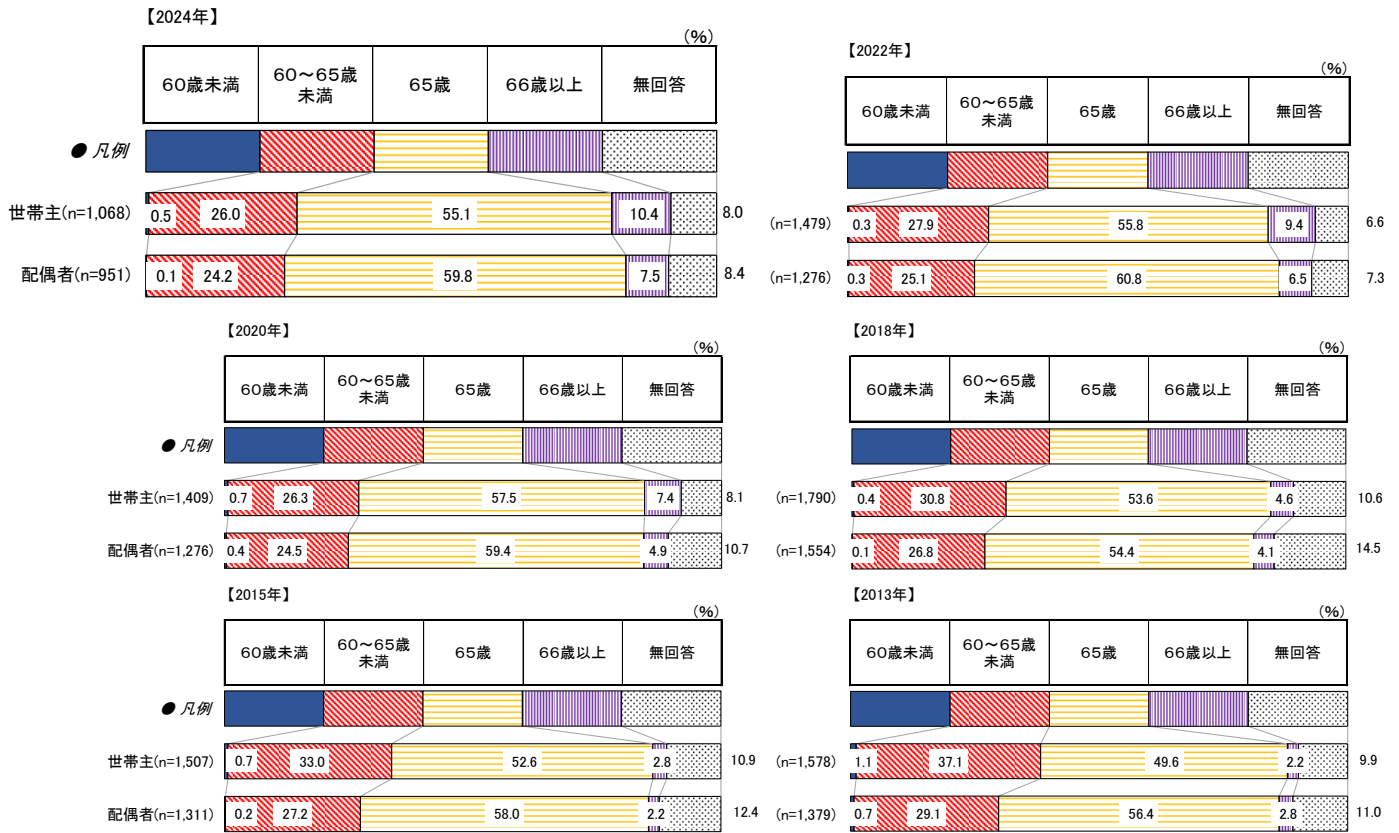
※配偶者は、「配偶者はいない」分を含む

(図表 8-5) 世帯主・配偶者の公的年金の種類 (問 3 3-1、問 3 4-1)





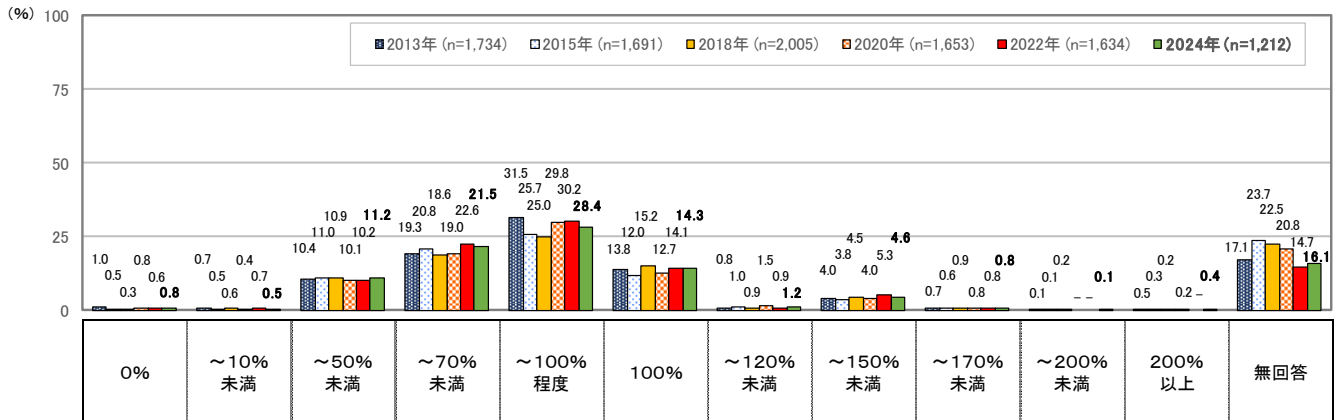
(図表 8-6) 世帯主・配偶者の公的年金受給開始年齢 (問33-2、問34-2)



#### (4) 公的年金でまかなえる高齢期（65歳以上）の家計支出の割合

- 65歳以上の高齢期となったときの世帯支出を公的年金でまかなえると考える程度を尋ねたところ、支出の「70～100%未満」が28.4%で最も多く、続いて「50～70%未満」が21.5%、「100%」が14.3%となった。『100%未満（世帯支出を全額まかなえない）』との回答合計は62.5%、『100%を超える（余剰が出る）』との回答合計は7.2%であった。

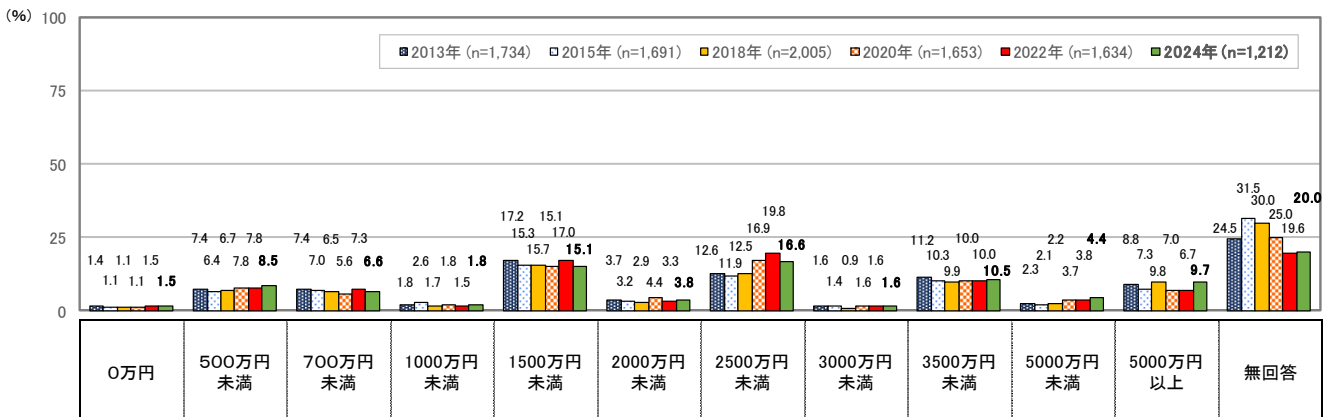
(図表8-7) 公的年金でまかなえる高齢期（65歳以上）の家計支出の割合（問35）



#### (5) 公的年金受給前に必要な貯蓄額

- 公的年金受給前に必要だと思う貯蓄額は、「2000～2500万円未満」が16.6%と多く、次いで「1000～1500万円未満」が15.1%。2000万円未満の回答が37.3%、2000万円以上が42.7%、無回答が20.0%だった。

(図表8-8) 公的年金受給前に必要な貯蓄額（問36）

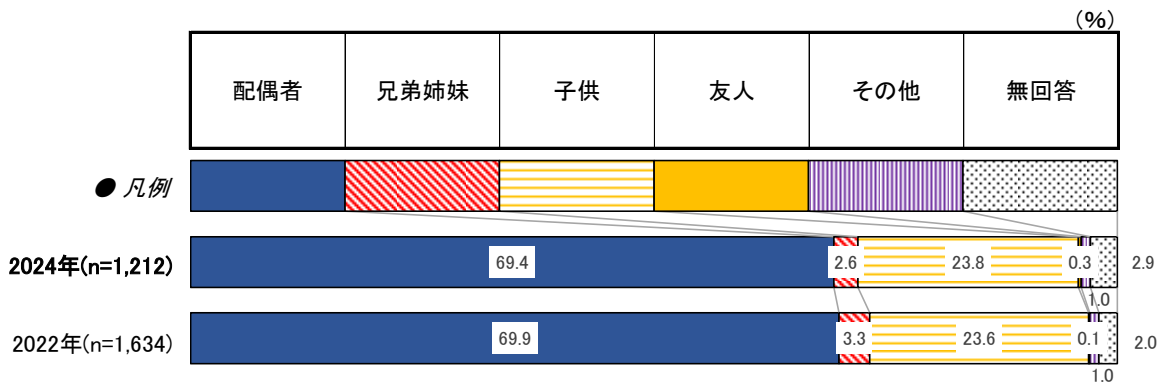


## 9. 遺産について

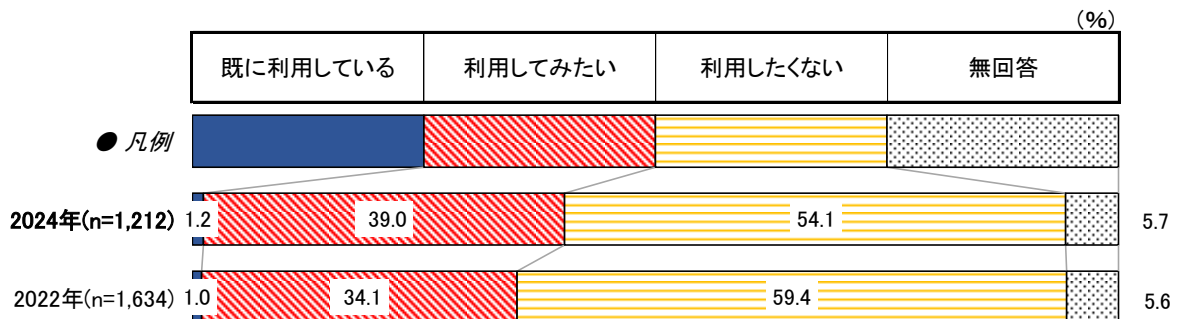
### (1) 家計の主たる管理者

- 主たる家計の管理者が加齢や病気等により管理することが困難になった場合の代わりに管理者について、「配偶者」が69.4%で最も多く、続いて「子供」が23.8%であった。
- 金融機関が受け皿となり、最も信頼できる家族や親族に財産の管理を任せる仕組み（いわゆる「民事信託」や「家族信託」）の利用意向について、「利用したくない」が54.1%で最も多く、続いて「利用してみたい」が39.0%、「既に利用している」が1.2%であった。

(図表9-1) 家計管理者が管理困難になった場合の代理 (問37)



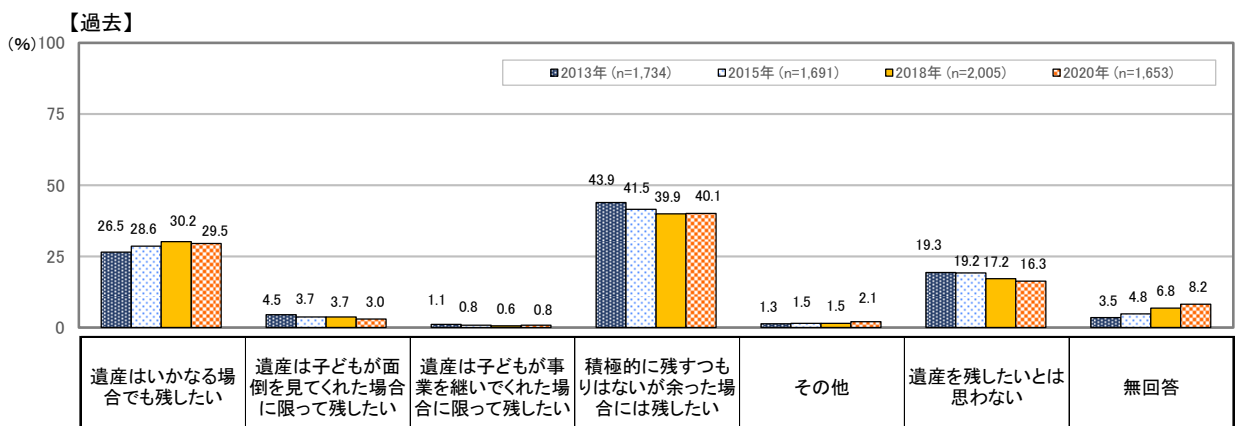
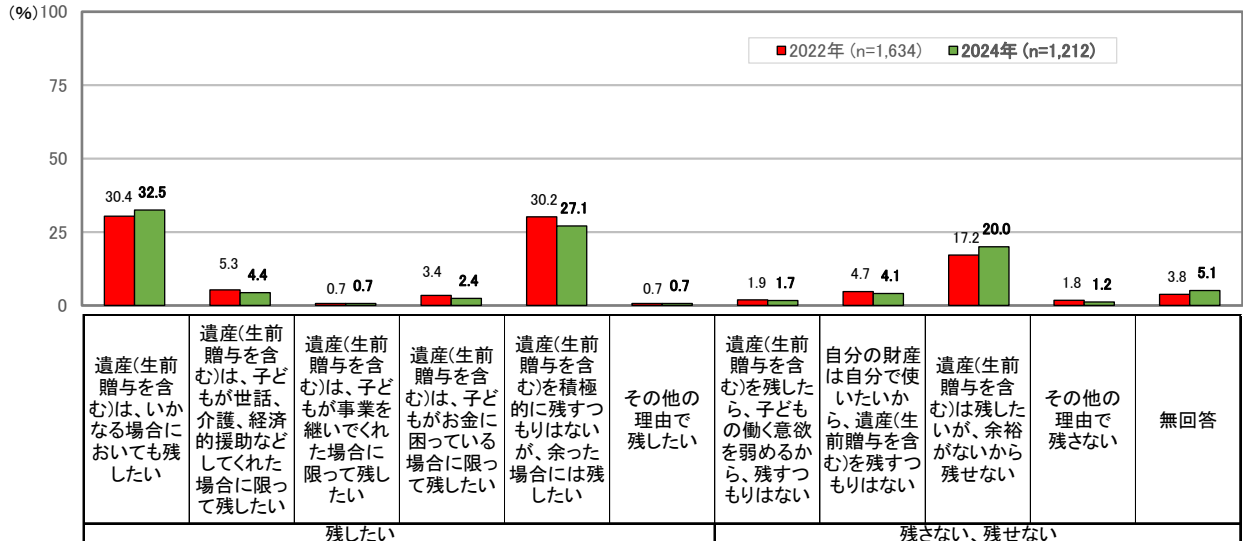
(図表9-2) 民事信託や家族信託の利用意向 (問38)



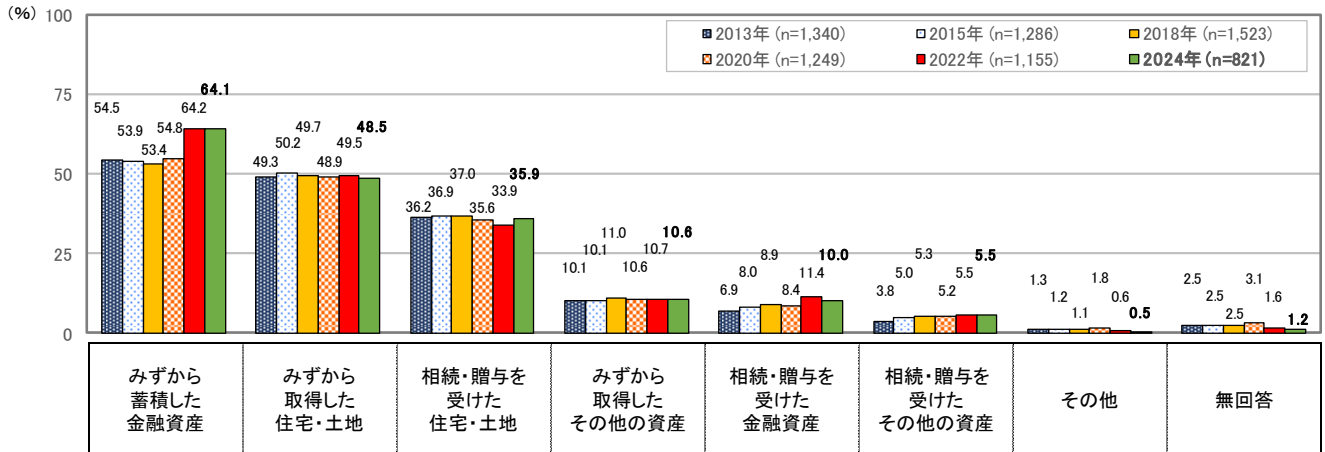
## (2) 子どもに残す遺産についての考え方

- 子どもに残す遺産（生前贈与を含む）に関する考え方について、「いかなる場合でも残したい」が32.5%で最も多く、続いて「積極的に残すつもりはないが、余った場合には残したい」が27.1%、「残したいが、余裕がないから残せない」が20.0%で、『残したい』と考えている人の合計は67.7%、『残さない・残せない』の合計は27.1%であった。（注）この質問は子どもがいない方もいると仮定して回答してもらっている。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人（821人）が残したい遺産（複数回答）としては、「みずから蓄積した金融資産」が64.1%で最も多く、次いで「みずから取得した住宅・土地」（48.5%）、「相続・贈与を受けた住宅・土地」（35.9%）であった。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人（821人）に、金融資産・住宅・土地その他の資産を含めた資産金額の見当について尋ねたところ、「見当がついていない」が80.5%を占め、「ある程度見当がついている」が15.3%であった。見当がついている人（126人）の見当金額は「5000万～1億円未満」が20.6%で最も多かった。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人（821人）の遺産分与の考え方は、「子ども間で均等に分ける」が59.2%で最も多く、続いて「子どもが1人なのでその子どもに多く残す」（18.6%）、「世話、介護などをしてくれた子供どもに多く残す」（15.7%）であった。

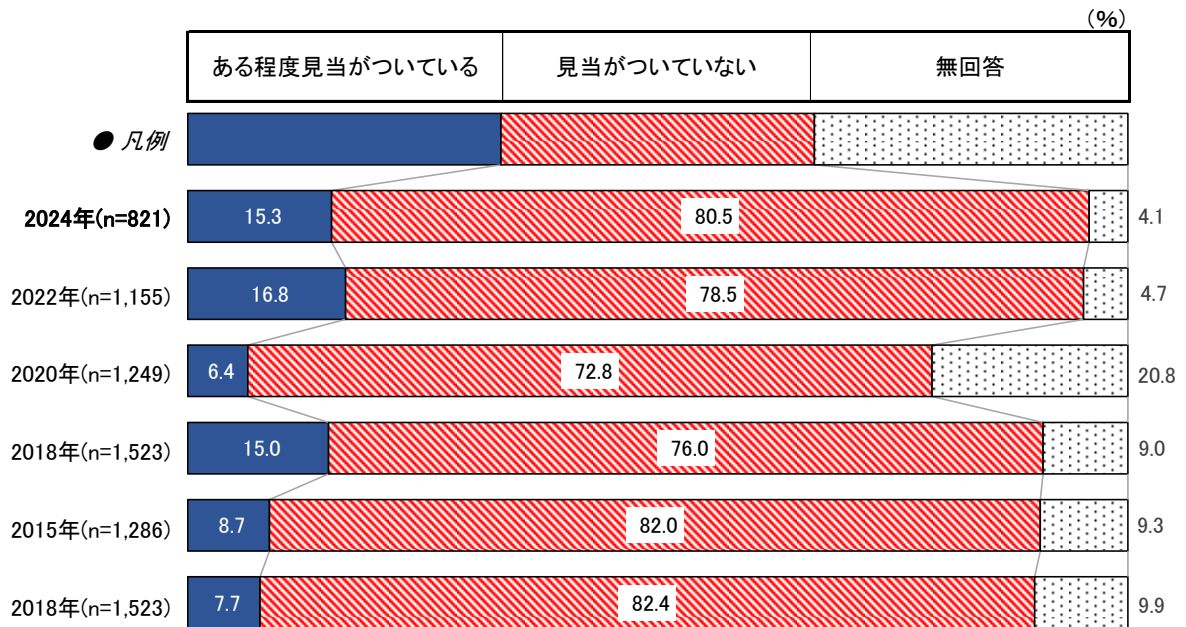
(図表9-3) 子どもに残す遺産についての考え方 (問39)



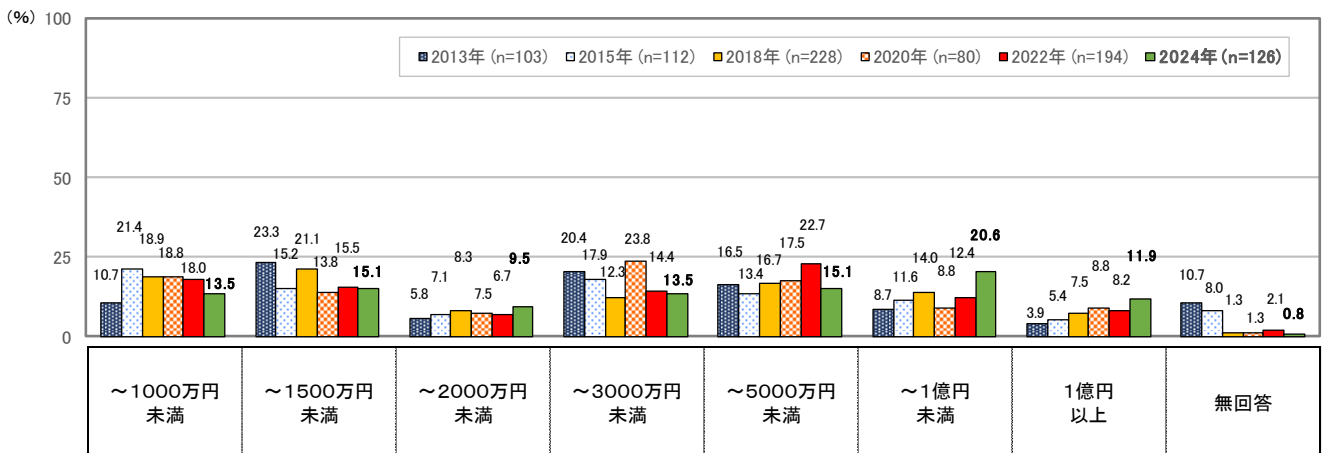
(図表 9-4) 子どもに残す遺産の内容 (問 39-1、複数回答)



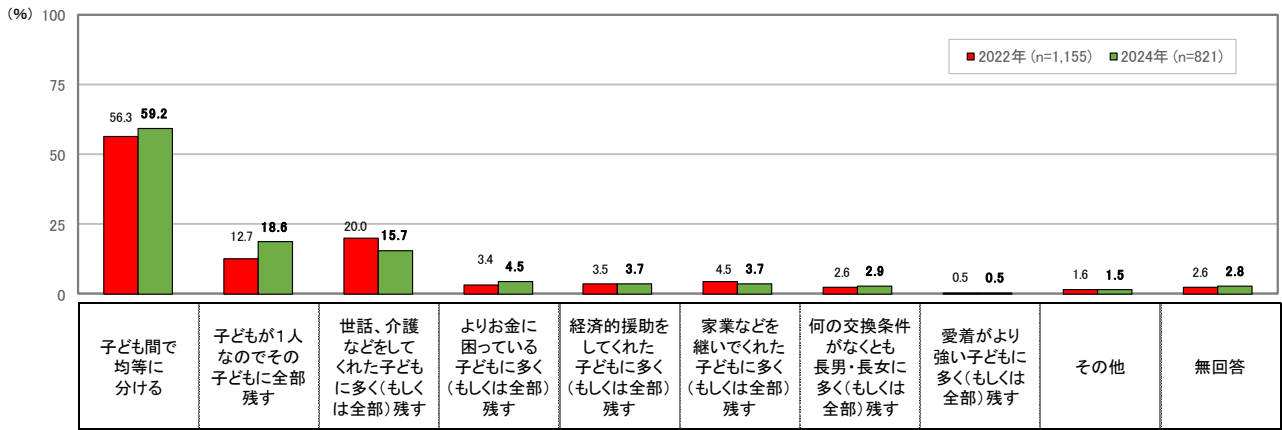
(図表 9-5) 子どもに残す遺産額の見当 (問 39-2)



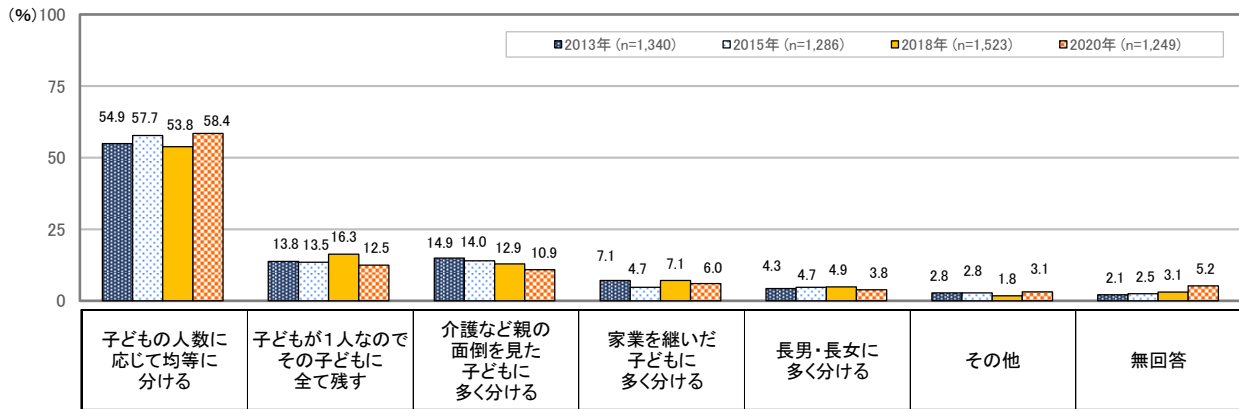
(図表 9-6) 子どもに残す遺産の見当金額 (問 39-2)



(図表9-7) 遺産分与についての考え方 (問39-3)



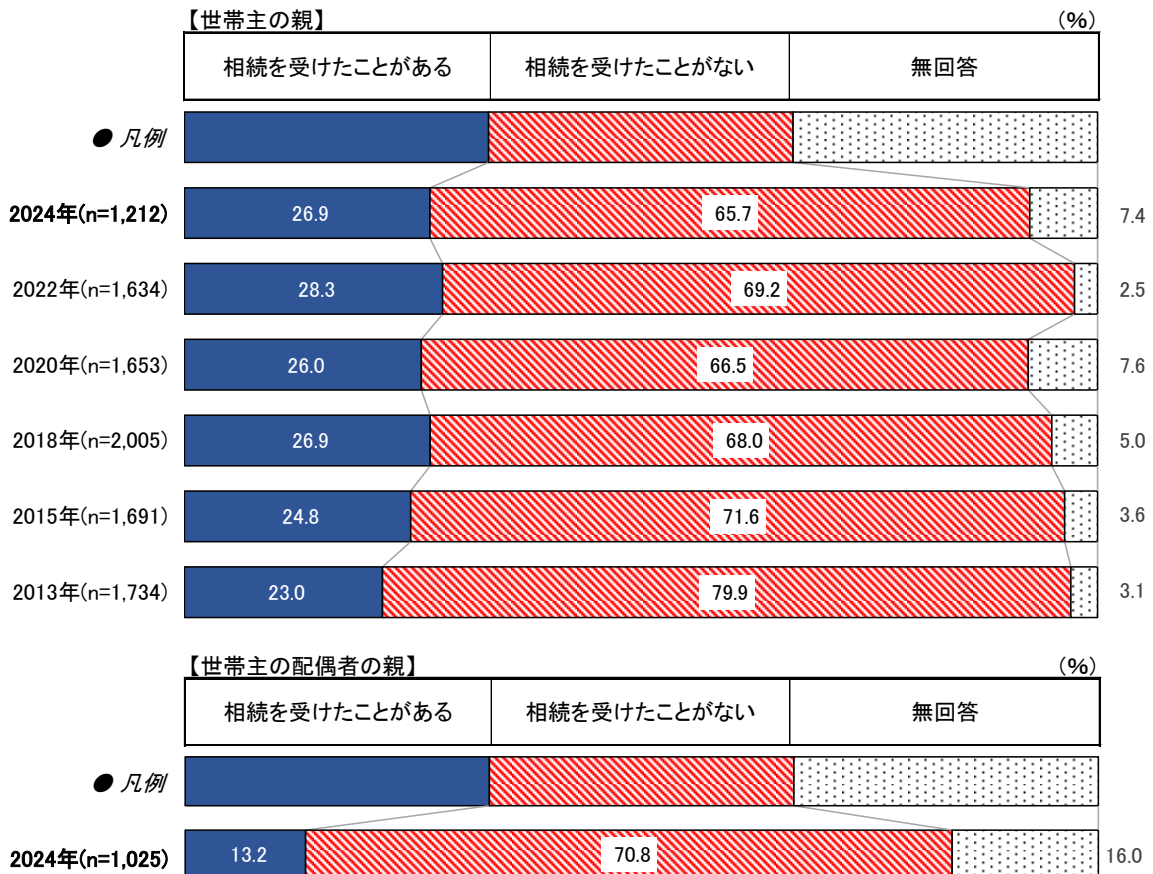
【過去】



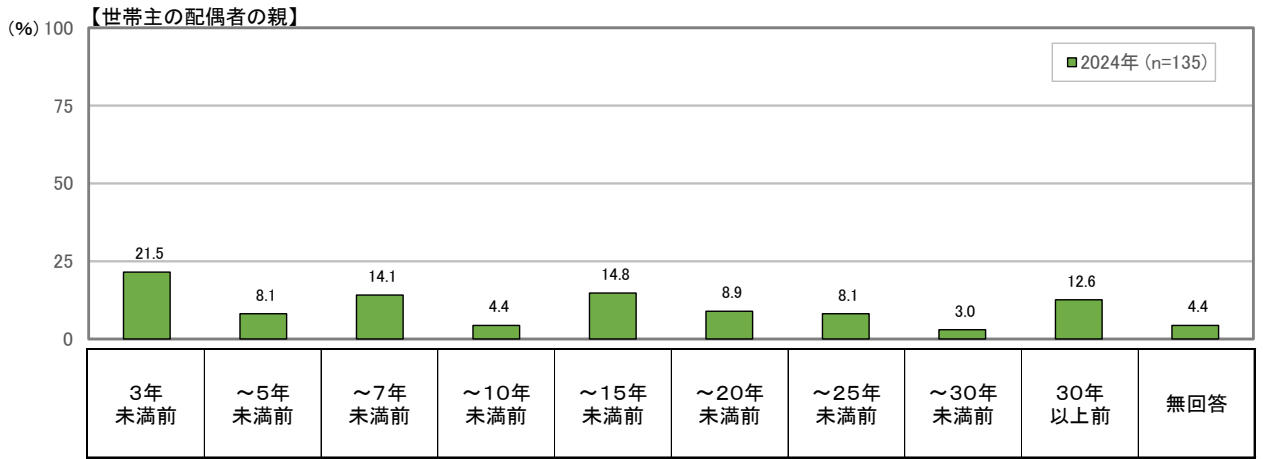
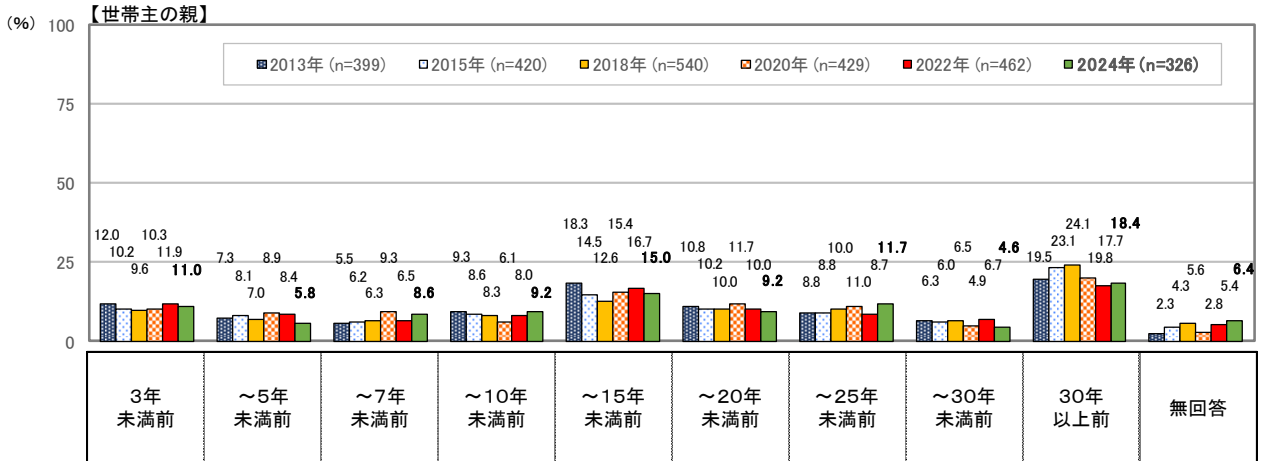
### (3) 親からの遺産相続

- 世帯主の親からの遺産相続の有無については、「相続を受けたことがある」が26.9%、「相続を受けたことはない」が65.7%、世帯主の配偶者からの遺産相続の有無については、「相続を受けたことがある」が13.2%、「相続を受けたことはない」が70.8%であった。
- 世帯主の親から遺産の相続を受けたことがある世帯(326人)が相続を受けた時期は、「30年以上前」が18.4%で最も多く、次いで「10～15年未満前」(15.0%)、「20～25年未満前」(11.7%)、世帯主の配偶者の親から遺産の相続を受けたことがある世帯(135人)が相続を受けた時期は、「3年未満前」が21.5%で最も多く、次いで「10～15年未満前」(14.8%)、「5～7年未満前」(14.1%)であった。
- 親から相続した資産の内容を複数回答で尋ねたところ、世帯主の親からは「居住用の不動産(一戸建て)」が55.5%で最も多く、次いで「金融資産」(44.5%)、「その他の不動産」(24.2%)と続いた。世帯主の配偶者の親からは「金融資産」(68.1%)が最多で、次いで「居住用の不動産(一戸建て)」(23.7%)、「その他の不動産」(12.6%)であった。

(図表9-8) 親からの遺産相続経験の有無(問40(1))

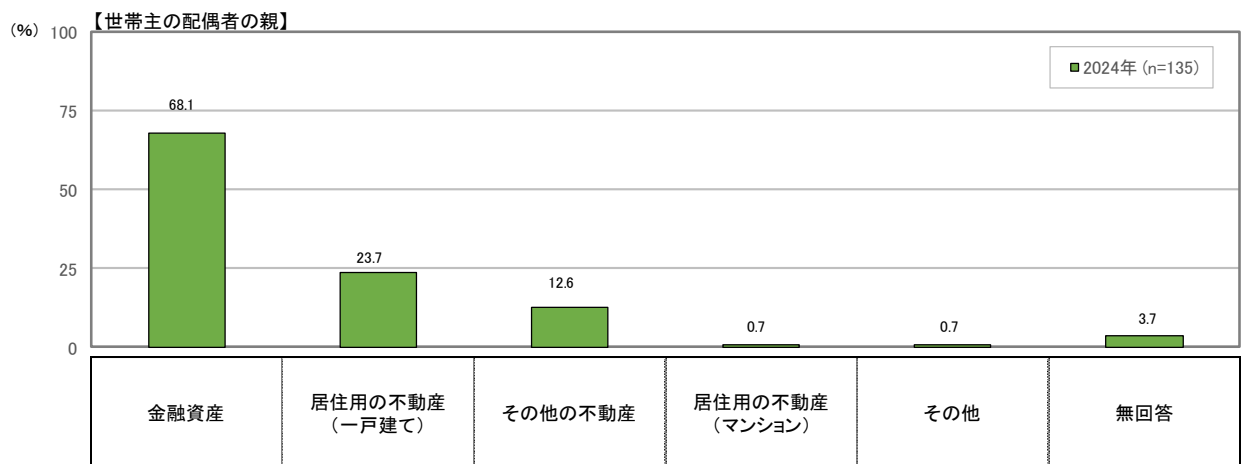
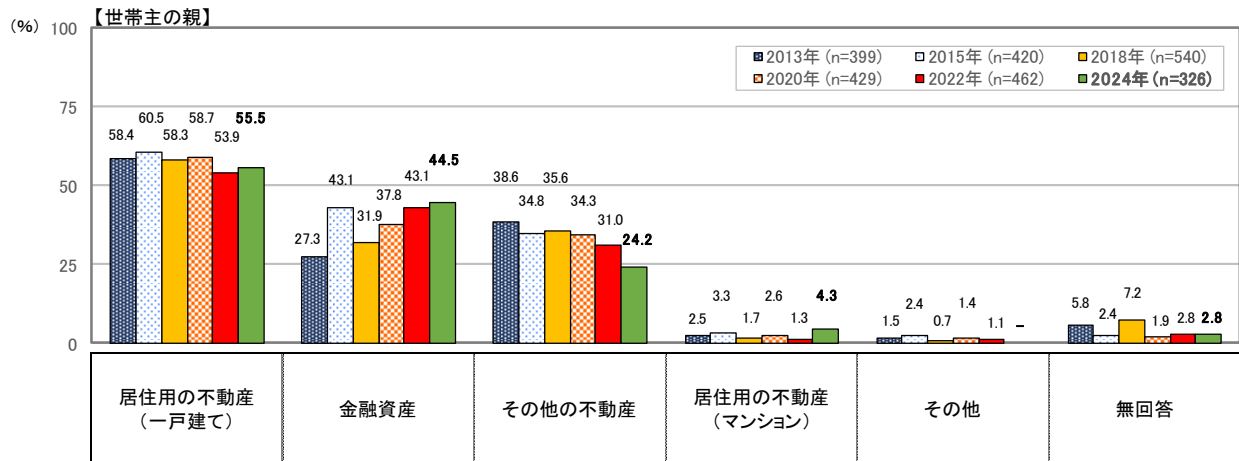


(図表9-9) 親からの遺産相続を受けた時期 (問40(2))



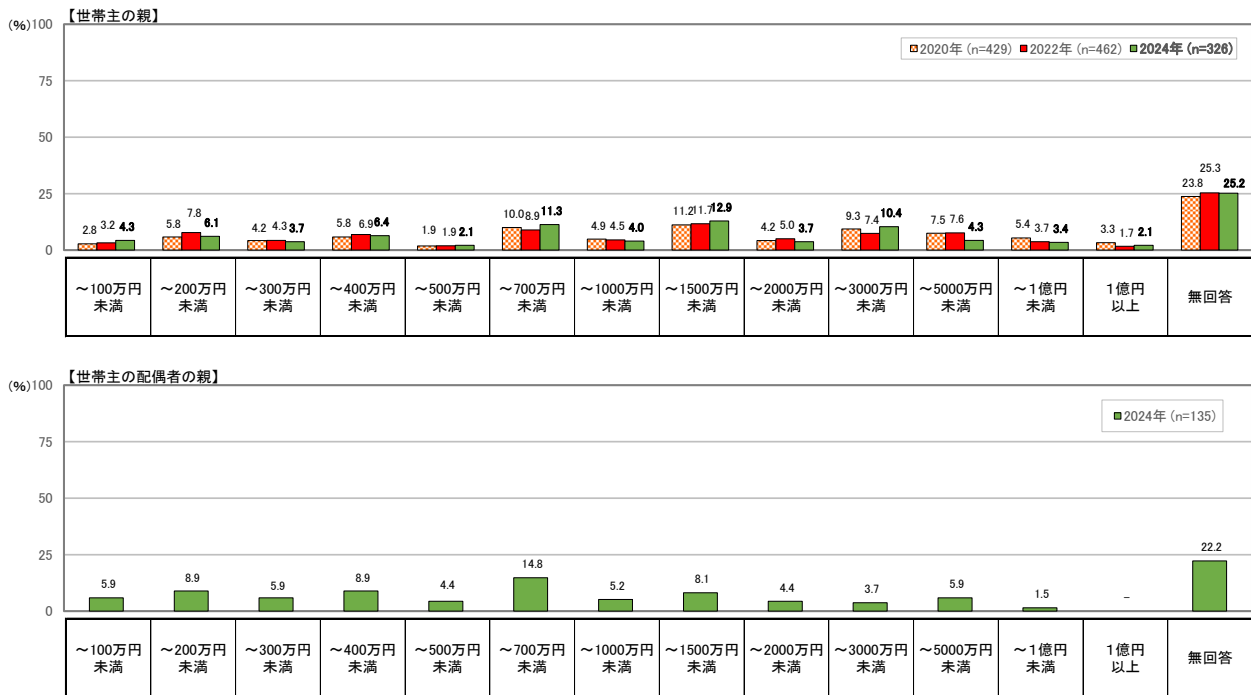


(図表 9-10) 親からの相続した資産の内容 (問 40 (3)、複数回答)



- 世帯主の親から遺産の相続を受けたことがある世帯（326人）について、相続時の合計価額を尋ねると、「1000～1500万円未満」が12.9%で最も多かった。『1000万円未満』が38.0%、『1000万～3000万円未満』が27.0%、『3000万円以上』は9.8%で、世帯主の配偶者の親から遺産の相続を受けたことがある世帯（135人）については、「500～700万円未満」が14.8%で最も多く、『1000万円未満』が54.1%、『1000万～3000万円未満』が16.3%、『3000万円以上』は7.4%であった。

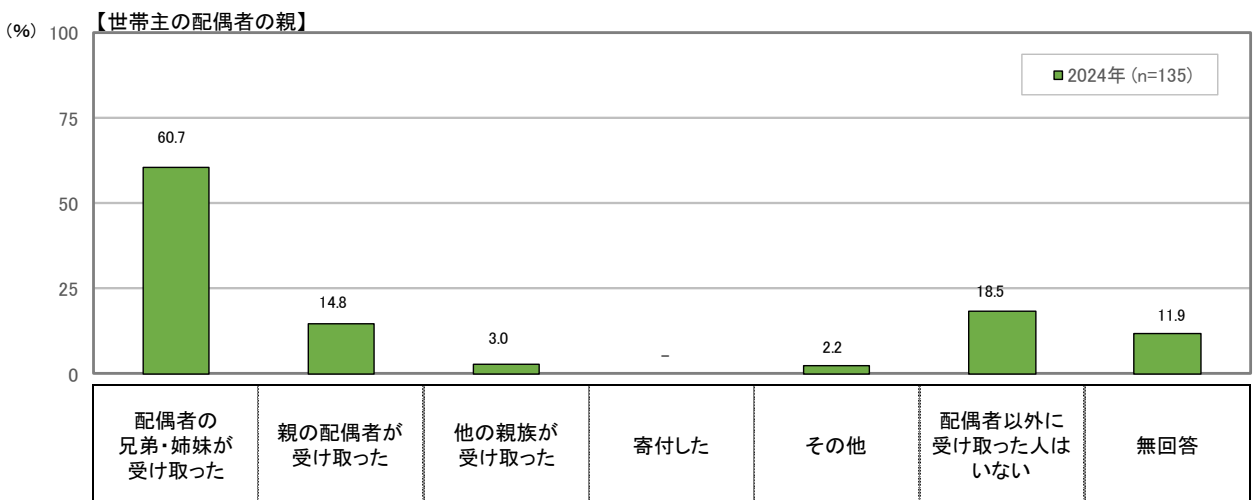
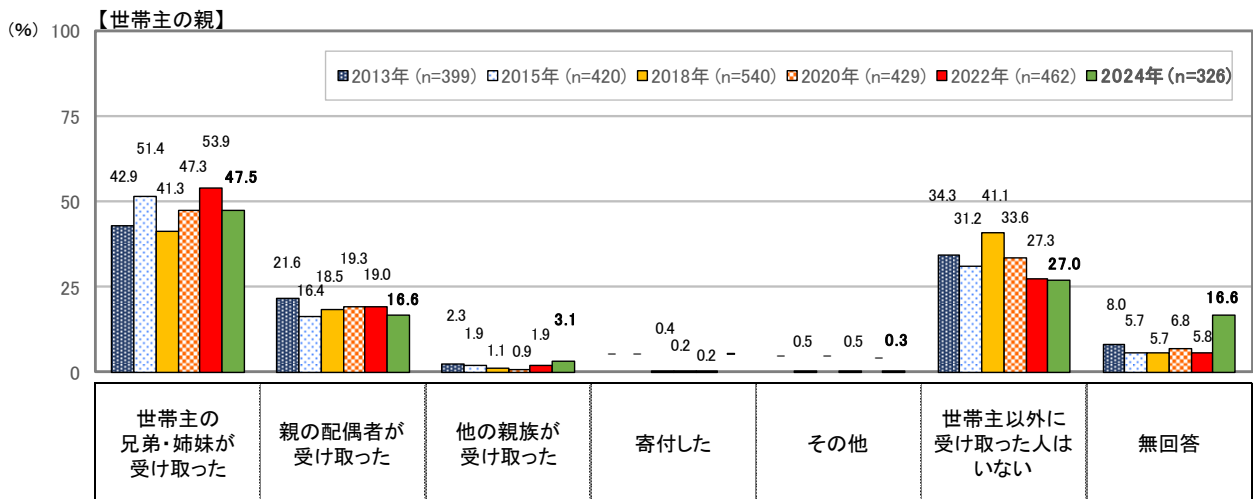
（図表9-11）親からの相続した資産の金額（問40(4)）



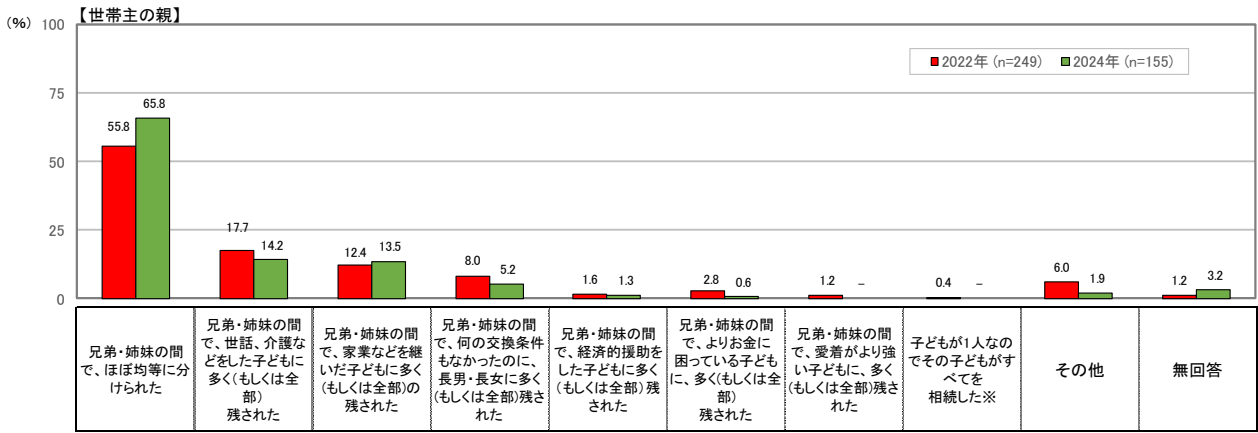
※2020年、2022年は世帯主の親からの相続資産額の合計のみ、2024年は世帯主の親・世帯主の配偶者の親からの相続資産額の合計を聞いている。

- 世帯主の親から相続を受けたことがある世帯（326人）において、世帯主以外で親から遺産を相続した人（複数回答）は、「世帯主の兄弟・姉妹が受け取った」が47.5%で最も多く、次いで「親の配偶者が受け取った」が16.6%、「世帯主以外に受け取った人はいない」は27.0%であった。世帯主の配偶者の親から相続を受けたことがある世帯（135人）では、「配偶者の兄弟・姉妹が受け取った」が60.7%で最も多く、次いで「親の配偶者が受け取った」が14.8%、「配偶者以外に受け取った人はいない」は18.5%であった。
- 世帯主のほかに世帯主の兄弟・姉妹が受け取った人（155人）、世帯主の配偶者のほかに世帯主の配偶者の兄弟・姉妹が受け取った人（82人）に、親から相続した遺産の分配方法（兄弟姉妹の間）を複数回答で尋ねたところ、ともに「兄弟・姉妹の間でほぼ均等」が最も多く（世帯主65.8%、配偶者59.8%）、次いで、「親の世話、介護などをした子どもに多く残された」（世帯主14.2%、配偶者18.3%）、「家業などを継いだ子どもに多く残された」（世帯主13.5%、配偶者14.6%）、「交換条件もなく長男・長女に多く残された」（世帯主5.2%、配偶者4.9%）であった。

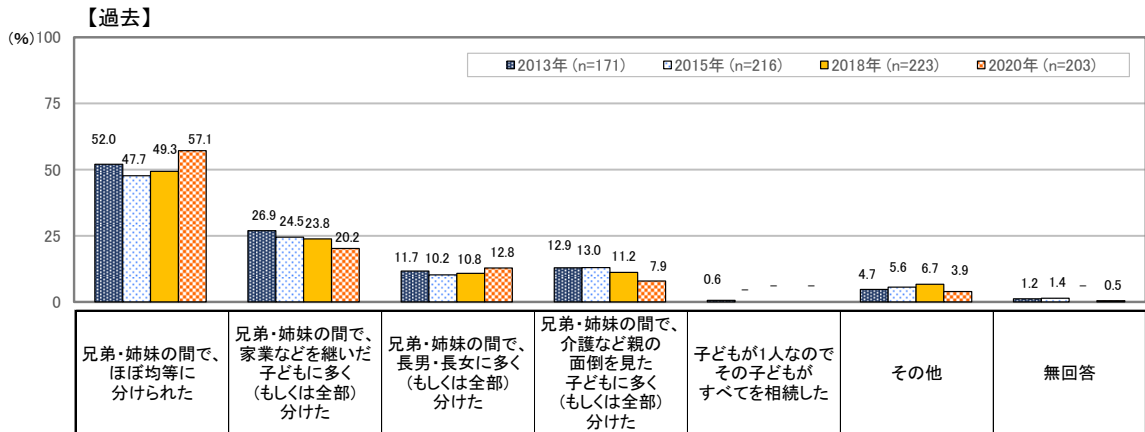
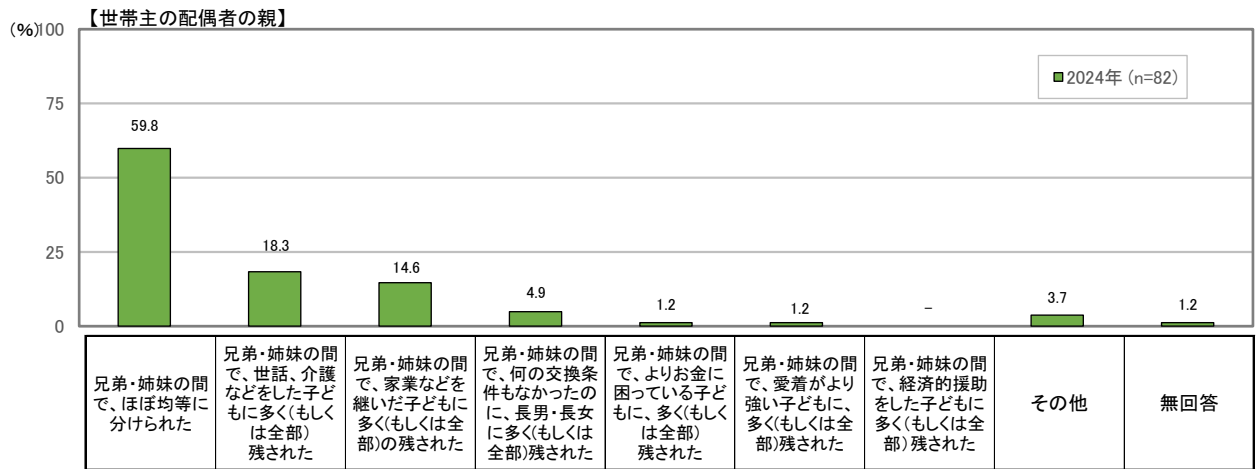
（図表9-12）世帯主・世帯主の配偶者以外の相続者（問40(5)、複数回答）



(図表9-13) 親からの相続遺産分与 (問40(6)、複数回答)



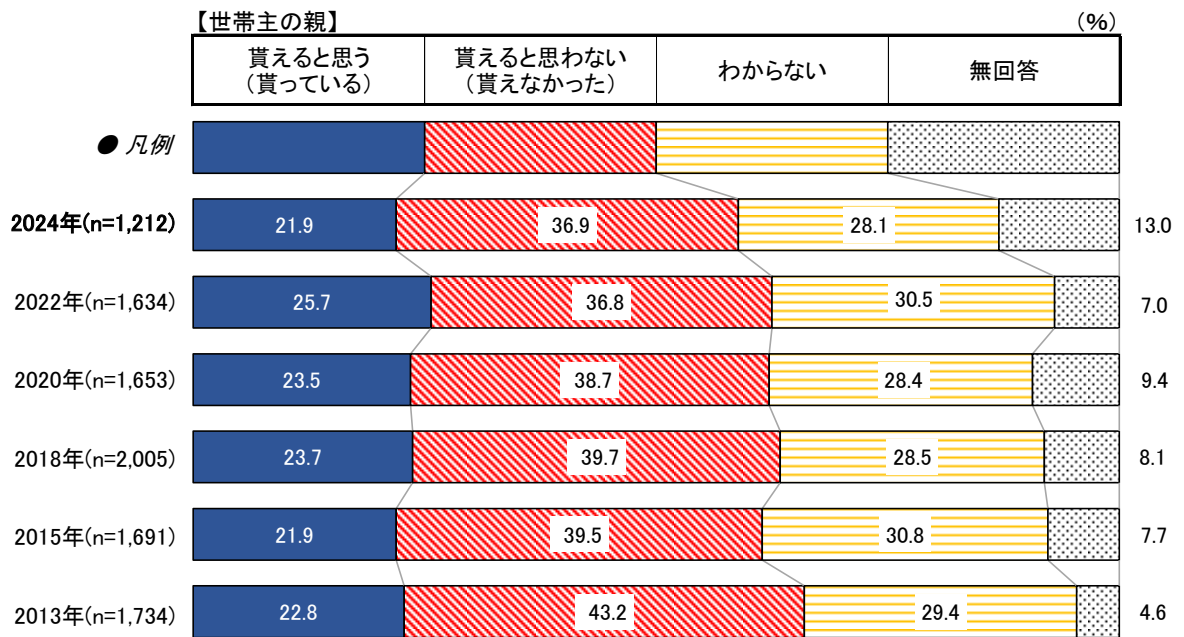
※2024年はなし



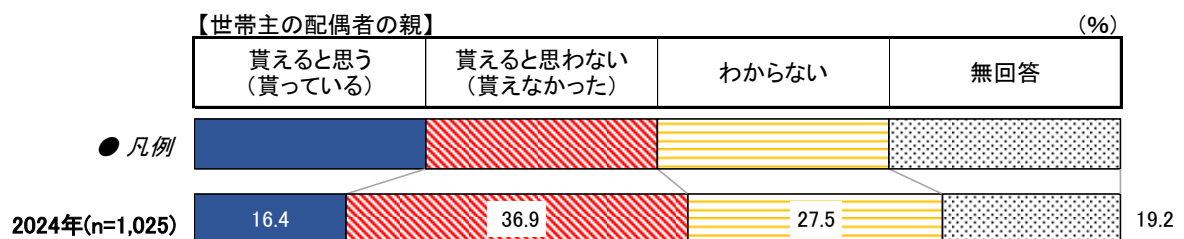
(4) 親からの遺産相続の見込み有無

- 将来、世帯主の親からの遺産（不動産や金融資産等）をもらえると思うかどうかについては、「貰えると思う」が21.9%、「貰えると思わない（貰えなかった）」が36.9%「わからない」が28.1%であった。配偶者の親からについては、「貰えると思う」が16.4%、「貰えると思わない（貰えなかった）」が36.9%「わからない」が27.5%であった。
- 世帯主の親から将来遺産をもらえると思っている（またはすでにもらっている）世帯（266人）に遺産の種類を複数回答で尋ねたところ、「居住用の不動産（一戸建て）」（56.4%）、「金融資産」（51.5%）、「その他の不動産」（21.4%）であった。また、将来遺産相続できる資産の時価総額は、「500～700万円未満」が13.5%で最も多く、次いで「1000～1500万円未満」（12.0%）、「2000～3000万円未満」が8.6%であった。世帯主の配偶者の親から将来遺産をもらえると思っている（またはすでにもらっている）世帯（168人）に遺産の種類を複数回答で尋ねたところ、「金融資産」（65.5%）、「居住用の不動産（一戸建て）」（32.1%）、「その他の不動産」（10.1%）であった。また、将来遺産相続できる資産の時価総額は、「500～700万円未満」が最多で13.7%、「1000～1500万円未満」（12.5%）、「100～200万円未満」が8.3%と続いた。

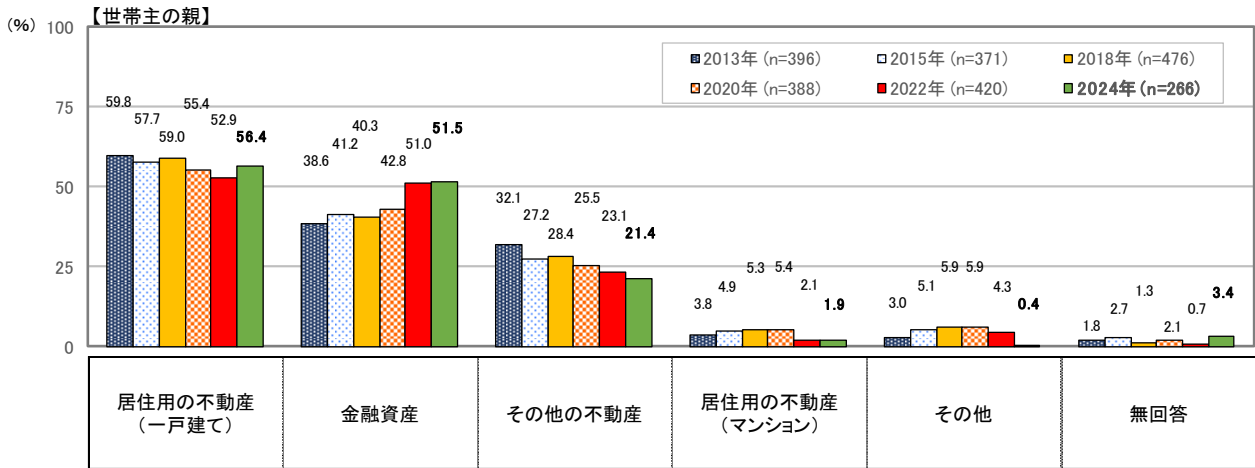
(図表9-14) 世帯主の親または配偶者の親からの遺産相続の見込み有無（問41(1)）



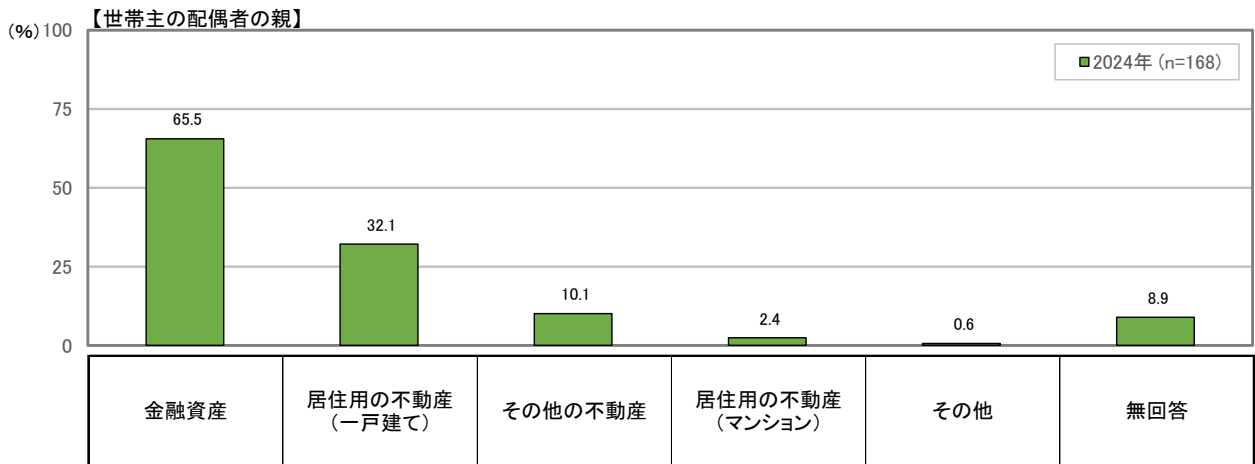
※2022年までは、世帯主の親、世帯主の配偶者の親の両方を聞いた



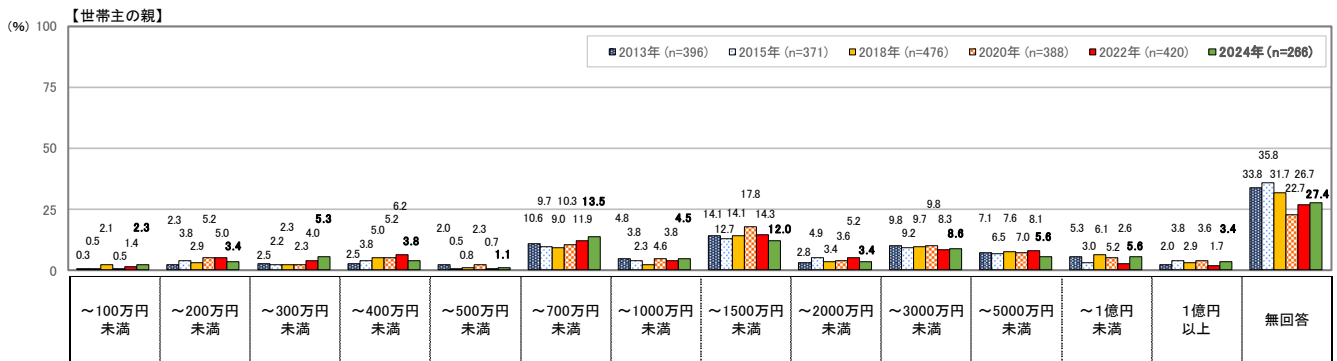
(図表 9-15) 世帯主の親または配偶者の親からの相続遺産の内容 (問 4 1 (2)、複数回答)



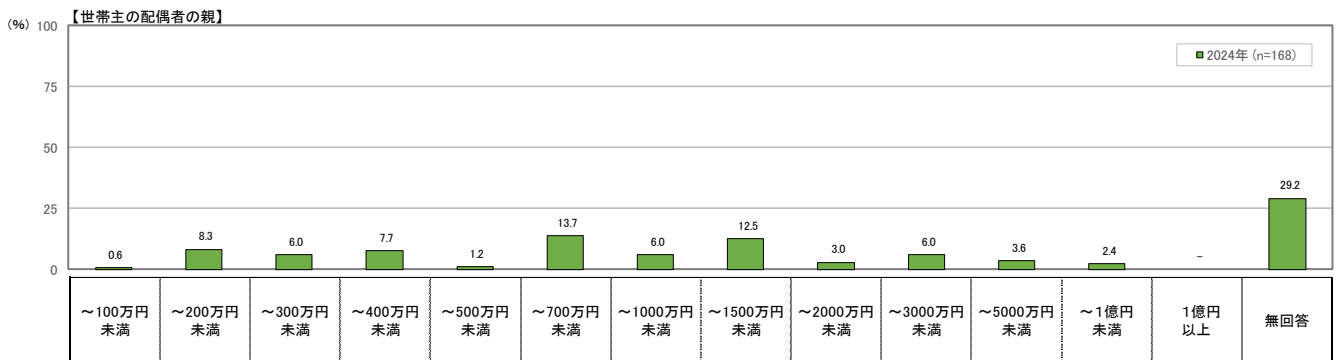
※2022年までは、世帯主の親、世帯主の配偶者の親の両方を聞いた



(図表9-16) 世帯主の親または配偶者の親からの相続遺産の時価総額 (問4 1 (3))



※2022年までは、世帯主の親、世帯主の配偶者の親の両方を聞いた







### Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）



# 「第6回 家計と貯蓄に関する調査」 調査票

この調査は、『二人以上世帯』の「世帯主の方」、もしくは「家計や貯蓄を管理・把握していらっしゃる方」がお答えください。

※ この調査において「世帯」とは、同別居にかかわらず家計を同一にしていらっしゃる方すべてを含めてお考えください。

- この調査は家計や貯蓄について、日ごろお考えになられていることなどをお伺いするものです。
- 調査データはすべて数値に置き換え、個人情報とは切り離します。お答えいただいた結果は、「〇〇という回答が△△%」というように統計的にまとめて公表するとともに、家計の金融行動に関する今後の学術研究に役立てます。個人情報が出ることは一切ございませんので、ご安心ください。
- お答えは、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。「その他」にあてはまるときは選択肢の番号を○で囲み、( )内に具体的な内容を記入してください。
- 金額など数値をお尋ねしている設問では、それぞれの単位に合わせて、その1つ下の位を四捨五入して回答ください。  
例) 金額を「万円」の単位でお伺いしている場合：64,000円であれば千の位「4」を四捨五入して「6万円」と回答してください。
- 質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけお尋ねする部分もありますが、その場合は指定された方法に従ってお答えください。
- ⑩=1、⑪～⑳などの数字はコンピュータで処理するためのマークですので、お気になさらずにお答えください。

## 【調査票の回収方法について】

ご記入いただいた調査票は、① 郵送による回収、② 調査員による回収のどちらかご都合の良い方法でご提出ください。調査にご協力いただいた方には、謝礼として1,000円分のQUOカードを贈呈いたします。

### ① 郵送による回収

ご記入済の調査票を同封の返送用封筒に入れて12月1日(日)までにご投函下さい。(※切手は不要です。) 期限までにご投函くださった方には、2025年1月中旬に謝礼を郵送にてお送りいたします。

### ② 調査員による回収

11月8日(金)～11月24日(日)の間に、一般社団法人 中央調査社の調査員が訪問しますので、同封の回収用封筒に入れて調査員にお渡しください。謝礼は調査員が調査票と引き換えにお渡しいたします。

## 【調査の企画】 一般財団法人 ゆうちよ財団 金融行動調査ワーキングチーム

〒162-0845  
東京都新宿区市谷本村町2-1 クイーポビル9階  
ホームページ <https://www.yu-cho-f.jp/>

神戸大学 計算社会科学センター 特命教授  
ホリオカ・チャールズ・ユウジ  
文京学院大学 人間学部教授 寺島 拓幸  
日本女子大学 人間社会学部教授 周 燕飛

## 【調査の実施】 一般社団法人 中央調査社

〒104-8179  
東京都中央区銀座5-15-8  
ホームページ <https://www.crs.or.jp/>



一般社団法人 中央調査社は一般財団法人 日本情報経済社会推進協会の「プライバシーマーク」の認定を受けております。個人情報保護方針にしたがい、情報の管理を徹底いたします。

お問い合わせ: 0120-48-5351 (フリーダイヤル) / 03-3549-3125

(平日 9:00～17:00、担当: 管理部 萩原・平澤)

整理番号				

点検者

## 生活全般についてお伺いします。

### 【全員にお聞きします】

問1 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。(〇は1つ) (n=1, 212)

(10.8) 1 満足している	(28.8) 3 やや不満だ
(47.2) 2 まあ満足している	(10.6) 4 不満だ

( 2.6) 無回答

問2 あなたは、次の「ア」～「キ」の生活のそれぞれの面では、どの程度満足していますか。(n=1, 212)

(〇はそれぞれ1つつ)

	満足 している	まあ 満足している	やや不満だ	不満だ	無回答
ア 所得・収入	( 4.6)	(35.3)	(40.3)	(18.5)	( 1.2)
イ 資産・貯蓄	( 4.3)	(28.8)	(39.4)	(25.8)	( 1.7)
ウ 自動車、電気製品、家具などの耐久消費財	( 8.6)	(51.3)	(29.0)	( 8.7)	( 2.3)
エ 食生活	(14.4)	(59.5)	(18.2)	( 6.4)	( 1.6)
オ 住生活	(16.0)	(54.9)	(20.8)	( 6.8)	( 1.6)
カ 自己啓発・能力向上	( 6.1)	(47.5)	(35.7)	( 7.9)	( 2.7)
キ レジャー・余暇生活	( 6.9)	(42.7)	(36.2)	(12.5)	( 1.6)

問3 あなたは、日頃の生活の中で、悩みや不安を感じていますか。悩みや不安を感じるのはどのようなことについてですか。(〇はいくつでも) (n=1, 212)

(58.8) 1 自分の健康	(14.8) 8 家族・親族間の人間関係
(64.8) 2 家族の健康	( 9.6) 9 近隣・地域との関係
( 7.2) 3 自分の生活上の問題(進学、就職、結婚など)	(13.0) 10 勤務先での仕事や人間関係
(30.6) 4 家族の生活上の問題(進学、就職、結婚など)	( 6.4) 11 事業や家業の経営上の問題
(38.4) 5 現在の収入や資産	( 2.4) 12 その他 (具体的に )
(58.8) 6 今後の収入や資産	( 3.5) 13 悩みや不安は感じていない
(63.5) 7 老後の生活設計	( 0.7) 14 わからない

( 0.8) 無回答

問4 今後の生活において、「物の豊かさ」と「心の豊かさ」に関して、あなたの考え方に近いのはどちらですか。  
(○は1つ) (n=1, 212)

- (33. 2) 1 物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をすることに重きをおきたい
- (32. 2) 2 まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに、重きをおきたい
- (33. 5) 3 どちらともいえない

( 1. 2) 無回答

問5 あなたは、今後の生活において、貯蓄や投資など将来に備えることに力を入れたいと思いますか。それとも毎日の生活を充実させて楽しむことに力を入れたいと思いますか。(○は1つ) (n=1, 212)

- (27. 6) 1 貯蓄や投資など将来に備える
- (43. 7) 2 毎日の生活を充実させて楽しむ
- (27. 6) 3 どちらともいえない

( 1. 1) 無回答

問6 物価の動向に関するお考えをお伺いします。1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。  
(○は1つ) (n=1, 212)

- ( 2. 2) 1 下がる (10. 1) 2 変わらない → 問7へお進みください (84. 2) 3 上がる

( 3. 4) 無回答

- 問6-1 下がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ) (n=27)
- (25. 9) 1 2%未満
- (29. 6) 2 2%～5%未満
- (25. 9) 3 5%～10%未満
- (18. 5) 4 10%以上

( - ) 無回答

- 問6-2 上がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ) (n=1, 021)
- ( 9. 8) 1 2%未満
- (46. 3) 2 2%～5%未満
- (31. 2) 3 5%～10%未満
- (11. 9) 4 10%以上

( 0. 7) 無回答

**【全員にお聞きします】**

問7 電車やバスの中で高齢者、障害者、妊産婦、けが人などの方々には席を譲りますか。世帯主ご本人と配偶者の方、それぞれについてお答えください。電車やバスを普段から利用していない場合は、利用していると仮定してお答えください。(○は1つ) (n=1, 212)

	よくする	たまにする	ほとんどしない	配偶者はいない	無回答
世帯主ご本人	(35. 8)	(47. 2)	(14. 9)		( 2. 1)
世帯主の配偶者	(34. 2)	(40. 8)	(10. 6)	(10. 8)	( 3. 5)

問8 直近の1年間にどのくらい寄付(ふるさと納税は除く)や募金をしましたか。世帯主ご本人と配偶者の方、それぞれについてお答えください。(○は1つ) (n=1, 212)

	0回	1～2回	3～4回	5回以上	配偶者はいない	無回答
世帯主ご本人	(52. 1)	(32. 8)	( 9. 4)	( 4. 6)		( 1. 1)
世帯主の配偶者	(47. 4)	(29. 7)	( 5. 8)	( 2. 8)	(10. 8)	( 3. 5)

## 貯蓄についてお伺いします。

### 【全員にお聞きします】

問9 あなたの世帯では、現在、世帯の貯蓄をどうなさっていますか。(○は1つ) (n=1, 212)

※「貯蓄」には、住宅・土地・貴金属等は含みません。

(21.0) 1 貯蓄を増やしている (43.9) 2 あまり貯蓄額は変わっていない (32.3) 3 貯蓄を取り崩している

(2.9) 無回答

問10 あなたの世帯では、どのような種類の金融商品(外貨建て金融商品を含む)によって貯蓄をおこなっていますか。

(1) 「1」から「12」の金融商品について、持っているものをすべてお知らせください。(○はいくつでも)

(2) 【(1)で「持っている」と回答した金融商品それぞれについて】 回答可能な範囲でお答えいただければ結構ですので、そのおおよその現在高(保有額)をご記入ください。(実数記入)

※ゼロの場合は「0」と記入してください。

	(1) 持っているもの (○はいくつでも) (n=1, 212)	(2) 現在高(保有額) <2024年10月末現在>	記入上のご注意
ゆうちょ銀行の貯金 <通常貯金> (n=636)	(52.5)	→ (44.2) ~100万円未満 (3.6) ~1500万円未満 (18.4) ~200万円未満 (-) ~2000万円未満 (8.5) ~300万円未満 (0.5) ~3000万円未満 (4.1) ~400万円未満 (0.3) ~5000万円未満 (1.9) ~500万円未満 (-) ~1億円未満 (6.6) ~700万円未満 (0.2) 1億円以上 (1.1) ~1000万円未満 (10.7) 無回答	ゆうちょ銀行や郵便局への貯金の総額を「通常貯金」「定期貯金・定期貯金」に分けて、それぞれお答えください。
ゆうちょ銀行の貯金 <定期貯金・定期貯金> (n=201)	(16.6)	→ (15.9) ~100万円未満 (9.5) ~1500万円未満 (17.9) ~200万円未満 (1.0) ~2000万円未満 (17.4) ~300万円未満 (2.0) ~3000万円未満 (8.5) ~400万円未満 (0.5) ~5000万円未満 (3.5) ~500万円未満 (1.0) ~1億円未満 (6.0) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (3.0) ~1000万円未満 (13.9) 無回答	
預貯金 <普通預金> (n=849)	(70.0)	→ (22.0) ~100万円未満 (7.8) ~1500万円未満 (15.5) ~200万円未満 (1.6) ~2000万円未満 (8.1) ~300万円未満 (3.2) ~3000万円未満 (7.9) ~400万円未満 (1.4) ~5000万円未満 (4.2) ~500万円未満 (0.7) ~1億円未満 (11.8) ~700万円未満 (0.1) 1億円以上 (4.4) ~1000万円未満 (11.2) 無回答	銀行、信用金庫・信用組合、農協などへの預貯金の額を「普通預金」「定期預金・定期積立」に分けて、それぞれお答えください。 *外貨預金は含みません。
預貯金 <定期性預金・定期積立> (n=361)	(29.8)	→ (12.2) ~100万円未満 (13.6) ~1500万円未満 (13.6) ~200万円未満 (2.8) ~2000万円未満 (8.9) ~300万円未満 (5.8) ~3000万円未満 (9.7) ~400万円未満 (1.7) ~5000万円未満 (4.4) ~500万円未満 (1.1) ~1億円未満 (11.1) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (4.2) ~1000万円未満 (11.1) 無回答	
外貨建て金融商品 (外貨預金、外国債券、投資信託、FX等) (n=109)	(9.0)	→ (26.6) ~100万円未満 (6.4) ~1500万円未満 (11.9) ~200万円未満 (1.8) ~2000万円未満 (10.1) ~300万円未満 (3.7) ~3000万円未満 (0.9) ~400万円未満 (0.9) ~5000万円未満 (3.7) ~500万円未満 (3.7) ~1億円未満 (14.7) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (0.9) ~1000万円未満 (14.7) 無回答	記入時の為替相場で円換算してお答えください。

<p>生命保険 (定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含みません。) (n=459)</p>	(37.9)	→	<p>(10.9) ~100万円未満 (8.9) ~1500万円未満 (13.9) ~200万円未満 (2.0) ~2000万円未満 (10.0) ~300万円未満 (3.3) ~3000万円未満 (8.1) ~400万円未満 (1.7) ~5000万円未満 (5.4) ~500万円未満 (0.2) ~1億円未満 (12.6) ~700万円未満 (0.4) 1億円以上 (4.1) ~1000万円未満 (18.3) 無回答</p>	<p>生命保険会社、郵便局、農協などの生命保険に今までに払い込んだ保険料の総額をお答えください。定期保険・医療保険などの掛け捨て型は除きます。</p>
<p>個人年金 (公的年金の保険料は含みません。) (n=244)</p>	(20.1)	→	<p>(15.2) ~100万円未満 (8.6) ~1500万円未満 (16.8) ~200万円未満 (1.2) ~2000万円未満 (10.7) ~300万円未満 (1.2) ~3000万円未満 (7.4) ~400万円未満 (0.4) ~5000万円未満 (4.1) ~500万円未満 (-) ~1億円未満 (11.9) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (3.3) ~1000万円未満 (19.3) 無回答</p>	<p>生命保険会社、郵便局、農協などの年金商品に今までに払い込んだ掛け金の総額をお答えください。公的年金及び確定拠出年金の掛け金は含みません。</p>
<p>債券 (国債、金融債、社債等) (n=49)</p>	(4.0)	→	<p>(12.2) ~100万円未満 (8.2) ~1500万円未満 (16.3) ~200万円未満 (2.0) ~2000万円未満 (14.3) ~300万円未満 (6.1) ~3000万円未満 (8.2) ~400万円未満 (2.0) ~5000万円未満 (-) ~500万円未満 (4.1) ~1億円未満 (8.2) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (6.1) ~1000万円未満 (12.2) 無回答</p>	<p>時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)</p>
<p>株式 (従業員持株制度による株式を含みます。) (n=230)</p>	(19.0)	→	<p>(18.3) ~100万円未満 (9.6) ~1500万円未満 (15.2) ~200万円未満 (2.6) ~2000万円未満 (15.2) ~300万円未満 (2.2) ~3000万円未満 (6.5) ~400万円未満 (1.7) ~5000万円未満 (1.7) ~500万円未満 (2.2) ~1億円未満 (10.4) ~700万円未満 (0.9) 1億円以上 (4.3) ~1000万円未満 (9.1) 無回答</p>	<p>時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)</p>
<p>投資信託 (MRF、REIT、ETFを含みます。) (n=272)</p>	(22.4)	→	<p>(21.7) ~100万円未満 (6.6) ~1500万円未満 (18.0) ~200万円未満 (1.1) ~2000万円未満 (13.2) ~300万円未満 (1.5) ~3000万円未満 (7.7) ~400万円未満 (0.7) ~5000万円未満 (4.0) ~500万円未満 (1.1) ~1億円未満 (10.3) ~700万円未満 (0.4) 1億円以上 (6.3) ~1000万円未満 (7.4) 無回答</p>	<p>時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)</p>
<p>財形貯蓄、社内預金 (n=100)</p>	(8.3)	→	<p>(21.0) ~100万円未満 (3.0) ~1500万円未満 (14.0) ~200万円未満 (1.0) ~2000万円未満 (16.0) ~300万円未満 (2.0) ~3000万円未満 (10.0) ~400万円未満 (1.0) ~5000万円未満 (2.0) ~500万円未満 (-) ~1億円未満 (7.0) ~700万円未満 (2.0) 1億円以上 (5.0) ~1000万円未満 (16.0) 無回答</p>	<p>財形貯蓄・社内預金などの貯蓄額をお答えください。</p>
<p>その他 (貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座、個人型確定拠出年金(iDeCo)等) (n=110)</p>	(9.1)	→	<p>(22.7) ~100万円未満 (5.5) ~1500万円未満 (23.6) ~200万円未満 (0.9) ~2000万円未満 (8.2) ~300万円未満 (2.7) ~3000万円未満 (7.3) ~400万円未満 (-) ~5000万円未満 (4.5) ~500万円未満 (-) ~1億円未満 (8.2) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (2.7) ~1000万円未満 (13.6) 無回答</p>	<p>上記「1」～「11」以外の金融商品について、合算してお答えください。</p>
<p>無回答 (12.7)</p>				

→ 「10 投資信託」を持っている方は、次ページの間10-1にお答えください。

→ 「12 その他」を持っている方は、次ページの間10-2にお答えください。

どちらもお持ちでない方は、次ページの間11にお進みください。

【問10(1)で、「10 投資信託」の金融商品を保有していると回答した方に】

問10-1 あなたの世帯で保有するNISAの保有額を問10(2)現在高(保有額)から抜き出し、種類別にその額をご記入ください。(実数記入) (n=272)

※ゼロの場合は「0」と記入してください。

保有残高			
一般NISA (少額投資非課税制度)	→	(30.5) ~100万円未満 (0.7) ~1500万円未満 (7.0) ~200万円未満 (-) ~2000万円未満 (7.0) ~300万円未満 (-) ~3000万円未満 (3.7) ~400万円未満 (-) ~5000万円未満 (2.2) ~500万円未満 (-) ~1億円未満 (3.3) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (-) ~1000万円未満 (45.6) 無回答	
ジュニアNISA (未成年者少額投資非課税制度)	→	(28.7) ~100万円未満 (-) ~1500万円未満 (0.7) ~200万円未満 (-) ~2000万円未満 (2.2) ~300万円未満 (-) ~3000万円未満 (0.4) ~400万円未満 (-) ~5000万円未満 (0.4) ~500万円未満 (-) ~1億円未満 (-) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (0.4) ~1000万円未満 (67.3) 無回答	
つみたてNISA (非課税累積投資契約に係る少額投資非課税制度)	→	(33.8) ~100万円未満 (0.4) ~1500万円未満 (10.7) ~200万円未満 (-) ~2000万円未満 (7.0) ~300万円未満 (-) ~3000万円未満 (1.5) ~400万円未満 (-) ~5000万円未満 (0.4) ~500万円未満 (-) ~1億円未満 (1.5) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (-) ~1000万円未満 (44.9) 無回答	
新NISA (2024年1月1日開始 の少額投資非課税制度)	つみたて投資枠 (特定累積投資勘定)	→	(43.8) ~100万円未満 (-) ~1500万円未満 (10.3) ~200万円未満 (-) ~2000万円未満 (2.6) ~300万円未満 (-) ~3000万円未満 (0.4) ~400万円未満 (-) ~5000万円未満 (-) ~500万円未満 (-) ~1億円未満 (0.4) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (-) ~1000万円未満 (42.6) 無回答
	成長投資枠 (特定非課税管理勘定)	→	(32.0) ~100万円未満 (-) ~1500万円未満 (6.6) ~200万円未満 (-) ~2000万円未満 (8.1) ~300万円未満 (-) ~3000万円未満 (1.8) ~400万円未満 (-) ~5000万円未満 (1.8) ~500万円未満 (-) ~1億円未満 (-) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (-) ~1000万円未満 (49.6) 無回答



【問10(1)で、「12 その他」の金融商品を保有していると回答した方に】

問10-2 あなたの世帯で保有する個人型確定拠出年金（企業型確定拠出年金を除く）のこれまでの拠出額を、問10(2)現在高（保有額）から抜き出して該当欄にご記入ください。**(実数記入)** (n=110)  
※ゼロの場合は「0」と記入してください。

拠出総額	
個人型確定拠出年金 (iDeCo)	→

(41.8) ~100万円未満	(1.8) ~1500万円未満
(17.3) ~200万円未満	(-) ~2000万円未満
(7.3) ~300万円未満	(0.9) ~3000万円未満
(5.5) ~400万円未満	(-) ~5000万円未満
(3.6) ~500万円未満	(-) ~1億円未満
(1.8) ~700万円未満	(-) 1億円以上
(-) ~1000万円未満	(20.0) 無回答

【全員にお聞きします】

問11 あなたの世帯でお持ちの金融資産についてお伺いします。

(1) あなたの世帯でお持ちの金融資産をすべて合わせると、**現在高**はおいくらですか。現金や決済性預金を含めてお答えください。**(実数記入)** (n=747)

※「金融資産」には、土地・住宅・貴金属等の実物資産は含みません。

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をお付けください。

< 2024年10月末現在 >

(5.0) ~100万円未満	(13.3) ~700万円未満	(11.5) ~5000万円未満
(6.4) ~200万円未満	(8.4) ~1000万円未満	(5.9) ~1億円未満
(6.0) ~300万円未満	(13.7) ~1500万円未満	(2.5) 1億円以上
(5.2) ~400万円未満	(8.0) ~2000万円未満	
(2.9) ~500万円未満	(11.1) ~3000万円未満	
(61.6) 持っている	(10.6) 持っていない	(27.7) 無回答 (n=1,212)

(2) では、**1年前**のあなたの世帯でお持ちの金融資産額は、おいくらでしたか。現金や決済性預金を含めてお答えください。2023年10月末時点でお答えください。**(実数記入)** (n=735)

※「金融資産」には、土地・住宅・貴金属等の実物資産は含みません。

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をお付けください。

< 2023年10月末現在 >

(5.4) ~100万円未満	(10.7) ~700万円未満	(9.9) ~5000万円未満
(6.1) ~200万円未満	(9.5) ~1000万円未満	(5.0) ~1億円未満
(5.9) ~300万円未満	(15.5) ~1500万円未満	(2.3) 1億円以上
(5.3) ~400万円未満	(6.9) ~2000万円未満	
(4.5) ~500万円未満	(12.8) ~3000万円未満	
(60.6) 持っている	(25.2) 持っていない	(14.2) 無回答 (n=1,212)

問12 あなたの世帯の、現在までの投資信託の保有状況をお答えください。(〇は1つ) (n=1,212)

- (24.9) 1 現在保有している
- (6.4) 2 過去に保有していたが現在は保有していない
- (61.9) 3 一度も保有したことがない

(6.8) 無回答

【問12で、「3 一度も保有したことがない」と回答した方に】

問12-1 今後、投資信託を利用してみたいと思いますか。(〇は1つ) (n=750)

- (16.7) 1 利用したい
- (82.5) 2 利用したくない → 次ページの間12-5へお進みください

(0.8) 無回答

【問12で「1~2」または 問12-1で「1」と回答した方 (利用したことがある、または利用してみたい方) に】

問12-2 投資信託を利用した、または利用したいと考えるのは、どのような理由でしょうか。

主な理由を2つまでお答えください。(〇は2つまで) (n=504)

- (42.3) 1 お金を増やして豊かな生活を送りたい
- (53.0) 2 老後資金の準備
- (14.9) 3 子どもや孫の教育資金
- (6.5) 4 生活費の穴埋め
- (7.1) 5 周りで投資信託の話をよく聞くようになったから
- (29.8) 6 中長期的に資産を増やしたいから
- (3.2) 7 その他 (具体的に )

(6.9) 無回答

問12-3 投資信託を利用する際に、主にどのような方法で購入しましたか、またはしたいと思いますか。

※購入したことがある方は、より利用頻度が高い方法をお選びください。(〇は1つ) (n=504)

- (42.9) 1 主に、金融機関の窓口で購入した、または購入したい
- (46.2) 2 主に、スマートフォンやパソコンなどオンラインで購入した、または購入したい

(10.9) 無回答

問12-4 投資信託の中で商品を選択する際の考え方として、次のうちどれが最もあなたの考えに近いですか。

(〇は1つ) (n=504)

- (46.0) 1 好みのものを自分で選びたい
- (38.7) 2 専門家に投資方針を伝え投資判断等は専門家に一任したい
- (6.3) 3 専門家ではなくロボアドバイザー (AI (人工知能)) に任せたい



ここまで回答した方は、次ページの間13へお進みください。

(8.9) 無回答

【問12-1で、「2 (投資信託) を利用したくない」と回答した方に】

問12-5 投資信託を利用したくないのは、どのような理由でしょうか。 主な理由を2つまでお答えください。

(○は2つまで) (n=619)

(27.8)	1	預金のように元本保証がないから	
(41.8)	2	投資に関する知識がないから	
(38.3)	3	余裕資金がないから	
(2.6)	4	コスト(手数料・信託報酬)が高そうだから	
(4.2)	5	忙しくて時間がないから	
(25.2)	6	損をしそうで怖いから	
(2.1)	7	その他(具体的に	)
(11.0)	8	特に理由はない	

(3.1) 無回答

【全員にお聞きします】

問13 保険商品(掛け捨ての保険のみ)についてお伺いします。

(1) 現在、あなたの世帯の世帯主の方が被保険者となっていられる保険商品(掛け捨ての保険のみ)の死亡保障金額はおいくらくらいでしょうか。(実数記入) (n=618)

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をお付けください。

(4.7)	～100万円未満	(14.1)	～700万円未満	(9.1)	～5000万円未満
(12.6)	～200万円未満	(3.1)	～1000万円未満	(4.0)	～5000万円以上
(9.5)	～300万円未満	(17.5)	～1500万円未満		
(9.7)	～400万円未満	(4.5)	～2000万円未満		
(2.8)	～500万円未満	(8.4)	～3000万円未満		
(51.0) 持っている		(36.8) 持っていない		(12.2) 無回答 (n=1,212)	

(2) では、あなたの世帯のご家族全員の方の保険商品(掛け捨ての保険のみ)の死亡保障金額を合計すると、おいくらくらいでしょうか。(実数記入) (n=623)

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をお付けください。

(4.0)	～100万円未満	(10.9)	～700万円未満	(10.0)	～5000万円未満
(3.9)	～200万円未満	(6.4)	～1000万円未満	(7.2)	～5000万円以上
(10.6)	～300万円未満	(15.4)	～1500万円未満		
(6.3)	～400万円未満	(7.2)	～2000万円未満		
(5.1)	～500万円未満	(13.0)	～3000万円未満		
(51.4) 持っている		(35.5) 持っていない		(13.1) 無回答 (n=1,212)	

問14 あなたの世帯の貯蓄の目的等についてお尋ねします。

(1) 現在あなたの世帯では、どのような目的で貯蓄をなさっていますか。表の「ア」から「シ」の中から、貯蓄の目的にあてはまるものをいくつでもお答えください。(〇はいくつでも) (n=1,212)

【(1) で〇を付けた貯蓄の目的それぞれについて】

(2) 現在お持ちの貯蓄総額の何%程度を割り当てていますか。合計が100%になるようにお答えください。(実数記入)

(3) 目的の貯蓄は1年前に比べて増えましたか、それとも減りましたか。(〇は1つずつ)

	(1) 貯蓄の 目的 (〇はい くつでも)	(2) 貯蓄総額に 占める% (実数記入)	(3) 1年前に比べて (〇は1つずつ)
<b>ア</b> 病気、災害、その他不 時の出費への備え (n=677)	(55.9)	(4.0) 10%未満 (22.3) 10~20%未満 (30.7) 20~40%未満 (18.9) 40~60%未満 (2.5) 60~80%未満 (1.0) 80~100%未満 (2.7) 100% (17.9) 無回答	増えた 減った 変わら 無回答 (11.8) (16.1) (58.8) (13.3)
<b>イ</b> 子どもの教育費 (n=339)	(28.0)	(2.4) 10%未満 (14.7) 10~20%未満 (29.8) 20~40%未満 (22.7) 40~60%未満 (10.3) 60~80%未満 (5.6) 80~100%未満 (2.1) 100% (12.4) 無回答	(35.7) (15.0) (36.6) (12.7)
<b>ウ</b> 結婚資金(子どもの結婚 資金を含む) (n=97)	(8.0)	(20.6) 10%未満 (38.1) 10~20%未満 (17.5) 20~40%未満 (5.2) 40~60%未満 (1.0) 60~80%未満 (-) 80~100%未満 (-) 100% (17.5) 無回答	(9.3) (12.4) (68.0) (10.3)
<b>エ</b> 自宅又は土地の取得、 増改築などへの備え (n=209)	(17.2)	(10.0) 10%未満 (36.8) 10~20%未満 (30.6) 20~40%未満 (8.6) 40~60%未満 (1.0) 60~80%未満 (0.5) 80~100%未満 (-) 100% (12.4) 無回答	(17.2) (15.8) (56.5) (10.5)
<b>オ</b> 老後の生活への備え (n=745)	(61.5)	(2.1) 10%未満 (12.9) 10~20%未満 (26.3) 20~40%未満 (27.2) 40~60%未満 (7.1) 60~80%未満 (6.0) 80~100%未満 (2.4) 100% (15.8) 無回答	(20.0) (18.0) (50.6) (11.4)
<b>カ</b> 要介護状態(寝たきりな ど)になったときの出費 への備え(n=293)	(24.2)	(4.8) 10%未満 (25.6) 10~20%未満 (36.2) 20~40%未満 (10.9) 40~60%未満 (1.0) 60~80%未満 (0.3) 80~100%未満 (0.3) 100% (20.8) 無回答	(9.9) (17.4) (59.7) (13.0)
<b>キ</b> 耐久消費財(自動車、家 具、家電など)の購入 (n=340)	(28.1)	(11.5) 10%未満 (45.0) 10~20%未満 (27.9) 20~40%未満 (3.5) 40~60%未満 (0.6) 60~80%未満 (0.3) 80~100%未満 (-) 100% (11.2) 無回答	(13.8) (21.2) (51.8) (13.2)
<b>ク</b> 旅行やスポーツなどの レジャー (n=314)	(25.9)	(22.0) 10%未満 (41.7) 10~20%未満 (21.0) 20~40%未満 (2.5) 40~60%未満 (0.6) 60~80%未満 (0.6) 80~100%未満 (-) 100% (11.5) 無回答	(17.2) (19.1) (51.3) (12.4)

遺産（生前贈与を含む）として残すための貯蓄(n=91)	( 7.5)	→	( 8.8) 10%未満 (26.4) 10~20%未満 (30.8) 20~40%未満 (13.2) 40~60%未満	( - ) 60~80%未満 ( 2.2) 80~100%未満 ( 1.1) 100% (17.6) 無回答	→	(17.6) (12.1) (61.5) (8.8)
特に目的はなく、安心のための貯蓄(n=353)	(29.1)	→	( 4.8) 10%未満 (19.8) 10~20%未満 (28.3) 20~40%未満 (19.0) 40~60%未満	( 5.9) 60~80%未満 ( 4.8) 80~100%未満 ( 2.0) 100% (15.3) 無回答	→	(18.1) (20.4) (49.9) (11.6)
その他の目的の貯蓄(n=63)	( 5.2)	→	(11.1) 10%未満 (25.4) 10~20%未満 (17.5) 20~40%未満 (12.7) 40~60%未満	( 3.2) 60~80%未満 ( 3.2) 80~100%未満 ( 1.6) 100% (25.4) 無回答	→	(19.0) (22.2) (44.4) (14.3)
シ あてはまるものはない	( 9.4)	→	次ページの間15へお進みください			
無回答	( 6.2)					



「イ～オ（2～5）」に1つもあてはまらない方は、次ページの間15へお進みください。

【問14（1）で「イ～オ（2～5）」の1つ以上に○を付けた方に】

問14-1 問14（1）の「イ～オ（2～5）」における目標金額（目安）の設定と貯蓄について、あなたの世帯に最もあてはまる状況をお答えください。（○は1つ）(n=871)

( 9.1) 1 目標金額（目安）を定め、計画的に貯蓄

(33.5) 2 目標金額（目安）は明確ではないが、定期的に貯蓄

(48.8) 3 目標金額（目安）は明確でなく、余裕が出たときにその都度貯蓄

→ 次ページの間15へお進みください

( 8.6) 無回答

次ページの間14-2へお進みください。

【問14-1で、「1 目標金額（目安）を定め、計画的に貯蓄」と回答した方に】

問14-2 目標金額（目安）は主にどのような方法で設定されていますか。最もあてはまるものをお答えください。

(〇は1つ) (n=79)

※複数の方法を用いて設定されている方は、最も役に立ったものをお答えください。

- (19.0) 1 金融機関等の専門家からアドバイスを受けて設定
- (3.8) 2 インターネットのシミュレーションを利用して設定
- (29.1) 3 自分で情報収集等して設定
- (41.8) 4 計画的に貯蓄するためひとまず一定額を目標に設定
- (3.8) 5 その他（具体的な設定方法

)

(2.5) 無回答

**金融教育・金融知識についてお伺いします。**

【全員にお聞きします】

問15 あなたは、これまでに学校や企業等の中で次のような金融教育を受けたことがありますか。

(〇はいくつでも) (n=1, 212)

- (11.0) 1 小学校のころから道徳や家庭科の授業で受けた
- (12.8) 2 中学校や高等学校の家庭科や公民科の授業で受けた
- (2.3) 3 大学等で専門的に学習した
- (11.9) 4 所属企業等で実施する資産形成・ライフプランの研修等を受けた
- (3.3) 5 所属企業等で実施（補助）する通信講座・セミナー等を受けた
- (7.6) 6 プライベートで資産形成・ライフプラン研修等や通信講座・セミナー等を受けた
- (2.3) 7 その他（具体的に
- (59.2) 8 1～7のような金融教育を受けたことがない

)

(4.4) 無回答

問16 あなたは、ご自身の金融知識はどのレベルにあるとお考えですか。(〇は1つ) (n=1, 212)

- (2.1) 1 平均よりもかなり詳しい
- (7.4) 2 平均よりも少し詳しい
- (21.5) 3 平均的である
- (19.4) 4 平均よりも少し劣る
- (29.0) 5 平均よりもかなり劣る
- (18.2) 6 わからない

(2.5) 無回答

問17 あなたは、金融知識をさらに身に着けたいと思いますか。(〇は1つ) (n=1, 212)

- |           |          |             |              |
|-----------|----------|-------------|--------------|
| (13.0)    | (40.5)   | (33.5)      | (10.6)       |
| 1 とてもそう思う | 2 ややそう思う | 3 あまりそう思わない | 4 まったくそう思わない |

(2.4) 無回答

## 住居についてお伺いします。

### 【全員にお聞きします】

問18 あなたの世帯では現在どのような住居にお住まいですか。親御さんまたはご親族の家に同居しており、生計をともにしている場合には、その住居についてお答えください。(○は1つ) (n=1,212)

(76.7) 1	持ち家(一戸建て)	(2.6) 4	民間の借家(一戸建て)	} 13 ページの間20へお進みください
(1.1) 2	持ち家(借地権付き一戸建て住宅)	(11.1) 5	民間の借家 (マンション、アパート等の集合住宅)	
(4.3) 3	持ち家(マンション)	(2.1) 6	住宅供給公社・UR都市機構 ・公営の賃貸住宅	
		(0.7) 7	社宅・官舎	
		(0.5) 8	その他(具体的に )	

→ 12 ページの間19へお進みください

(1.1) 無回答

### 【問18で、「1~3(持ち家)」と回答した方に】

問18-1 それはどなたの所有ですか。土地ではなく建物についてお答えください。(○はいくつでも) (n=994)

(87.1) 1	世帯主	(3.0) 3	子ども	} 1~2を選択していない方は、12ページの間19へお進みください
		(0.2) 4	子どもの配偶者	
(13.8) 2	配偶者	(0.2) 5	孫	
		(5.7) 6	親、配偶者の親	
		(0.7) 7	その他(具体的に )	

(0.5) 無回答

### 【問18-1で、「1~2(世帯主または配偶者の所有)」と回答した方に】

問18-2 それはどのようにして取得されましたか。(○は1つ) (n=915)

(78.6) 1	購入した	(1.2) 3	その他(具体的に )
(18.7) 2	相続または譲渡を受けた		

(1.5) 無回答

問18-3 それを購入・相続・譲渡された時期はいつでしたか。(実数記入) (n=915)

※29ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

(1.9)	1年未満	(13.2)	~15年未満	(11.6)	~40年未満
(4.5)	~3年未満	(10.7)	~20年未満	(7.0)	~50年未満
(4.8)	~5年未満	(10.2)	~25年未満	(4.4)	50年以上前
(12.2)	~10年未満	(10.2)	~30年未満	(9.4)	無回答

問18-2で「1 購入した」と回答した方は次ページの間18-4へお進みください。

上記以外の方は12ページの間19へお進みください。

【問18-2で「1 購入した」と回答した方に。それ以外の方は次ページの問19へお進みください。】

問18-4 調達資金の内訳をお答えください。(実数記入) (n=719)

※①～③のそれぞれについて、該当する資金がある場合は「ある」に○を付け、その金額を記入してください。  
 該当する資金がない場合は「なし」に○を付け、金額欄に「0」と記入してください。

	(1) 調達資金の有無			⇒	(2) 該当する資金がある場合はその金額を記入してください	
	ある	なし	無回答			
① 金融機関からの借入金 (n=447)	(77.5)	(15.2)	(7.4)		(0.2)～100万円未満 (0.2)～200万円未満 (0.2)～300万円未満 (0.9)～400万円未満 (0.9)～500万円未満 (3.4)～700万円未満	(4.7)～1000万円未満 (8.5)～1500万円未満 (10.5)～2000万円未満 (34.5)～3000万円未満 (31.1)～5000万円未満 (4.7)～1億円未満 (0.2)1億円以上
② それ以外の借入金 (n=18)	(3.2)	(43.5)	(53.3)		(-)～100万円未満 (5.6)～200万円未満 (5.6)～300万円未満 (22.2)～400万円未満 (5.6)～500万円未満 (11.1)～700万円未満	(22.2)～1000万円未満 (16.7)～1500万円未満 (5.6)～2000万円未満 (-)～3000万円未満 (-)～5000万円未満 (5.6)～1億円未満 (-)1億円以上
③ 親族からの援助 (n=86)	(12.9)	(39.4)	(47.7)		(8.1)～100万円未満 (12.8)～200万円未満 (10.5)～300万円未満 (9.3)～400万円未満 (1.2)～500万円未満 (25.6)～700万円未満	(4.7)～1000万円未満 (22.1)～1500万円未満 (2.3)～2000万円未満 (2.3)～3000万円未満 (1.2)～5000万円未満 (-)～1億円未満 (-)1億円以上

問18-4(1)で①「金融機関からの借入金」がある方は問18-5へお進みください。

金融機関からの借入金がない方は次ページの問19へお進みください。



【問18-4で、「①金融機関からの借入金」があると回答した方に】

問18-5 次のうちのどの金融機関から調達されましたか。(〇はいくつでも) (n=557)

(82.6) 1 民間金融機関	(20.6) 2 住宅金融支援機構(旧 住宅金融公庫)	} 次ページの間19へ お進みください
(1.3) 3 その他(具体的に	)	

(1.4) 無回答

【問18-5で、「1 民間金融機関」と回答した方に】

問18-6 民間金融機関はどちらでしたか。複数の金融機関から借り入れている場合は、最も金額の多い機関をお答えください。(〇は1つ) (n=460)

※銀行の種別は、31ページの「銀行一覧」をご参照ください。

(22.6) 1 都市銀行	(11.3) 6 信用金庫
(38.0) 2 地方銀行	(1.3) 7 信用組合
(2.4) 3 第二地方銀行	(10.0) 8 労働金庫
(3.3) 4 信託銀行	(6.1) 9 JAバンク(農協・漁協)
(3.0) 5 ネット銀行	(1.7) 10 その他(具体的に

(0.2) 無回答

問18-7 民間金融機関からの借入金について金利のタイプは次のうちどれにあてはまりますか。

(〇は1つ) (n=460)

(47.0) 1 変動金利型	(2.4) 4 全期間固定金利型(10年以下)
(19.1) 2 固定金利期間選択型(10年以下)	(16.3) 5 全期間固定金利型(10年超)
(10.0) 3 固定金利期間選択型(10年超)	(0.7) 6 その他(具体的に

(4.6) 無回答

問18-8 民間金融機関から借入れたときの金利はおおよそどのくらいでしたか。(〇は1つ) (n=460)

(7.8) 1 0.5%未満	(1.7) 7 3.0%~3.5%未満
(20.9) 2 0.5%~1.0%未満	(1.5) 8 3.5%~4.0%未満
(12.8) 3 1.0%~1.5%未満	(2.0) 9 4.0%~4.5%未満
(6.1) 4 1.5%~2.0%未満	(1.7) 10 4.5%~5.0%未満
(8.5) 5 2.0%~2.5%未満	(5.4) 11 5.0%以上
(4.1) 6 2.5%~3.0%未満	(22.2) 12 わからない

(5.2) 無回答

次ページの間19へお進みください。

【問18で、「1～3（持ち家）」、または「8（その他）」と回答した方に】

問19 現在お住まいの住居の時価評価額について、土地・建物に分けてお答えください。

マンションにお住まいの方は専有部分についてのみお答えください。(実数記入) (n=1,000)

	時価評価額
現在居住している土地	(1.6) ～100万円未満 (9.6) ～1500万円未満 (2.0) ～200万円未満 (3.4) ～2000万円未満 (2.4) ～300万円未満 (6.1) ～3000万円未満 (2.3) ～400万円未満 (6.1) ～5000万円未満 (0.5) ～500万円未満 (1.2) ～1億円未満 (6.3) ～700万円未満 (0.4) 1億円以上 (3.8) ～1000万円未満 (54.3) 無回答
現在居住している建物	(4.9) ～100万円未満 (8.8) ～1500万円未満 (3.6) ～200万円未満 (3.4) ～2000万円未満 (3.4) ～300万円未満 (5.6) ～3000万円未満 (2.8) ～400万円未満 (3.0) ～5000万円未満 (1.5) ～500万円未満 (0.4) ～1億円未満 (6.2) ～700万円未満 (0.1) 1億円以上 (3.6) ～1000万円未満 (52.7) 無回答
合計	(0.2) ～100万円未満 (6.2) ～1500万円未満 (0.6) ～200万円未満 (5.6) ～2000万円未満 (1.0) ～300万円未満 (9.1) ～3000万円未満 (0.8) ～400万円未満 (10.4) ～5000万円未満 (1.4) ～500万円未満 (4.7) ～1億円未満 (2.6) ～700万円未満 (0.7) 1億円以上 (4.2) ～1000万円未満 (52.5) 無回答

問19-1 現在お住まいの住居について、3年後のその資産価値(問19の合計額)はどうかと思いますか。  
 マンションにお住まいの方は専有部分についてのみお答えください。(〇は1つ) (n=1,000)

(43.1) <b>1</b> 下がる	(31.0) <b>2</b> 変わらない	(11.0) <b>3</b> 上がる
↳ 次ページの間21へお進みください		
		(14.9) 無回答

問19-2 下がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ) (n=431)

(26.9) <b>1</b> 5%未満
(29.7) <b>2</b> 5%～10%未満
(19.3) <b>3</b> 10%～20%未満
(8.6) <b>4</b> 20%～30%未満
(4.4) <b>5</b> 30%～50%未満
(6.0) <b>6</b> 50%以上

問19-3 上がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ) (n=110)

(50.0) <b>1</b> 5%未満
(32.7) <b>2</b> 5%～10%未満
(13.6) <b>3</b> 10%～20%未満
(1.8) <b>4</b> 20%～30%未満
(1.8) <b>5</b> 30%～50%未満
(-) <b>6</b> 50%～100%未満
(-) <b>7</b> 100%以上

⇨ ここまで回答された方は、次ページの間21へお進みください。  
 (5.1) 無回答 ( - ) 無回答

【問18で、「4～7（持ち家以外）」と回答した方に】

問20 ひと月の家賃はどれくらいですか。共益費や管理費も含めてご回答ください。(実数記入) (n=199)

( 6.5)	3万円未満	(15.1)	～8万円未満	( 0.5)	20万円以上
(12.1)	～5万円未満	( 8.0)	～9万円未満	(13.6)	無回答
(11.6)	～6万円未満	( 4.0)	～10万円未満		
(13.1)	～7万円未満	(15.6)	～20万円未満		

【全員にお聞きします】

問21 住居の取得(建て替え、買い替えなどを含む)についてどのような予定をお持ちですか。(〇は1つ) (n=1,212)

( 1.0)	<b>1</b>	1年以内に取得を予定	} 問21-3へお進みください
( 1.2)	<b>2</b>	5年以内に取得を予定	
( 4.4)	<b>3</b>	時期ははっきりしないが取得を予定している	
(57.8)	<b>4</b>	住居の取得・建て替え・買い替えは今のところ考えていない	
(28.2)	<b>5</b>	将来とも住居を取得する予定はない	

( 7.4) 無回答

【問21で、「1～3（住居を取得予定）」と回答した方に】

問21-1 住居を取得(建て替え、買い替えなどを含む)する場合は、どのようにしたいですか。(〇は1つ) (n=79)

(60.8)	<b>1</b>	新規購入	(25.3)	<b>2</b>	建て替え	( 5.1)	<b>3</b>	買い替え	( 7.6)	<b>4</b>	相続・贈与等
--------	----------	------	--------	----------	------	--------	----------	------	--------	----------	--------

( 1.3) 無回答

問21-2 予定されている調達資金の内訳をお答えください。(実数記入) (n=79)

※ ①～③のそれぞれについて、該当する資金調達の予定がある場合は「ある」に〇を付け、予定金額を記入してください。該当する資金調達の予定がない場合は「なし」に〇を付け、金額欄に「0」と記入してください。

	(1) 予定されている 調達資金の有無 ある なし 無回答	(2) 該当する予定の資金調達の予定金額を記入してください
① 金融機関からの借入金 (n=34)	(48.1) (44.3) ( 7.6)	( - ) ～100万円未満 ( - ) ～1000万円未満 ( - ) ～200万円未満 ( 8.8) ～1500万円未満 ( - ) ～300万円未満 ( - ) ～2000万円未満 ( - ) ～400万円未満 (14.7) ～3000万円未満 ( - ) ～500万円未満 (41.2) ～5000万円未満 ( 2.9) ～700万円未満 (26.5) ～1億円未満 ( 5.9) 1億円以上
② それ以外の借入金 (n=0)	( - ) (68.4) (31.6)	( - ) ～100万円未満 ( - ) ～1000万円未満 ( - ) ～200万円未満 ( - ) ～1500万円未満 ( - ) ～300万円未満 ( - ) ～2000万円未満 ( - ) ～400万円未満 ( - ) ～3000万円未満 ( - ) ～500万円未満 ( - ) ～5000万円未満 ( - ) ～700万円未満 ( - ) ～1億円未満 ( - ) 1億円以上

③ 親族からの 援助 (n=6)	( 8.9) (62.0) (29.1)	⇒	( - ) ~ 100万円未満	( - ) ~ 1000万円未満
			( - ) ~ 200万円未満	(50.0) ~ 1500万円未満
			(16.7) ~ 300万円未満	( - ) ~ 2000万円未満
			( - ) ~ 400万円未満	( - ) ~ 3000万円未満
			( - ) ~ 500万円未満	( - ) ~ 5000万円未満
			(33.3) ~ 700万円未満	( - ) ~ 1億円未満
				( - ) 1億円以上

⇒ ここまで回答された方は、次ページの間22へお進みください。

【問21で、「4~5（住居取得は考えていない）」と回答した方に】

問21-3 住居の取得(建て替え、買い替えなどを含む)をお考えになっていないのはなぜですか。

(〇はいくつでも) (n=1,043)

(26.7) 1 資金不足	(53.2) 4 現在の自宅に満足している
(1.0) 2 適当な広さの物件がない	(40.6) 5 将来どうなるか分からないから
(1.2) 3 立地条件が合わない	(2.8) 6 その他(具体的に )

(3.3) 無回答

負債についてお伺いします。

【全員にお聞きします】

問22 あなたの世帯の借入金についてお伺いします。

(1) 現在あなたの世帯では、次のような目的での借入金がありますか。あてはまるものをすべてお知らせください。

(〇はいくつでも) (n=1,212)

【(1)で〇を付けた借入金目的のそれぞれについて】

(2) それぞれの目的での、現在の借入残高をご記入ください。(実数記入)

(3) 1年前に比べて残高が増えたのは、どの目的の借入金ですか。(〇はいくつでも)

(4) 1年前に比べて残高が減ったのは、どの目的の借入金ですか。(〇はいくつでも)

	(1) 借入の 目的 (〇は いくつ でも)		(2) 現在の借入残高 (実数記入)	(3) 1年前に比 べて残高が 増えたもの (〇はいくつでも)	(4) 1年前に比 べて残高が 減ったもの (〇はいくつでも)
				(n=438)	(n=438)
ア 自宅又は土地の 取得・増改築 など (n=329)	(27.1)	→	(0.9) ~ 100万円未満 (7.3) ~ 1000万円未満 (3.3) ~ 200万円未満 (13.1) ~ 1500万円未満 (3.3) ~ 300万円未満 (16.7) ~ 2000万円未満 (1.2) ~ 400万円未満 (19.8) ~ 3000万円未満 (1.8) ~ 500万円未満 (19.5) ~ 3000万円以上 (5.2) ~ 700万円未満 (7.9) 無回答	(2.3)	(65.1)
イ 耐久消費財 (自動車、家具、 家電など)の 購入資金 (n=87)	(7.2)	→	(29.9) ~ 100万円未満 ( - ) ~ 1000万円未満 (26.4) ~ 200万円未満 ( - ) ~ 1500万円未満 (13.8) ~ 300万円未満 ( - ) ~ 2000万円未満 (12.6) ~ 400万円未満 ( - ) ~ 3000万円未満 (5.7) ~ 500万円未満 ( - ) ~ 3000万円以上 (4.6) ~ 700万円未満 (6.9) 無回答	(4.6)	(13.9)

ウ 子どもの教育費 (n=44)	( 3.6)	→	(18.2) ~100万円未満 (15.9) ~200万円未満 (18.2) ~300万円未満 (18.2) ~400万円未満 (11.4) ~500万円未満 ( 6.8) ~700万円未満	( 2.3) ~1000万円未満 ( -) ~1500万円未満 ( 2.3) ~2000万円未満 ( -) ~3000万円未満 ( -) ~3000万円以上 ( 6.8) 無回答	( 3.4)	( 5.0)
エ 生活費 (n=46)	( 3.8)	→	(50.0) ~100万円未満 (19.6) ~200万円未満 (13.0) ~300万円未満 ( 4.3) ~400万円未満 ( -) ~500万円未満 ( -) ~700万円未満	( 2.2) ~1000万円未満 ( -) ~1500万円未満 ( -) ~2000万円未満 ( -) ~3000万円未満 ( -) ~3000万円以上 (10.9) 無回答	( 5.3)	( 3.4)
オ その他の目的の 借入金 (n=59)	( 4.9)	→	(16.9) ~100万円未満 (33.9) ~200万円未満 ( 8.5) ~300万円未満 ( 6.8) ~400万円未満 ( 5.1) ~500万円未満 ( 6.8) ~700万円未満	( 5.1) ~1000万円未満 ( 1.7) ~1500万円未満 ( 3.4) ~2000万円未満 ( 1.7) ~3000万円未満 ( 6.8) ~3000万円以上 ( 3.4) 無回答	( 2.7)	( 6.4)
カ 借入金はない 無回答 (14.2)	(49.7)	→	次ページの間23へお進みください		(86.1)	(21.7)
ア～オの合計 (n=362)		→	( 4.7) ~100万円未満 ( 9.4) ~200万円未満 ( 5.5) ~300万円未満 ( 4.7) ~400万円未満 ( 3.0) ~500万円未満 ( 6.1) ~700万円未満	( 5.2) ~1000万円未満 (11.3) ~1500万円未満 (14.4) ~2000万円未満 (17.7) ~3000万円未満 (18.0) ~3000万円以上		

## 仕事と家計についてお伺いします。

### 【全員にお聞きします】

問23 世帯主の方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(〇は1つ) (n=1,212)

(69.1) 1 している (3.3)	2 していない(求職中) (24.3)	3 していない(求職活動もしていない)	} 次ページの間24へ お進みください
(3.3) 無回答			

【問23で「1(世帯主の方が現在、収入をとまなう仕事をしている)」と回答した方に】

問23-1 世帯主の方は、何歳まで働き続けたいと考えていらっしゃいますか。(実数記入) (n=838)

(0.2) 50歳未満	(9.1) 60~64歳まで	(10.6) 75~79歳まで
(0.7) 50~54歳まで	(37.8) 65~69歳まで	(10.3) 80歳を超える年齢まで
(1.3) 55~59歳まで	(24.6) 70~74歳まで	(5.4) 無回答

問23-2 世帯主の方の現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(n=838)

※(2)業種は30ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

(1) 雇用形態 (〇は1つ) (1.1) 無回答	(65.2) 1 正社員・正規職員 (9.4) 4 パート・アルバイト (0.7) 7 自営業の手伝い (7.4) 2 嘱託・契約社員 (5.0) 5 自営業(雇人あり) (0.1) 8 内職 (0.8) 3 派遣社員 (9.4) 6 自営業(雇人なし) (0.8) 9 その他( )
(2) 業種 (〇は1つ) (3.0) 無回答	(2.3) 1 農林漁業 (6.6) 4 運輸業、郵便業 (8.6) 7 医療、福祉 (11.0) 2 建設業 (9.1) 5 卸売業、小売業 (13.7) 8 公務、教育、電気水道業 (20.3) 3 製造業 (2.9) 6 宿泊業、飲食サービス業 (22.7) 9 その他サービス業
(3) 職種 (〇は1つ) (2.3) 無回答	(20.5) 1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (9.3) 2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (11.8) 3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (11.1) 4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (18.7) 5 技能工・生産工程に関わる職業 (製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (8.4) 6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (3.7) 7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (2.0) 8 農林漁業に関わる職業 (9.5) 9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ホールスタッフ、ホームヘルパーなど) (2.6) 10 その他(具体的に )
(4) 従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (〇は1つ) (5.1) 無回答	(12.4) 1 5人未満 (14.2) 4 30人以上100人未満 (5.1) 7 500人以上1,000人未満 (5.5) 2 5人以上10人未満 (10.6) 5 100人以上300人未満 (18.1) 8 1,000人以上 (10.7) 3 10人以上30人未満 (6.9) 6 300人以上500人未満 (5.3) 9 官公庁 (6.0) 10 わからない

※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。

(5) 就労時間 [週平均]

(13.4)	10時間未満	(41.1)	～50時間未満	(0.2)	～90時間未満
(5.0)	～20時間未満	(13.1)	～60時間未満	(0.1)	～100時間未満
(4.2)	～30時間未満	(6.6)	～70時間未満	(0.6)	100時間以上
(8.0)	～40時間未満	(1.4)	～80時間未満	(6.3)	無回答

うち 残業時間

(31.1)	0時間	(10.6)	～10時間未満	(8.7)	～15時間以上
(14.3)	～5時間未満	(11.5)	～15時間未満	(23.7)	無回答

(6) 入社時期

(-)	1950年代以前	(6.3)	1980年代	(26.6)	2010年代
(0.6)	1960年代	(14.1)	1990年代	(21.6)	2020年代
(1.7)	1970年代	(19.1)	2000年代	(10.0)	無回答

【全員にお聞きします】

問24 世帯主の配偶者の方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(○は1つ) (n=1,212)

(48.3)	1	している	(5.7)	2	していない(求職中)	} 次ページの間25へ お進みください
			(31.1)	3	していない(求職活動もしていない)	
			(10.8)	4	配偶者はいない	

(4.1) 無回答

【問24で「1(世帯主の配偶者の方が現在、収入をとまなう仕事をしています)」と回答した方に】

問24-1 世帯主の配偶者の方は、何歳まで働きたいと考えていらっしゃいますか。(実数記入) (n=585)

(1.9)	50歳未満	(23.8)	60～64歳まで	(5.5)	75～79歳まで
(3.6)	50～54歳まで	(34.9)	65～69歳まで	(4.1)	80歳を超える年齢まで
(2.4)	55～59歳まで	(17.4)	70～74歳まで	(6.5)	無回答

次ページの間24-2へお進みください。

問24-2 世帯主の配偶者の方の現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(n=585)

※(2)業種は30ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

(1)雇用形態 (〇は1つ) (1.9) 無回答	(32.5) 1 正社員・正規職員 (45.5) 4 パート・アルバイト (4.8) 7 自営業の手伝い (7.0) 2 嘱託・契約社員 (1.7) 5 自営業(雇人あり) (1.2) 8 内職 (1.7) 3 派遣社員 (3.1) 6 自営業(雇人なし) (0.7) 9 その他( )
(2)業種 (〇は1つ) (5.6) 無回答	(1.9) 1 農林漁鉱業 (2.1) 4 運輸業、郵便業 (21.0) 7 医療、福祉 (3.6) 2 建設業 (11.8) 5 卸売業、小売業 (12.8) 8 公務、教育、電気水道業 (11.1) 3 製造業 (7.5) 6 宿泊業、飲食サービス業 (22.6) 9 その他サービス業
(3)職種 (〇は1つ) (3.6) 無回答	(22.6) 1 専門・技術的職業 (医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (1.2) 2 管理的な仕事 (企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (24.6) 3 事務的な仕事 (企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (11.6) 4 営業・販売の仕事 (小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (8.5) 5 技能工・生産工程に関わる職業 (製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (1.4) 6 運輸・通信の仕事 (トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (0.3) 7 保安的職業 (警察官、消防士、自衛官、警備員など) (1.5) 8 農林漁業に関わる職業 (22.1) 9 サービスの職業 (理・美容師、料理人、ホールスタッフ、ホームヘルパーなど) (2.6) 10 その他 (具体的に )
(4)従業員数 (パート・アルバイトなどを 含む) (〇は1つ) (5.1) 無回答	(11.6) 1 5人未満 (19.1) 4 30人以上100人未満 (5.5) 7 500人以上1,000人未満 (8.7) 2 5人以上10人未満 (10.1) 5 100人以上300人未満 (11.5) 8 1,000人以上 (13.5) 3 10人以上30人未満 (3.6) 6 300人以上500人未満 (4.8) 9 官公庁 (6.5) 10 わからない ※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。

(5) 就労時間 [週平均]

(16.4) 10時間未満 (27.7) ~50時間未満 (0.2) ~90時間未満
(12.1) ~20時間未満 (4.6) ~60時間未満 (-) ~100時間未満
(14.2) ~30時間未満 (1.2) ~70時間未満 (0.5) 100時間以上
(16.8) ~40時間未満 (0.3) ~80時間未満 (6.0) 無回答

うち 残業時間

(54.0) 0時間 (5.1) ~10時間未満 (2.1) ~15時間以上
(11.6) ~5時間未満 (4.8) ~15時間未満 (22.4) 無回答

(6) 入社時期

(-) 1950年代以前 (2.2) 1980年代 (33.3) 2010年代
(0.3) 1960年代 (5.1) 1990年代 (33.5) 2020年代
(0.7) 1970年代 (15.0) 2000年代 (9.7) 無回答



【全員にお聞きします】

問25 あなたの世帯の**昨年1年間の就労収入**について、お伺いします。

- (1) **世帯主の方の昨年1年間の就労収入**は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む**総収入**でお答えください。また、自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。**(実数記入)** (n=778)

※収入がない場合には「X 昨年1年間は、就労収入はない」に○をお付けください。

( 4.9) ~100万円未満	(12.7) ~600万円未満	( 5.7) ~1500万円未満
( 8.2) ~200万円未満	(11.3) ~700万円未満	( 1.8) ~2000万円未満
( 7.8) ~300万円未満	( 7.2) ~800万円未満	( 0.8) 2000万円以上
(13.8) ~400万円未満	( 6.4) ~900万円未満	
(14.8) ~500万円未満	( 4.6) ~1000万円未満	

(64.2) 就労収入がある (24.0) 昨年1年間は、就労収入はない (11.8) 無回答 (n=1,212)

- (2) また、**世帯主の配偶者の方の昨年1年間の就労収入**は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む**総収入**でお答えください。また、自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。**(実数記入)** (n=539)

※収入がない場合には「X 昨年1年間は、就労収入はない」に○をお付けください。

※配偶者がいらない場合には、「Y 配偶者はいない」に○をお付けください。

(24.5) ~100万円未満	( 5.4) ~600万円未満	( 0.7) ~1500万円未満
(27.5) ~200万円未満	( 3.5) ~700万円未満	( 0.4) ~2000万円未満
(15.4) ~300万円未満	( 1.7) ~800万円未満	( - ) 2000万円以上
(12.6) ~400万円未満	( 0.6) ~900万円未満	
( 7.2) ~500万円未満	( 0.6) ~1000万円未満	

(44.5) 就労収入がある (32.6) 昨年1年間は、就労収入はない (10.8) 配偶者はいない (12.1) 無回答 (n=1,212)

問26 あなたの**世帯の、昨年1年間の収入の総額**は、およそいくらですか。

- (1) 税金・社会保険料などを差し引かれる前の就労収入に加えて社会保障給付、私的年金(企業年金、個人年金)、贈与、財産収入等を含む**総収入**(遺産を除く)をお答えください。**(実数記入)** (n=1,212)

- (2) 税金・社会保険料などを①**所得税・住民税**、②**社会保険料**に分けてお答えください。**(実数記入)** (n=1,212)

- (3) 税金・社会保険料などを差し引かれた**手取り額**でお答えください。**(実数記入)** (n=1,212)

※収入がなかった場合や納付がなかった場合は「0」と記入してください。

(1) 総収入	→	( 3.6) ~100万円未満	( 5.8) ~800万円未満	
		( 3.2) ~200万円未満	( 6.0) ~900万円未満	
		( 6.5) ~300万円未満	( 4.7) ~1000万円未満	
		( 8.2) ~400万円未満	( 9.2) ~1500万円未満	
		( 7.2) ~500万円未満	( 2.4) ~2000万円未満	
		( 7.9) ~600万円未満	( 1.0) 2000万円以上	
		( 5.5) ~700万円未満	(28.7) 無回答	
(2) 税金・社会保険料	①所得税・住民税	→	(11.0) 10万円未満	( 5.9) ~70万円未満
			( 5.5) ~20万円未満	( 4.1) ~100万円未満
			( 4.6) ~30万円未満	( 5.4) ~150万円未満
	( 3.7) ~40万円未満		( 2.8) ~200万円未満	
	( 3.1) ~50万円未満		( 5.4) 200万円以上	
	(48.3) 無回答			
②社会保険料	→	( 4.6) 10万円未満	( 7.1) ~70万円未満	
		( 4.0) ~20万円未満	( 6.6) ~100万円未満	
		( 5.0) ~30万円未満	(11.1) ~150万円未満	
		( 3.6) ~40万円未満	( 3.7) ~200万円未満	
		( 3.7) ~50万円未満	( 3.0) 200万円以上	
		(47.6) 無回答		

(3) 手取り額	(4.0) ~100万円未満	(4.7) ~800万円未満
	(4.4) ~200万円未満	(2.6) ~900万円未満
	(6.8) ~300万円未満	(1.7) ~1000万円未満
	(9.6) ~400万円未満	(3.1) ~1500万円未満
	(7.3) ~500万円未満	(0.5) ~2000万円未満
	(6.9) ~600万円未満	(0.2) 2000万円以上
	(5.8) ~700万円未満	(42.6) 無回答

問26-1 あなたの世帯の年間の総収入(問26(1)の金額)について、今年1年間の収入見込みは昨年と比べていかがでしょうか。(〇は1つ) (n=1,212)

(22.6) 1 下がる (49.2) 2 変わらない → 問27へお進みください (19.0) 3 上がる

問26-2 下がる幅は、おおよそどのくらいとお考えですか。(〇は1つ) (n=274)

- (30.7) **1** 5%未満
- (25.2) **2** 5%~10%未満
- (15.0) **3** 10%~20%未満
- (9.9) **4** 20%~30%未満
- (7.7) **5** 30%~50%未満
- (8.4) **6** 50%以上

(3.3) 無回答

問26-3 上がる幅は、おおよそどのくらいとお考えですか。(〇は1つ) (n=230)

- (57.0) **1** 5%未満
- (22.6) **2** 5%~10%未満
- (8.3) **3** 10%~20%未満
- (3.5) **4** 20%~30%未満
- (3.5) **5** 30%~50%未満
- (0.9) **6** 50%~100%未満
- (1.3) **7** 100%以上

(3.0) 無回答

【全員にお聞きします】

問27 あなたの世帯の年間の総収入(問26(1)の金額)について、1年後の年間総収入は今年1年間の収入見込みに比べてどうなると思いますか。(〇は1つ) (n=1,212)

(22.1) 1 下がる (52.1) 2 変わらない → 問28へお進みください (17.0) 3 上がる

問27-1 下がる幅は、おおよそどのくらいとお考えですか。(〇は1つ) (n=268)

- (33.6) **1** 5%未満
- (23.9) **2** 5%~10%未満
- (15.7) **3** 10%~20%未満
- (10.1) **4** 20%~30%未満
- (5.6) **5** 30%~50%未満
- (5.6) **6** 50%以上

(5.6) 無回答

問27-2 上がる幅は、おおよそどのくらいとお考えですか。(〇は1つ) (n=206)

- (57.8) **1** 5%未満
- (24.3) **2** 5%~10%未満
- (9.2) **3** 10%~20%未満
- (3.9) **4** 20%~30%未満
- (1.5) **5** 30%~50%未満
- (1.0) **6** 50%~100%未満
- (1.0) **7** 100%以上

(1.5) 無回答

## 支出についてお伺いします。

### 【全員にお聞きします】

問28 あなたの世帯の支出の状況についてお伺いします。

(1) あなたの世帯の、今年のひと月あたりの支出は、平均してどのくらいですか。(実数記入) (n=1, 212)

( 1.8)	10万円未満	(13.9)	～30万円未満	( 1.9)	～50万円未満
( 5.8)	～15万円未満	(17.3)	～35万円未満	( 9.4)	50万円以上
( 9.2)	～20万円未満	( 5.0)	～40万円未満	(13.0)	無回答
(16.7)	～25万円未満	( 5.9)	～45万円未満		

(2) 上記(1)でお答えになったひと月あたりの支出金額のうち、住宅などのローンの返済額はどのくらいですか。

※ローン返済がない場合は「X ローン返済はない」に○を付けてください。

(実数記入) (n=430)

(60.7)	10万円未満	( 0.7)	～30万円未満	( - )	～50万円未満
(27.7)	～15万円未満	( 0.2)	～35万円未満	( 0.9)	50万円以上
( 5.8)	～20万円未満	( 0.2)	～40万円未満		
( 3.5)	～25万円未満	( 0.2)	～45万円未満		
(35.5)	ローン返済がある	(52.6)	ローン返済はない	(11.9)	無回答 (n=1, 212)

問29 お子さんや親御さんとの仕送りのやりとりについて、お伺いします。

(1) あなたの世帯では、お子さんや親御さんと仕送りのやりとりをしていますか。1から5のうち、あてはまるものをすべてお知らせください。(○はいくつでも)

(2) 「仕送りがある」場合、月々の仕送り金額は、それぞれいくらですか。(実数記入)

	(1) ある (○はいくつでも) (n=1, 212)	(2) 月々の仕送り金額 (実数記入)
世帯主の子どもに仕送りをしている (n=63)	( 5.2)	( - ) 1万円未満 ( 3.2) ～30万円未満 ( 9.5) ～3万円未満 ( 1.6) ～40万円未満 (17.5) ～5万円未満 ( - ) ～50万円未満 (20.6) ～7万円未満 ( 1.6) 50万円以上 ( 7.9) ～10万円未満 ( - ) 無回答 (38.1) ～20万円未満
世帯主の子どもから仕送りを受けている (n=7)	( 0.6)	( - ) 1万円未満 (14.3) ～30万円未満 (14.3) ～3万円未満 (14.3) ～40万円未満 (14.3) ～5万円未満 ( - ) ～50万円未満 (14.3) ～7万円未満 ( - ) 50万円以上 (14.3) ～10万円未満 ( - ) 無回答 (14.3) ～20万円未満
世帯主の親に仕送りをしている (n=11)	( 0.9)	( - ) 1万円未満 ( 9.1) ～30万円未満 (63.6) ～3万円未満 ( - ) ～40万円未満 ( - ) ～5万円未満 ( - ) ～50万円未満 ( 9.1) ～7万円未満 ( - ) 50万円以上 ( 9.1) ～10万円未満 ( - ) 無回答 ( 9.1) ～20万円未満
世帯主の親から仕送りを受けている (n=4)	( 0.3)	( - ) 1万円未満 ( - ) ～30万円未満 (25.0) ～3万円未満 ( - ) ～40万円未満 ( - ) ～5万円未満 ( - ) ～50万円未満 (25.0) ～7万円未満 ( - ) 50万円以上 ( - ) ～10万円未満 ( - ) 無回答 (50.0) ～20万円未満
上記のいずれもあてはまらない	(78.8)	
無回答	(14.4)	

問30 あなたの世帯の家計の収入源について、お伺いします。

(1) あなたの世帯では現在の家計支出をどのような収入でまかなっていますか。(〇はいくつでも) (n=1, 212)

※支出には次のものを含まず：食費、光熱費、住宅ローンの返済・住居費(住宅購入費や住宅改修費を除く)、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

(68.9) 1 給与収入	(5.0) 9 国や市町村等の公的機関からの援助 (失業給付、児童扶養手当、住居確保給付金等)
(6.9) 2 事業収入	(19.8) 10 貯蓄の取り崩し
(3.8) 3 不動産賃貸収入	(1.7) 11 退職一時金
(5.3) 4 利子・配当等での収入	(1.2) 12 満期保険金
(35.6) 5 公的年金・恩給	(0.2) 13 土地・家屋などの不動産売却収入
(11.0) 6 個人年金・企業年金	(-) 14 リバースモーゲージ *注
(1.2) 7 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(1.0) 15 その他 (具体的に )
(0.5) 8 生活保護費	

\*注 リバースモーゲージとは、持ち家を担保として自治体や信託銀行等から融資を受け、融資額満了時(契約者の死亡時等)に持ち家を売却することにより融資額を一括返済するシステムを指します。

(4.0) 無回答

(2) 上記(1)でお答えになった収入のうち、最も金額が大きい収入は何ですか。番号を1つだけ選んで、ご記入ください。(実数記入) (n=1, 212)

(57.6) 1 給与収入	(0.2) 9 国や市町村等の公的機関からの援助 (失業給付、児童扶養手当、住居確保給付金等)
(3.3) 2 事業収入	(1.6) 10 貯蓄の取り崩し
(0.8) 3 不動産賃貸収入	(0.3) 11 退職一時金
(0.2) 4 利子・配当等での収入	(0.2) 12 満期保険金
(20.6) 5 公的年金・恩給	(0.1) 13 土地・家屋などの不動産売却収入
(2.0) 6 個人年金・企業年金	(-) 14 リバースモーゲージ
(0.2) 7 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(0.2) 15 その他 (具体的に )
(0.3) 8 生活保護費	

(12.3) 無回答

## 老後の生活についてお伺いします。

### 【全員にお聞きします】

問31 65歳以上の高齢期に、あなたの世帯では、1か月にどのくらいの支出があるとお考えになりますか。高齢期にもっとも可能性の高い家族形態を想定してお答えください(例えば、お子さんと生計をともにする可能性が高い場合、二世帯世帯の生活を想定)。(実数記入) (n=1, 212)

※65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。

(1.2) 10万円未満	(15.7) ~30万円未満	(0.6) ~50万円未満
(6.1) ~15万円未満	(14.7) ~35万円未満	(4.1) 50万円以上
(12.6) ~20万円未満	(3.1) ~40万円未満	(14.4) 無回答
(24.0) ~25万円未満	(3.6) ~45万円未満	

問3 2 65歳以上の高齢期の家計の収入源について、お伺いします。

(1) あなたの世帯では、65歳以上の高齢期の家計支出をどのような収入でまかなおうとお考えですか。

※65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。(〇はいくつでも) (n=1, 212)

(37.2) 1 給与収入	(4.0) 9 国や市町村等の公的機関からの援助 (住居確保給付金、高齢求職者給付金、年金生活者給付金等)
(6.4) 2 事業収入	(38.0) 10 貯蓄の取り崩し
(3.7) 3 不動産賃貸収入	(14.3) 11 退職一時金
(7.3) 4 利子・配当等での収入	(5.8) 12 満期保険金
(64.8) 5 公的年金・恩給	(0.7) 13 土地・家屋などの不動産売却収入
(33.5) 6 個人年金・企業年金	(0.1) 14 リバースモーゲージ *注
(1.2) 7 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(1.4) 15 二世帯世帯で同居する子どもの収入
(0.8) 8 生活保護費	(0.7) 16 その他 (具体的に )

\*注 リバースモーゲージとは、持ち家を担保として自治体や信託銀行等から融資を受け、融資額満了時(契約者の死亡時等)に持ち家を売却することにより融資額を一括返済するシステムを指します。

(6.6) 無回答

(2) 上記(1)でお答えになった収入のうち、最も金額が大きくなるとお考えの収入は何ですか。番号を1つだけ選んで、ご記入ください。(実数記入) (n=1, 212)

(20.7) 1 給与収入	(0.7) 9 国や市町村等の公的機関からの援助 (住居確保給付金、高齢求職者給付金、年金生活者給付金等)
(3.2) 2 事業収入	(6.1) 10 貯蓄の取り崩し
(1.2) 3 不動産賃貸収入	(3.5) 11 退職一時金
(1.0) 4 利子・配当等での収入	(0.4) 12 満期保険金
(39.1) 5 公的年金・恩給	(0.2) 13 土地・家屋などの不動産売却収入
(7.8) 6 個人年金・企業年金	(-) 14 リバースモーゲージ
(0.2) 7 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(0.3) 15 二世帯世帯で同居する子どもの収入
(0.6) 8 生活保護費	(0.2) 16 その他 (具体的に )

(14.7) 無回答

問3 3 あなたの世帯では、世帯主の方は現在公的年金の給付がありますか。(〇は1つ) (n=1, 212)

(38.9) 1 <u>すでに受け取っている</u>	(6.8) 3 <u>公的年金を受け取る資格がない</u>
(49.3) 2 <u>今は受け取っていないが、将来は受け取る予定</u>	↳ 次ページの間3 4へお進みください

(5.0) 無回答

【問3 3で「1~2 (受け取っている、または受け取る予定)」と回答した方に】

問3 3-1 世帯主の方が受給中または受け取る予定の公的年金は何ですか。複数該当する場合は、金額が多いものをお答えください。(〇は1つ) (n=1, 068)

(71.9) 1 厚生年金 (民間サラリーマンの年金)	(12.5) 3 国民年金
(14.0) 2 共済組合の年金 (公務員やこれに準ずる者の年金)	

(1.6) 無回答

次ページの間3 3-2へお進みください。

問33-2 世帯主の方の公的年金受給開始年齢は、何歳でしたか。これから受け取る方は、受給開始予定年齢をご記入ください。(実数記入) (n=1,068)

(0.5)	60歳未満	(55.1)	65歳	(8.0)	無回答
(26.0)	60～65歳未満	(10.4)	66歳以上		

【全員にお聞きします】

問34 では、世帯主の配偶者の方は現在公的年金の給付がありますか。(〇は1つ) (n=1,212)

(29.7)	1	すでに受け取っている	(5.7)	3	公的年金を受け取る資格がない	} 問35へ お進み ください
(48.8)	2	今は受け取っていないが、将来は受け取る予定	(10.8)	4	配偶者はいない	
						(5.0) 無回答

【問34で「1～2 (受け取っている、または受け取る予定)」と回答した方に】

問34-1 世帯主の配偶者の方が受給中または受け取る予定の公的年金は何ですか。複数該当する場合は、金額が多いものをお答えください。(〇は1つ) (n=951)

(55.7)	1	厚生年金 (民間サラリーマンの年金)	(32.5)	3	国民年金
(8.8)	2	共済組合の年金 (公務員やこれに準ずる者の年金)			
					(2.9) 無回答

問34-2 世帯主の配偶者の方の公的年金受給開始年齢は、何歳でしたか。これから受け取る方は、受給開始予定年齢をご記入ください。(実数記入) (n=951)

(0.1)	60歳未満	(59.8)	65歳	(8.4)	無回答
(24.2)	60～65歳未満	(7.5)	66歳以上		

【全員にお聞きします】

問35 あなたの世帯では、公的年金で、65歳以上の高齢期の支出を何割程度まかなえるとお考えでしょうか。全部まかなえると思う方は「100」%とお答えください。仮に、公的年金が高齢期の支出を上回るとお考えの場合には「100」以上の数字をご記入ください。(実数記入) (n=1,212)

※65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。

(例：1か月の公的年金額が24万円で現役引退後の支出が20万円の場合は、24/20となるので、「120」%程度とご記入ください。)

※支出には次のものを含まず。

食費、光熱費、住宅ローン返済・住居費(住宅購入費や住宅改修費を除く)、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

(0.8)	0%	(28.4)	～100%程度	(0.8)	～170%未満
(0.5)	～10%未満	(14.3)	100%	(0.1)	～200%未満
(11.2)	～50%未満	(1.2)	～120%未満	(0.4)	200%以上
(21.5)	～70%未満	(4.6)	～150%未満	(16.1)	無回答

問36 あなたの世帯では、公的年金受給前に、どのくらい貯蓄額が必要だとお考えですか。すでに公的年金を受給している場合は、公的年金の受給開始時の貯蓄額をお答えください。(実数記入) (n=1,212)

(1.5)	0万円	(15.1)	1500万円未満	(10.5)	3500万円未満
(8.5)	500万円未満	(3.8)	2000万円未満	(4.4)	5000万円未満
(6.6)	700万円未満	(16.6)	2500万円未満	(9.7)	5000万円以上
(1.8)	1000万円未満	(1.6)	3000万円未満	(20.0)	無回答

## 遺産についてお伺いします。

### 【全員にお聞きします】

問37 主たる家計の管理者が加齢や病気等により管理（現金の引き出しや振り込み等）することが困難になった場合、どなたが代わりに主たる管理者になりますか。（○は1つ）（n=1, 212）

(69.4)	(2.6)	(23.8)	(0.3)	(1.0)
1 配偶者	2 兄弟姉妹	3 子ども	4 友人	5 その他（具体的に）

(2.9) 無回答

問38 前問37の事態に備え、銀行（信託銀行を除く）が受け皿となり、最も信頼できるご家族やご親族に財産の管理を任せる仕組み（いわゆる「民事信託」（「家族信託」とも言う））があれば利用したいと思いますか。

(○は1つ) (n=1, 212)

(1.2)	1 既に利用している	(39.0)	2 利用してみたい	(54.1)	3 利用したくない
-------	------------	--------	-----------	--------	-----------

(5.7) 無回答

問39 あなたの世帯では、お子さんに残す遺産（生前贈与を含む）に関してどのようにお考えですか。お子さんがいらっしゃる場合は、いらっしゃるかと仮定してお答えください。（○は1つ）（n=1, 212）

(32.5)	1	遺産（生前贈与を含む）は、いかなる場合においても残したい	
(4.4)	2	遺産（生前贈与を含む）は、子どもが世話、介護、経済的援助などしてくれた場合に限り残したい	
(0.7)	3	遺産（生前贈与を含む）は、子どもが事業を継いでくれた場合に限り残したい	
(2.4)	4	遺産（生前贈与を含む）は、子どもがお金に困っている場合に限り残したい	
(27.1)	5	遺産（生前贈与を含む）を積極的に残すつもりはないが、余った場合には残したい	
(0.7)	6	その他の理由で残したい（具体的に）	
(1.7)	7	遺産（生前贈与を含む）を残したら、子どもの働く意欲を弱めるから、残すつもりはない	} 次ページの問40へお進みください
(4.1)	8	自分の財産は自分で使いたいから、遺産（生前贈与を含む）を残すつもりはない	
(20.0)	9	遺産（生前贈与を含む）は残したいが、余裕がないから残せない	
(1.2)	10	その他の理由で残さない（具体的に）	

(5.1) 無回答

### 【問39で「1～6（遺産を残したい）」と回答した方に】

問39-1 あなたの世帯では、どのような資産をお子さんに残したいとお考えですか。（○はいくつでも）（n=821）

(35.9)	1	相続・贈与を受けた住宅・土地	(64.1)	4	みずから蓄積した金融資産
(48.5)	2	みずから取得した住宅・土地	(5.5)	5	相続・贈与を受けたその他の資産
(10.0)	3	相続・贈与を受けた金融資産	(10.6)	6	みずから取得したその他の資産
			(0.5)	7	その他（具体的に）

(1.2) 無回答

次ページの間39-2へお進みください。

問39-2 あなたの世帯で資産(生前贈与を含む)をお子さんに残される場合、金融資産・住宅・土地その他の資産を含めた金額はどのくらいの金額になるかは見当がついていますか。**1か2**のどちらか1つに○をしてください。また、「**1** ある程度見当がついている」の場合、その見込み額をお答えください。**(実数記入)** (n=821)

(15.3) <b>1</b> ある程度見当がついている	→ 見込み額 (n=126)	(13.5) ~1000万円未満 (15.1) ~1500万円未満 (9.5) ~2000万円未満 (13.5) ~3000万円未満	(15.1) ~5000万円未満 (20.6) ~1億円未満 (11.9) 1億円以上 (0.8) 無回答
(80.5) <b>2</b> 見当がついていない			
(4.1)	無回答		

問39-3 遺産(生前贈与を含む)をお子さんに残される場合、その分け方に対する考え方を教えてください。**(○はいくつでも)** (n=821)

(59.2) <b>1</b> 子ども間で均等に分ける	(15.7) <b>2</b> 世話、介護などをしてくれた子どもに、多く(もしくは全部)残す
(3.7) <b>3</b> 経済的援助をしてくれた子どもに、多く(もしくは全部)残す	(3.7) <b>4</b> 家業などを継いでくれた子どもに、多く(もしくは全部)残す
(2.9) <b>5</b> 何の交換条件がなくとも、長男・長女に、多く(もしくは全部)残す	(4.5) <b>6</b> よりお金に困っている子どもに、多く(もしくは全部)残す
(0.5) <b>7</b> 愛着がより強い子どもに、多く(もしくは全部)残す	(18.6) <b>8</b> 子どもが一人なので、その子に全部残す
(1.5) <b>9</b> その他(具体的に	)

(2.8) 無回答

**【全員にお聞きします】**

問40 あなたの世帯では、世帯主の親御さんや、配偶者の親御さんから遺産相続を受けたことがありますか。世帯主と配偶者、それぞれの親御さんについて、下表の(1)~(6)にお答えください。

	世帯主の親から (n=1, 212)	[ 世帯主に配偶者のいる方に ] 世帯主の配偶者の親から (n=1, 025)
(1) 遺産相続の有無 (○は1つ)	(26.9) <b>1</b> 相続を受けたことがある (65.7) <b>2</b> 相続を受けたことはない (7.4) 無回答	(13.2) <b>1</b> 相続を受けたことがある (70.8) <b>2</b> 相続を受けたことはない (16.0) 無回答
どちらも「 <b>2</b> 相続を受けたことはない」の場合、次ページの問41へお進みください。		
	(n=326)	(n=135)
(2) 遺産相続の時期 (複数回の場合は直近) (実数記入)	(11.0) 3年未満前 (9.2) ~20年未満前 (5.8) ~5年未満前 (11.7) ~25年未満前 (8.6) ~7年未満前 (4.6) ~30年未満前 (9.2) ~10年未満前 (18.4) 30年以上前 (15.0) ~15年未満前 (6.4) 無回答	(21.5) 3年未満前 (8.9) ~20年未満前 (8.1) ~5年未満前 (8.1) ~25年未満前 (14.1) ~7年未満前 (3.0) ~30年未満前 (4.4) ~10年未満前 (12.6) 30年以上前 (14.8) ~15年未満前 (4.4) 無回答



(3) 相続遺産の種類 (〇はいくつでも)	(55.5) 1 居住用の不動産(一戸建て) (4.3) 2 居住用の不動産(マンション) (24.2) 3 その他の不動産 (44.5) 4 金融資産 (-) 5 その他(具体的に ) (2.8) 無回答	(23.7) 1 居住用の不動産(一戸建て) (0.7) 2 居住用の不動産(マンション) (12.6) 3 その他の不動産 (68.1) 4 金融資産 (0.7) 5 その他(具体的に ) (3.7) 無回答
(4) 全ての相続時のおよその合計価額 (実数記入)	(4.3) 100万円未満 (12.9) ~1500万円未満 (6.1) ~200万円未満 (3.7) ~2000万円未満 (3.7) ~300万円未満 (10.4) ~3000万円未満 (6.4) ~400万円未満 (4.3) ~5000万円未満 (2.1) ~500万円未満 (3.4) 1億円未満 (11.3) ~700万円未満 (2.1) 1億円以上 (4.0) ~1000万円未満 (25.2) 無回答	(5.9) 100万円未満 (8.1) ~1500万円未満 (8.9) ~200万円未満 (4.4) ~2000万円未満 (5.9) ~300万円未満 (3.7) ~3000万円未満 (8.9) ~400万円未満 (5.9) ~5000万円未満 (4.4) ~500万円未満 (1.5) 1億円未満 (14.8) ~700万円未満 (-) 1億円以上 (5.2) ~1000万円未満 (22.2) 無回答
(5) 世帯主及びその配偶者以外の相続人 (〇はいくつでも)	(16.6) 1 親の配偶者が受け取った (47.5) 2 世帯主の兄弟・姉妹が受け取った (3.1) 3 他の親族が受け取った (-) 4 寄付した (0.3) 5 その他(具体的に ) (27.0) 6 世帯主の方以外に受け取った人はいない (16.6) 無回答	(14.8) 1 親の配偶者が受け取った (60.7) 2 配偶者の兄弟・姉妹が受け取った (3.0) 3 他の親族が受け取った (-) 4 寄付した (2.2) 5 その他(具体的に ) (18.5) 6 配偶者の方以外に受け取った人はいない (11.9) 無回答

【問40(5)で「2 世帯主(配偶者)の兄弟・姉妹が受け取った」と回答した方に】

	(n=155)	(n=82)
(6) その遺産の分け方 (〇はいくつでも)	(65.8) 1 兄弟・姉妹の間で、ほぼ均等に分けられた (14.2) 2 兄弟・姉妹の間で、世話、介護などをした子どもに多く(もしくは全部)残された (1.3) 3 兄弟・姉妹の間で、経済的援助をした子どもに多く(もしくは全部)残された (13.5) 4 兄弟・姉妹の間で、家業などを継いだ子どもに多く(もしくは全部)残された (5.2) 5 兄弟・姉妹の間で、何の交換条件もなかったのに、長男・長女に多く(もしくは全部)残された (0.6) 6 兄弟・姉妹の間で、よりお金に困っている子どもに、多く(もしくは全部)残された (-) 7 兄弟・姉妹の間で、愛着がより強い子どもに、多く(もしくは全部)残された (1.9) 8 その他(具体的に ) (3.2) 無回答	(59.8) 1 兄弟・姉妹の間で、ほぼ均等に分けられた (18.3) 2 兄弟・姉妹の間で、世話、介護などをした子どもに多く(もしくは全部)残された (-) 3 兄弟・姉妹の間で、経済的援助をした子どもに多く(もしくは全部)残された (14.6) 4 兄弟・姉妹の間で、家業などを継いだ子どもに多く(もしくは全部)残された (4.9) 5 兄弟・姉妹の間で、何の交換条件もなかったのに、長男・長女に多く(もしくは全部)残された (1.2) 6 兄弟・姉妹の間で、よりお金に困っている子どもに、多く(もしくは全部)残された (1.2) 7 兄弟・姉妹の間で、愛着がより強い子どもに、多く(もしくは全部)残された (3.7) 8 その他(具体的に ) (1.2) 無回答

**【全員にお聞きします】**

問4 1 あなたの世帯では将来、世帯主の親御さんや、配偶者の親御さんから、不動産や金融資産などを遺産または生前贈与としてもらえると思いますか。世帯主と配偶者、それぞれの親御さんについて、下表の(1)～(3)にお答えください。

	世帯主の親から (n=1, 212)	[ 世帯主に配偶者のいる方に ] 世帯主の配偶者の親から (n=1, 025)
(1) 将来の遺産 または 生前贈与の有無 (○は1つ)	<p>(21.9) 1 もらえると思う (または、すでにもらっている)</p> <p>(36.9) 2 もらえると思わない (または、もらえなかった)</p> <p>(28.1) 3 わからない</p> <p>(13.0) 無回答</p>	<p>(16.4) 1 もらえると思う (または、すでにもらっている)</p> <p>(36.9) 2 もらえると思わない (または、もらえなかった)</p> <p>(27.5) 3 わからない</p> <p>(19.2) 無回答</p>
<p>どちらも「2～3」の方は、次ページのF1へお進みください。</p>		
	(n=266)	(n=168)
(2) それほどのよ うな種類 ですか。 (○はいくつでも)	<p>(56.4) 1 居住用の不動産 (一戸建て)</p> <p>( 1.9) 2 居住用の不動産 (マンション)</p> <p>(21.4) 3 その他の不動産</p> <p>(51.5) 4 金融資産</p> <p>( 0.4) 5 その他 ( )</p> <p>( 3.4) 無回答</p>	<p>(32.1) 1 居住用の不動産 (一戸建て)</p> <p>( 2.4) 2 居住用の不動産 (マンション)</p> <p>(10.1) 3 その他の不動産</p> <p>(65.5) 4 金融資産</p> <p>( 0.6) 5 その他 ( )</p> <p>( 8.9) 無回答</p>
(3) その時価総額は いくらくらいにな ると思いますか。 (実数記入)	<p>( 2.3) 100万円未満 (12.0) ～1500万円未満</p> <p>( 3.4) ～200万円未満 ( 3.4) ～2000万円未満</p> <p>( 5.3) ～300万円未満 ( 8.6) ～3000万円未満</p> <p>( 3.8) ～400万円未満 ( 5.6) ～5000万円未満</p> <p>( 1.1) ～500万円未満 ( 5.6) 1億円未満</p> <p>(13.5) ～700万円未満 ( 3.4) 1億円以上</p> <p>( 4.5) ～1000万円未満 (27.4) 無回答</p>	<p>( 0.6) 100万円未満 (12.5) ～1500万円未満</p> <p>( 8.3) ～200万円未満 ( 3.0) ～2000万円未満</p> <p>( 6.0) ～300万円未満 ( 6.0) ～3000万円未満</p> <p>( 7.7) ～400万円未満 ( 3.6) ～5000万円未満</p> <p>( 1.2) ～500万円未満 ( 2.4) 1億円未満</p> <p>(13.7) ～700万円未満 ( - ) 1億円以上</p> <p>( 6.0) ～1000万円未満 (29.2) 無回答</p>

次ページのF1へお進みください。

## あなたとご家族のことについてお伺いします。

### 【全員にお聞きします】

F 1 世帯主の方の性別（出生時の戸籍・出生届の性別）についてお伺いします。（○は1つ）（n=1, 212）

(88.4) 1 男性 ( 9.2) 2 女性 ( 2.3) 無回答

F 2 現在、世帯主の方の健康状態は良好ですか。世帯主の方に配偶者がいらっしゃる場合は、配偶者の方についてもお答えください。配偶者がいらっしゃらない場合は「5 配偶者はいない」をお選びください。

（○はそれぞれ1つずつ）（n=1, 212）

	健康である	まあ健康である	あまり健康でない	健康でない	配偶者はいない	無回答
世帯主 ⇒	(34.9)	(44.1)	(11.6)	( 6.1)		( 3.3)
配偶者 ⇒	(30.6)	(40.8)	( 9.7)	(3.5)	(10.8)	( 4.6)

(84.6) 世帯主に配偶者あり (10.8) 世帯主に配偶者なし ( 4.6) 無回答 (n=1, 212)

F 3 世帯主の方とその配偶者（離別・死別の場合は元配偶者を含む）の方、それぞれのご両親の方の生年月を教えてください。（実数記入）

※29 ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

#### (1) 世帯主の方とその配偶者の方

世帯主 (n=1, 212)	⇒	( 3.1) 20歳代 ( 8.7) 30歳代 (16.0) 40歳代	(17.8) 50歳代 (19.4) 60歳代 (27.1) 70歳以上	( 7.8) 無回答
配偶者 (n=1, 025)	⇒	( 3.5) 20歳代 (11.7) 30歳代 (16.9) 40歳代	(19.6) 50歳代 (19.3) 60歳代 (21.5) 70歳以上	( 7.5) 無回答

#### (2) 世帯主の方とその配偶者の方のご両親

	父 親		母 親		
世帯主 (n=1, 212)	⇒	( 2.1) 1900年代以前 ( 6.1) 1910年代 ( 9.0) 1920年代 (13.9) 1930年代 (13.8) 1940年代	(10.0) 1950年代 ( 3.9) 1960年代 ( 0.4) 1970年代 ( 0.1) 1980年代 (40.8) 無回答	( 0.7) 1900年代以前 ( 4.1) 1910年代 ( 8.9) 1920年代 (15.8) 1930年代 (14.5) 1940年代	(12.9) 1950年代 ( 5.7) 1960年代 ( 1.3) 1970年代 ( - ) 1980年代 (36.1) 無回答
配偶者 (n=1, 025)	⇒	( 1.5) 1900年代以前 ( 3.5) 1910年代 ( 9.8) 1920年代 (15.1) 1930年代 (14.6) 1940年代	(12.1) 1950年代 ( 5.2) 1960年代 ( 0.6) 1970年代 ( - ) 1980年代 (37.7) 無回答	( 0.6) 1900年代以前 ( 1.9) 1910年代 ( 9.2) 1920年代 (15.4) 1930年代 (15.5) 1940年代	(14.3) 1950年代 ( 7.1) 1960年代 ( 1.4) 1970年代 ( 0.1) 1980年代 (34.5) 無回答

F 4 世帯主の方とその配偶者（離別・死別の場合は元配偶者を含む）の方、それぞれのご両親が最後に卒業された学校はどちらですか。下の選択肢欄の中からあてはまるものを1つ選び、(1)と(2)のそれぞれの□内に番号をご記入ください。

※「7 その他」の場合に限り、具体的な学校の種別等をカッコ内にご記入ください。

(1) 世帯主の方とその配偶者の方

世帯主 (n=1, 212)	⇒	( 7.8) <b>1</b> 中学校 (旧制小・高等小)      (21.3) <b>5</b> 大学・大学院 (文系) (31.5) <b>2</b> 高等学校 (旧制中・旧制高女)      (11.8) <b>6</b> 大学・大学院 (理系) ( 8.6) <b>3</b> 専修学校・各種学校      ( - ) <b>7</b> その他 ( 5.5) <b>4</b> 短大・高等専門学校      ( 0.7) <b>8</b> わからない	(12.8) 無回答
配偶者 (n=1, 025)	⇒	( 5.4) <b>1</b> 中学校 (旧制小・高等小)      (15.7) <b>5</b> 大学・大学院 (文系) (32.8) <b>2</b> 高等学校 (旧制中・旧制高女)      ( 4.2) <b>6</b> 大学・大学院 (理系) (10.7) <b>3</b> 専修学校・各種学校      ( 0.2) <b>7</b> その他 (19.8) <b>4</b> 短大・高等専門学校      ( 0.7) <b>8</b> わからない	(10.5) 無回答

(2) 世帯主の方とその配偶者の方のご両親

		父 親	母 親
世帯主 (n=1, 212)	⇒	(23.0) <b>1</b> 中学校 (旧制小・高等小) (22.9) <b>2</b> 高等学校 (旧制中・旧制高女) ( 2.0) <b>3</b> 専修学校・各種学校 ( 1.2) <b>4</b> 短大・高等専門学校 ( 8.2) <b>5</b> 大学・大学院 (文系) ( 3.9) <b>6</b> 大学・大学院 (理系) ( 0.2) <b>7</b> その他 (11.2) <b>8</b> わからない (27.5) 無回答	(20.0) <b>1</b> 中学校 (旧制小・高等小) (29.0) <b>2</b> 高等学校 (旧制中・旧制高女) ( 3.4) <b>3</b> 専修学校・各種学校 ( 5.0) <b>4</b> 短大・高等専門学校 ( 4.3) <b>5</b> 大学・大学院 (文系) ( 0.6) <b>6</b> 大学・大学院 (理系) ( 0.1) <b>7</b> その他 (10.7) <b>8</b> わからない (26.9) 無回答
配偶者 (n=1, 025)	⇒	(19.0) <b>1</b> 中学校 (旧制小・高等小) (26.1) <b>2</b> 高等学校 (旧制中・旧制高女) ( 2.8) <b>3</b> 専修学校・各種学校 ( 1.8) <b>4</b> 短大・高等専門学校 ( 9.3) <b>5</b> 大学・大学院 (文系) ( 5.1) <b>6</b> 大学・大学院 (理系) ( 0.3) <b>7</b> その他 (10.7) <b>8</b> わからない (24.9) 無回答	(16.9) <b>1</b> 中学校 (旧制小・高等小) (32.9) <b>2</b> 高等学校 (旧制中・旧制高女) ( 3.7) <b>3</b> 専修学校・各種学校 ( 5.2) <b>4</b> 短大・高等専門学校 ( 5.3) <b>5</b> 大学・大学院 (文系) ( 0.9) <b>6</b> 大学・大学院 (理系) ( - ) <b>7</b> その他 (10.2) <b>8</b> わからない (25.0) 無回答

選 択 肢 欄	<b>1</b> 中学校 (旧制小・高等小) <b>2</b> 高等学校 (旧制中・旧制高女) <b>3</b> 専修学校・各種学校 <b>4</b> 短大・高等専門学校	<b>5</b> 大学・大学院 (文系) <b>6</b> 大学・大学院 (理系) <b>7</b> その他 (具体的に) →表中のカッコ内に記入 <b>8</b> わからない
------------------	--	---

F 5 あなたの世帯では、現在居住している土地・建物以外の資産をお持ちですか。世帯主・配偶者のみでなく、生計を共にされている方全てがお持ちのものを含めてお答えください。

それぞれの資産について、その現在の評価額（時価評価額）をお知らせください（事業用部分は除く）。資産別の額が分からなくても、合計額のみご記入可能な方は、その額をお知らせください。

**(実数記入)** (n=1, 212)

※回答可能な範囲でお答えいただければ結構です。正確な金額が分からないものは、推計額で結構です。  
※ゼロの場合は「0」と記入してください。

	時価評価額		
居住目的以外の土地および建物（別荘、通勤用住宅、投資用マンション等）	(51.7) ~100万円未満※	(1.3) ~1500万円未満	※「0」表記 51.2%含む
	(0.9) ~200万円未満	(0.5) ~2000万円未満	
	(0.2) ~300万円未満	(2.0) ~3000万円未満	
	(0.2) ~400万円未満	(0.7) ~5000万円未満	
	(0.3) ~500万円未満	(0.9) ~1億円未満	
	(1.2) ~700万円未満	(0.5) 1億円以上	
	(0.8) ~1000万円未満	(38.8) 無回答	
その他（ゴルフ会員権、貴金属、書画、骨董、車等）	(51.6) ~100万円未満※	(-) ~1500万円未満	※「0」表記 48.8%含む
	(2.0) ~200万円未満	(-) ~2000万円未満	
	(1.6) ~300万円未満	(-) ~3000万円未満	
	(0.9) ~400万円未満	(0.1) ~5000万円未満	
	(0.4) ~500万円未満	(-) ~1億円未満	
	(0.9) ~700万円未満	(-) 1億円以上	
	(0.2) ~1000万円未満	(42.4) 無回答	
合 計	(53.4) ~100万円未満※	(1.3) ~1500万円未満	※「0」表記 51.2%含む
	(1.9) ~200万円未満	(0.6) ~2000万円未満	
	(1.2) ~300万円未満	(1.7) ~3000万円未満	
	(0.9) ~400万円未満	(0.7) ~5000万円未満	
	(0.7) ~500万円未満	(0.8) ~1億円未満	
	(1.4) ~700万円未満	(0.4) 1億円以上	
	(0.6) ~1000万円未満	(34.5) 無回答	

F 6 あなた（このアンケートをご記入くださっている方）は、世帯主とどのような間柄（ご関係）ですか。

**(〇は1つ)** (n=1, 212)

(59.7) <b>1</b> 世帯主ご本人	(0.3) <b>6</b> 世帯主の親
(32.8) <b>2</b> 世帯主の配偶者	(-) <b>7</b> 世帯主の配偶者の親
(2.1) <b>3</b> 世帯主の子ども	(-) <b>8</b> 世帯主の祖父、または祖母
(0.1) <b>4</b> 世帯主の子どもの配偶者	(0.3) <b>9</b> 世帯主の兄弟・姉妹
(-) <b>5</b> 世帯主の孫	(-) <b>10</b> その他(具体的に )

(4.7) 無回答

F 7 世帯主の方のお子さんは何人いらっしゃいますか。 **(実数記入)** (n=1, 212)

(10.0) 0人	(18.5) 3人	(0.1) 6人
(19.4) 1人	(3.2) 4人	(0.1) 7人以上
(43.4) 2人	(0.5) 5人	(4.9) 無回答

F 8 現在、同居のご家族の方は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。ひとり暮らしの方は、「1」とご記入ください。 **(実数記入)** (n=1, 212)

(1.6) 1人	(18.8) 4人	(0.7) 7人以上
(38.7) 2人	(6.5) 5人	(3.5) 無回答
(27.1) 3人	(3.1) 6人	

F 9 現在、あなたが同居しているご家族の方々（あなたご自身を含めて）すべてに○を付け、それぞれ人数もご記入ください。（○はいくつでも）（n=1, 212）

同居家族の 家族構成		人 数			
世帯主	(92.3)				
世帯主の配偶者	(81.5)				
世帯主の子ども (n=692)	(57.1)	(52.6)	1人	( - )	5人
		(32.2)	2人	( - )	6人
		( 8.8)	3人	( - )	7人以上
		( 1.3)	4人	( 5.1)	無回答
世帯主の子どもの配偶者 (n=36)	( 3.0)	(94.4)	1人	( - )	5人
		( - )	2人	( - )	6人
		( - )	3人	( - )	7人以上
		( - )	4人	( 5.6)	無回答
世帯主の孫 (n=40)	( 3.3)	(45.0)	1人	( - )	5人
		(40.0)	2人	( - )	6人
		( 7.5)	3人	( - )	7人以上
		( 5.0)	4人	( 2.5)	無回答
世帯主の親 (n=89)	( 7.3)	(78.7)	1人	( - )	5人
		(19.1)	2人	( - )	6人
		( - )	3人	( - )	7人以上
		( - )	4人	( 2.2)	無回答
世帯主の配偶者の親 (n=32)	( 2.6)	(75.0)	1人	( - )	5人
		(21.9)	2人	( - )	6人
		( - )	3人	( - )	7人以上
		( - )	4人	( 3.1)	無回答
世帯主の祖父、または祖母 (n=1)	( 0.1)	(100.0)	1人	( - )	5人
		( - )	2人	( - )	6人
		( - )	3人	( - )	7人以上
		( - )	4人	( - )	無回答
世帯主の兄弟・姉妹 (n=20)	( 1.7)	(90.0)	1人	( - )	5人
		( 5.0)	2人	( - )	6人
		( - )	3人	( - )	7人以上
		( - )	4人	( 5.0)	無回答
その他 (n=9)	( 0.7)	(88.9)	1人	( - )	5人
		(11.1)	2人	( - )	6人
		( - )	3人	( - )	7人以上
		( - )	4人	( - )	無回答
無回答	( 3.5)				

【F9で、「3 世帯主の子ども」に○を付けた方のみ】

F 9-1 一番下のお子さんの年齢をお知らせください。（実数記入）（n=692）

( 9.5)	3歳未満	( 5.3)	9～11歳未満	( 7.8)	17～20歳未満
( 4.9)	3～5歳未満	( 5.9)	11～13歳未満	(41.8)	20歳以上
( 6.4)	5～7歳未満	( 4.0)	13～15歳未満	( 4.9)	無回答
( 4.6)	7～9歳未満	( 4.8)	15～17歳未満		

【F9で、「5 世帯主の孫」に○を付けた方のみ】

F9-2 一番下のお孫さんの年齢をお知らせください。(実数記入) (n=40)

(17.5)	3歳未満	(12.5)	9～11歳未満	(2.5)	17～20歳未満
(12.5)	3～5歳未満	(10.0)	11～13歳未満	(17.5)	20歳以上
(5.0)	5～7歳未満	(5.0)	13～15歳未満	(5.0)	無回答
(2.5)	7～9歳未満	(10.0)	15～17歳未満		

【全員にお聞きします】

F10 生計をともにしている別居中のご家族がいらっしゃいますか。(○は1つ) (n=1,212)

(8.8) 1 いる	(85.1) 2 いない	(6.1) 無回答
------------	--------------	-----------

【全員にお聞きします】

F11 世帯主の方、または世帯主の配偶者の方の親御さんについてお伺いします。

※世帯主の配偶者がいらっしゃらない場合は、世帯主の親御さんについてのみお答えください。

- (1) 現在、同居されていますか。(○はそれぞれ1つ)
- (2) 親御さんの中に、介護が必要な方はいらっしゃいますか。(○はそれぞれ1つ)

【F11(2)で、「2 必要とする」とお答えの方について】

- (3) 介護が必要な親御さんがいらっしゃる場合、主な介護者はどなたですか。(○はそれぞれ1つ)
- (4) 介護のために、あなたの世帯が負担されている費用は月々いくらくらいですか。(○はそれぞれ1つ)

	世帯主のご両親		[ 世帯主に配偶者のいる方に ] 配偶者のご両親	
	母親(n=1,212)	父親(n=1,212)	母親(n=1,025)	父親(n=1,025)
(1)あなたとの同居別居状態 (○はそれぞれ1つずつ)	(7.3)同居中 (16.0)別居中 (同じ市町村) (24.1)別居中(他の地域) (41.5)母親はいない (11.1)無回答	(2.1)同居中 (11.5)別居中 (同じ市町村) (17.7)別居中(他の地域) (56.8)父親はいない (12.0)無回答	(3.2)同居中 (17.6)別居中 (同じ市町村) (30.8)別居中(他の地域) (38.3)母親はいない (10.0)無回答	(1.4)同居中 (12.8)別居中 (同じ市町村) (22.4)別居中(他の地域) (52.8)父親はいない (10.6)無回答
(2)介護の必要有無 (○はそれぞれ1つずつ)	(82.8)必要としない (16.3)必要とする (0.9)無回答	(89.7)必要としない (9.0)必要とする (1.3)無回答	(82.0)必要としない (14.9)必要とする (3.0)無回答	(89.9)必要としない (9.3)必要とする (0.8)無回答
(3)主に介護している方 (○はそれぞれ1つずつ)	(21.3)世帯主 (8.5)世帯主の配偶者 (5.3)世帯主の父親 (8.5)その他の親族 (13.8)介護老人福祉施設 (特養)	(8.8)世帯主 (8.8)世帯主の配偶者 (11.8)世帯主の母親 (20.6)その他の親族 (17.6)介護老人福祉施設 (特養)	(2.5)世帯主 (19.0)世帯主の配偶者 (3.8)配偶者の父親 (22.8)その他の親族 (19.0)介護老人福祉施設 (特養)	(-)世帯主 (17.1)世帯主の配偶者 (11.4)配偶者の母親 (25.7)その他の親族 (5.7)介護老人福祉施設 (特養)

	(13.8) 介護保健施設 (老健) (2.1) 療養型病床 (12.8) 有料老人ホーム (9.6) 病院 (3.2) その他	(-) 介護保健施設 (老健) (-) 療養型病床 (5.9) 有料老人ホーム (5.9) 病院 (17.6) その他	(7.6) 介護保健施設 (老健) (3.8) 療養型病床 (6.3) 有料老人ホーム (6.3) 病院 (7.6) その他	(8.6) 介護保健施設 (老健) (-) 療養型病床 (5.7) 有料老人ホーム (20.0) 病院 (5.7) その他
	(1.1) 無回答	(2.9) 無回答	(1.3) 無回答	(-) 無回答
	母親 (n=94)	父親 (n=34)	母親 (n=79)	父親 (n=35)
(4) 介護費用の負担額 (○はそれぞれ1つつ)	(18.1) 3万円未満 (14.9) 3～5万円未満 (2.1) 5～7万円未満 (6.4) 7～10万円未満 (8.5) 10～15万円未満 (9.6) 15万円以上 (17.0) わからない (19.1) 費用負担はない	(26.5) 3万円未満 (8.8) 3～5万円未満 (-) 5～7万円未満 (5.9) 7～10万円未満 (5.9) 10～15万円未満 (-) 15万円以上 (32.4) わからない (17.6) 費用負担はない	(11.4) 3万円未満 (6.3) 3～5万円未満 (5.1) 5～7万円未満 (6.3) 7～10万円未満 (6.3) 10～15万円未満 (6.3) 15万円以上 (26.6) わからない (21.5) 費用負担はない	(14.3) 3万円未満 (14.3) 3～5万円未満 (2.9) 5～7万円未満 (5.7) 7～10万円未満 (11.4) 10～15万円未満 (5.7) 15万円以上 (17.1) わからない (22.9) 費用負担はない
	(4.3) 無回答	(2.9) 無回答	(10.1) 無回答	(5.7) 無回答

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。